

授業評価 2021

—学生による授業評価報告書—

【2021 年度新規開設科目】

2022年3月



授業評価 2021
－学生による授業評価報告書－
【2021 年度新規開設科目】

<u>I. 「学生による授業評価 2021」の概要</u> -----	1
I－1. 目的	
I－2. 構成と内容	
I－3. 方法と期間	
I－4. 時系列分析	
I－5. 回答者の特性	
I－6. 評価結果の提供と公表	
I－6－1. 評価結果の提供	
I－6－2. 評価結果の公表	
I－7. その他	
<u>II. 評定尺度調査の分析結果</u> -----	20
II－1. 学部の分析結果	
II－1－1. 項目平均から見た全体的傾向	
II－1－2. 学習への取組み姿勢	
II－1－3. 学部の授業評価	
II－1－4. 学部の重回帰分析	
II－2. 大学院の分析結果	
II－2－1. 項目平均から見た全体的傾向	
II－2－2. 学習への取組み姿勢	
II－2－3. 大学院の授業評価	
II－2－4. 大学院の重回帰分析	
<u>III. 自由記述のまとめ</u> -----	122
III－1. 学部（放送授業）	
III－2. 学部（オンライン授業）	
III－3. 大学院（放送授業）	
III－4. 大学院（オンライン授業）	
<u>付録</u> -----	223

2021 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2021」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。本年度は、第17回目となり、例年の通り2021年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コースまたは領域、プログラム(群)における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する(つまり、評価の次年度に改訂版を収録する)ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査(放送授業)は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については14,15頁と18,19頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2021年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、本年度に開設した科目及び前年度第2学期に開設した科目(開講1年目の科目)、学部43科目(オンライン授業6科目を除く)、大学院14科目(オンライン授業6科目を除く)、計57科目である(表1-1参照)。このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数（オンライン授業を除く）

【学部】					【大学院】				
コース	科目数		有効回答		プログラム	科目数		有効回答	
	2021年度		2021年度			2021年度		2021年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比		全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目	12	4	1144	15%	生活健康科学	10	3	61	15%
基盤科目(外国語)	14	2	1044	13%	人間発達科学	10	2	64	16%
生活と福祉	40	6	1216	16%	臨床心理学	10	4	169	41%
心理と教育	52	10	2592	33%	社会経営科学	8	0	0	0%
社会と産業	59	9	661	8%	人文学	8	4	111	27%
人間と文化	43	5	566	7%	情報学	6	0	0	0%
情報	31	1	44	1%	自然環境科学	3	1	7	2%
自然と環境	31	6	516	7%	全体	55	14	412	100%
看護師資格取得	5	0	0	0%					
夏季集中科目(司書)	5	0	0	0%					
全体	216	43	7783	100%					

※構成比は、小数点第一位を四捨五入しているため、各項目の数値を合計しても100%にならない場合がある。

2018年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部42,584名、大学院1,501名、計44,085名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。

調査期間は第1学期単位認定試験終了後の7月21日から9月30日までの72日間とし、有効回答数は学部7,783人、大学院412人、計8,195人であった。無記名調査ながら、有効回答率は、学部18.3%、大学院27.4%、全体で18.6%と、2020年度の有効回答率（2020年度新規開設科目 学部20.6%、大学院34.3%、全体20.8%）と比較すると学部、大学院共に減少していた。

※オンライン授業を除く

表 1-2 調査対象者数および有効回答率

	2021年新規開設科目			2020年新規開設科目			2019年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	42,584	7,783	18.3%	35,552	7,320	20.6%	27,392	4,550	16.6%
大学院	1,501	412	27.4%	650	223	34.3%	1,028	350	34.0%
計	44,085	8,195	18.6%	36,202	7,543	20.8%	28,420	4,900	17.2%

I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較 ※ pt:ポイント

(次頁表1-3)は、回答者の属性分布と母集団(全受講登録者)の属性分布を比較したものである。両者を比較して、回答者の属性分布と母集団の属性分布間に乖離がないかの確認を行う。

学部では、男性は+0.9pt、女性は-0.9ptで母集団との差は、ほとんど無かった。

年齢階層別では19歳以下~40歳代までがマイナスで、20歳代(-8.3pt)と30歳代(-5.6pt)の若い層が、母集団との差が大きかった。

反対に母集団より比率が高かく、乖離が大きかったのは50歳代(+7.0pt)と60歳代(+7.8pt)であった。

学生種別では全科履修生が+2.3pt、選科履修生は-2.7ptと母集団との乖離が大きく、科目履修生(+0.5pt)は、母集団とほとんど変わらなかった。

一方、大学院では、男女共に母集団との差は無かったが、年齢階層別では、傾向的に20歳代から40歳代までと70歳以上が、母集団より低くかった。

反対に50歳代と60歳代は、母集団を上回り、特に50歳代に、9.5ptの乖離が見られた。

学生種別では、修士全科生は母集団より19pt以上高く、修士選科生はその逆の傾向で、修士科目生は、母集団とほとんど変わらなかった。

表 1 - 3 回答者の属性分布

【学部】

		2021年新規開設科目			2020年新規開設科目			2019年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	39.2%	38.3%	0.9pt	40.9%	39.7%	1.2pt	46.8%	41.3%	5.5pt
	女性	60.8%	61.7%	▲0.9pt	59.1%	60.3%	▲1.2pt	53.2%	58.7%	▲5.5pt
年齢階層別	19歳以下	1.2%	1.3%	▲0.1pt	0.4%	1.2%	▲0.9pt	1.4%	2.6%	▲1.3pt
	20～29歳	7.7%	16.0%	▲8.3pt	6.5%	15.5%	▲9.0pt	6.7%	14.4%	▲7.8pt
	30～39歳	8.8%	14.4%	▲5.6pt	11.6%	17.5%	▲5.9pt	11.5%	18.4%	▲6.9pt
	40～49歳	21.9%	23.1%	▲1.2pt	24.0%	25.1%	▲1.1pt	21.6%	25.6%	▲4.0pt
	50～59歳	30.8%	23.8%	7.0pt	31.7%	23.1%	8.6pt	26.9%	17.8%	9.1pt
	60～69歳	21.3%	13.5%	7.8pt	18.3%	12.0%	6.3pt	21.5%	13.4%	8.2pt
	70歳以上	8.2%	8.0%	0.2pt	7.6%	5.7%	1.9pt	10.4%	7.7%	2.7pt
学生種別	全科履修生	81.3%	79.0%	2.3pt	71.8%	68.6%	3.2pt	74.6%	62.6%	12.0pt
	選科履修生	14.8%	17.5%	▲2.7pt	18.7%	20.6%	▲1.9pt	16.9%	28.1%	▲11.2pt
	科目履修生	3.9%	3.4%	0.5pt	9.5%	10.8%	▲1.3pt	8.5%	9.3%	▲0.8pt
	人数(N)	7,783	-	-	7,320	-	-	4,550	-	-

pt: ポイント

【大学院】

		2021年新規開設科目			2020年新規開設科目			2019年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	50.7%	50.0%	0.7pt	66.4%	62.4%	4.0pt	54.9%	52.1%	2.7pt
	女性	49.3%	50.0%	▲0.7pt	33.6%	37.6%	▲4.0pt	45.1%	47.9%	▲2.7pt
年齢階層別	20～29歳	1.5%	4.5%	▲3.0pt	5.4%	6.3%	▲0.9pt	3.1%	5.4%	▲2.3pt
	30～39歳	10.4%	11.5%	▲1.1pt	11.2%	13.0%	▲1.8pt	14.3%	15.4%	▲1.1pt
	40～49歳	15.8%	21.0%	▲5.2pt	22.0%	24.1%	▲2.1pt	22.6%	21.9%	0.7pt
	50～59歳	38.6%	29.1%	9.5pt	29.1%	28.7%	0.4pt	28.9%	28.4%	0.5pt
	60～69歳	23.8%	21.9%	1.9pt	23.8%	20.6%	3.2pt	25.4%	20.9%	4.5pt
	70歳以上	10.0%	12.0%	▲2.0pt	8.5%	7.2%	1.3pt	5.7%	8.0%	▲2.3pt
学生種別	修士全科生	33.5%	14.1%	19.4pt	36.3%	39.5%	▲3.2pt	36.3%	15.5%	20.8pt
	修士選科生	58.3%	77.4%	▲19.1pt	54.3%	53.0%	1.3pt	57.4%	74.9%	▲17.5pt
	修士科目生	8.3%	8.5%	▲0.2pt	9.4%	7.4%	2.0pt	6.3%	9.6%	▲3.3pt
人数(N)		412	-	-	223	-	-	350	-	-

pt: ポイント

以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布（2021年新規開設科目）

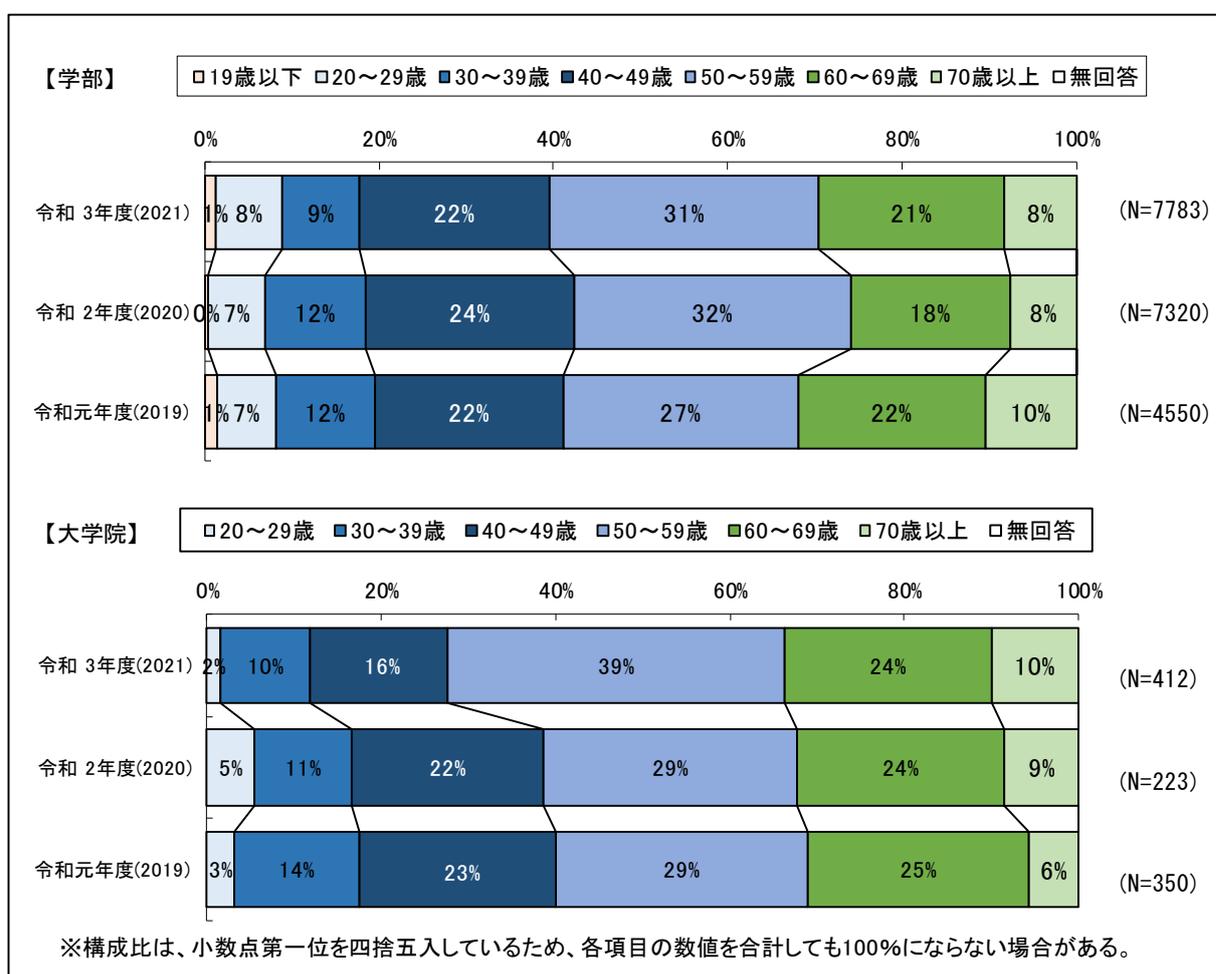
年齢階層別に本年度（2021年新規開設科目）の回答者の分布を見ると（図1-1）、学部では50歳代が最も多く31%、次いで40歳代22%、60歳代が21%で、40歳代から60歳代で74%を占めていた。

昨年度と比べると、60歳代が増え、30歳代と40歳代が減っていた。

大学院は学部同様、50歳代が最も多く39%で、40歳代から60歳代の構成比が高く、全体の78%に達していた。

昨年度との比較では50歳代が大幅に増加し、40歳代が大幅に減少していた。

図1-1 年齢階層別回答者



(3) 性別の傾向（2021年新規開設科目）

学部について、男女別全体では（図1-2）、男性は39%、女性は61%となり、この3年間では、女性の増加傾向が見られる。

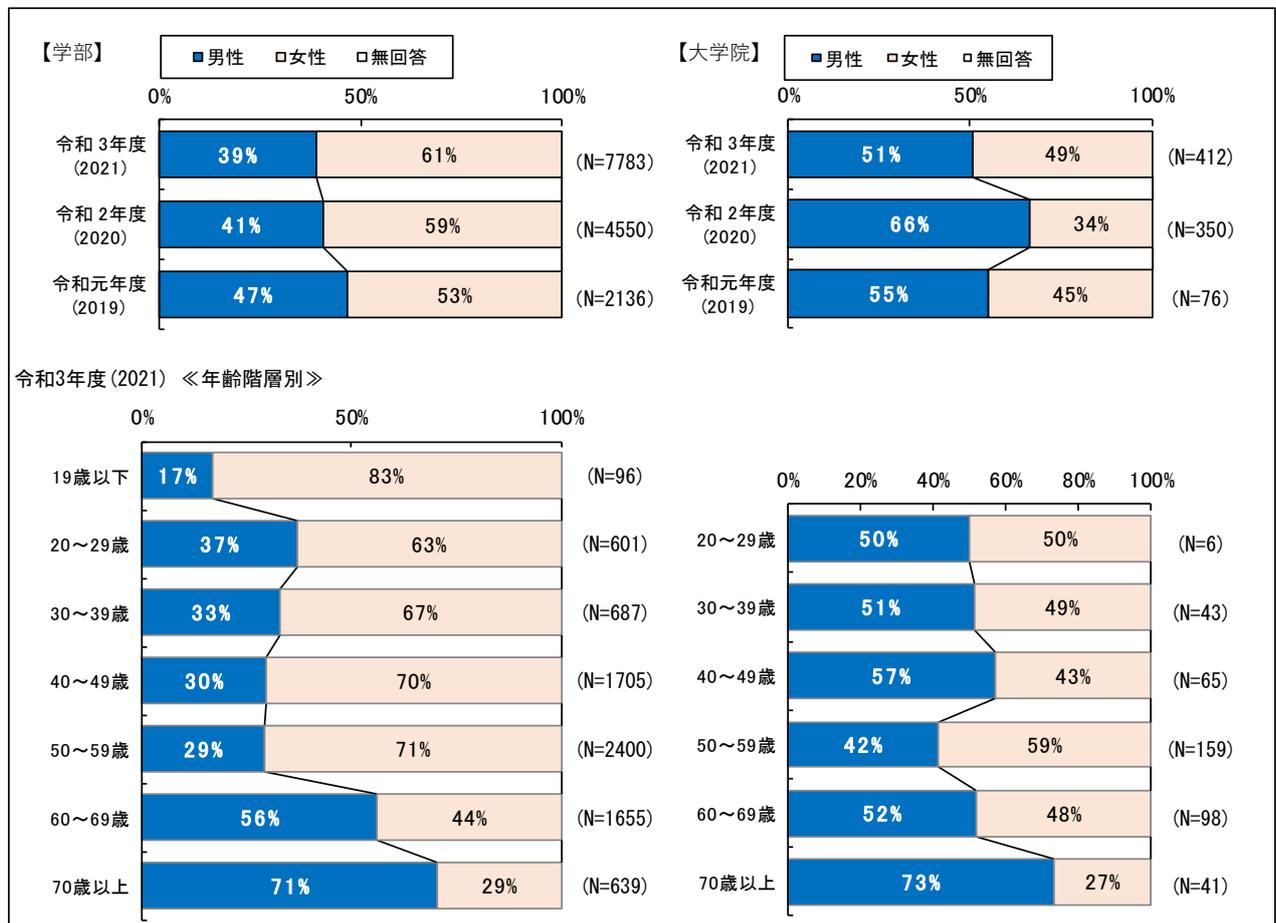
年代毎の男女の構成を見ると、19歳以下から50歳代までは女性の割合が圧倒的に多く、特に19歳以下では女性が8割以上を占めていた。

60歳代から男性が多くなり、70歳以上では男性が7割を占めていた。

大学院では、男性51%、女性49%で、昨年度と比べると男女間の差がほとんど無くなっていた。

年代別で目立つのは、70歳以上の男性の割合が多く、7割以上を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布（2021年新規開設科目）

学部在籍者の職業は（図1-3）、「会社員」が最も多く22%、次いで「無職」（18%）と「パート・アルバイト」（15%）が続いている。

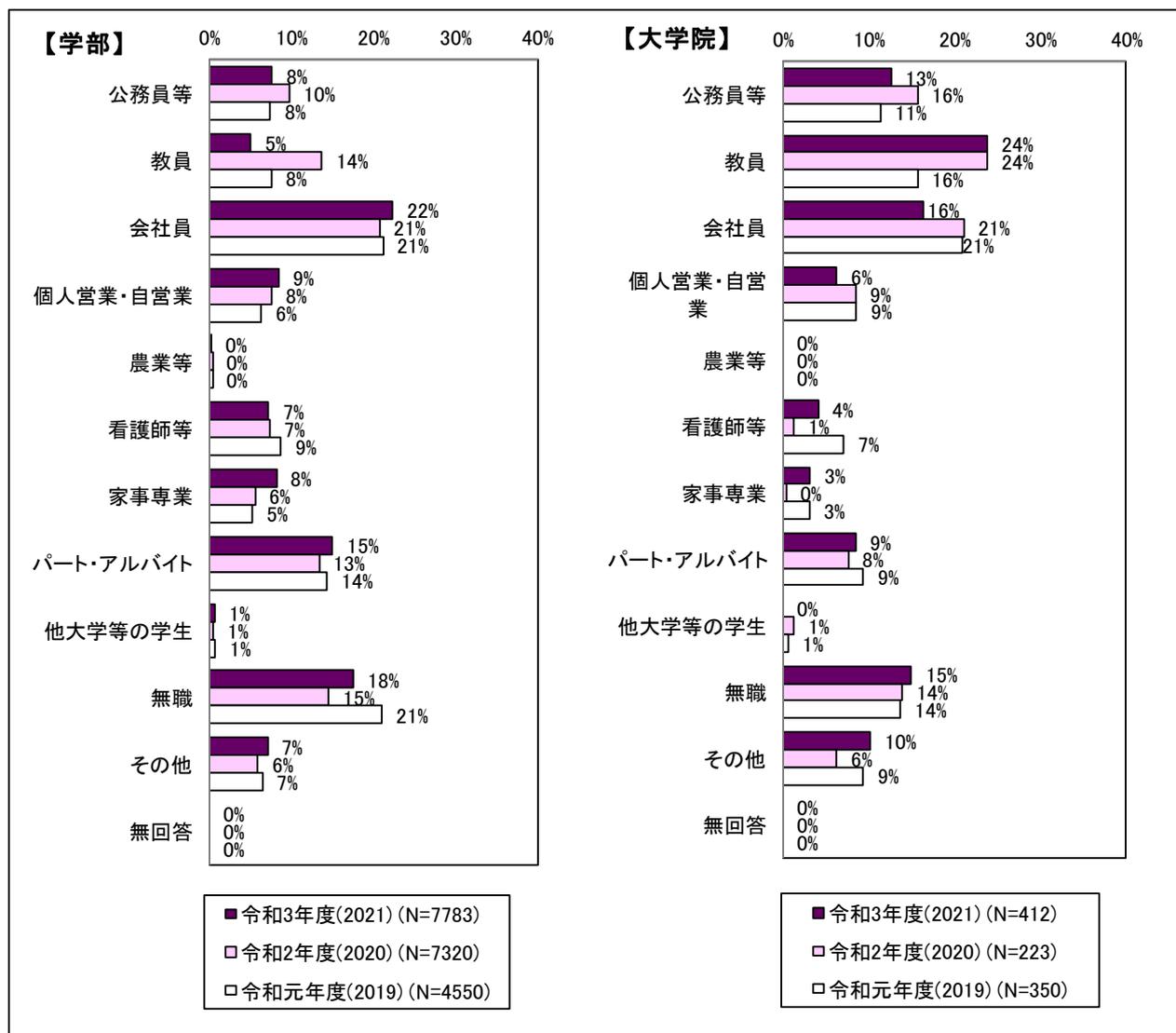
時系列で見ると、昨年度と比べ「教員(5%)」が、9ポイント減と変化が大きく、反対に「パート・アルバイト」や「無職」に増加がみられた。

大学院では「教員」が24%と最も多く、「会社員」（16%）と「無職」（15%）が続いていた。

時系列で見ると、昨年度と比べ「会社員」は5ポイントの減少で、他では、「その他」の4ポイント増が目立っていた。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているため、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図1-3 回答者の職業



(5) 所属コース（プログラム）別分布（2021年新規開設科目）

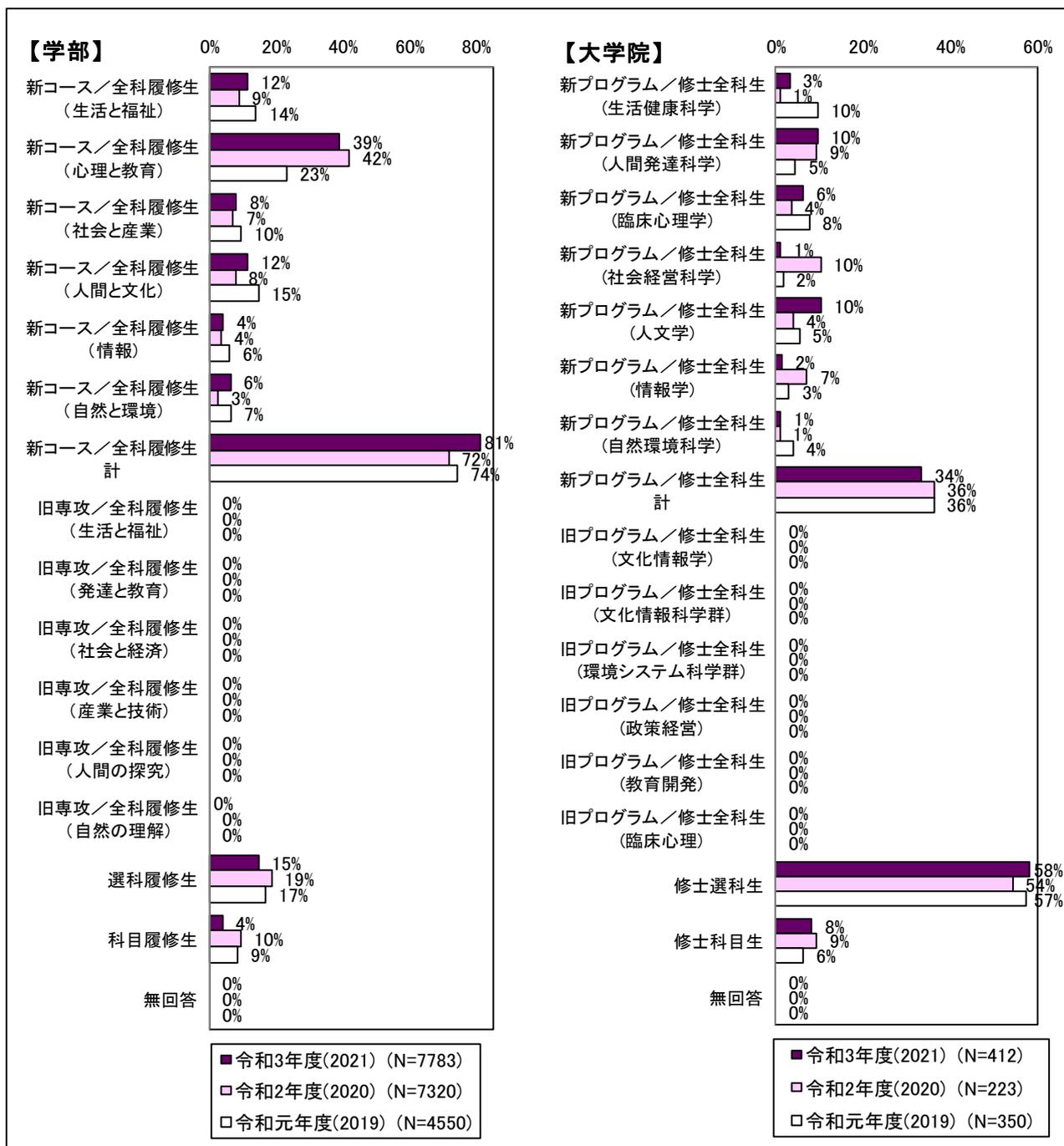
所属コース（プログラム）別の分布では（図1-4）、学部は全科履修生（新コース）が81%を占め、昨年度より10ポイント近く増加していた。

コース別でみると「心理と教育」が、昨年度より比率を下げたが、39%と最も高かった。

大学院では修士選科生が58%を占め、修士全科生（新プログラム）は34%、修士科目生は8%であった。

修士全科生（新プログラム）の所属プログラムでは「人間発達科学（10%）」と「人文学（10%）」が上位であった。

図1-4 回答者の所属コース（プログラム）



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、12頁～19頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・ 調査時期（4月5日～8月31日）が異なること
- ・ 放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・ 対象科目が少ない（学部6科目、大学院6科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部1

2021年度学生による授業評価の調査結果【2021年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

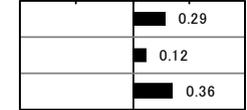
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

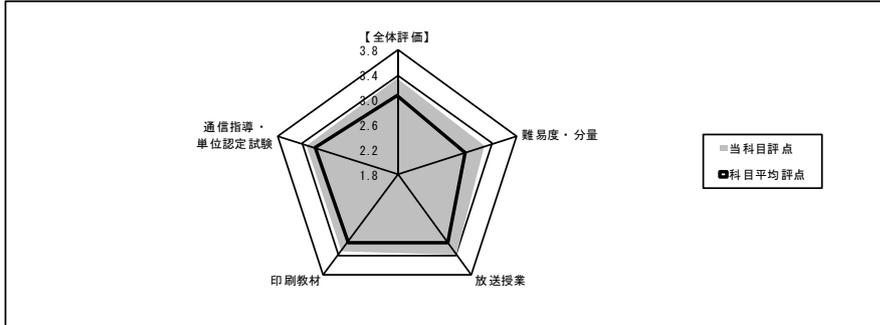
1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点
取組姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	208	44%	33%	18%	5%	3.46	3.44	3.17
	A-2 放送授業を十分に視聴した	208	46%	33%	17%	5%	3.32	3.25	3.20
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	208	30%	46%	21%	3%	3.39	3.39	3.03

【当科目評点と、TV科目平均評点との差】

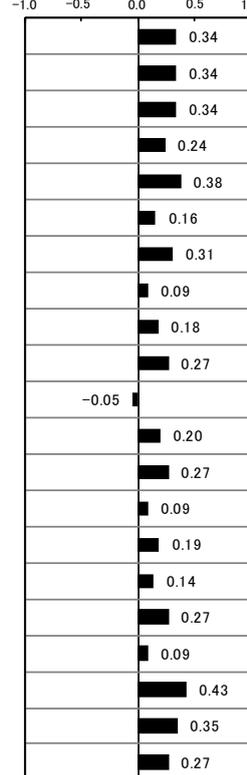


2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	208	23%	52%	18%	8%	3.23	3.25	2.89
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	208	29%	44%	21%	6%	3.29	3.31	2.95
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	208	21%	52%	23%	5%	3.23	3.25	2.89
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	208	30%	50%	15%	5%	3.30	3.32	3.06
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	208	33%	36%	24%	6%	3.35	3.31	2.97
	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	208	53%	36%	6%	5%	3.54	3.50	3.38
	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	208	35%	44%	14%	8%	3.37	3.34	3.06
	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	208	50%	32%	9%	9%	3.32	3.23	3.23
	B-9 ゲストや聞き手によって、理解が深まった	208	36%	47%	14%	3%	3.35	3.34	3.17
印刷教材	B-10 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98
	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	208	46%	47%	6%	2%	3.31	3.18	3.36
	B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	208	33%	50%	14%	3%	3.34	3.32	3.14
	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	208	30%	52%	11%	8%	3.32	3.32	3.05
通信指導・単位認定試験	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	208	47%	42%	8%	3%	3.42	3.42	3.33
	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	208	38%	35%	20%	8%	3.22	3.25	3.03
	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	208	39%	46%	11%	5%	3.34	3.34	3.20
全体評価	B-17 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	208	39%	41%	15%	5%	3.42	3.42	3.15
	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	208	56%	35%	5%	5%	3.51	3.52	3.42
	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	208	20%	47%	24%	9%	3.20	3.21	2.77
	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた	208	33%	42%	20%	5%	3.40	3.39	3.05
	B-21 この科目の内容には全体として満足している	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98

【当科目評点と、TV科目平均評点との差】



3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属）							全科履修生（旧コース所属）	全科履修生【小計】	選科履修生	科目履修生	無回答	計
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境							
	17	38	33	51	10	12	0	161	38	9	0	208	

性別	男性	女性	無回答	計
	100	108	0	208

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	8	13	29	44	59	44	11	0	208

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	18	6	61	13	0	5	14	39	1	37	14	0	208

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導未提出	無回答	計
	受験	未受験			
	188	7	7	6	208

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ		ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ		放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ		無回答	計
	19	27	162	0				
	19	27	162	0	208			

2021年度学生による授業評価の調査結果【2021年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

学部	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	平均	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	平均									
	4	3	2	1	無回答			4	3	2	1	無回答			4	3	2	1	無回答											
合計（全体）	7783	50%	41%	8%	1%	0%	91%	3.40	7783	47%	36%	14%	3%	0%	83%	3.26	7783	48%	42%	9%	1%	0%	90%	3.37						
		3918	3164	610	91	0	7082			3642	2819	1062	260	0	6461			3753	3230	721	79	0	6983							
生活と福祉	902	48%	45%	6%	1%	0%	93%	3.40	902	42%	40%	15%	3%	0%	82%	3.21	902	46%	46%	8%	1%	0%	91%	3.36						
		431	408	57	6	0	839			376	363	138	25	0	739			412	411	74	5	0	823							
心理と教育	3051	52%	39%	8%	1%	0%	91%	3.41	3051	46%	36%	15%	4%	0%	82%	3.24	3051	50%	40%	9%	1%	0%	90%	3.39						
		1585	1183	247	36	0	2768			1402	1087	447	115	0	2489			1532	1209	277	33	0	2741							
社会と産業	639	45%	43%	9%	2%	0%	89%	3.32	639	45%	37%	13%	5%	0%	82%	3.22	639	45%	44%	11%	1%	0%	88%	3.32						
		290	276	59	14	0	566			286	239	81	33	0	525			286	279	67	7	0	565							
人間と文化	902	54%	37%	7%	1%	0%	92%	3.45	902	54%	33%	11%	2%	0%	87%	3.39	902	52%	39%	8%	1%	0%	91%	3.42						
		489	337	67	9	0	826			491	294	98	19	0	785			467	351	76	8	0	818							
情報	331	46%	44%	9%	1%	0%	91%	3.36	331	45%	38%	14%	3%	0%	83%	3.24	331	42%	45%	12%	1%	0%	87%	3.27						
		153	147	28	3	0	300			148	125	47	11	0	273			138	149	40	4	0	287							
自然と環境	496	45%	44%	10%	1%	0%	89%	3.33	496	44%	39%	13%	4%	0%	83%	3.23	496	43%	44%	12%	1%	0%	87%	3.29						
		224	218	47	7	0	442			220	191	66	19	0	411			213	219	58	6	0	432							
旧専攻所属	7	57%	43%	0%	0%	0%	100%	3.57	7	43%	57%	0%	0%	0%	100%	3.43	7	57%	29%	0%	14%	0%	86%	3.29						
		4	3	0	0	0	7			3	4	0	0	0	7			4	2	0	1	0	6							
全科履修生 【小計】	6328	50%	41%	8%	1%	0%	91%	3.40	6328	46%	36%	14%	4%	0%	83%	3.25	6328	48%	41%	9%	1%	0%	90%	3.37						
		3176	2572	505	75	0	5748			2926	2303	877	222	0	5229			3052	2620	592	64	0	5672							
選科履修生	1154	52%	39%	7%	1%	0%	92%	3.43	1154	50%	34%	13%	3%	0%	84%	3.31	1154	50%	40%	9%	1%	0%	90%	3.38						
		603	453	84	14	0	1056			577	392	151	34	0	969			575	461	103	15	0	1036							
科目履修生	301	46%	46%	7%	1%	0%	92%	3.38	301	46%	41%	11%	1%	0%	87%	3.32	301	42%	50%	9%	0%	0%	91%	3.33						
		139	139	21	2	0	278			139	124	34	4	0	263			126	149	26	0	0	275							
単 位 受 験	7235	51%	41%	7%	1%	0%	92%	3.42	7235	48%	36%	13%	3%	0%	84%	3.29	7235	49%	41%	9%	1%	0%	91%	3.39						
		3718	2930	530	57	0	6648			3459	2620	939	217	0	6079			3555	2994	634	52	0	6549							
通 信 指 導 未 受 験	120	21%	44%	23%	12%	0%	65%	2.74	120	23%	39%	23%	15%	0%	63%	2.71	120	21%	48%	25%	6%	0%	69%	2.84						
		25	53	28	14	0	78			28	47	27	18	0	75			25	58	30	7	0	83							
通 信 指 導 未 提 出	104	23%	39%	20%	17%	0%	63%	2.68	104	22%	35%	26%	17%	0%	57%	2.62	104	24%	37%	24%	15%	0%	61%	2.69						
		24	41	21	18	0	65			23	36	27	18	0	59			25	38	25	16	0	63							

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評価については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2021年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった。 (ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった。	4	3	2	1
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった。	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

- (2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

- (3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

- (4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
 2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
 3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

学部1 2021年度学生による授業評価の調査結果【2021年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

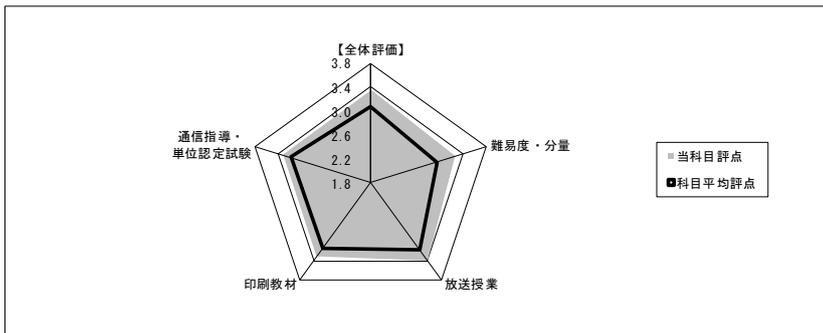
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	208	44%	33%	18%	5%	3.46	3.44	3.17	0.29
	A-2 放送授業を十分に視聴した	208	46%	33%	17%	5%	3.32	3.25	3.20	0.12
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	208	30%	46%	21%	3%	3.39	3.39	3.03	0.36

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】 -1.0 -0.5 0.0 0.5 1.0
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	208	23%	52%	18%	8%	3.23	3.25	2.89	0.34
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	208	29%	44%	21%	6%	3.29	3.31	2.95	0.34
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	208	21%	52%	23%	5%	3.23	3.25	2.89	0.34
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	208	30%	50%	15%	5%	3.30	3.32	3.06	0.24
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	208	33%	36%	24%	6%	3.35	3.31	2.97	0.38
	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	208	53%	36%	6%	5%	3.54	3.50	3.38	0.16
	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	208	35%	44%	14%	8%	3.37	3.34	3.06	0.31
	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	208	50%	32%	9%	9%	3.32	3.23	3.23	0.09
	B-9 ゲストや聞き手によって、理解が深まった	208	36%	47%	14%	3%	3.35	3.34	3.17	0.18
印刷教材	B-10 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98	0.27
	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	208	46%	47%	6%	2%	3.31	3.18	3.36	-0.05
	B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	208	33%	50%	14%	3%	3.34	3.32	3.14	0.20
	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	208	30%	52%	11%	8%	3.32	3.32	3.05	0.27
通信指導・単位認定試験	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	208	47%	42%	8%	3%	3.42	3.42	3.33	0.09
	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	208	38%	35%	20%	8%	3.22	3.25	3.03	0.19
	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	208	39%	46%	11%	5%	3.34	3.34	3.20	0.14
全体評価	B-17 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	208	39%	41%	15%	5%	3.42	3.42	3.15	0.27
	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	208	56%	35%	5%	5%	3.51	3.52	3.42	0.09
	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	208	20%	47%	24%	9%	3.20	3.21	2.77	0.43
	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた	208	33%	42%	20%	5%	3.40	3.39	3.05	0.35
	B-21 この科目の内容には全体として満足している	208	29%	46%	21%	5%	3.25	3.25	2.98	0.27

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生(新コース所属)						全科履修生(旧コース所属)		選科履修生	科目履修生	無回答	計		
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	【小計】	【小計】						
	17	38	33	51	10	12	0	161	38	9	0	208		
性別	男性	女性	無回答	計										
	100	108	0	208	年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答	計
						8	13	29	44	59	44	11	0	208
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学の学生	無職	その他	無回答	計	
	18	6	61	13	0	5	14	39	1	37	14	0	208	
通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答		計							
	受験	未受験	未提出					単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計	
	188	7	7	6	208				19	27	162	0	208	

2021年度学生による授業評価の調査結果【2021年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院

学生種別	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した															
	回答数			選択肢別の回答割合・回答数			肯定評価			平均			回答数			選択肢別の回答割合・回答数			肯定評価			平均			回答数			選択肢別の回答割合・回答数			肯定評価			平均		
	4	3	2	1	無回答	0%	94%	3.51	412	46%	39%	11%	4%	0%	85%	3.26	412	58%	38%	4%	0%	0%	96%	3.53	412	58%	38%	4%	0%	0%	96%	3.53				
合計（全体）	412	237	150	24	1	0	387	3.51	412	189	160	45	18	0	349	3.26	412	237	157	17	1	0	394	3.53	412	237	157	17	1	0	394	3.53				
生活健康科学	13	6	3	4	0	0	9	3.15	13	5	3	4	1	0	8	2.92	13	6	4	3	0	0	10	3.23	13	6	4	3	0	0	10	3.23				
人間発達科学	40	28	10	2	0	0	38	3.65	40	19	16	5	0	0	35	3.35	40	28	16	0	0	0	40	3.60	40	24	16	0	0	0	40	3.60				
臨床心理学	26	13	11	2	0	0	24	3.42	26	11	11	3	1	0	22	3.23	26	13	11	2	0	0	24	3.42	26	13	11	2	0	0	24	3.42				
社会経営科学	5	2	2	0	1	0	4	3.00	5	2	2	1	0	0	4	3.20	5	2	2	1	0	0	4	3.20	5	2	2	1	0	0	4	3.20				
人文学	43	26	15	2	0	0	41	3.56	43	22	16	4	1	0	38	3.37	43	26	12	2	0	0	41	3.63	43	29	12	2	0	0	41	3.63				
情報学	6	3	3	0	0	0	6	3.50	6	0	0	0	0	0	6	3.00	6	3	3	0	0	0	6	3.50	6	3	3	0	0	0	6	3.50				
自然環境科学	5	3	1	1	0	0	4	3.40	5	3	1	1	0	0	4	3.40	5	3	1	1	0	0	4	3.40	5	3	1	1	0	0	4	3.40				
旧プログラム所属	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00				
修士全科学 【小計】	138	81	45	11	1	0	126	3.49	138	62	55	18	3	0	117	3.28	138	80	49	9	0	0	129	3.51	138	80	49	9	0	0	129	3.51				
修士選科生	240	138	90	12	0	0	228	3.53	240	116	84	26	14	0	200	3.26	240	140	94	5	1	0	234	3.55	240	140	94	5	1	0	234	3.55				
修士科目生	34	18	15	1	0	0	33	3.50	34	11	21	1	1	0	32	3.24	34	17	14	3	0	0	31	3.41	34	17	14	3	0	0	31	3.41				
単 位 受 験	388	229	142	16	1	0	371	3.54	388	181	152	39	16	0	333	3.28	388	228	148	11	1	0	376	3.55	388	228	148	11	1	0	376	3.55				
通 信 指 導 未 受 験	9	5	1	3	0	0	6	3.22	9	3	3	2	1	0	6	2.89	9	6	2	1	0	0	8	3.56	9	6	2	1	0	0	8	3.56				
通 信 指 導 未 提 出	7	1	1	1	5	0	2	2.43	7	1	2	3	1	0	3	2.43	7	1	1	5	0	0	2	2.43	7	1	1	5	0	0	2	2.43				

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。

3. 評価については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2021年度学生による授業評価調査票（大学院）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった。				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
＜印刷教材＞					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

提供資料サンプル【大学院】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見や感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	【修士全科生 新プログラム所属の方】 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 【修士全科生 旧プログラム所属の方】 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 【修士選科生・修士科目生】 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。

本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。

ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。

3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。

しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取るとは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を合計して提示した。

これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数について、本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。

以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなり、%表記がそぐわないため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。

例えば大学院では、年齢階層別の「20～29歳」（6人）、科目別の「自然環境科学」（7人）、職業別の「看護師等」（17人）、「家事専業」（13人）が挙げられる。（「農業等」と「他大学等の学生」は一人もいなかった。）

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体	7,783	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	4,791	19歳以下	96
ラジオ科目(R)	2,992	20～29歳	601
職業		30～39歳	687
公務員等	600	40～49歳	1,705
教員	398	50～59歳	2400
会社員	1745	60～69歳	1,655
個人営業・自営業	660	70歳以上	639
農業等	26	コース	
看護師等	569	基盤科目	1144
家事専業	640	基盤科目(外国語)	1044
パート・アルバイト	1175	生活と福祉	1216
他大学等の学生	52	心理と教育	2592
無職	1,366	社会と産業	661
その他	552	人間と文化	566
		情報	44
		自然と環境	516
		夏季集中科目	-

【大学院】

全体	412	(単位:人)	
メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	109	20～29歳	6
ラジオ科目(R)	303	30～39歳	43
職業		40～49歳	65
公務員等	52	50～59歳	159
教員	98	60～69歳	98
会社員	67	70歳以上	41
個人営業・自営業	26	プログラム	
農業等	0	生活健康科学	61
看護師等	17	人間発達科学	64
家事専業	13	臨床心理学	169
パート・アルバイト	35	人文学	111
他大学等の学生	0	自然環境科学	7
無職	62		
その他	42		

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、A-1～B-21 の評価項目（14 頁の提供資料サンプルを参照）ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。

平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80% と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、過去 2 年間との年度間の比較（23 頁等）の箇所は、比率の差の検定結果から、全体の回答者数（2021 年度：7783 人 2020 年度：7320 人 2019 年度：4550 人）が多いため、各比率の差が概ね 2 ポイントで有意となり、2 ポイント以上で差があることとした。

テレビ科目とラジオ科目のメディア間の比較では、同検定結果から概ね 2 ポイントで有意差が見られるため、年度間比較と同様 2 ポイント以上で差があることとした。

図 2－1 の肯定的評価では各項目とも 80% 代で、『通信指導・単位認定試験』が 89% と最も高く、反対に『放送授業』（82%）が低い評価であった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』はそれぞれ 86% と同率であった。

図 2－1 【学部】項目平均による全体的傾向

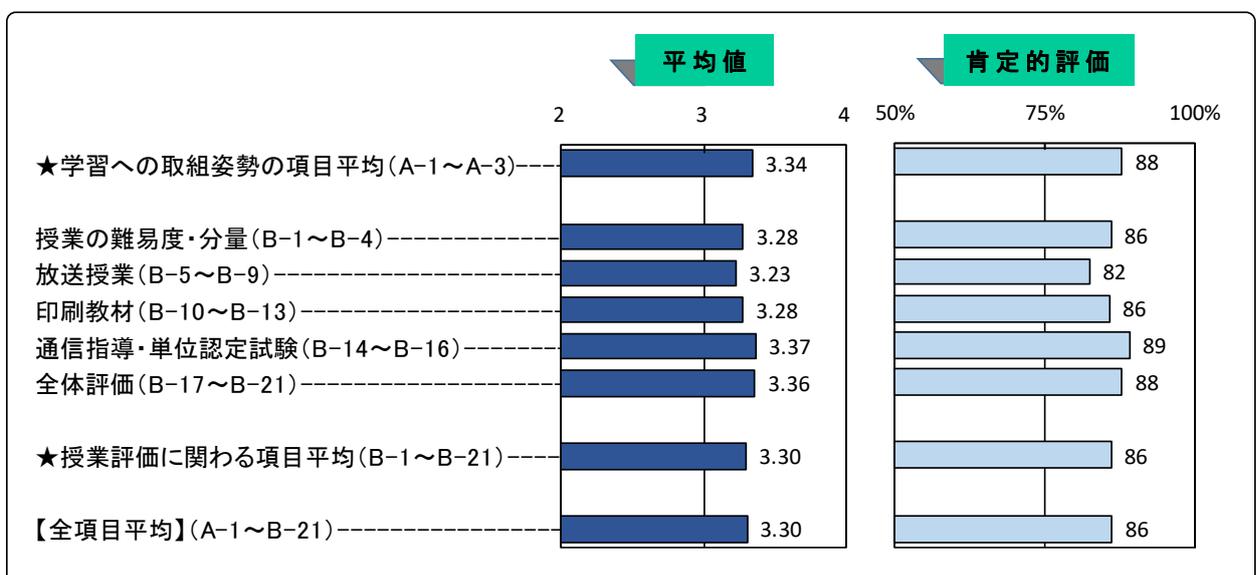
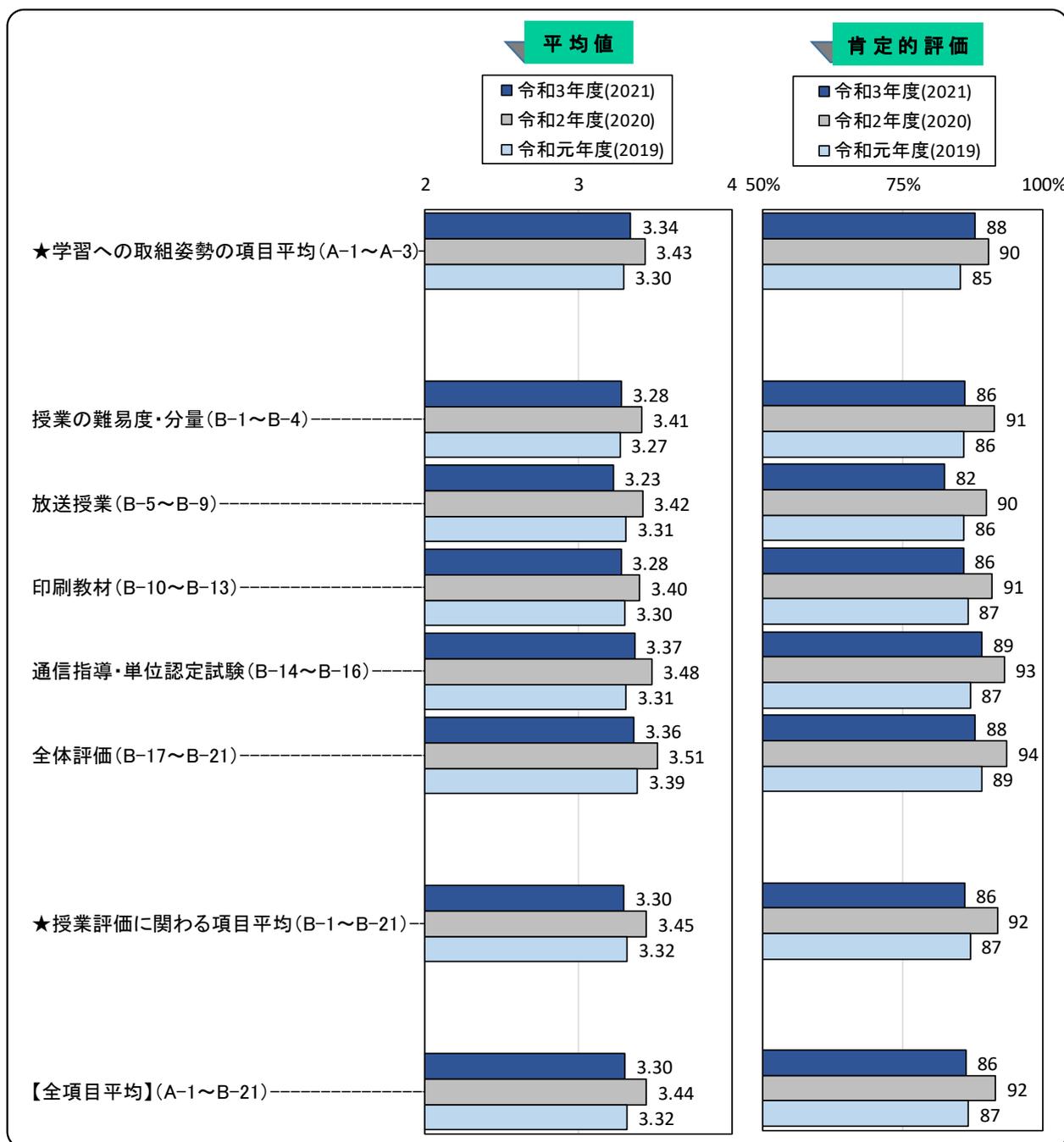


図2-2の項目平均による全体的傾向では、肯定的評価が本年度は、全ての項目で昨年度より2~8ポイントの減少で、特に『放送授業』が8ポイント減と、下げ幅が大きかった。

同様に、昨年度との比較で、『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』は共に6ポイントの減少であった。

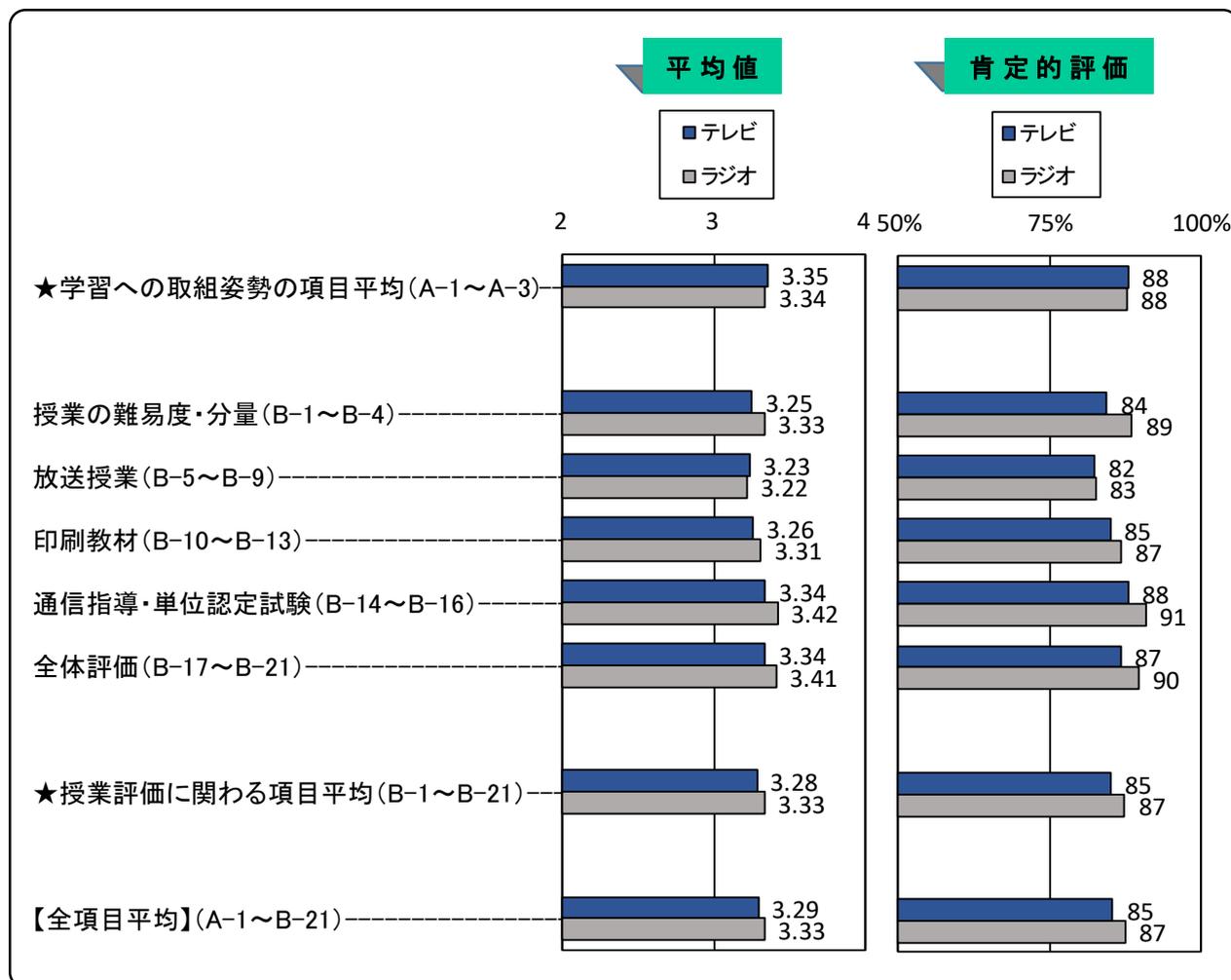
図2-2【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



※放送授業(B-5~B-9)の質問項目については、入れ替えが行われた。
 追加された項目：B-8【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった
 B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった
 削除された項目：講師の熱意が十分に伝わった
 従って、放送授業(B-5~B-9)の質問項目の年度比較については、留意されたい。

メディア別では（図2-3）、テレビ科目とラジオ科目の『学習への取り組み姿勢』だけが、88%と同率であったが、それ以外の項目平均は、ラジオの方が1~5ポイント高く、特に『授業の難易度・分量』の差は大きかった。

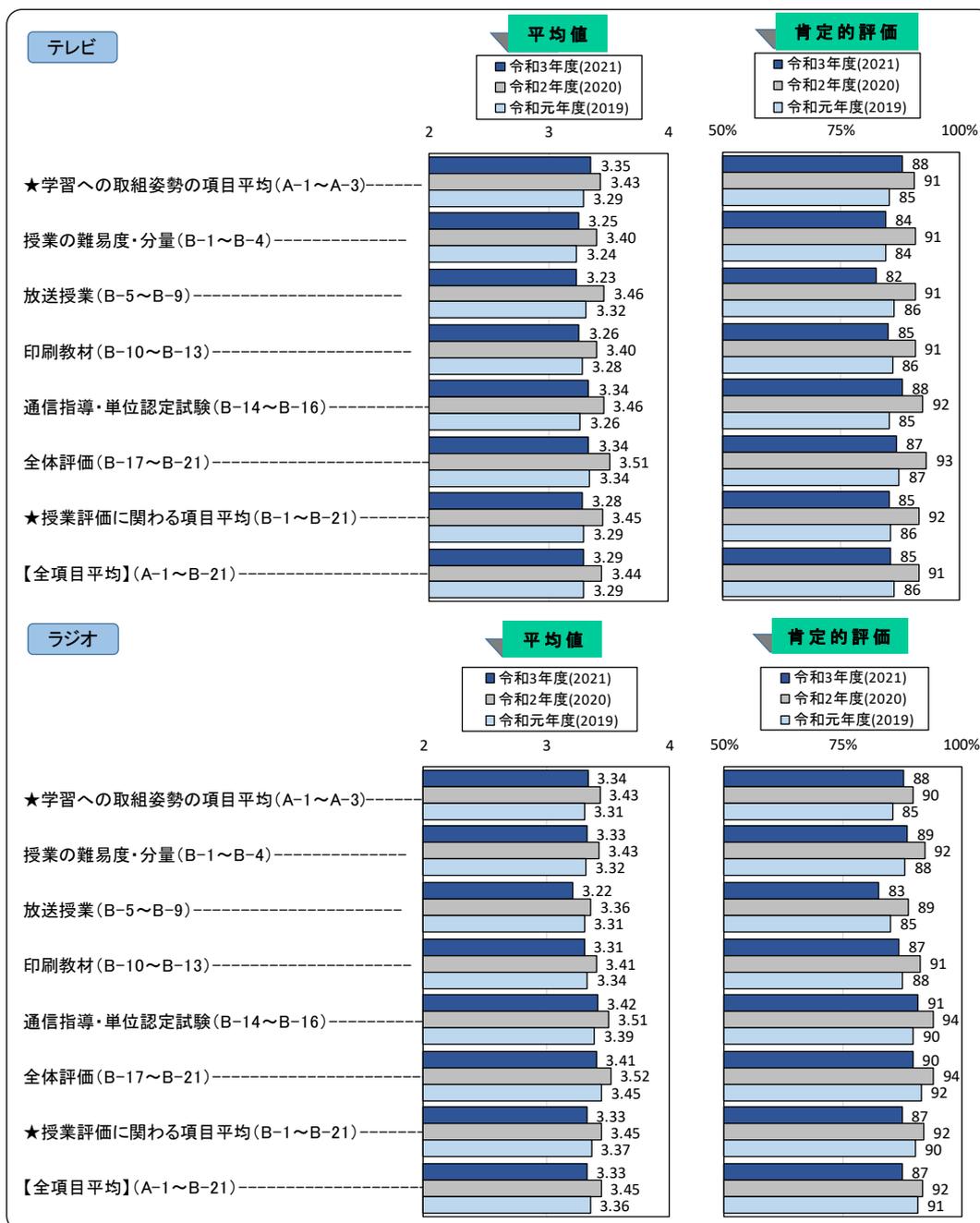
図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を時系列で比較してみると（図2-4）、テレビ科目では、本年度は、昨年度より全ての項目で評価を下げており、特に『放送授業』（82%）、『授業評価に関わる項目平均』（85%）が9～7ポイントの大幅減であった。

ラジオ科目でも、全ての項目で昨年度から評価を下げ、特に『放送授業』では6ポイントのマイナスであった。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



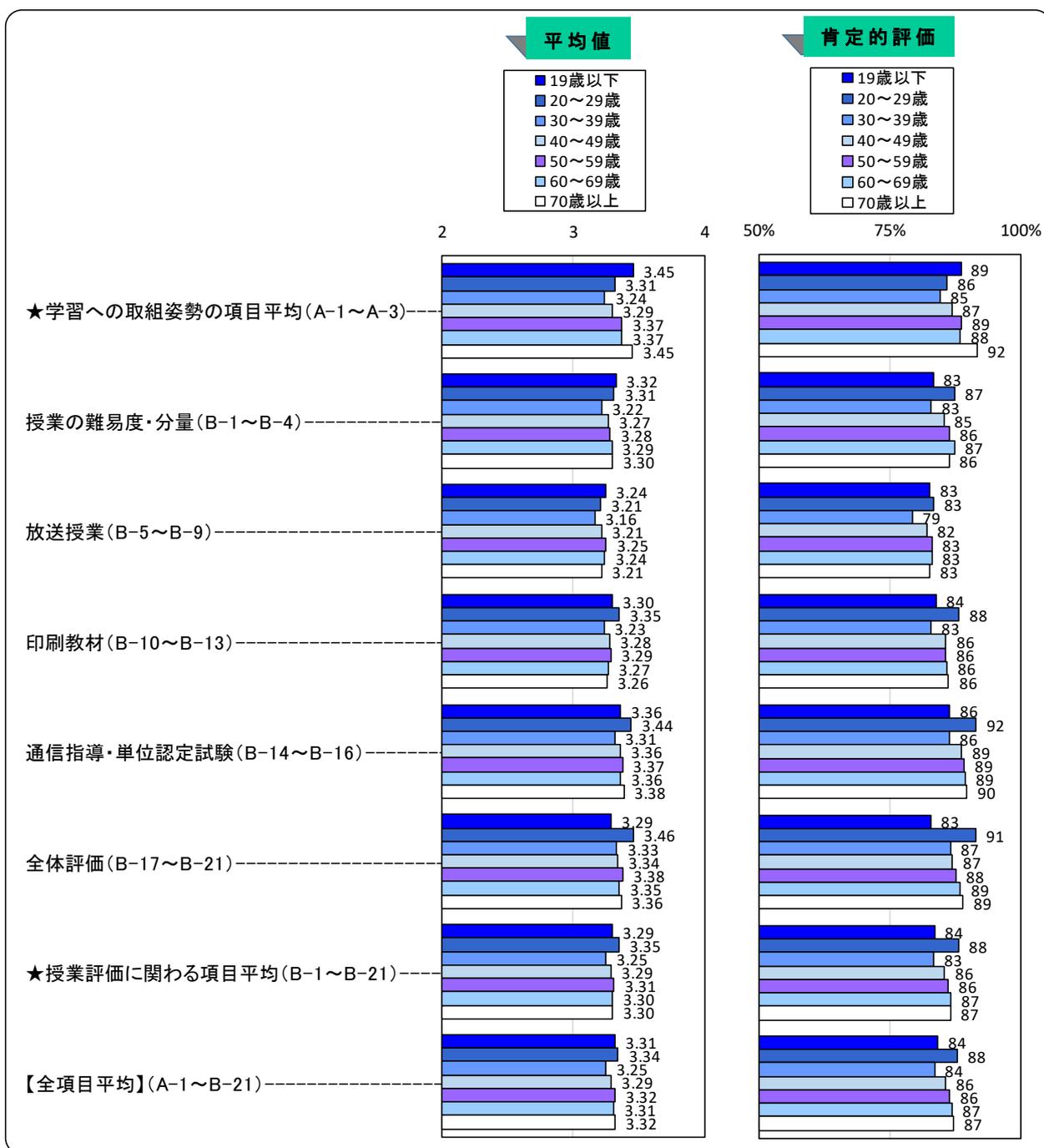
年齢階層別（図 2 - 5）では、『学習への取組み姿勢』は、70 歳以上の積極性が高く、30 歳代は反対に最も低かった。

『授業の難易度・分量』の評価については、19 歳以下と 30 歳代が低かった。

『印刷教材』『通信指導・単位認定試験』『全体評価』については 20 歳代が 90%前後と評価が最も高く、反対に 19 歳以下と 30 歳代の評価が低かった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』も 20 歳代が 88%と、最も高かった。

図 2 - 5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向



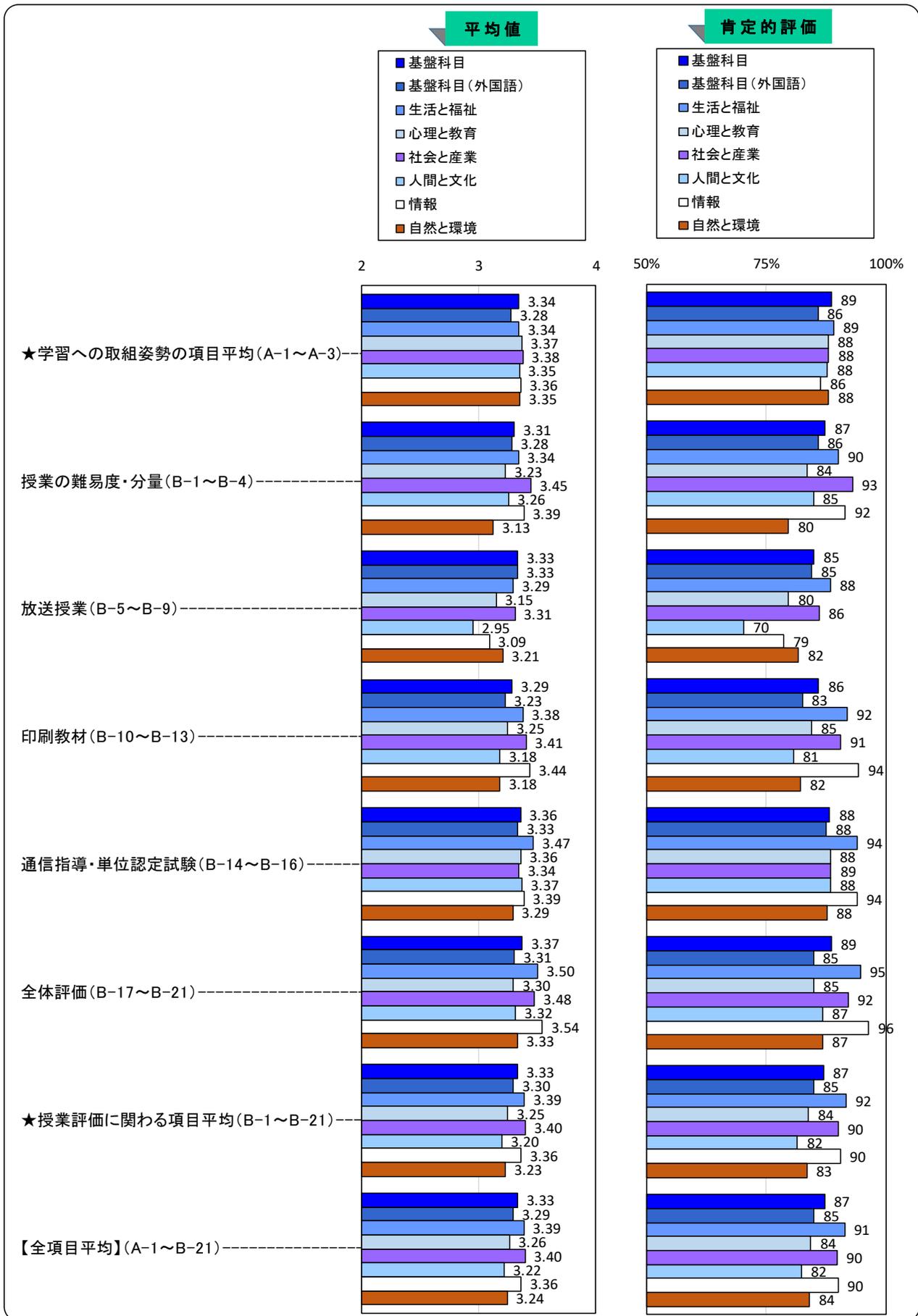
所属コース別に項目平均を見ると（次頁図2-6）、『学習への取組み姿勢』については、「基盤科目」と「生活と福祉」に積極性が見られ、反対に「基盤科目（外国語）」と「情報」は積極性が低かった。

「生活と福祉」「社会と産業」「情報」の3つのコースは、『放送授業』を除く全ての項目で上位1～3位を占めていた。

また、『放送授業』では、「生活と福祉」と「社会と産業」が、上位であった。

反対に評価が低かったのは、『授業の難易度・分量』では「自然と環境」が、『放送授業』では「人間と文化」であった。

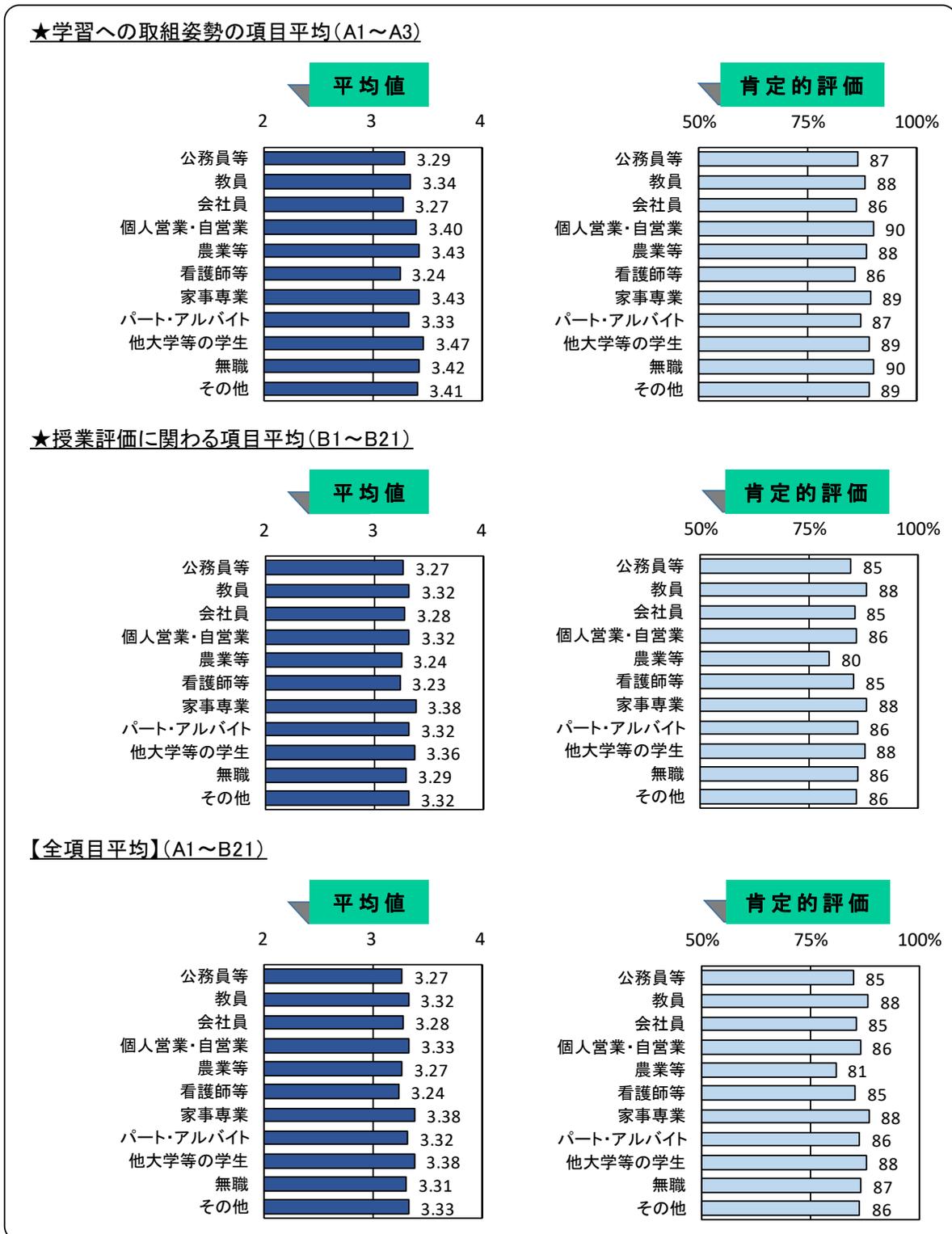
図 2 - 6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向



職業別の（図2-7）『学習への取組み姿勢』で、高い積極性が見られたのは「個人営業・自営業」と「無職」で90%、積極性が低かったのは「会社員」と「看護師等」で、共に86%であった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』の両項目では、「教員」「家事専業」「他大学等の学生」がそれぞれ88%と最も評価が高く、反対に「農業等」が80,81%と最も評価が低かった。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向



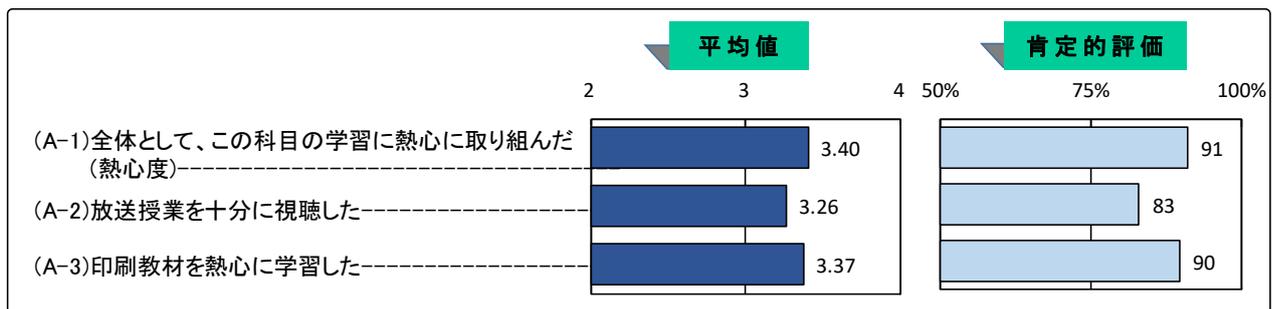
Ⅱ-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

学習への取組み姿勢（図2-8）は、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」（91％）と（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」（90％）の熱心度が高かった。

（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は83％と、前述の2項目に比べ低かった。

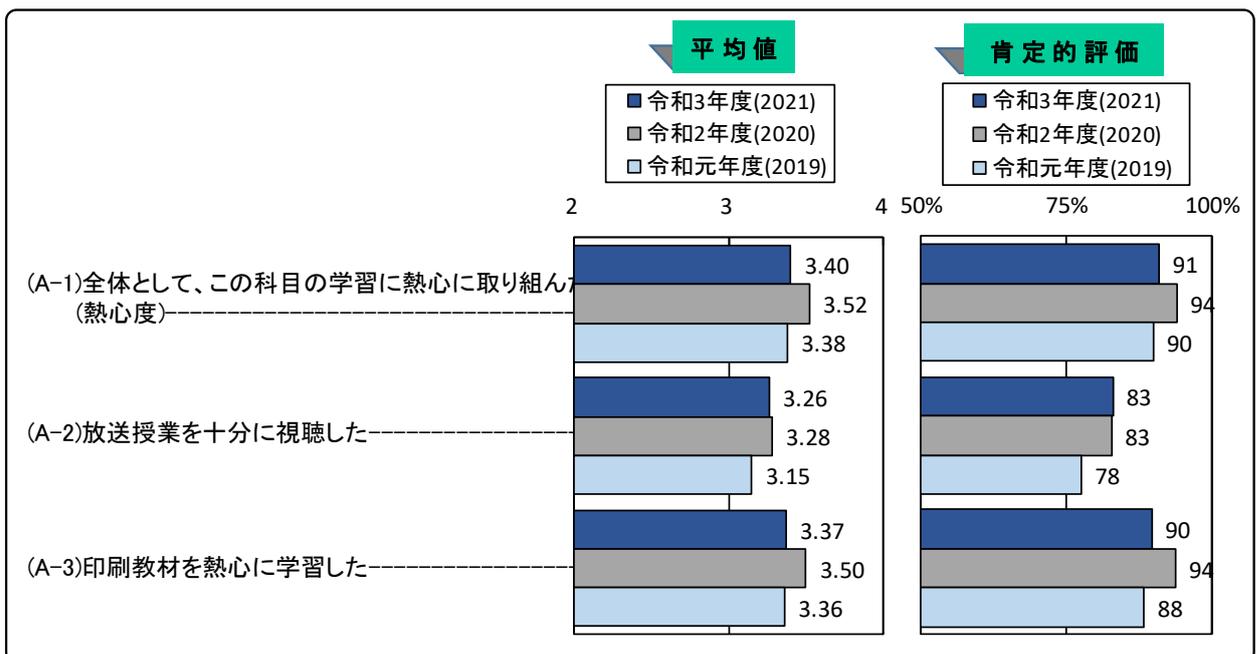
図2-8 【学部】回答者全体の取組み姿勢



取組み姿勢を時系列で見ると（図2-9）、本年度と昨年度の比較では、(A-1)と(A-3)は3,4ポイント減少し、(A-2)の「放送授業を十分に視聴した」は変わらなかった。

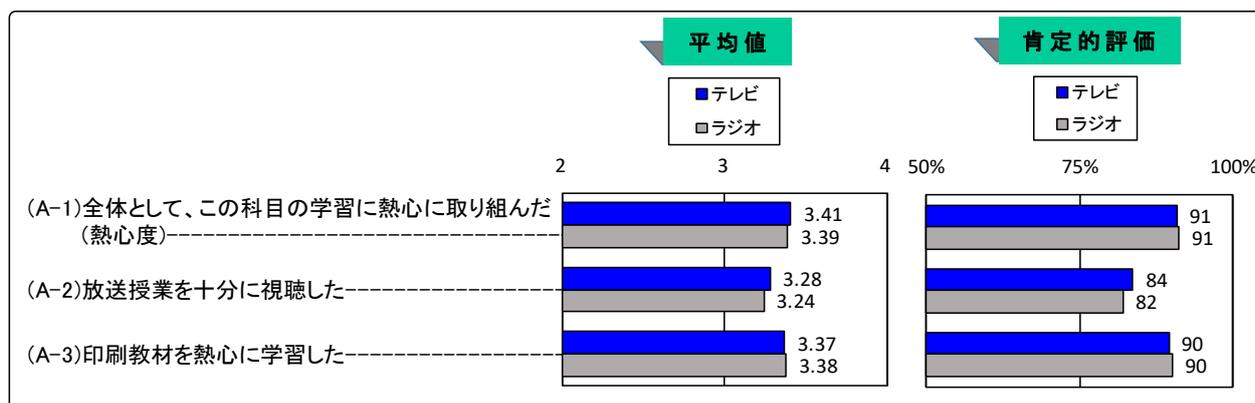
一昨年度と比べてみると、評価を下げた項目はなかった。

図2-9 【学部】回答者全体の取組み姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、テレビ科目とラジオ科目を比べると、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は同じ評価であったが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」はテレビ科目の方が高かった。

図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



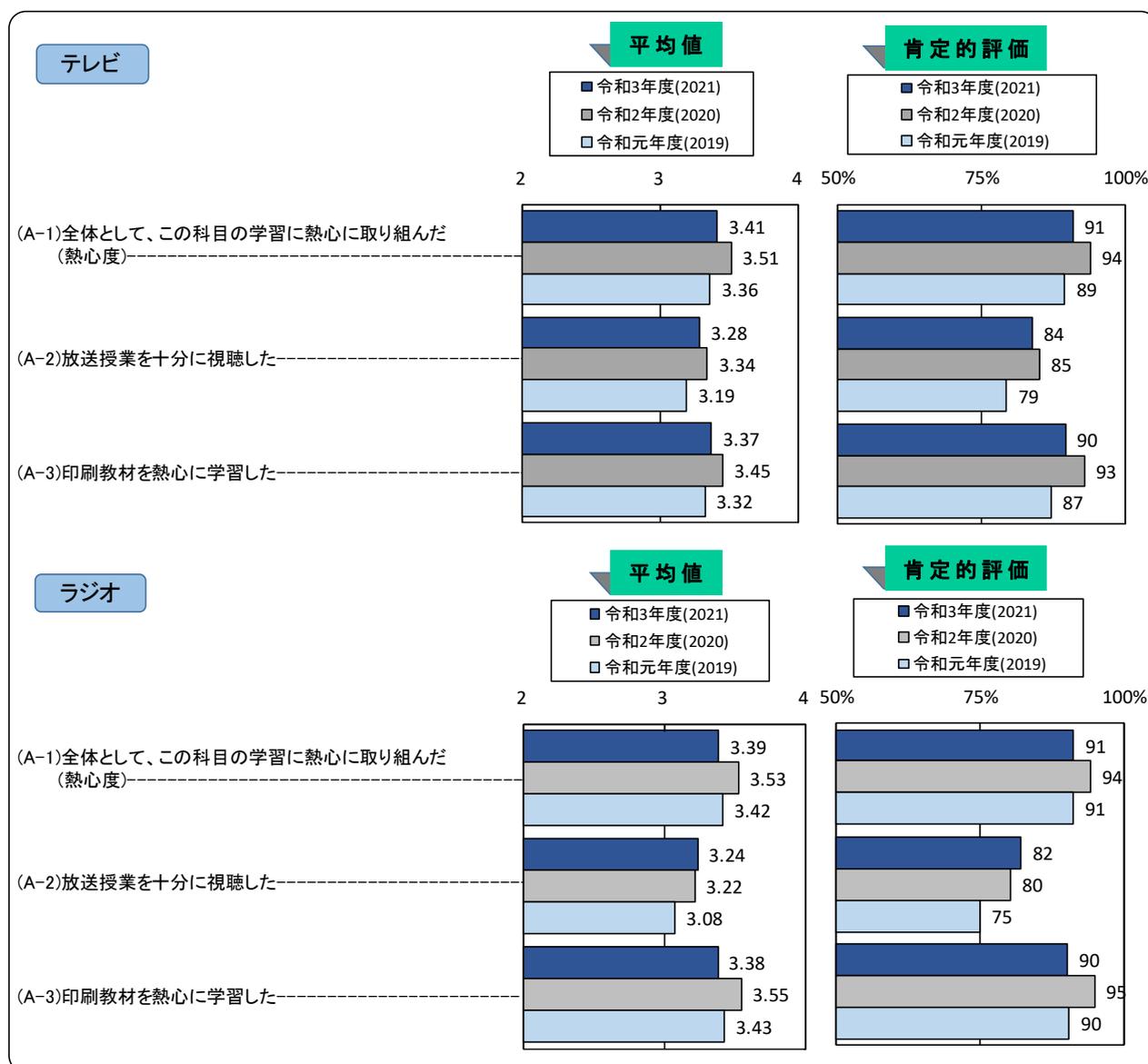
メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、昨年度との比較でテレビ科目は、(A-1)～(A-3)の全ての項目で1～3ポイントの減少が見られた。

一昨年度との比較では、全ての項目で本年度が上回っていた。

ラジオ科目では、昨年度との比較で、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は評価を下げていたが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については、2ポイントの上昇であった。

一昨年度との比較では(A-2)「放送授業を十分に視聴した」だけが、7ポイントの大幅な上昇であった。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）

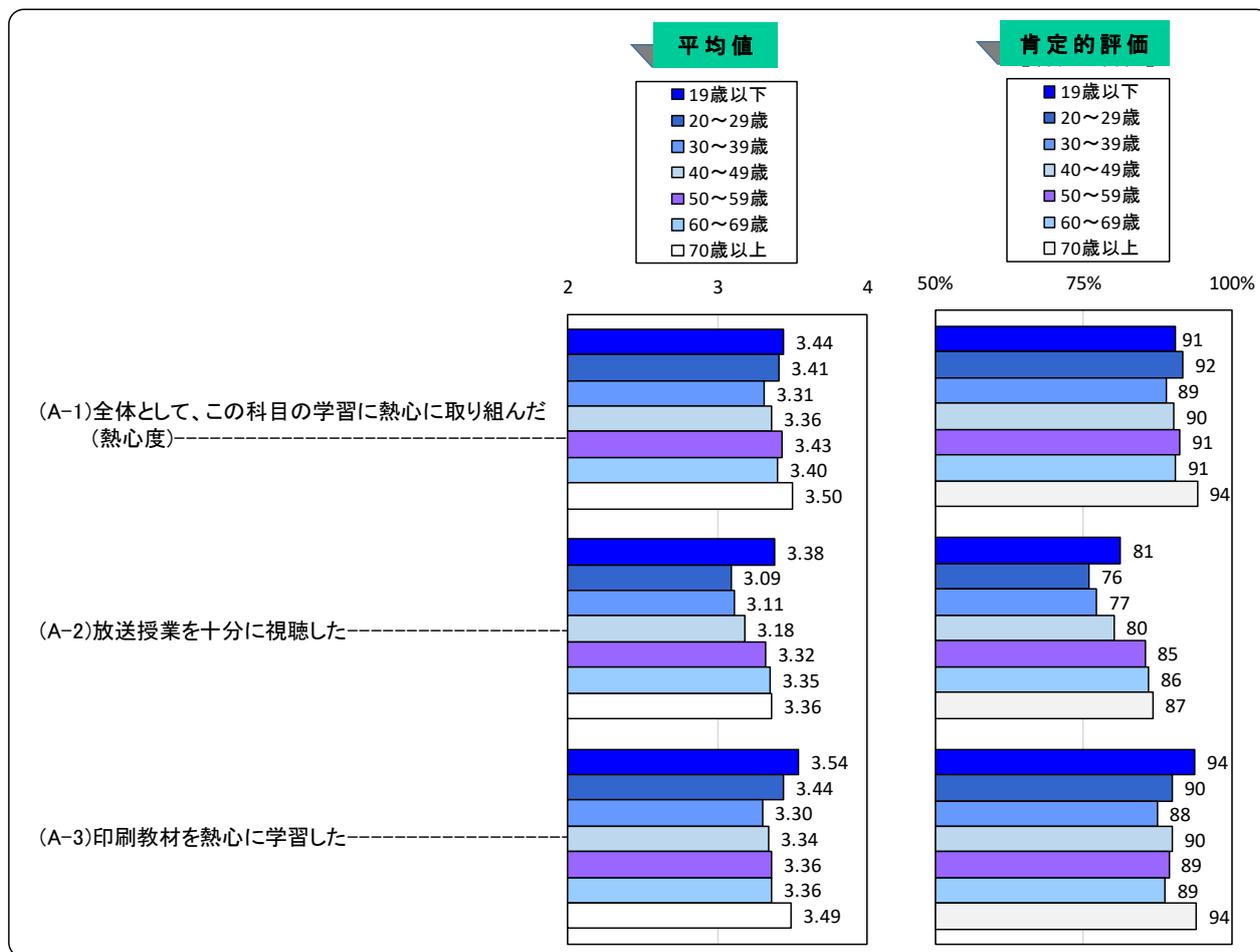


年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は70歳以上が94%と最も熱心度が高く、反対に30歳代が89%と最も熱心度が低かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、50歳代以上は86%前後と、放送授業の視聴に積極性が見られ、その逆の傾向が20歳代と30歳代に見られた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、19歳以下と70歳以上が94%と高く、30歳代が88%と最も低かった。

図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢

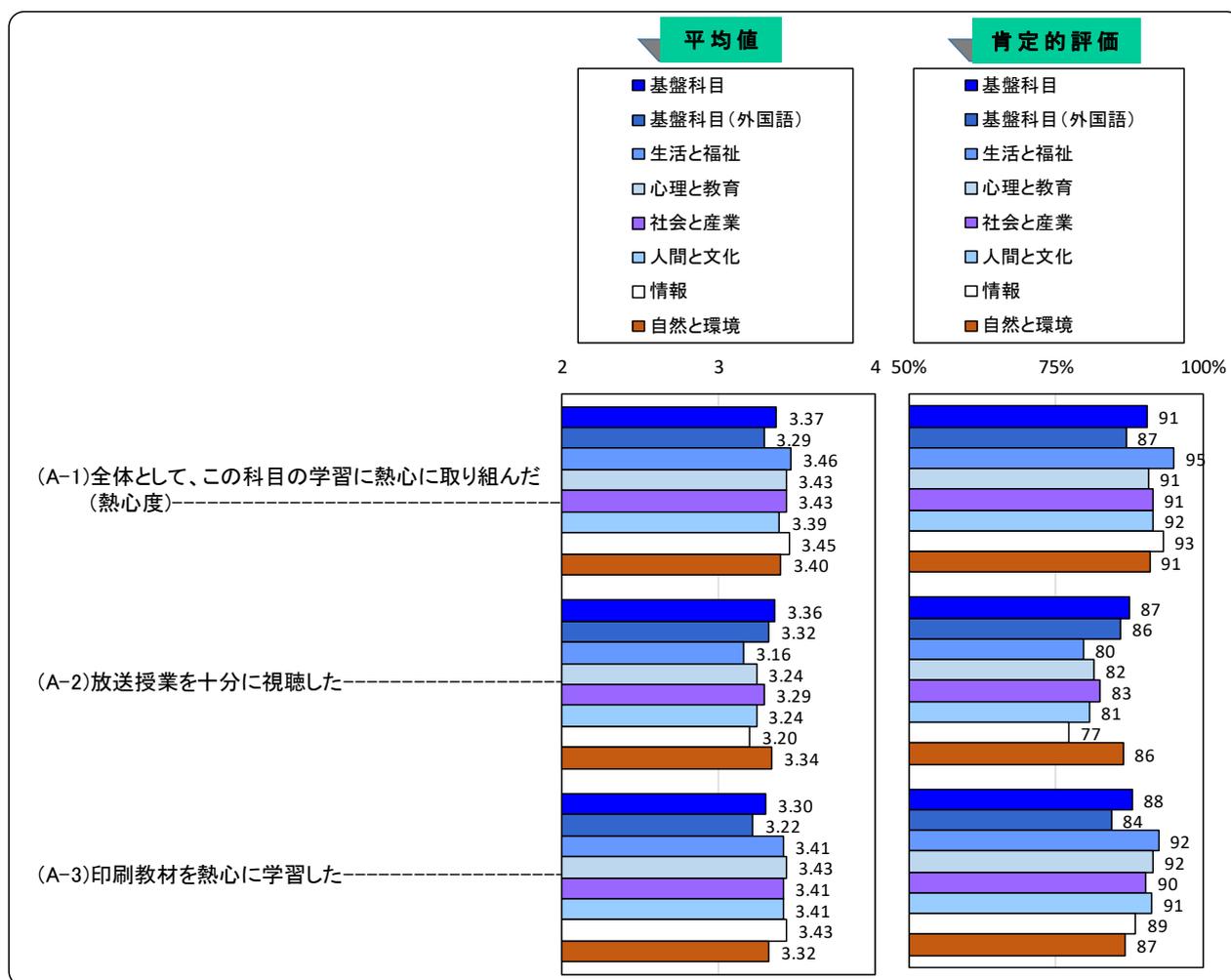


所属コース別に取り組姿勢を見ると（図2-13）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」では、「生活と福祉」が95%と最も高く、「基盤科目(外国語)」が87%と最も低かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」では、「基盤科目」「基盤科目(外国語)」「自然と環境」が86,87%と高く「情報」が77%と極端に低かった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、「生活と福祉」「心理と教育」が92%と高く、「基盤科目(外国語)」が84%と低かった。

図2-13 【学部】所属コース別の取り組姿勢



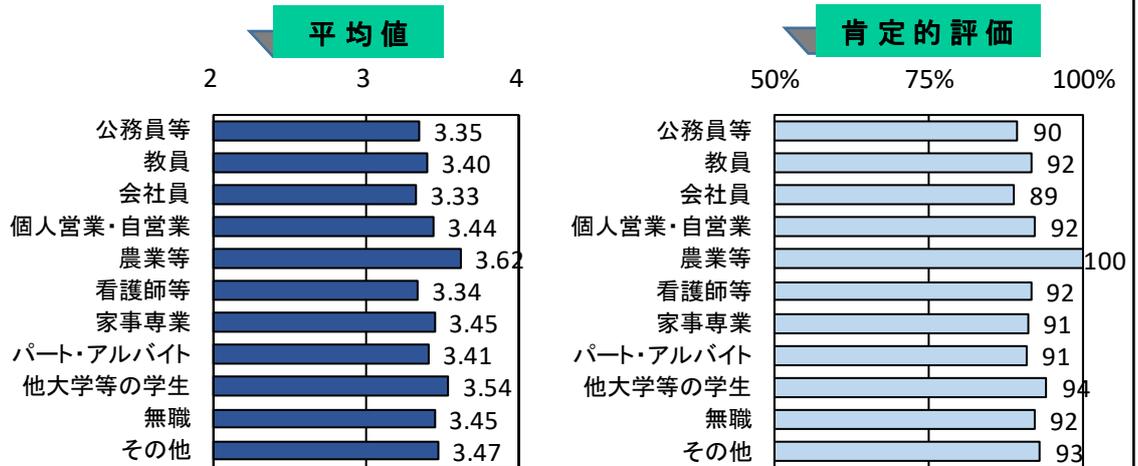
職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図2-14）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「農業等」（100%）が、他の職業と比べ突出しており、反対に「会社員」が89%と、最も熱心度が低かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「無職」（88%）が最も高く、「看護師等」（76%）が最も低かった。

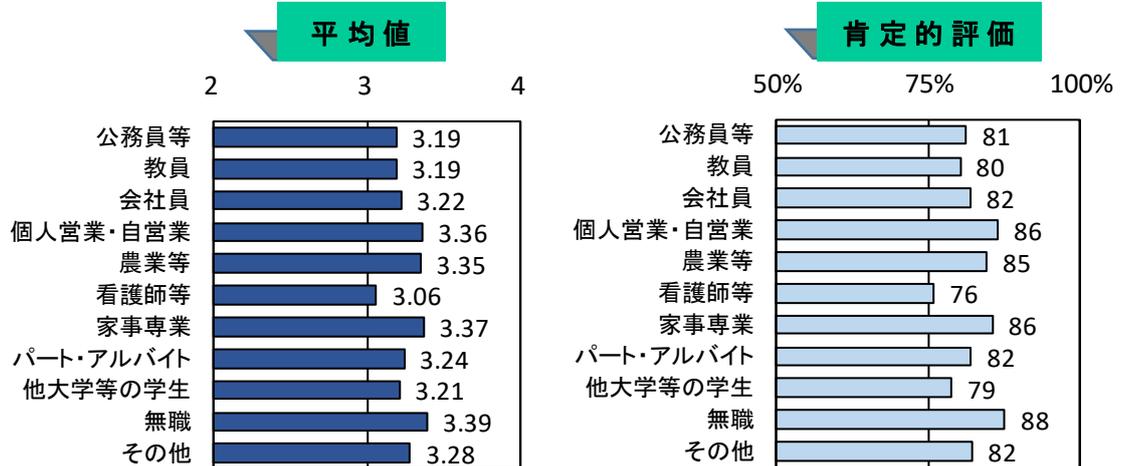
(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「他大学等の学生」（94%）が高く、「農業等」（81%）が最も低かった。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

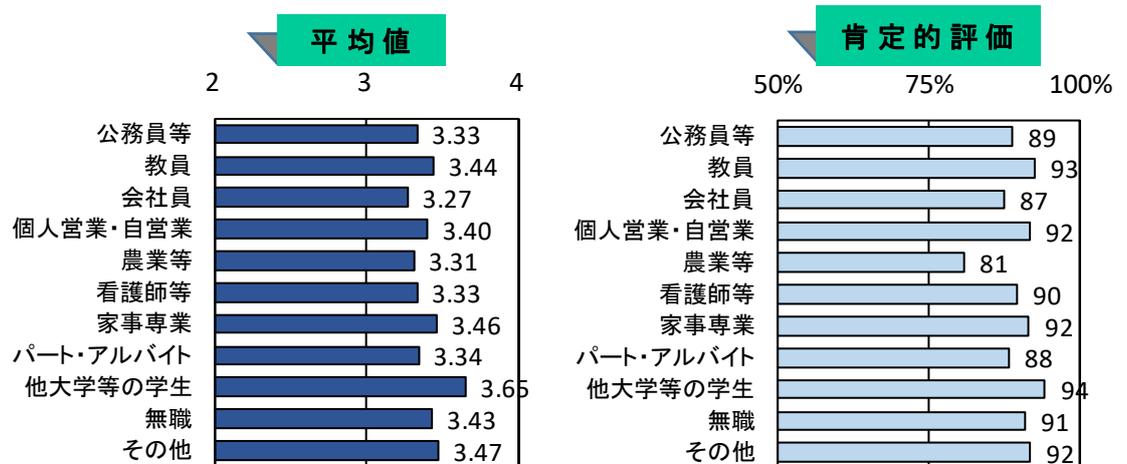
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2)放送授業を十分に視聴した



(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2 - 1 5）では、全体は『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 75%と、大半を占め、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が 18%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は僅か 7%であった。

メディア別では「テレビ科目」と「ラジオ科目」に差はなく、全体の傾向と変わらなかった。

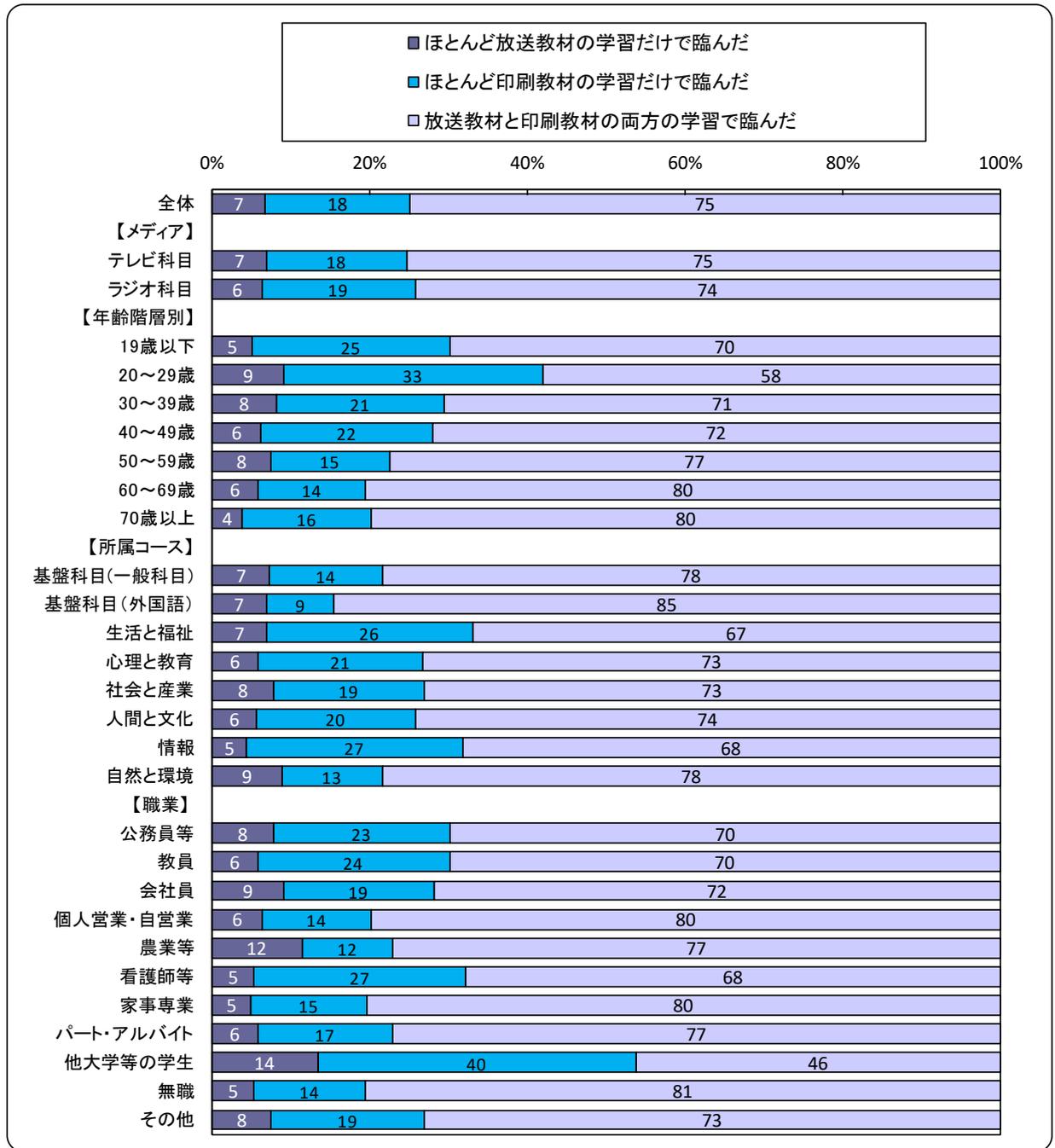
年齢階層別では、20 歳代が『ほとんど印刷教材の学習だけ』が 33%と、どの年代よりも高く、特徴的であった。

それ以上の年代では、60 歳代と 70 歳以上が『放送教材と印刷教材の両方の学習』が高い傾向であった。

所属コース別では、『放送教材と印刷教材の両方の学習』が高かったのは、「基盤科目（一般科目）」「基盤科目（外国語）」「自然と環境」であった。

職業別では、「他大学等の学生」は『ほとんど印刷教材の学習だけ』が 40%と、突出しており、他に「看護師等」も 27%と全体よりも 10 ポイント近く高かった。

図 2 - 1 5 【学部】 単位認定のための学習方法



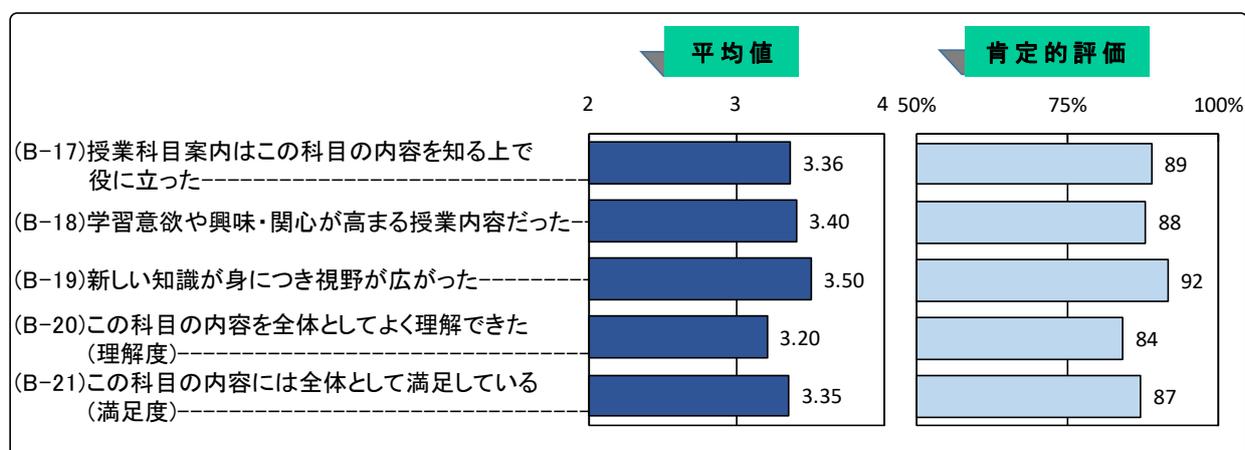
Ⅱ－1－3. 学部の授業評価

(1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

全体評価の各項目（図2－16）については、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」が84%と最も低く、それ以外は90%前後の評価で、中でも(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は92%と高い評価を得ていた。

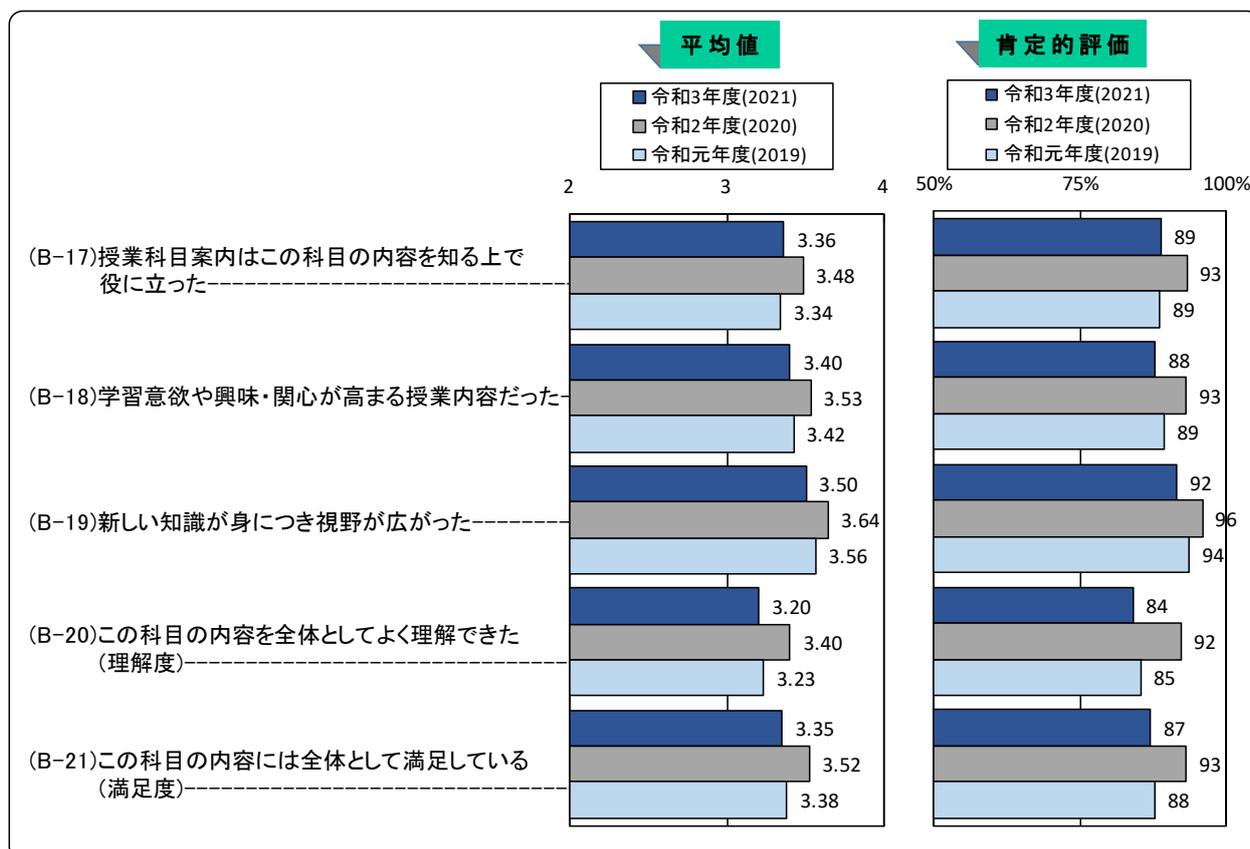
図2－16 【学部】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2-17）、本年度は、昨年度に比べ4～8ポイントの減少で、最も評価を下げたのは(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」で、84%と最も低率であった。

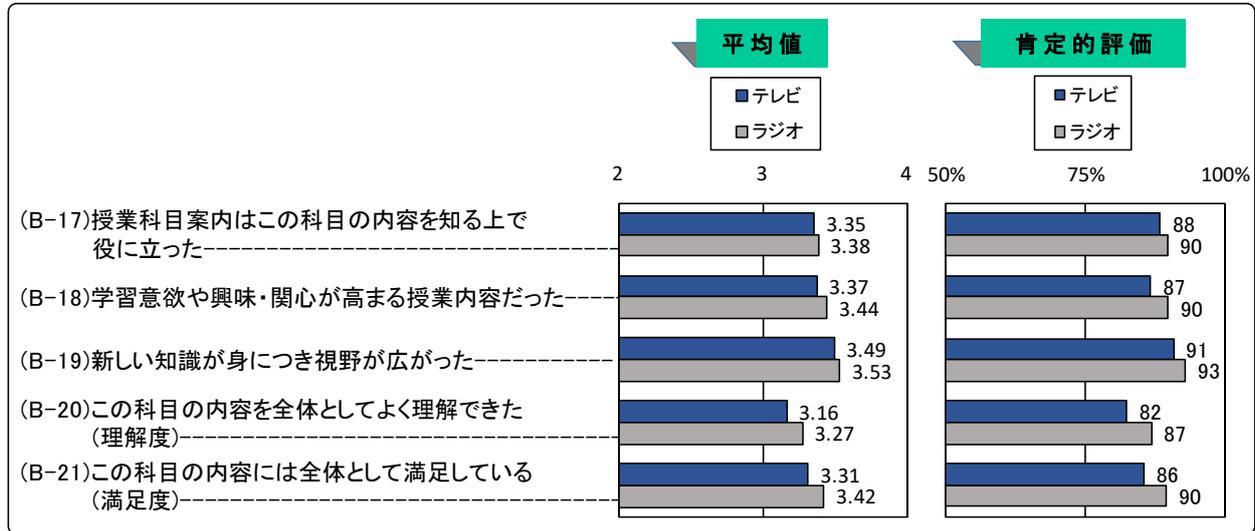
一昨年度との比較では、僅かであるが減少傾向であった。

図2-17 【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図 2 - 1 8）、全項目でラジオの評価の方が高く、特に(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」で、差が 5 ポイントと大きかった。

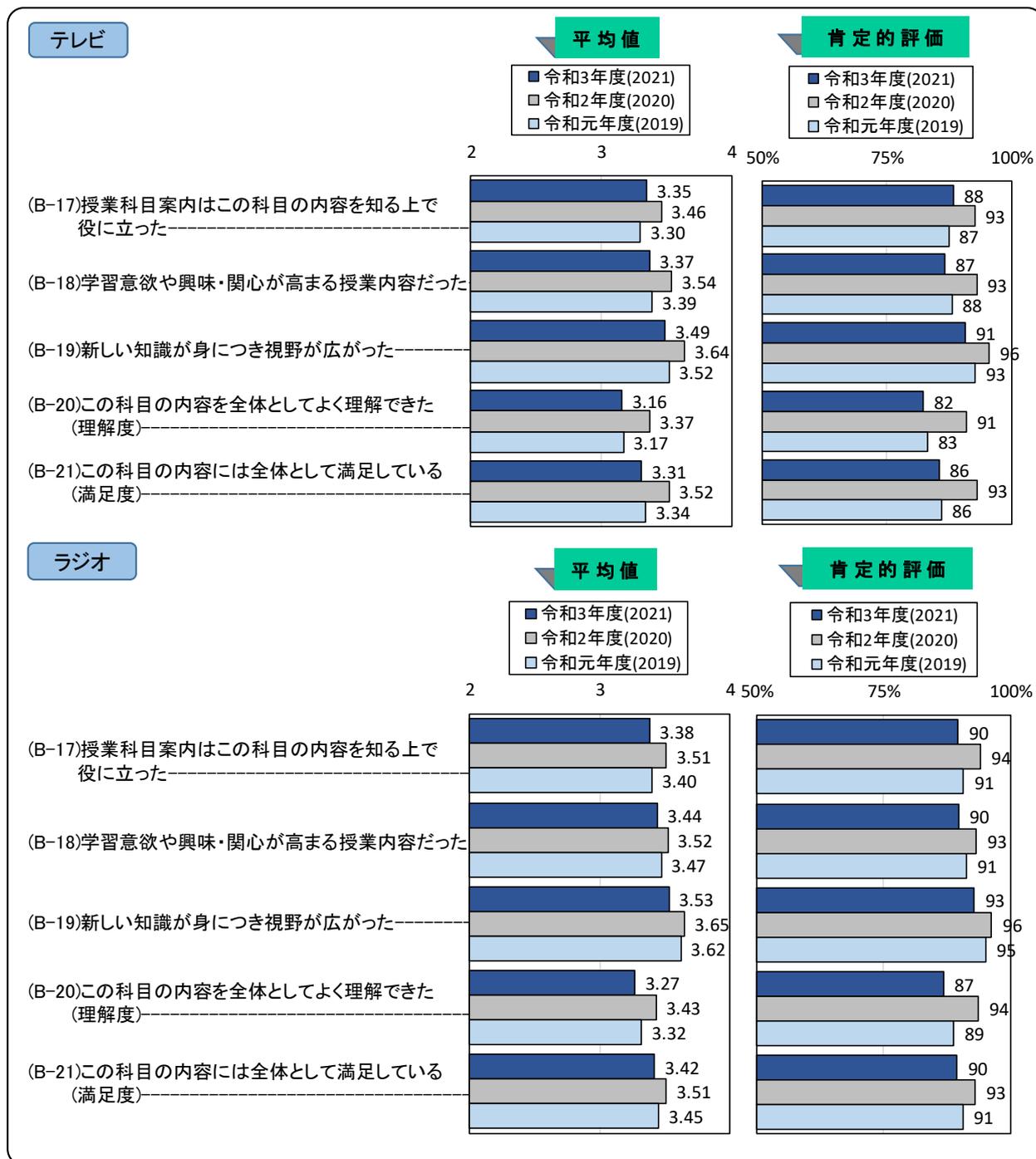
図 2 - 1 8 【学部】メディア別の全体評価



メディア別の全体評価を時系列で見ると（図2-19）、昨年度と比べテレビ科目は、全ての項目で大きく減少しており、特に(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は、9ポイントの大幅減であった。

ラジオ科目もテレビ科目に比べると減少幅は小さいが、全項目で評価が下がり、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」で7ポイントの大幅減であった。

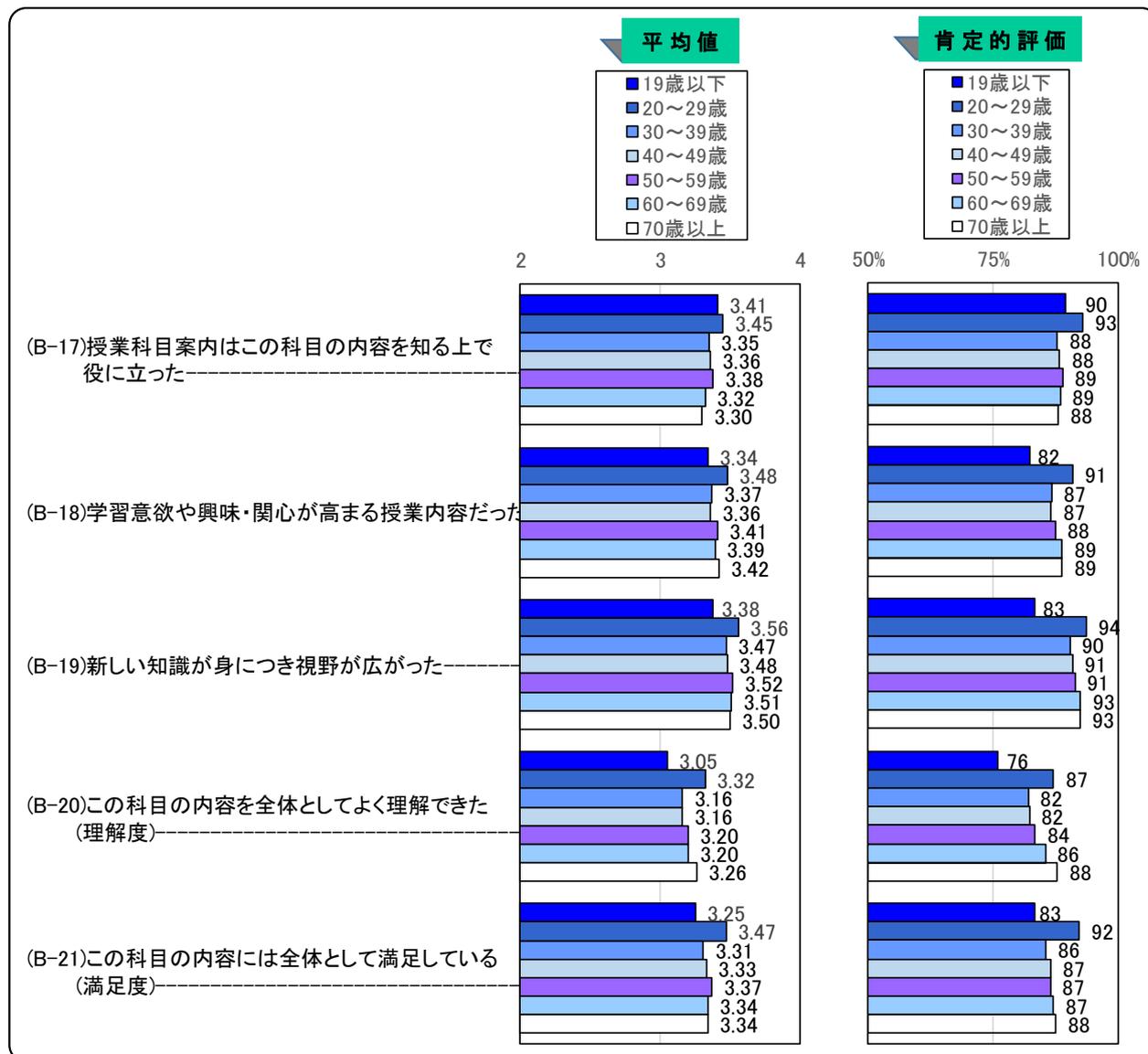
図2-19 【学部】メディア別の全体評価



年齢階層別に全体評価（図 2 - 2 0）を見ると、20 歳代が下記の項目全てにおいて、高い評価で、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」以外は 90% 以上となり、その(B-20)「理解度」でも、70 歳以上（88%）に次ぐ評価であった。

反対に評価が低かったのは、19 歳以下で、(B-17)以外はどの年代より最も低く、(B-20)の「理解度」では、76%と他の年代より極端に低かった。

図 2 - 2 0 【学部】年齢階層別の全体評価

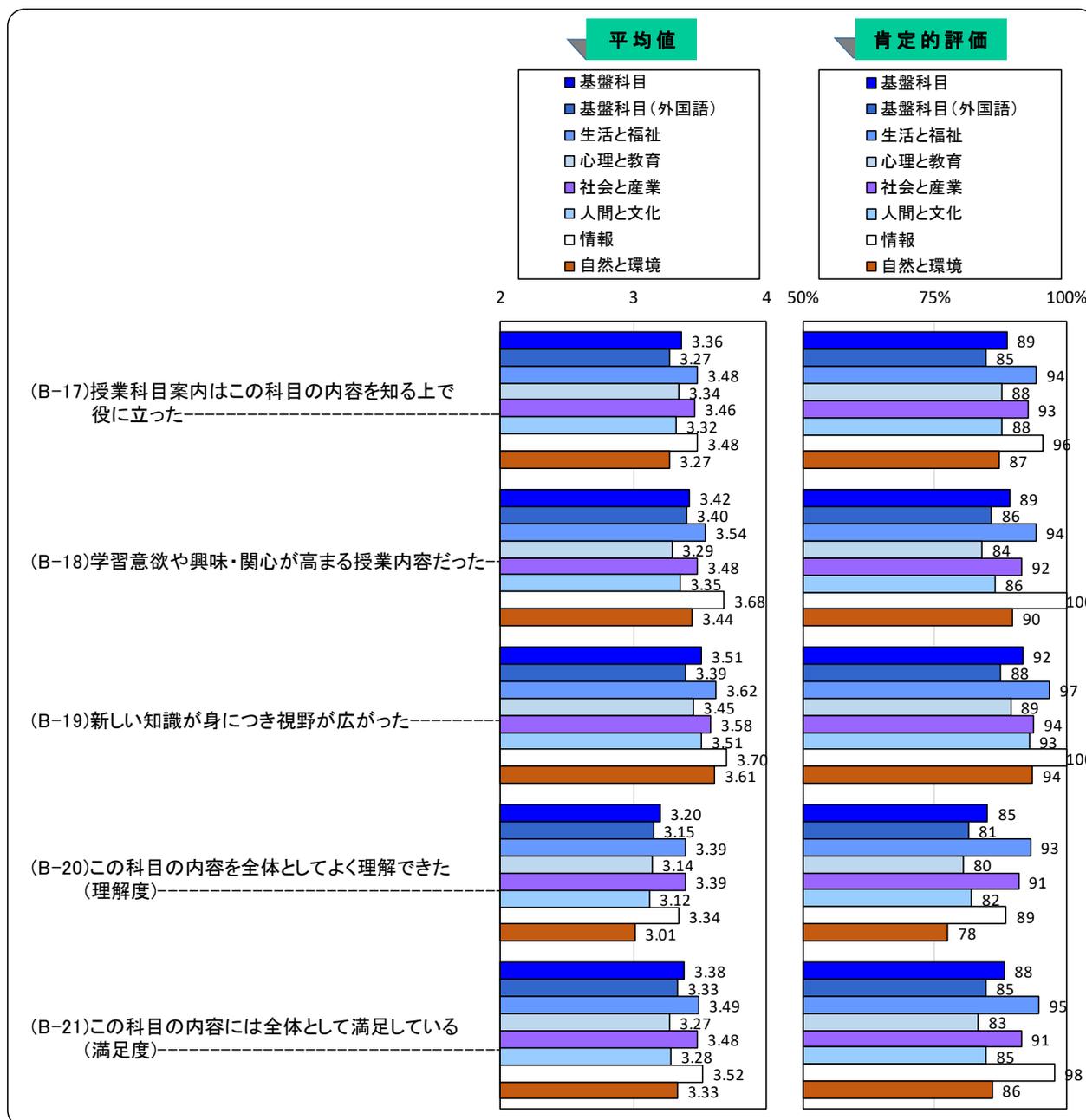


所属コース別の全体評価では（図 2-2 1）、「情報」は高い評価が多く、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」以外で、96～100%の高率であった。その(B-20)「理解度」については、「生活と福祉」が 93%で最も高かった。

反対に低い評価であったのは、「基盤科目(外国語)」と「心理と教育」で、(B-20)「理解度」以外の項目で、下位 1, 2 位を占めていた。

(B-20)「理解度」では、「自然と環境」が 78%と全項目においても最も低くかった。

図 2-2 1 【学部】所属コース別の全体評価



職業別の全体評価（次頁図 2 - 2 2）では、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」については、どの職業も 90%前後の一樣の評価であった。

(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「他大学等の学生」が 94%と最も高い評価で、「農業等」が 85%と最も低かった。

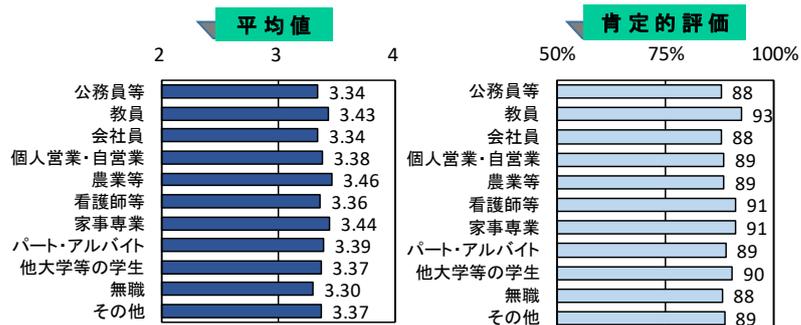
(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」も評価は一樣で、90%前後であった。

(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については、「教員」と「他大学等の学生」の評価が共に 87%と高く、それ以外の職業は 84%前後で、他の質問項目と比べ評価は低調であった。

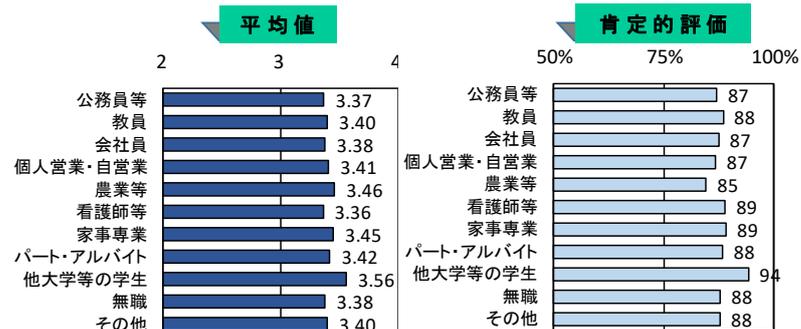
(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」については評価が分かれ、最も高かったのは「他大学等の学生」で 92%、反対に「農業等」は評価が極端に低く 81%で、他の職業は 86~89%の評価であった。

図 2 - 2 2 【学部】職業別の全体評価

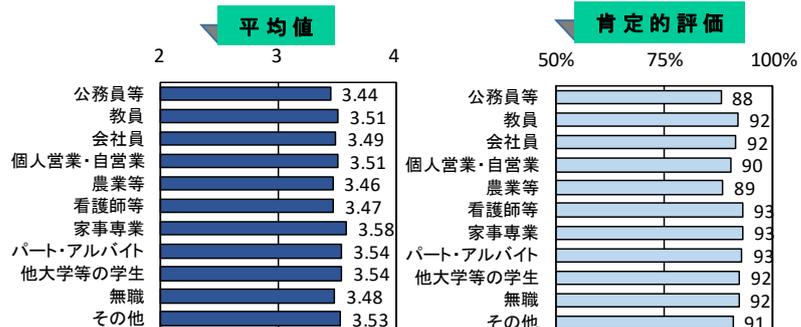
(B-17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った



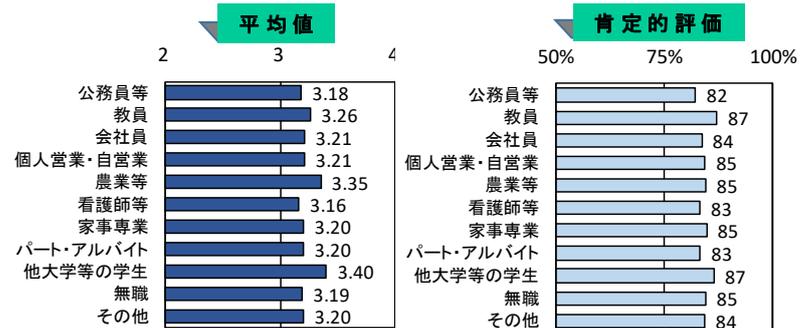
(B-18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



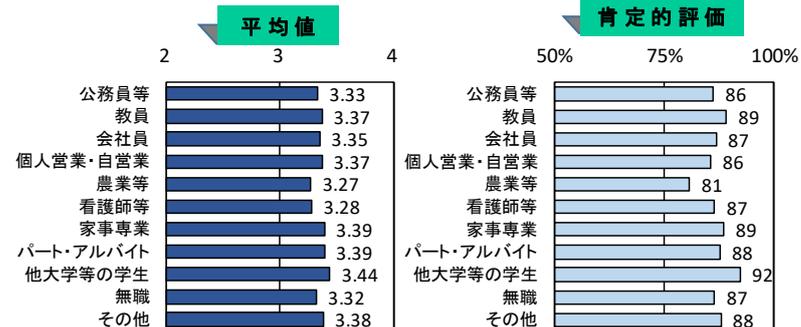
(B-19) 新しい知識が身につく視野が広がった



(B-20) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-21) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

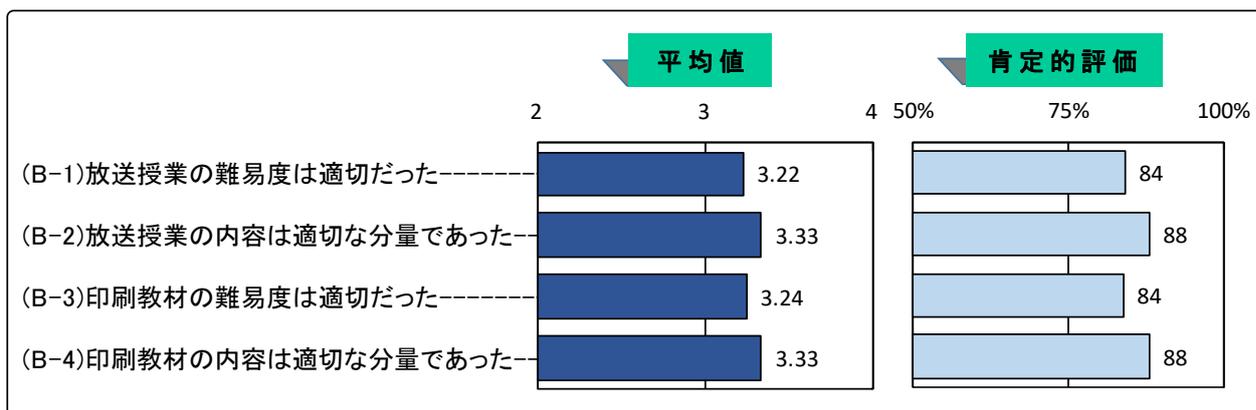


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとに見ていくことにする。

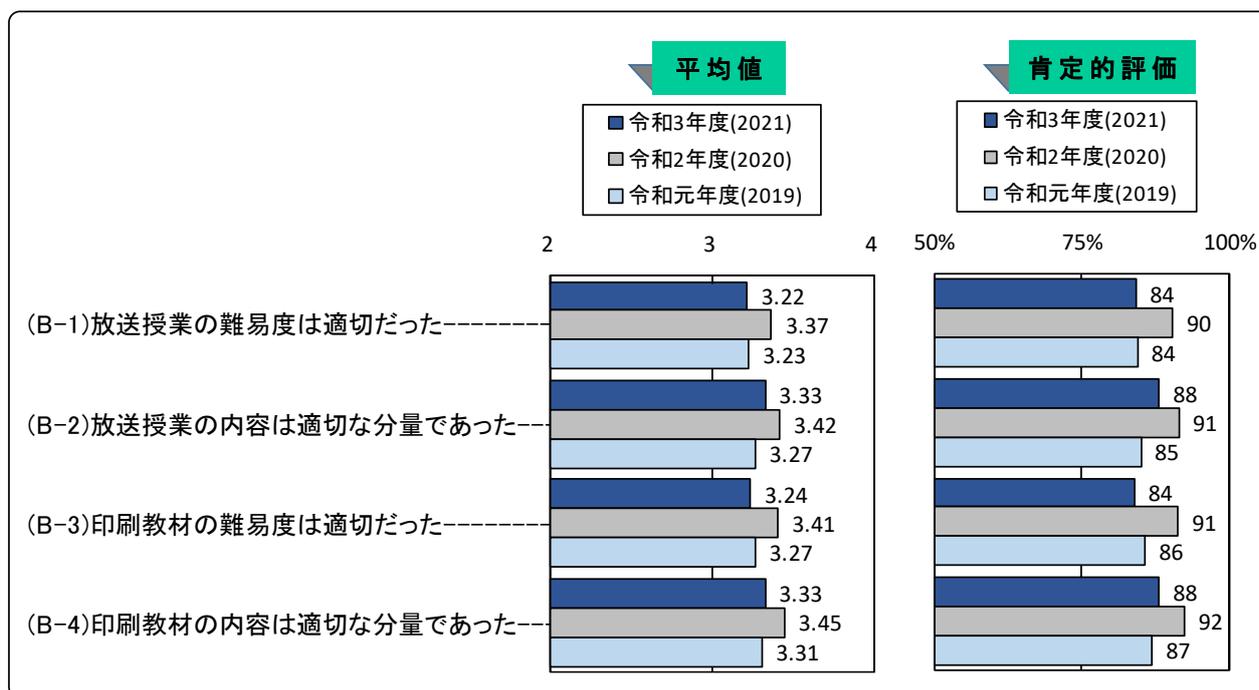
肯定的評価は、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の難易度については、両項目とも84%、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の分量については、共に88%で、それぞれの「分量」についての評価の方が高かった。

図2-23 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



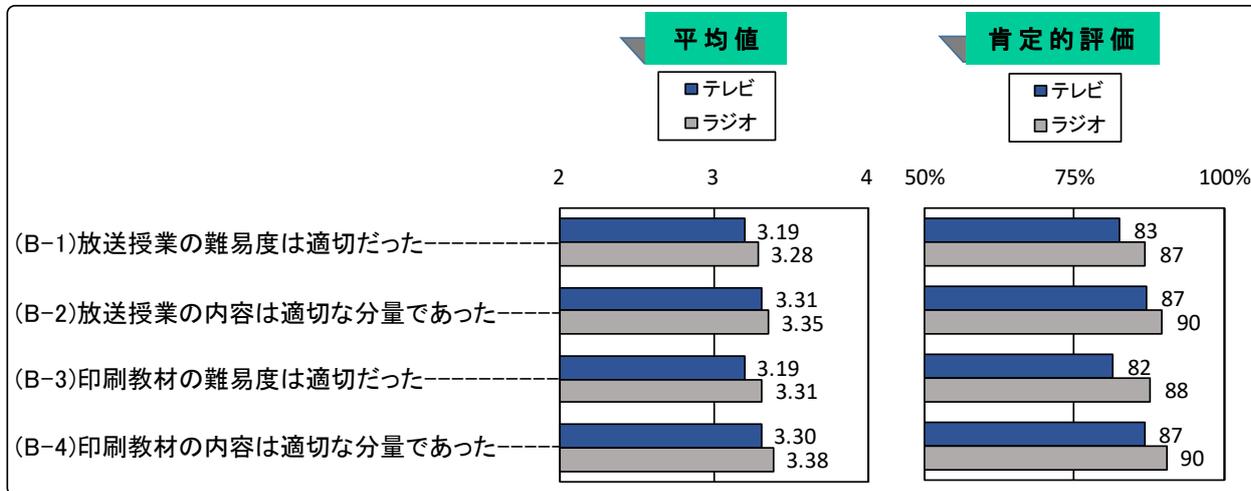
開設年度で比較すると（図2-24）、本年度は、昨年度と比べ各項目で評価が下がり、特に(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の減少幅が大きく、6~7ポイントの落ち込みであった。

図2-24 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、メディア間に差があり、いずれもラジオ科目の方が、評価が高く、特に(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、ラジオ科目がプラス6ポイントと大きな差であった。

図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価

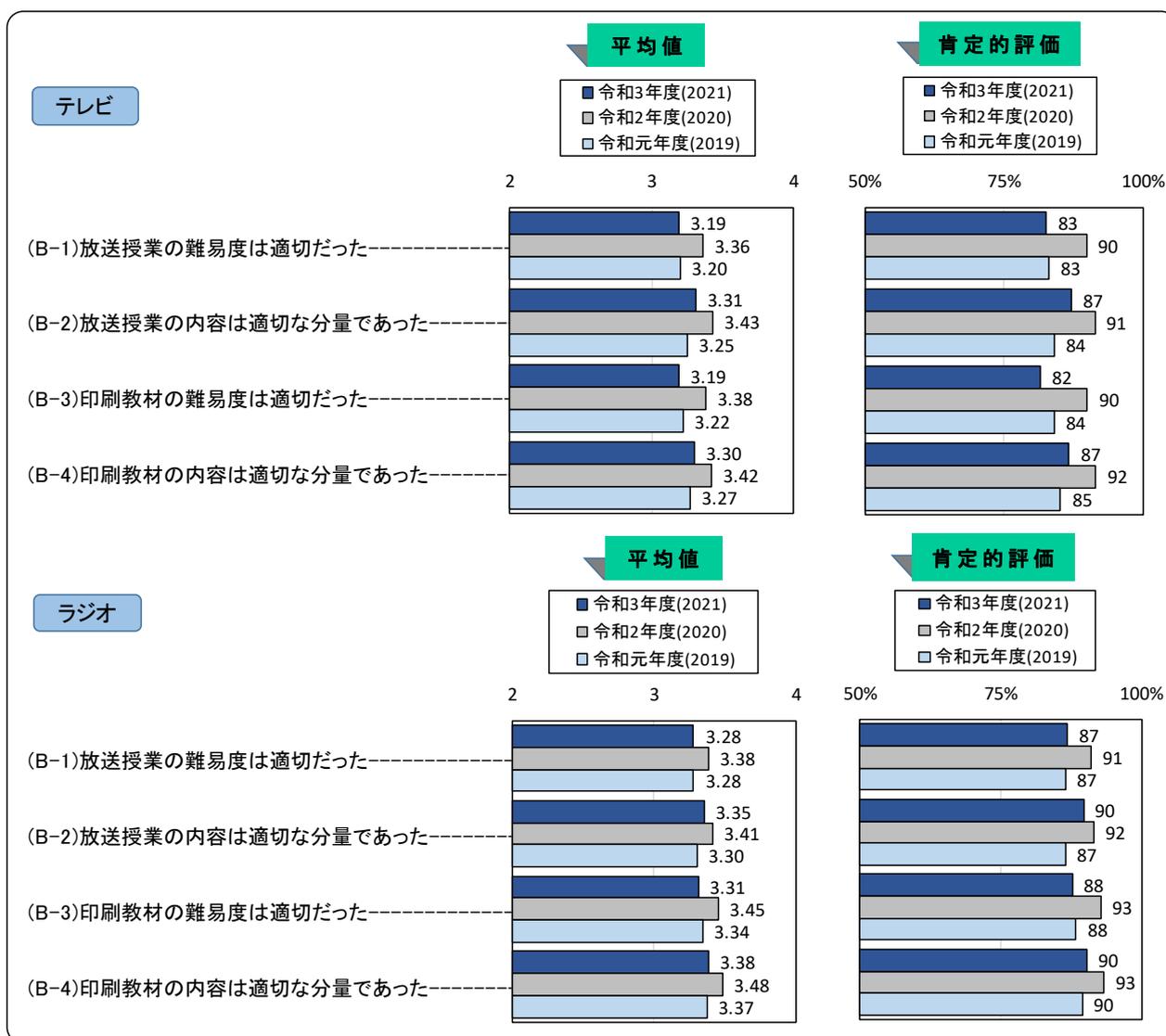


メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目の評価は、全ての項目で昨年度を4～8ポイント下回っており、下降傾向が見られた。

特に(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の減少幅は、8ポイント減と大きかった。

ラジオ科目もテレビ科目同様、昨年度に比べ下降傾向で、テレビ科目程ではないが、全ての項目で昨年度を2～5ポイント下回っており、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の減少が目立っていた。

図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



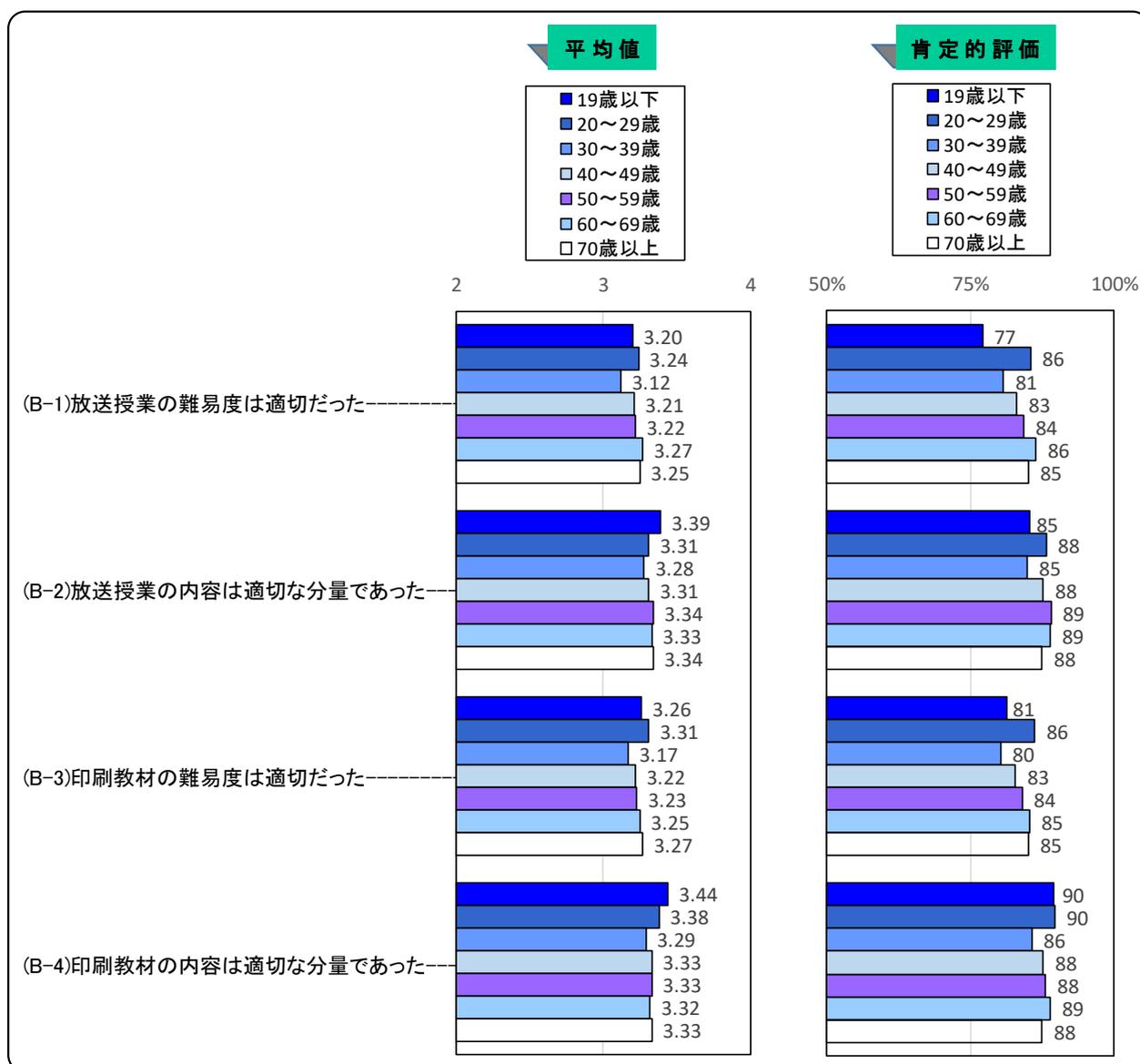
年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は20歳代と60歳代が最も高く86%、反対に19歳以下は77%と極端に低かった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」には、19歳以下と30歳代の評価が低く、共に85%で、それ以外の年代は88,89%であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」も19歳以下と30歳代の評価が80%そこそこで、最も低かった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」では、19歳以下と20歳代の若年層の評価が最も高く、90%に達していた。

図2-27 【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価

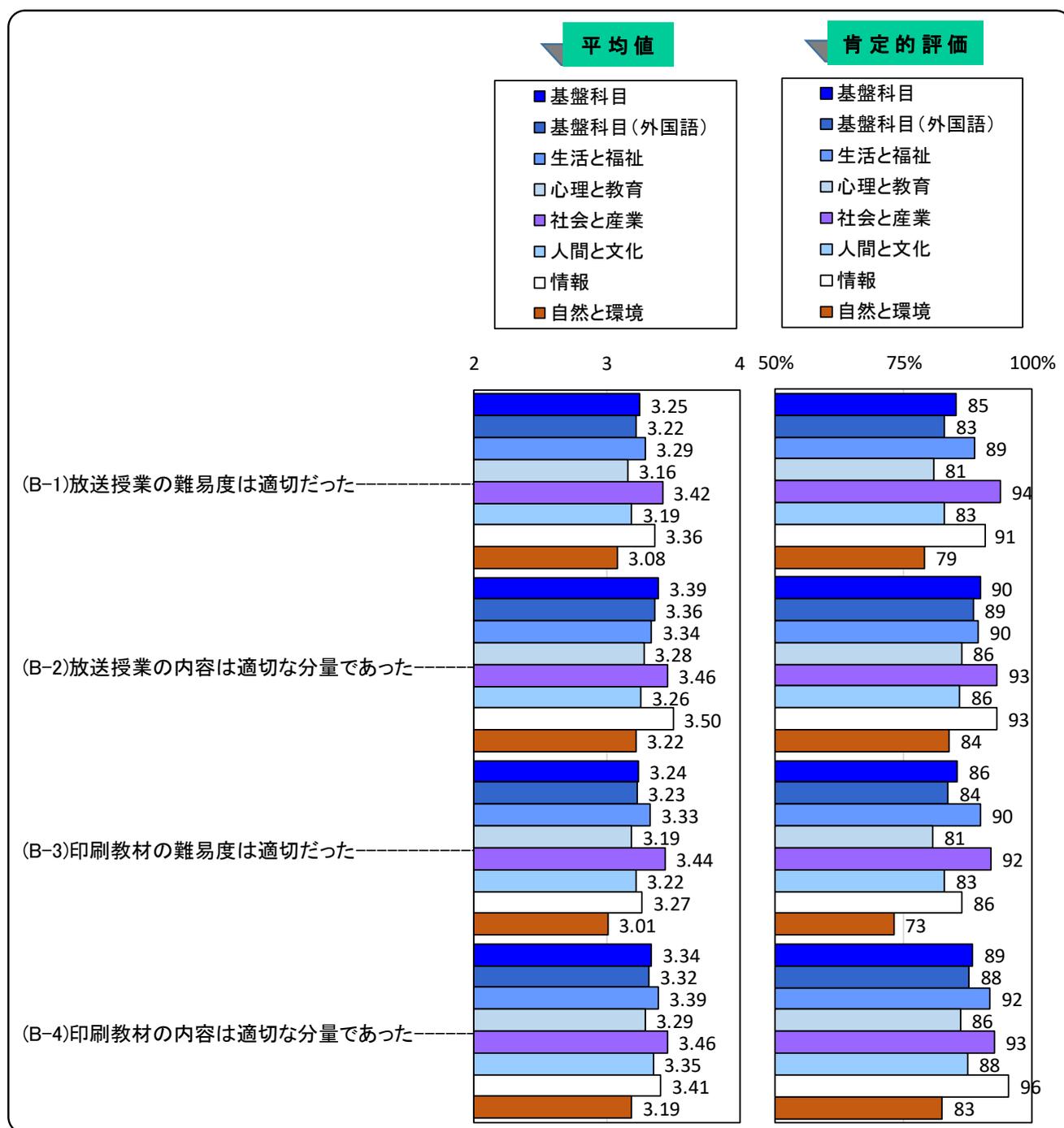


所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、下記全ての項目で「社会と産業」が上位1位か2位となり、その評価は92～94%と、高い評価であった。

他に「情報」の評価も高く、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」以外では、上位1位か2位で、特に(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」が96%と目立っていた。

反対に「自然と環境」は全項目で最も低く、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」が73%と、他の所属コースよりも10ポイント近く下回っていた。

図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



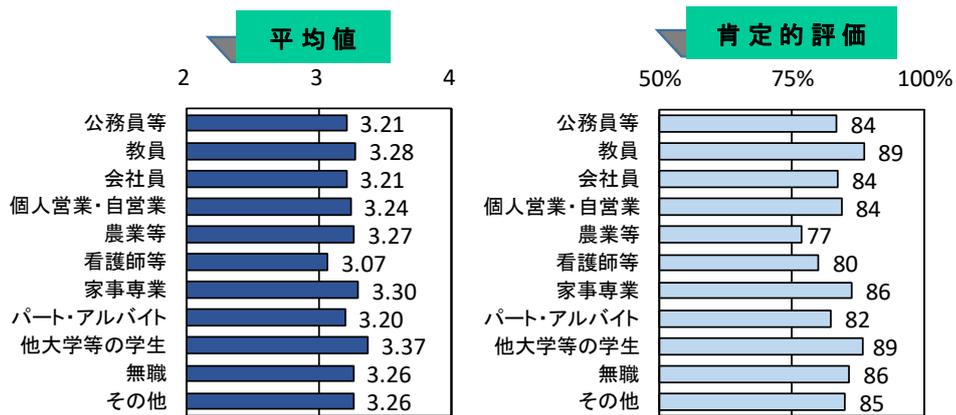
職業別に授業の難易度を見ると（次頁図 2 - 2 9）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では、「教員」と「他大学等の学生」が 89%と最も高い評価で、反対に「農業等」と「看護師等」は評価が低く、80%以下の評価であった。

それ以外の項目でも、「教員」の評価が最も高く、特に(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」が 92%と、唯一 90% 超えであった。

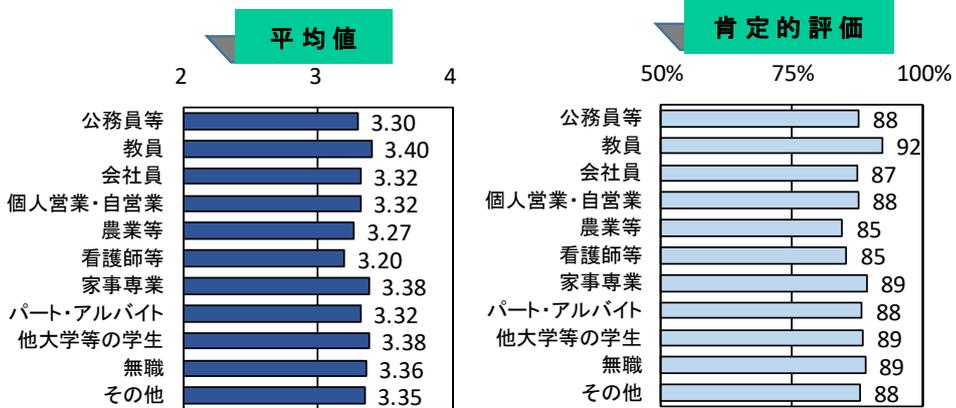
また、B-2～B-4 では、「農業等」と「看護師等」の評価は低く、下位 1 位, 2 位を占めていた。

図 2-29 【学部】職業別の授業難易度の評価

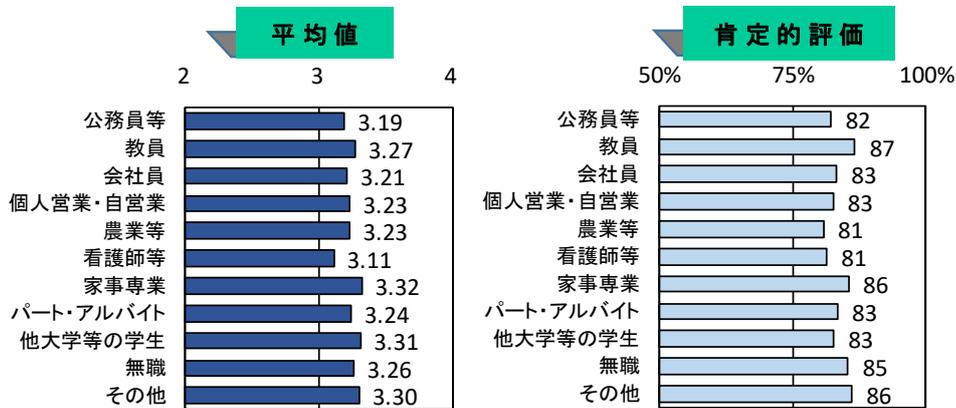
(B-1)放送授業の難易度は適切だった



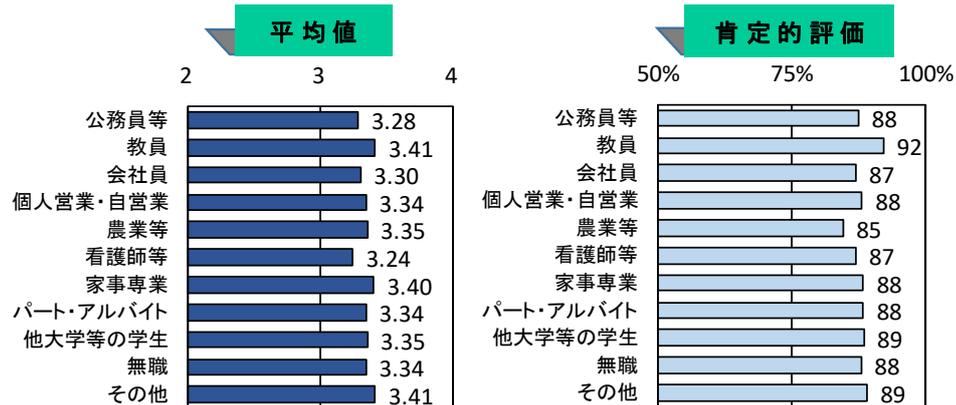
(B-2)放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった



(B-4)印刷教材の内容は適切な分量であった

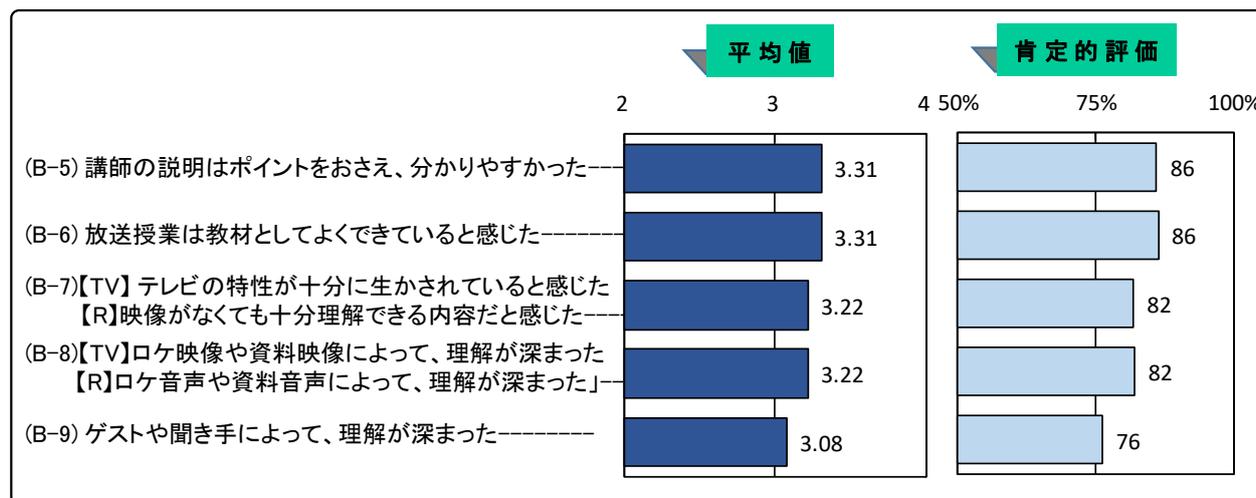


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

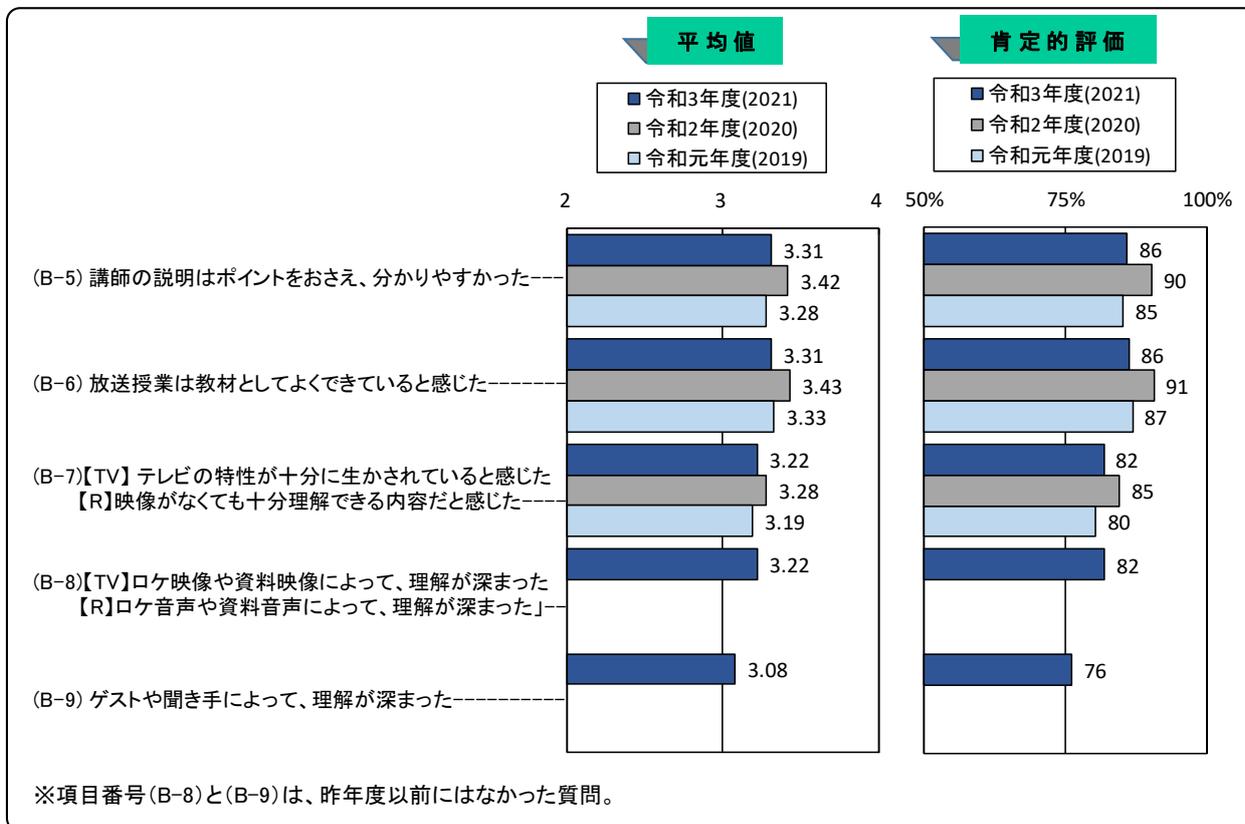
放送授業に関する評価項目（図2-30）では、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が86%と高く、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は76%と、他の項目に比べると極めて評価が低かった。

図2-30【学部】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-31）本年度は、昨年度と比べると、(B-5)～(B-7)の項目全てで、評価を下げており、特に(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、昨年度比マイナス5ポイントと、下げ幅は大きかった。

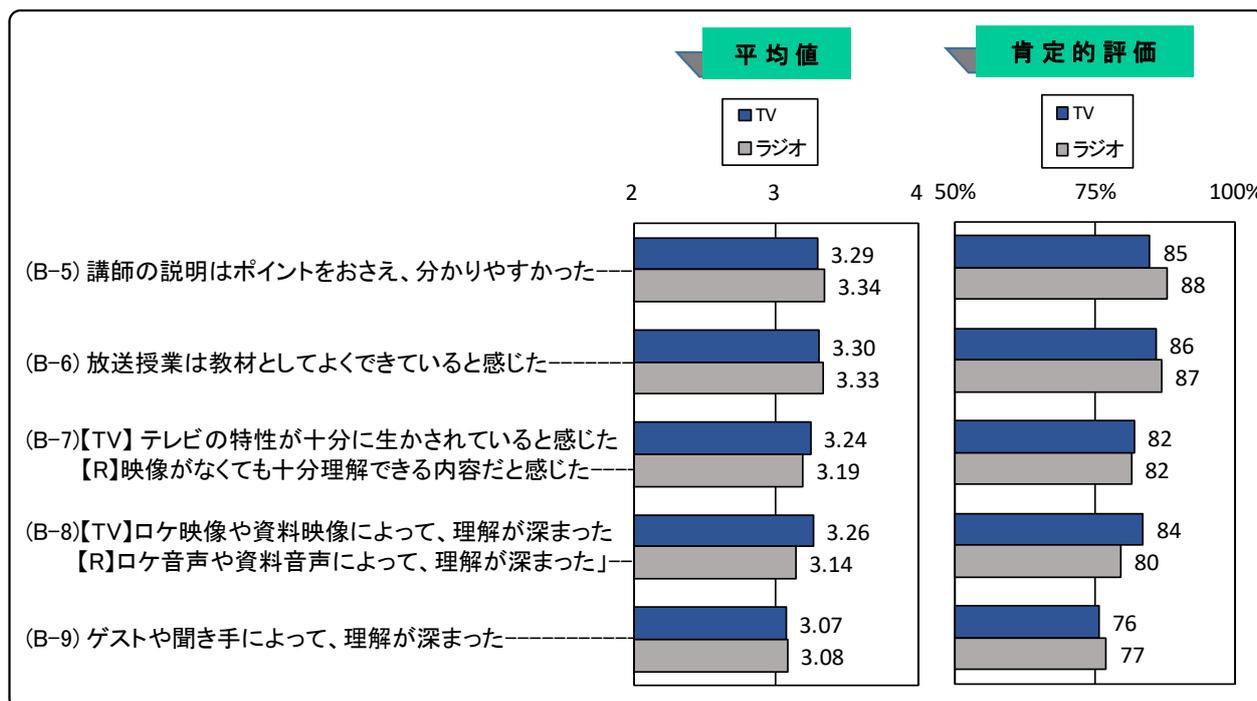
図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図 2-3 2）」、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」はラジオ科目が 88%と、テレビ科目より評価が高く、反対に、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」では、テレビ科目が 84%と、ラジオ科目より評価が高かった。

他の項目については、両メディアは同じ水準であった。

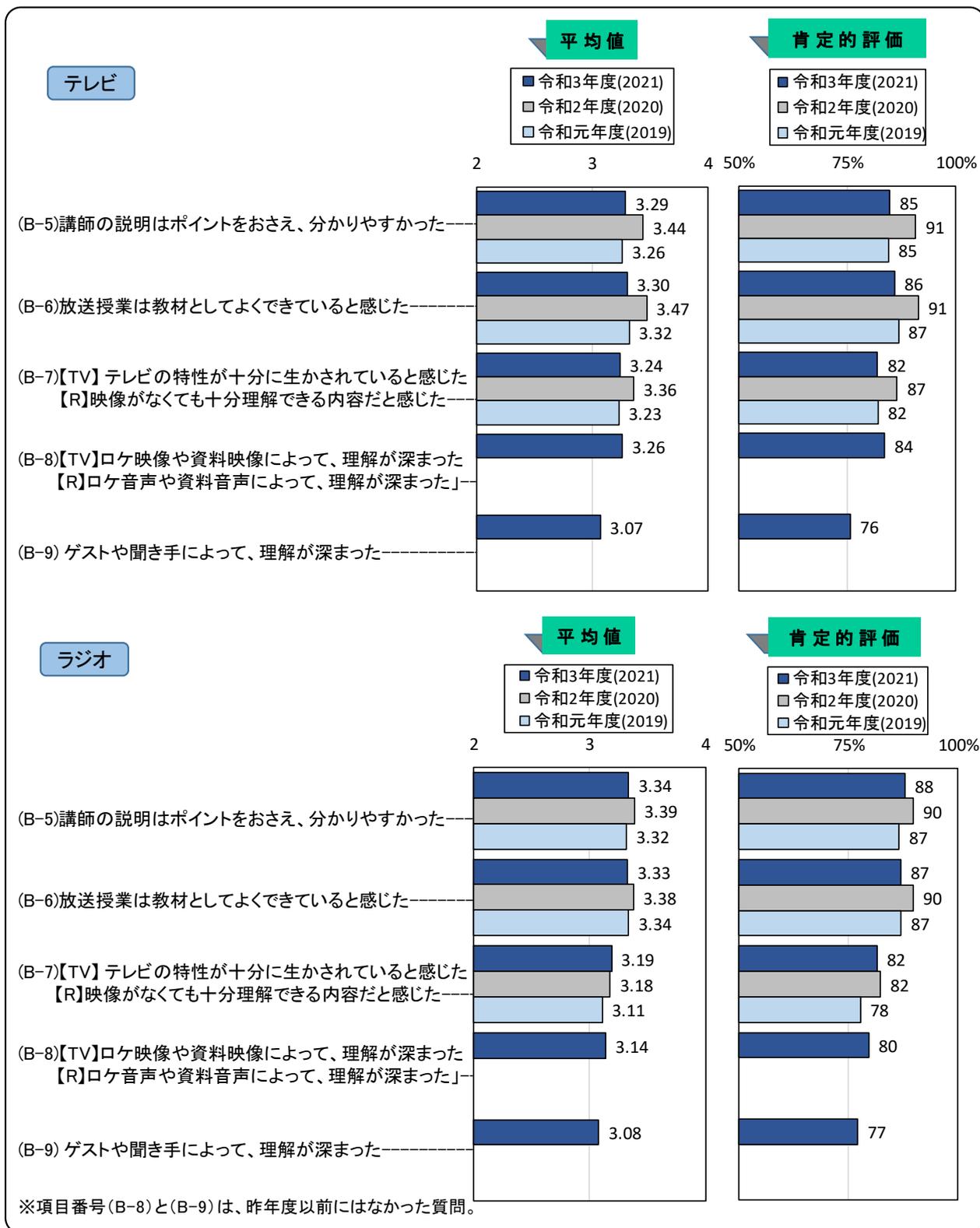
図 2-3 2 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別に放送授業の評価を時系列で見ると（図2-33）、(B-5)～(B-7)の3項目は、テレビ科目は、昨年度との比較で、5,6ポイント評価を下げていた。

同様にラジオ科目でも、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」については、マイナス2,3ポイントの減少だが、テレビ科目ほどではなかった。

図2-33 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）

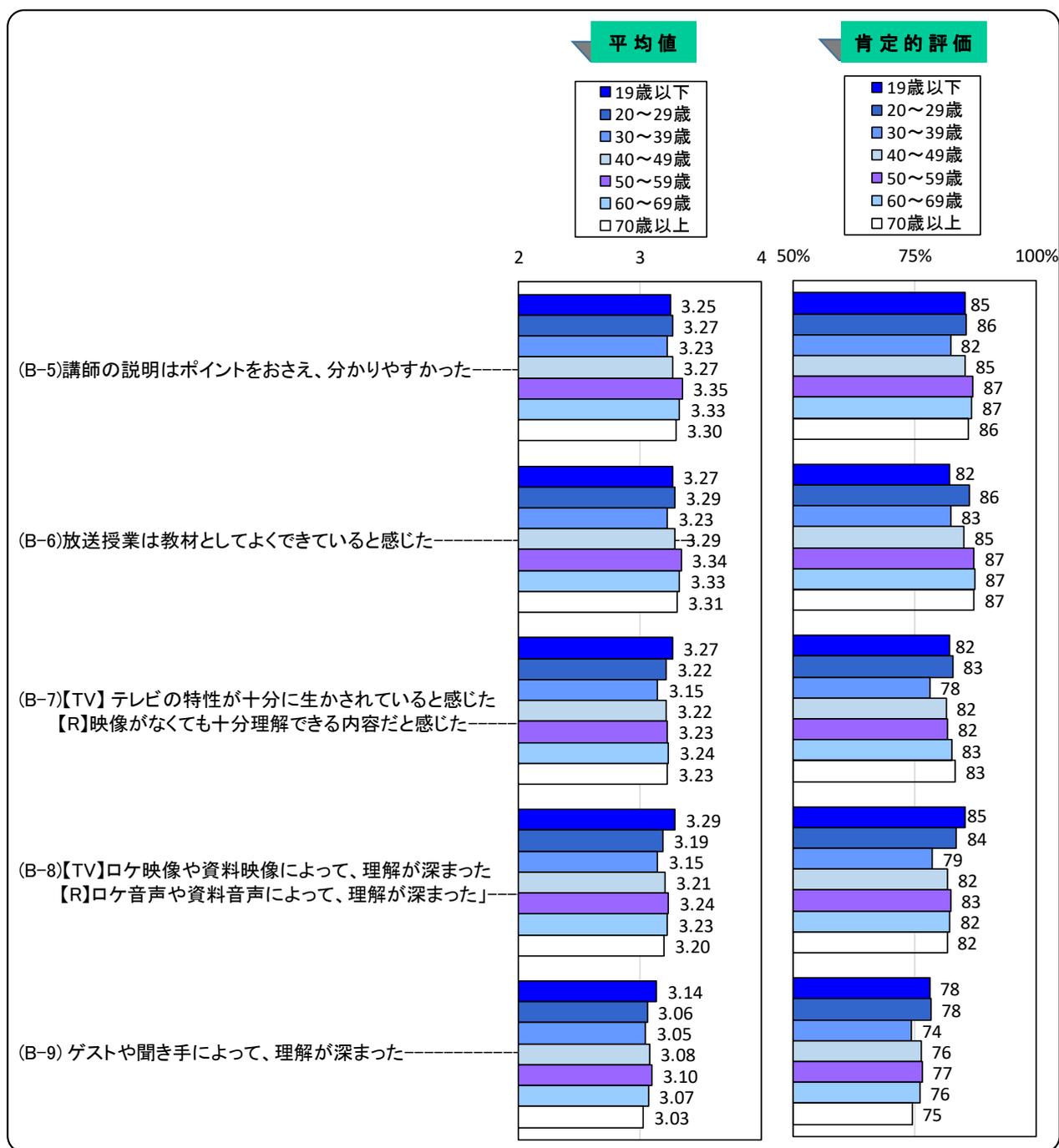


年齢階層別の放送授業の評価で（図2-34）特徴的であったのは、下記の項目で（B-6）「放送授業は教材としてよくできていると感じた」を除けば、30歳代の評価が最も低かった。

その（B-6）では、19歳以下の評価が82%と最も低く、次いで30歳代の83%であった。

全ての項目を見てみると、高評価が目立つ年代はなく、前述の内容以外は、概ね一様の評価であった。

図2-34 【学部】年齢階層別の放送授業の評価

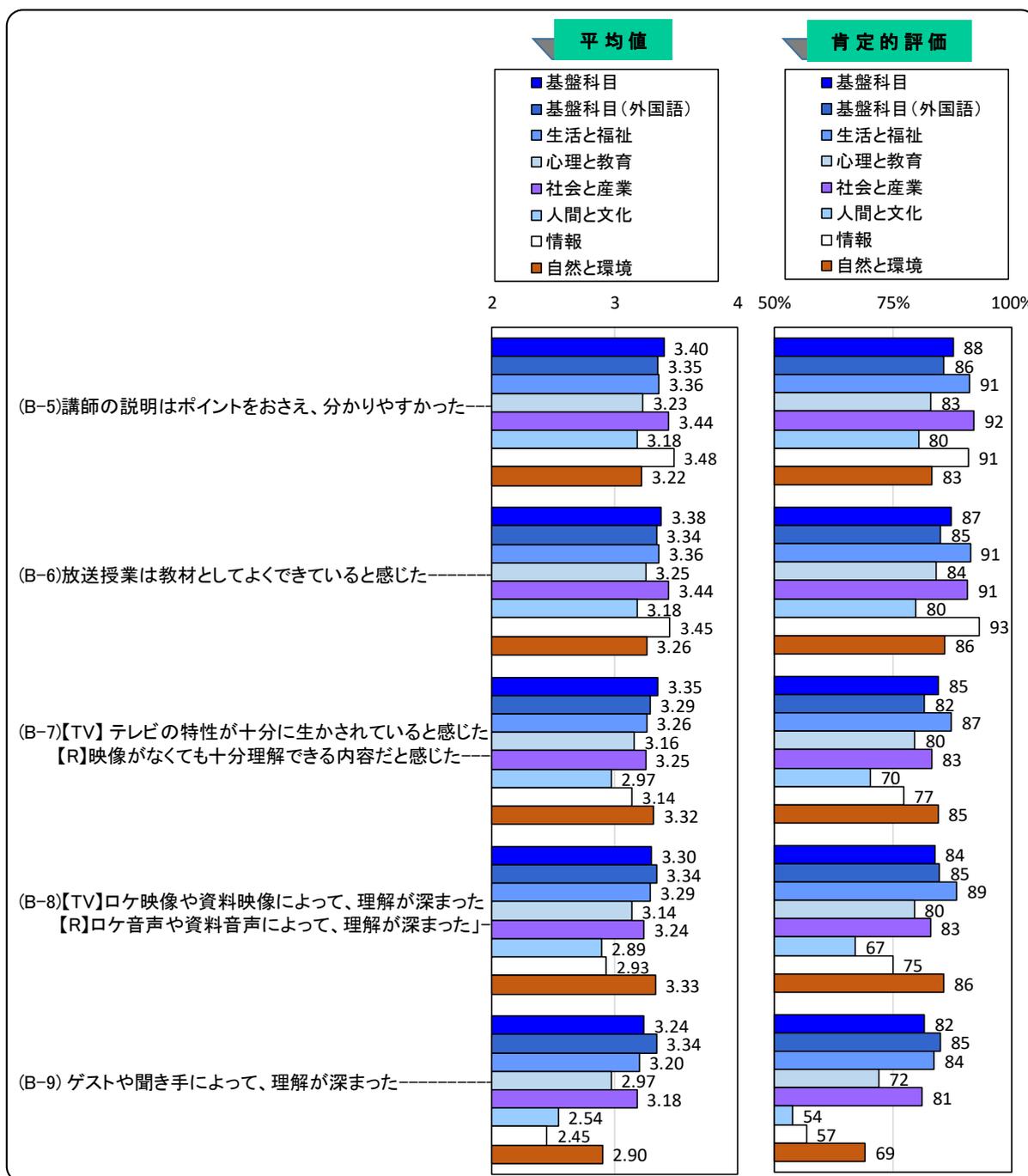


所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、特徴的であったのは、「生活と福祉」が全ての項目で上位1位か2位の高評価であった。

(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は「社会と産業」(92%)が、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、「情報」(93%)、(B-9)は、「基盤科目(外国語)」(85%)が最も評価が高かった。

反対に低い評価であったのは、「人間と文化」で、全ての項目で最も低く、特に(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」が、54%と顕著であった。また、(B-9)では「情報」の評価も57%に過ぎず、特異な傾向が見られた。

図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価

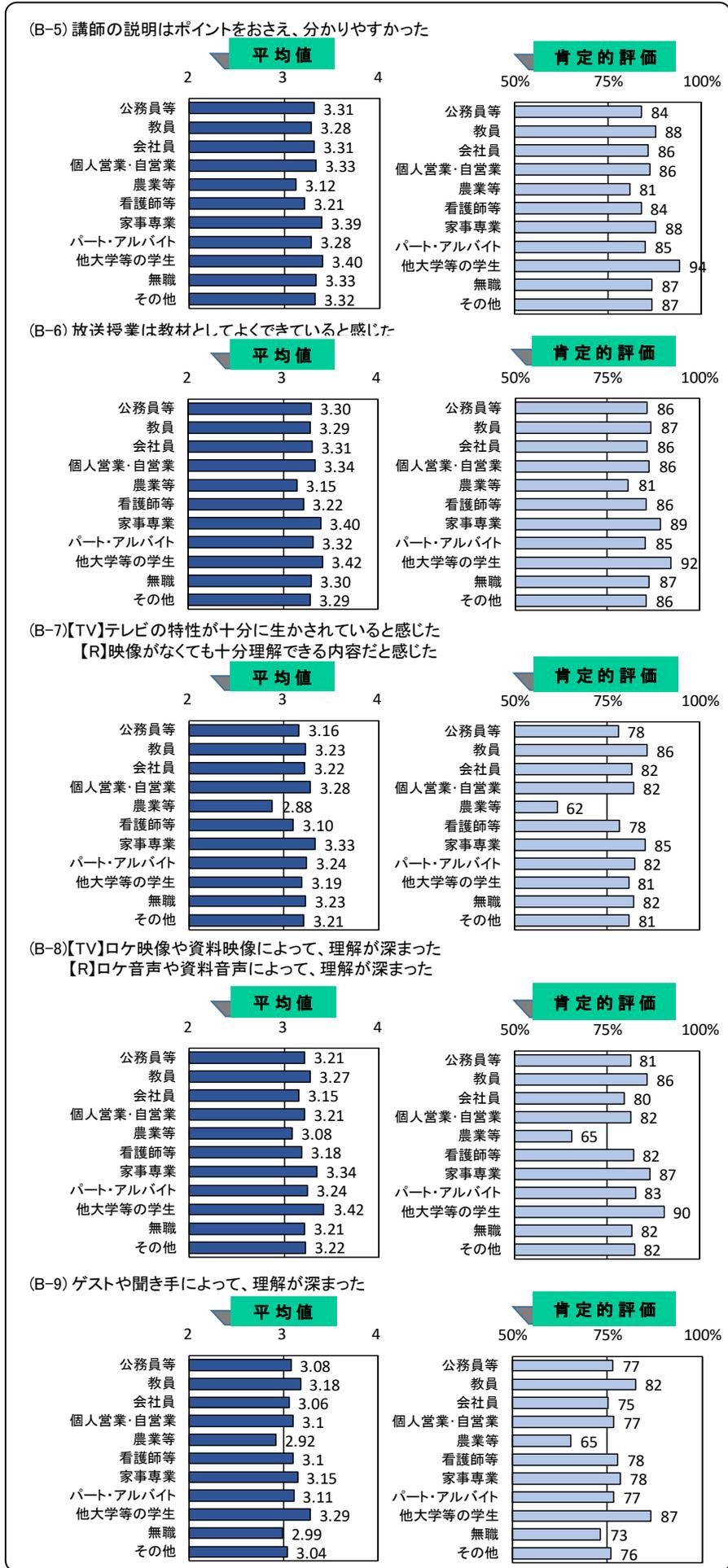


職業別の放送授業の評価（次頁図 2 - 3 6）で特徴的な傾向は、(B-7)を除く全ての項目で「他大学等の学生」が最も高い評価で、特に(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は 94%と突出していた。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた / 【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「教員」が 86%と最も高い評価であった。

反対に全ての項目で、最も低い評価をしたのは「農業等」で、特に(B-7)の評価が 62%で、他の職業より 16 ポイント以上下回っていた。

図 2 - 3 6 【学部】職業別の放送授業の評価

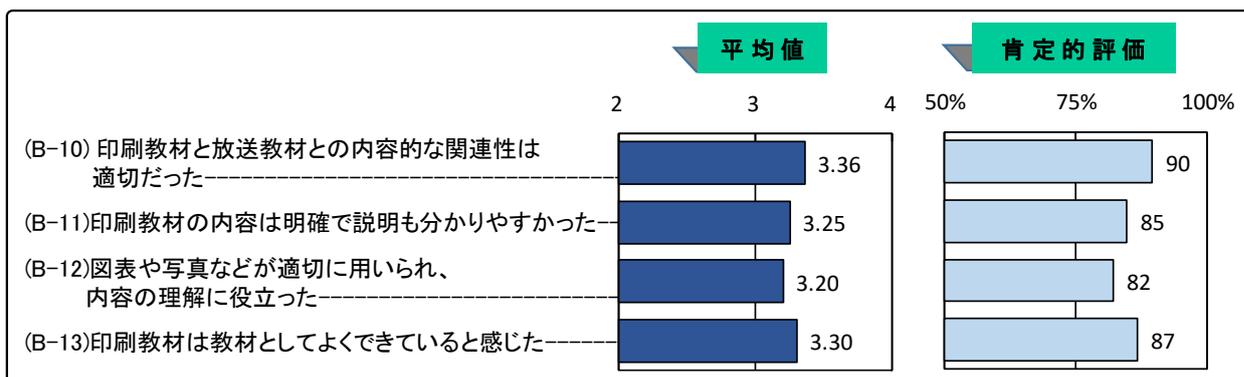


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていくことにする。

印刷教材の評価項目では(図2-37)、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」が90%と最も高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が82%と最も低かった。

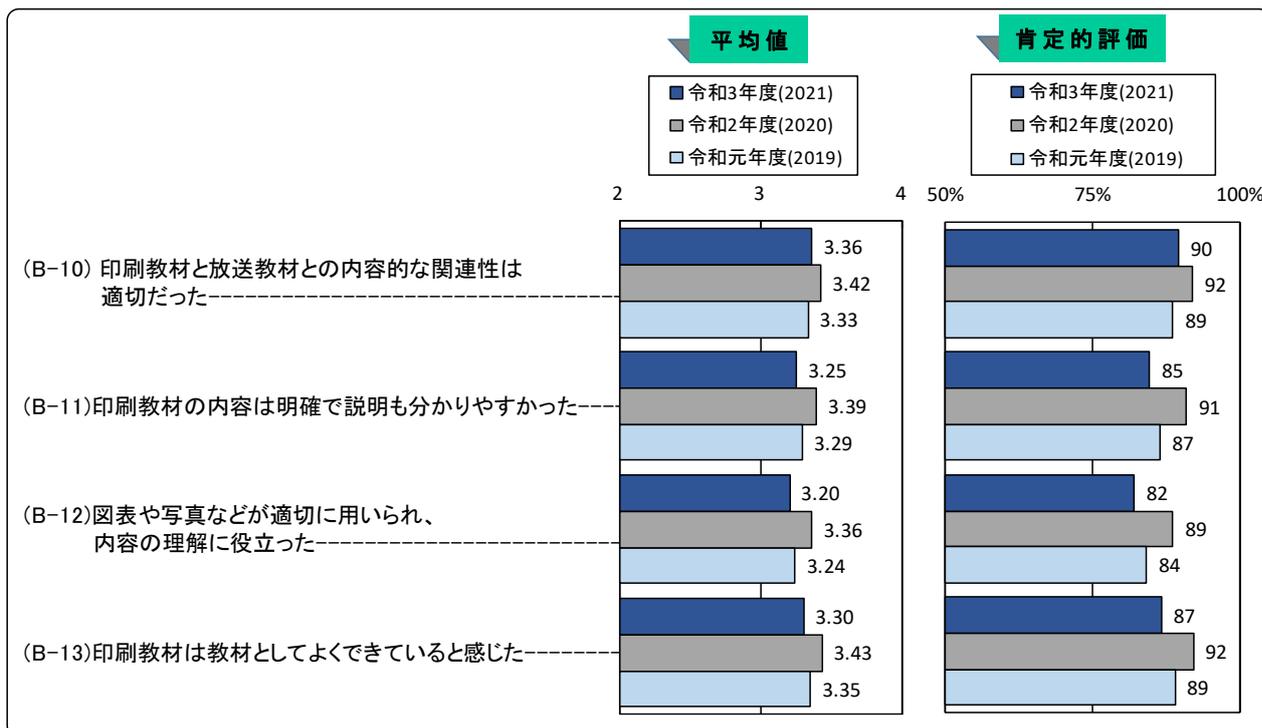
図2-37【学部】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると(図2-38)、本年度は全て項目で昨年度から評価を下げ、特に(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、昨年度より7ポイント減と、大幅な落ち込みが見られた。

他にも(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」や(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」も5,6ポイントの減少で、その幅は少なくなかった。

図2-38【学部】回答者全体の印刷教材の評価(時系列)

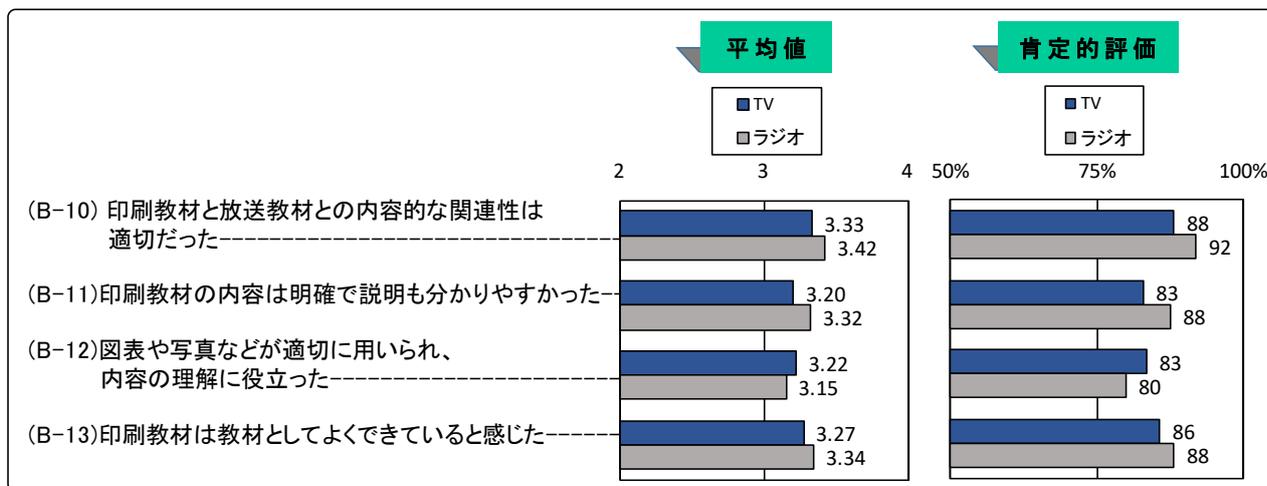


メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-39）、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」以外は、ラジオ科目の評価が2～5ポイント高かった。

特に(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」については、4,5ポイント、ラジオ科目の方が高く、その差は小さくなかった。

テレビ科目の評価が高かったのは、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」で、3ポイントの差であった。

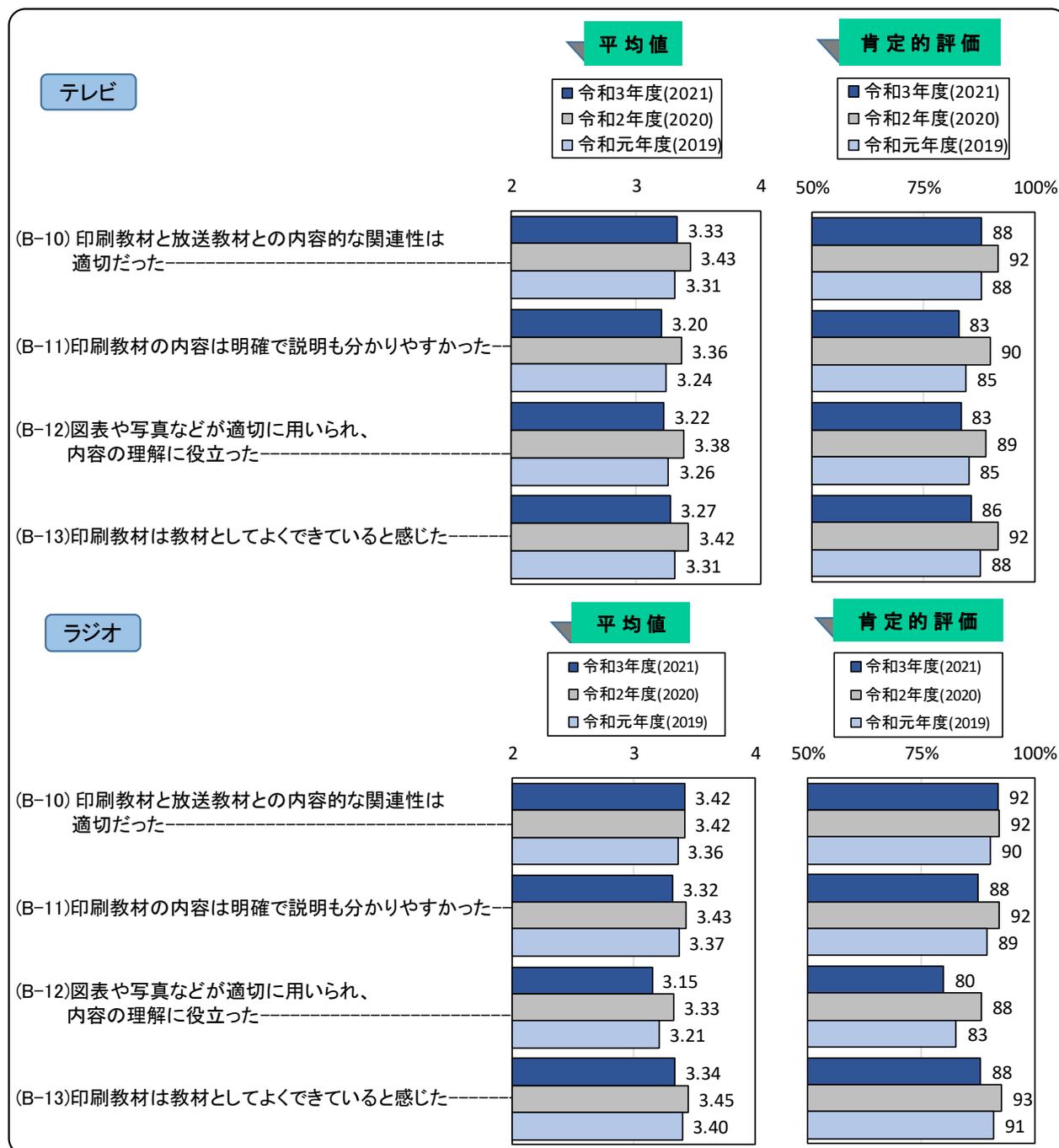
図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（図2-40）、テレビ科目では、本年度は、全ての項目で昨年度から評価を下げており、特に(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、マイナス6,7ポイントと、大幅減であった。

同様にラジオ科目では、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」だけは、昨年度と変わらなかったが、残る3項目は4ポイント以上のマイナスで、特に(B-12)の項目では、8ポイント減と極端な落ち込みであった。

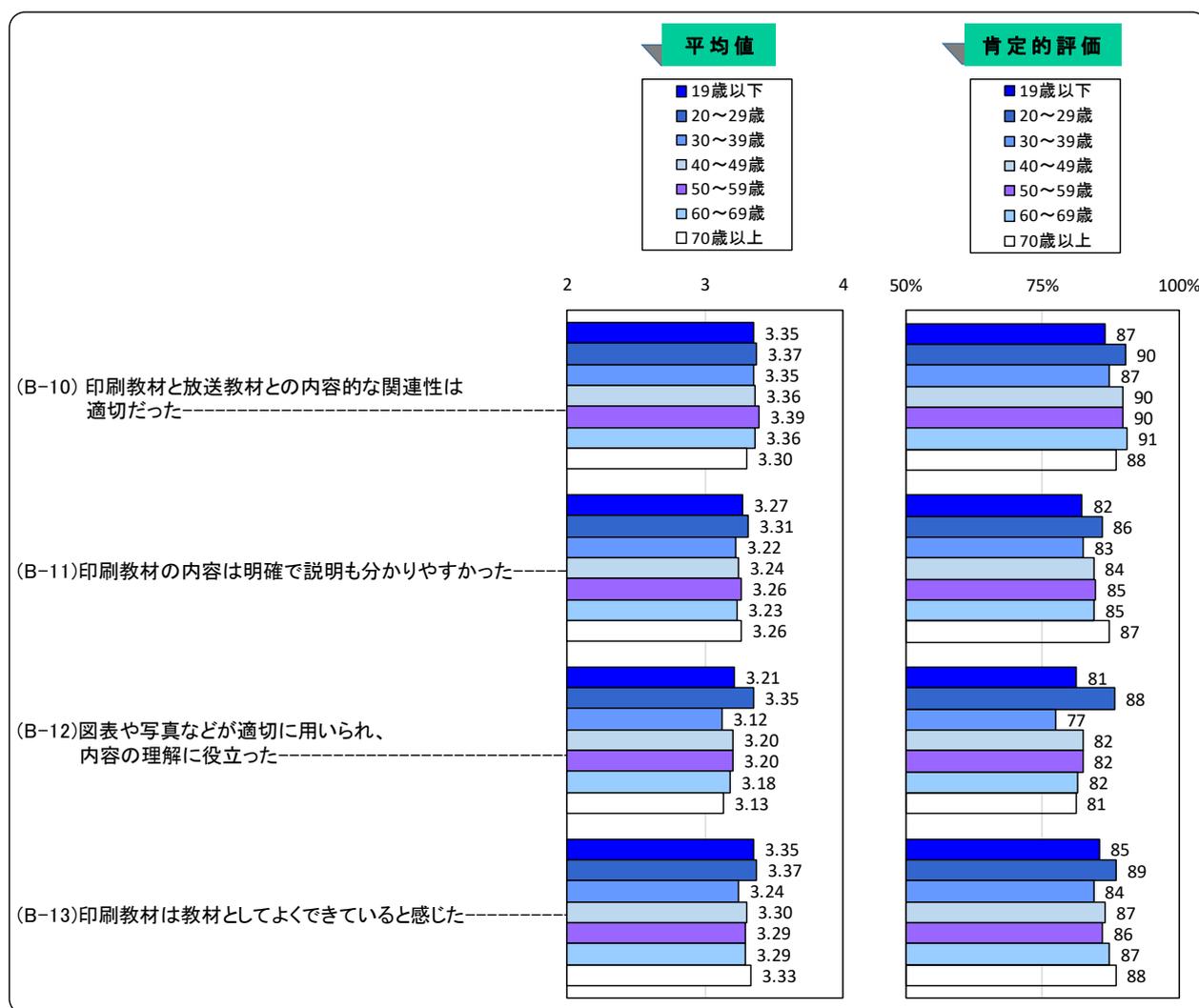
図2-40 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-41）、20歳代の評価が高く、上位1位か2位で、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では88%と、他の年代から群を抜いていた。

反対に評価が低かったのは、19歳以下と30歳代で、全ての項目において、下位1,2位となっていた。

図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



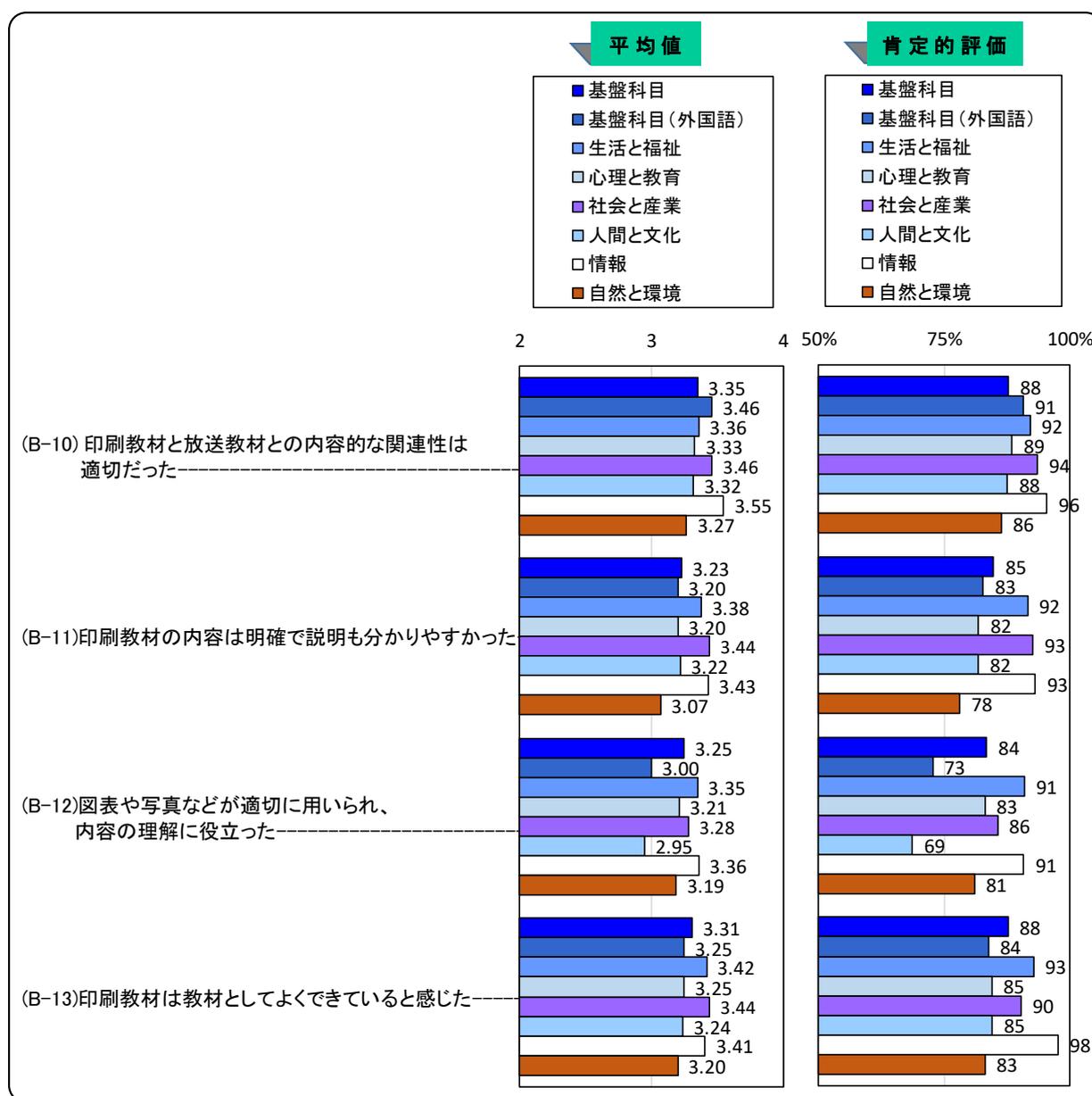
所属コース別に印刷教材の評価を見ると(図2-42)、「情報」が、全ての項目で90%以上の評価で、特に(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」と(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、「生活と福祉」と共に際立っていた。

(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」については、「社会と産業」の評価も高かった。

反対に評価が低かったのは、「自然と環境」で、(B-12)を除く項目で最も評価が低かった。

(B-12)で最も評価が低かったのは、「人間と文化」(69%)で唯一70%を下回っていた。

図2-42【学部】所属コース別の印刷教材の評価

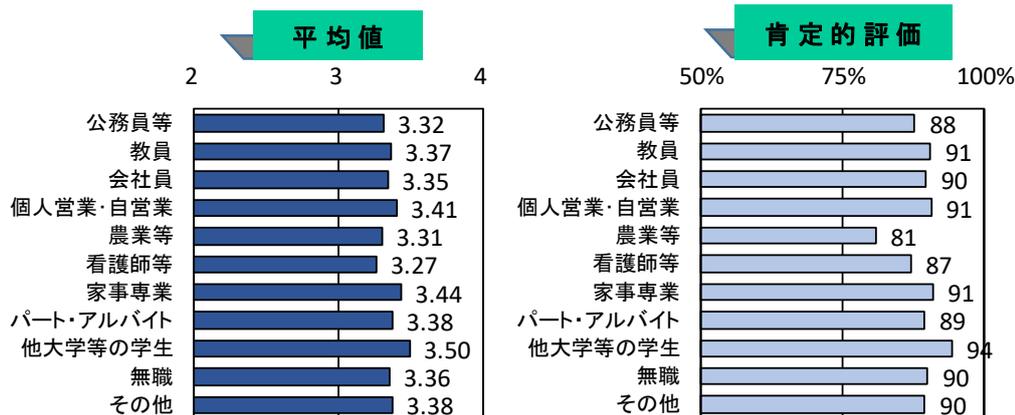


職業別の印刷教材の評価（次頁図 2 - 4 3）で、特徴的であったのは、「家事専業」の評価が高く、(B-10)以外は 1 位の評価で、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」も、トップの「他大学等の学生」(94%)の次に着けていた。

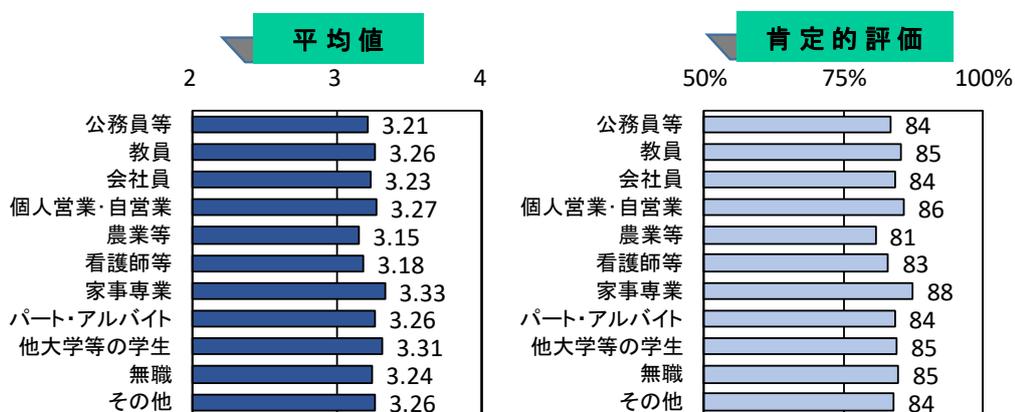
反対に評価が低かったのは「農業等」で、全項目で最も評価が低く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」と(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、77%と、唯一の 70%代であった。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価

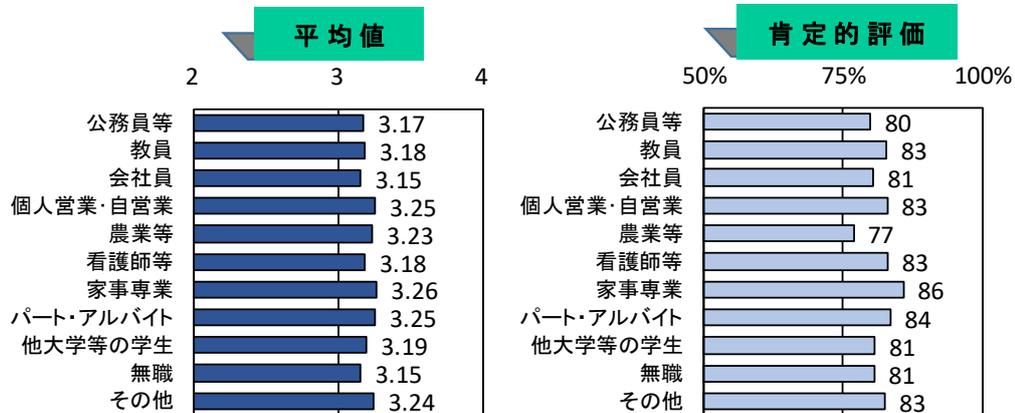
(B-10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



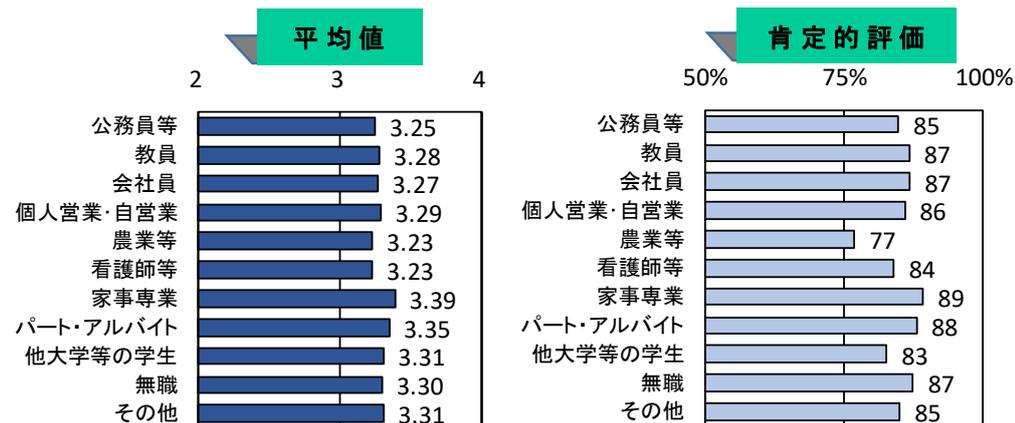
(B-11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた

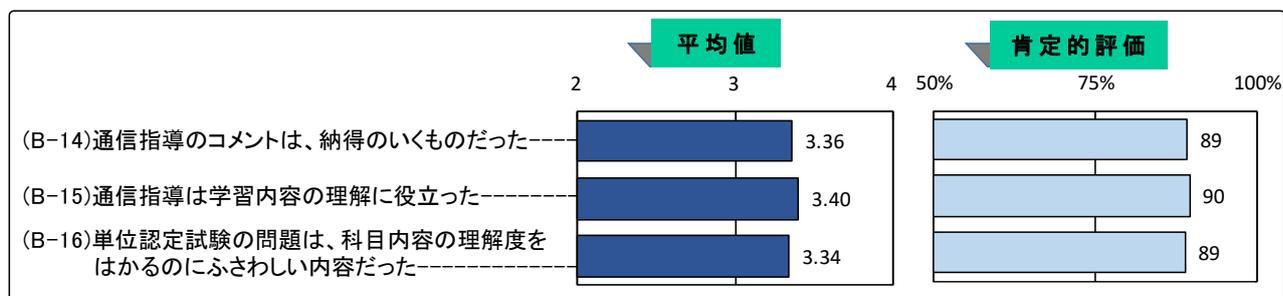


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

通信指導・単位認定試験については（図2-44）、全ての項目で89～90%で、同水準あった。

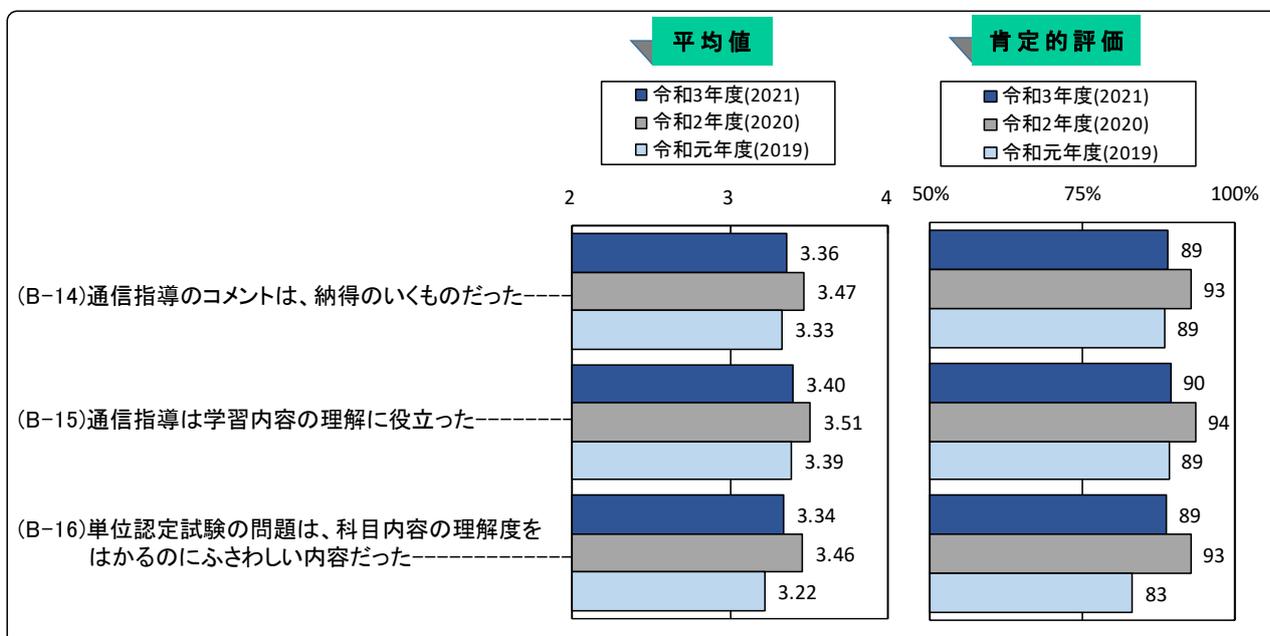
図2-44 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図2-45）、本年度は、全ての項目で、昨年度から4ポイントの減少であった。

一昨年度と比べると、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は、6ポイントのプラスであった。

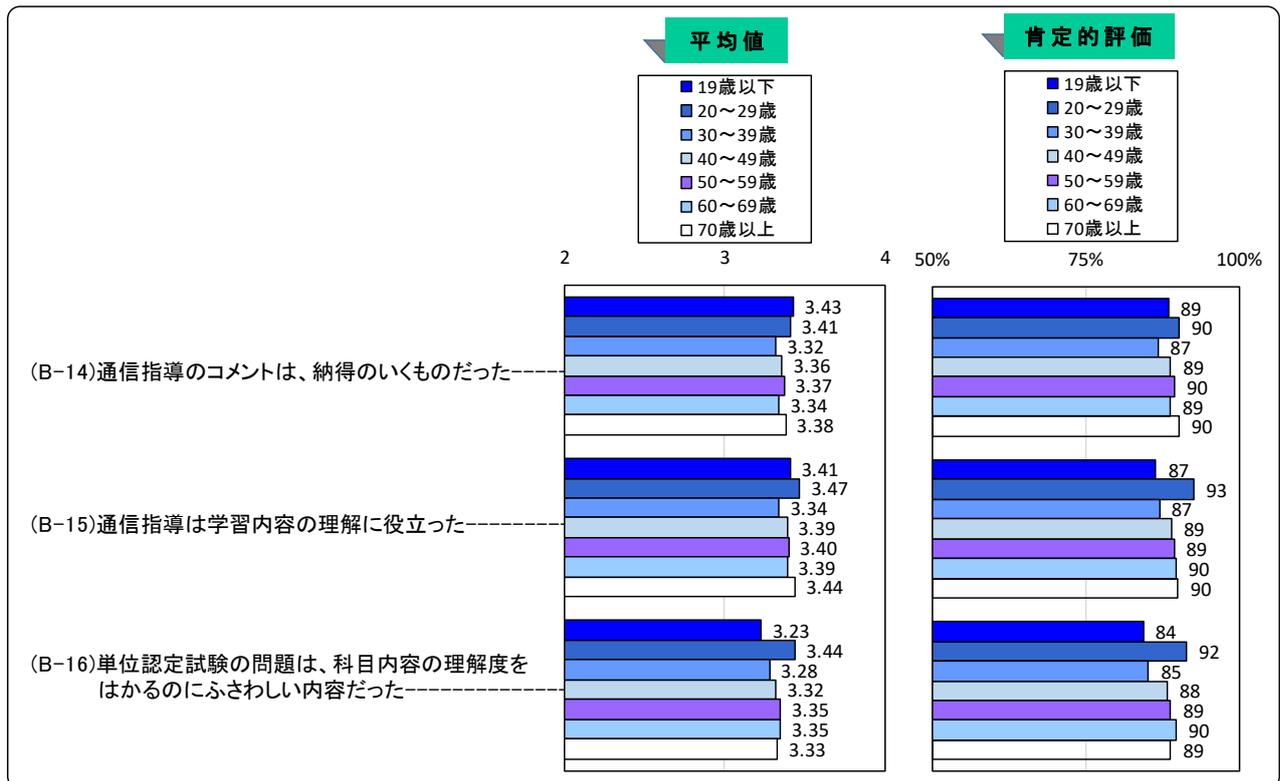
図2-45 【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



年齢階層別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、30歳代が87%とやや低く、それ以外は89～90%で、一様の評価であった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」については、20歳代が92～93%で、最も高く、19歳以下と30歳代は評価が低かった。

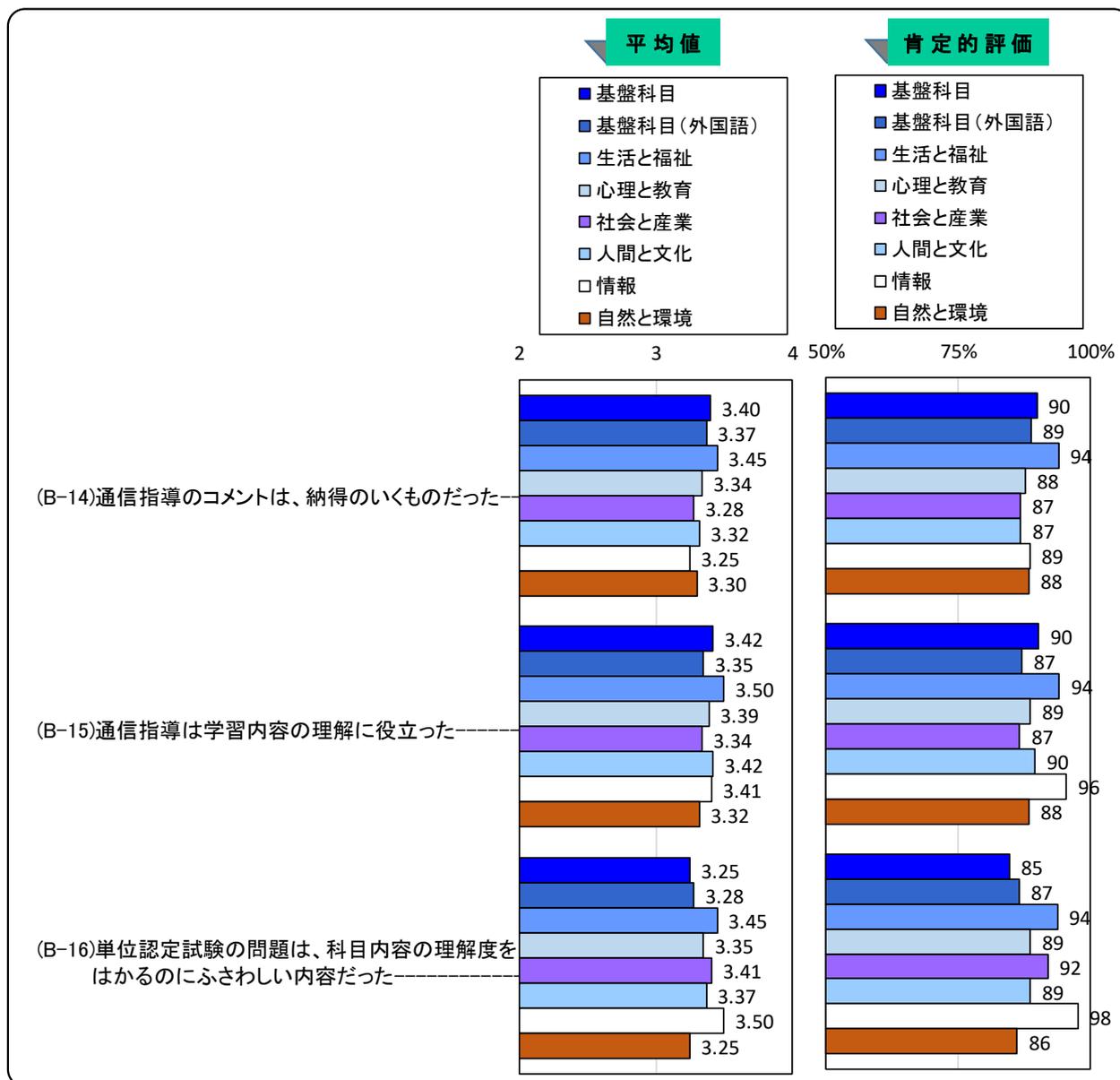
図2-46 【学部】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-47）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「生活と福祉」が94%と最も高く、それ以外の所属コースは、87～90%で、大差は無かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は、「生活と福祉」と「情報」の評価が高く、それ以外の所属コースと比べ目立っていた。

図2-47 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



職業別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-48）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「家事専業」（93%）と「教員」（91%）が90%超えで評価が高く、反対に「他大学等の学生」が83%と低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、やはり「家事専業」の評価が93%と最も高く、次いで「看護師等」「パート・アルバイト」が91%で続いた。

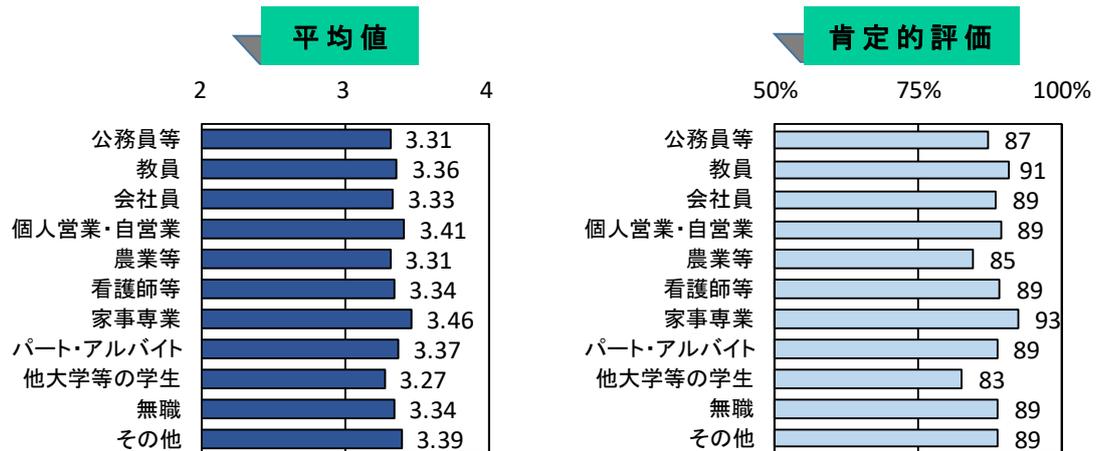
最も評価が低かったのは、前項目と同じく「他大学等の学生」で、79%と極端な評価であった。

(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は前2項目と同様、「家事専業」が92%と最も高く、他に「教員」（91%）が90%を超えていた。

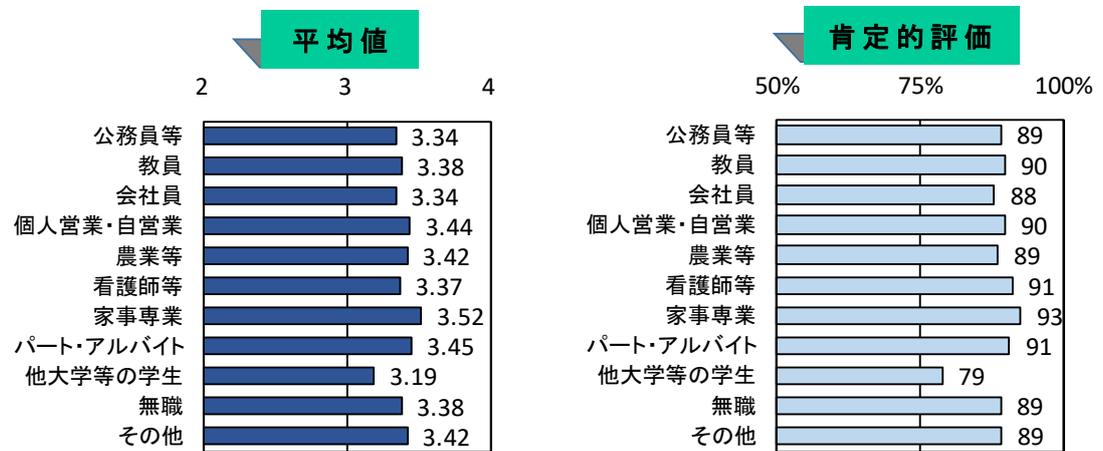
反対に評価が低かったのは「農業等」（77%）で、他の所属コースより10ポイント以上の差が見られた。

図 2 - 4 8 【学部】職業別の通信指導・単位認定試験の評価

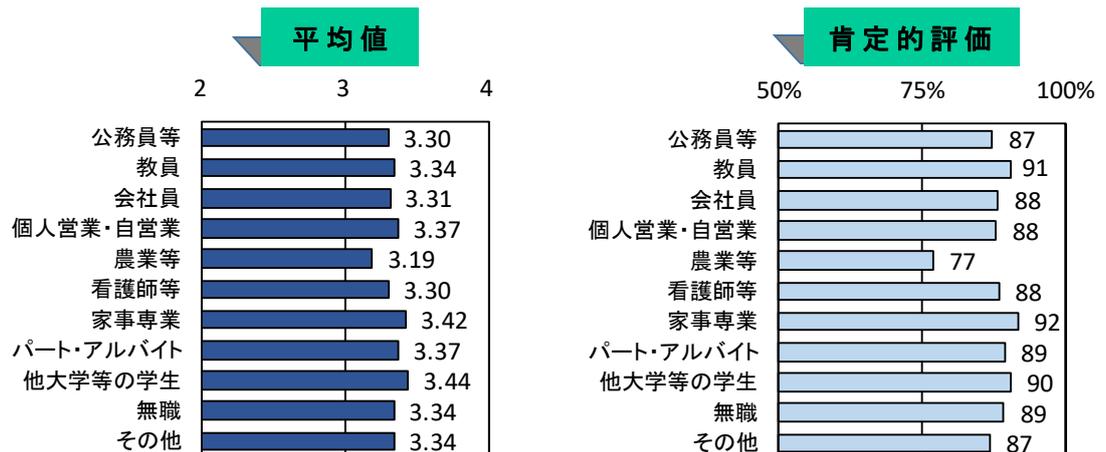
(B-14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった



(B-15) 通信指導は学習内容の理解に役立つ



(B-16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった



Ⅱ-1-4. 学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-20：全 20 問（項目）
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ （説明変数が全 20 問の場合）

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっていたが、本年度は重回帰分析で得られた、相関行列（目的変数と説明変数間の単相関係数）と標準偏回帰係数の間に、分析の最終目的に影響するような矛盾が見られなかった為、説明変数の増減法は用いずに、全項目で分析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した、全有効回答者、7783 人のローデータを使用した。

その結果は以下の通りとなった。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力（寄与度）があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.763 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいは、データ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 1.991 であった。

以上の結果から、本分析は問題のない事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.764
自由度修正済み決定係数	0.763
ダーヴィンワトソン比	1.991
残差の標準偏差	0.389

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1% である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	4969.502	7782				
回帰による変動	3796.874	20	189.844	1256.636	0.000	[**]
回帰からの残差変動	1172.628	7762	0.151			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは B-18(0.271)、次いで B-20(0.238)、他に B-19 (0.127)、B-13 (0.081) と続いた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-14 (0.020) を基準に、他の項目がその何倍となるか算出してみた。(表中の右端の数値) その結果、高い順に B-18:13.8 倍、B-20:12.2 倍、B-19:6.5 倍、B-13:4.2 倍となった。

この結果を踏まえ、今後、「全体の満足度」(本年度の肯定的評価 87%) を上げるためには、上位 2 項目「B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、「B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」が突出しており、この 2 項目の肯定的評価を上げる事が、効果的であると考えられる。

この 2 項目の肯定的評価について見てみると、B-18:88%、B-20:84% で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-14との対比
B-21.全体の満足度	0.271	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	13.8
	0.238	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]	12.2
	0.127	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	6.5
	0.081	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	4.2
	0.070	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[**]	3.6
	0.063	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]	3.2
	0.045	B-17 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[**]	2.3
	0.044	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	[**]	2.3
	0.043	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[**]	2.2
	0.036	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]	1.8
	0.020	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	[*]	1.0
	定数項		[**]	

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図 2－49）した。

学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%と）イメージしやすく、下図、平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、新規開設科目の年度比較は、比率の差の検定結果から、大学院は、学部ほど回答者数が多くないため（2021 年度：412 人、2020 年度：223 人、2019 年度：350 人）、本年度と昨年度の比較では概ね 6 ポイントの差で有意となったため、6 ポイント以上で差があることとした。

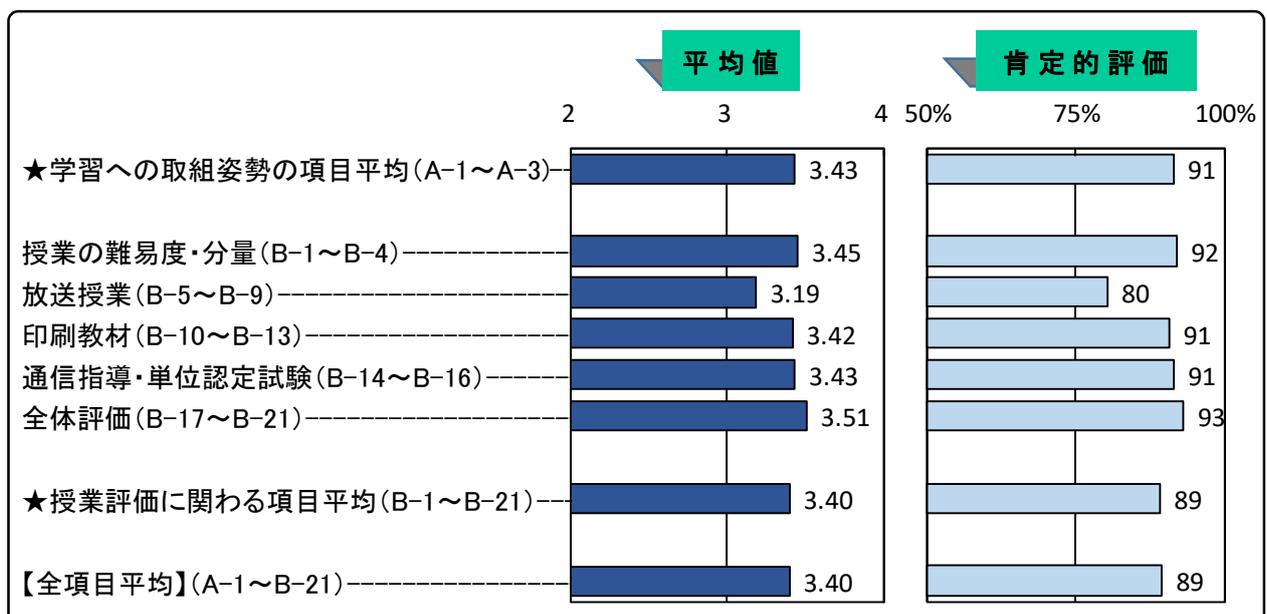
更に、回答者数が小サンプルの場合、%表記にすると、誤差が大きくなるため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。

年齢階層別の「20～29 歳」（6 人）、所属プログラム別の「自然環境科学」（7 人）、職業別の「看護師等」（17 人）、「家事専業」（13 人）が挙げられる。（「農業等」と「他大学等の学生」は一人もいなかった。）

項目平均による全体的傾向をみると（図 2－49）、『放送授業』が 80%と他の項目と比べ極めて低かった。

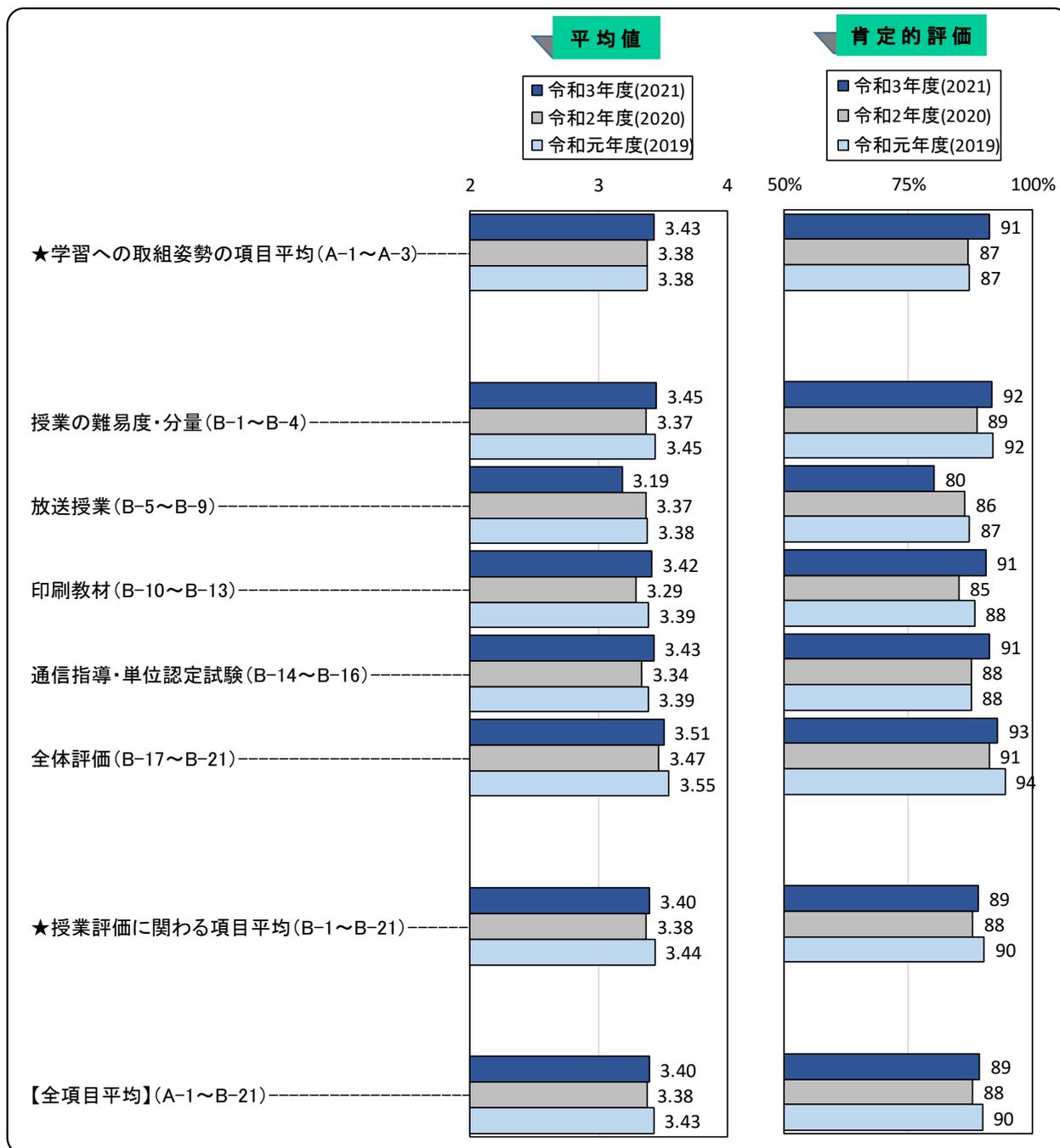
それ以外の項目は 90%前後で、中でも『全体評価』が 93%と最も高かった。

図 2－49 【大学院】 項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較して見ると(図2-48)、本年度は昨年度と比べ『放送授業』がマイナス6ポイントと大きく減少していたが、それ以外の項目については増加が見られ、中でも『印刷教材』が6ポイント増の91%となっていた。

図2-48【大学院】項目平均による全体的傾向(開設年度比較)



※放送授業(B-5~B-9)の質問項目については、入れ替えが行われた。

追加された項目: B-8【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった
B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった

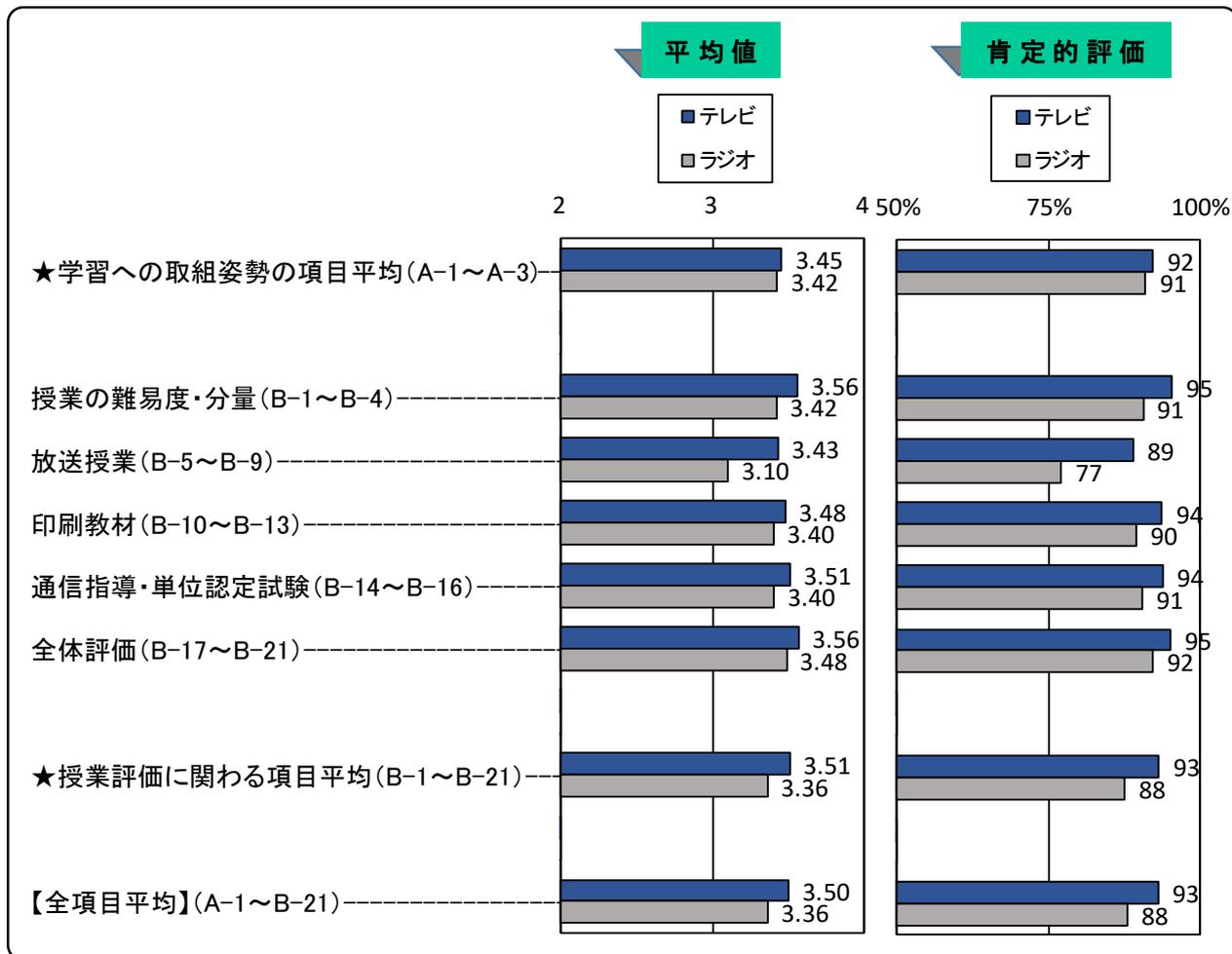
削除された項目: 講師の熱意が十分に伝わった

従って、放送授業(B-5~B-9)の質問項目の年度比較については、留意されたい。

メディア別では（図2-49）、『学習への取り組み姿勢』については、両メディアが91、92%で同じレベルであったが、『授業の難易度・分量』から『全体評価』を見てみると、いずれもテレビ科目の方が高い評価で、特に『放送授業』のテレビ科目（89%）とラジオ科目（77%）の差は12ポイントと、大きかった。

これに伴いテレビ科目の『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』が93%に対して、ラジオ科目が両項目とも88%と、その差を広げる結果となった。

図2-49 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向



年齢階層別では（図2-52）、『学習への取組み姿勢』は、30歳代が85%と、他の年代より6ポイント以上のマイナスで、それ以外は92%前後で、同レベルであった。

『授業の難易度・分量』については、60歳代と70歳以上が94%で評価が高く、他の年代は90,91%の評価であった。

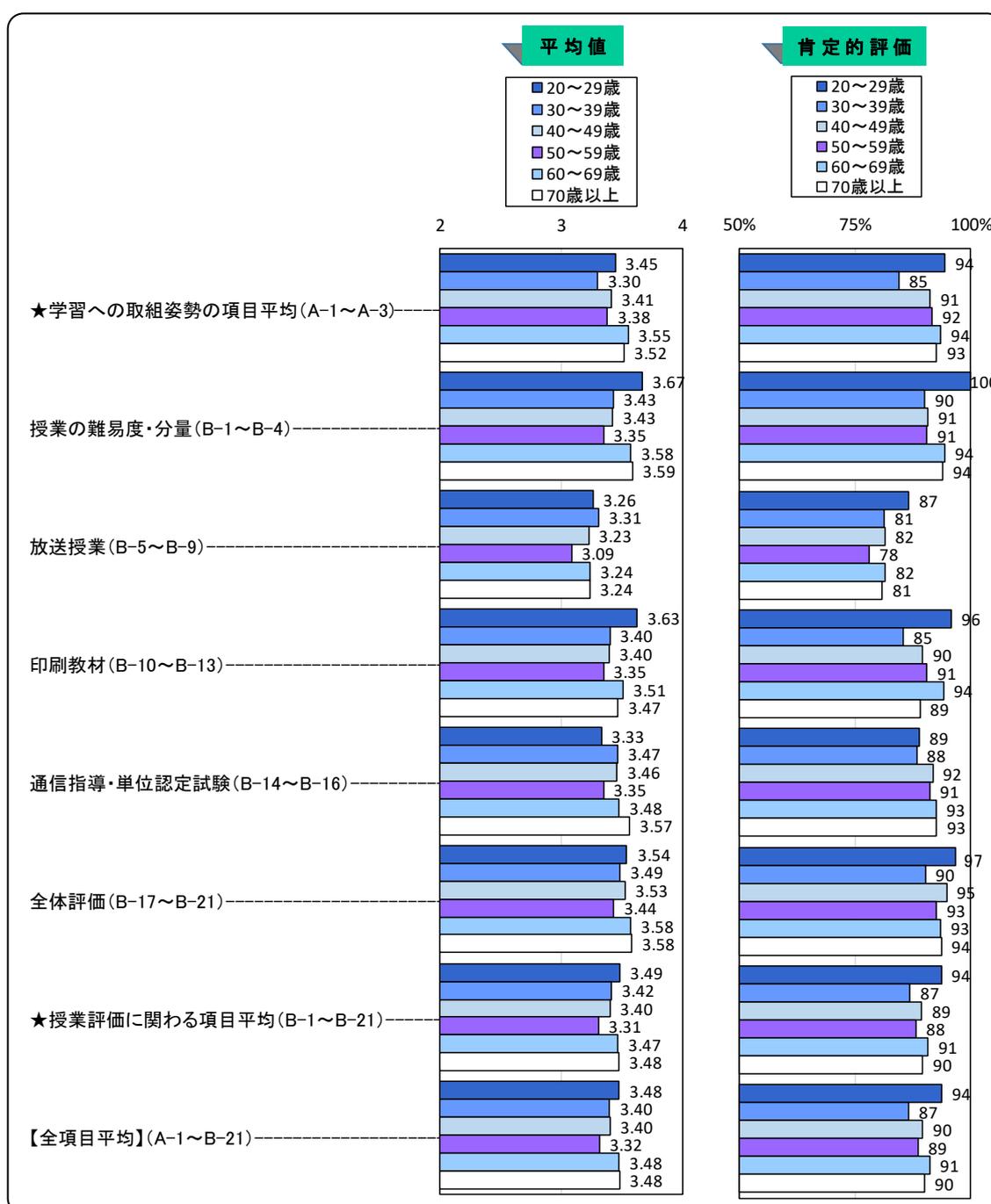
『放送授業』は50歳代が78%と最も低く、80%代に届かなかった。

『印刷教材』は60歳代が94%と最も高く、30歳代が85%と最も低かった。

『通信指導・単位認定試験』から『全項目平均』までは、30歳代が87~90%で、最も低く、それ以外は、年代間にほとんど差は無かった。

※「20~29歳」は回答者が6人と少人数で、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-52 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



所属プログラム別に項目平均を見ると（次頁図2-53）、『学習への取り組み姿勢』は「人間発達科学」が97%と最も高く、他の所属プログラムより、プラス6ポイント以上であった。

次の『授業の難易度・分量』は、「生活健康科学」と「人文学」の評価が高く、反対に「臨床心理学」が9割に届かず、評価が低かった。

『放送授業』は80%前後、『通信指導・単位認定試験』は92%前後で、どの所属プログラムも同じレベルであった。

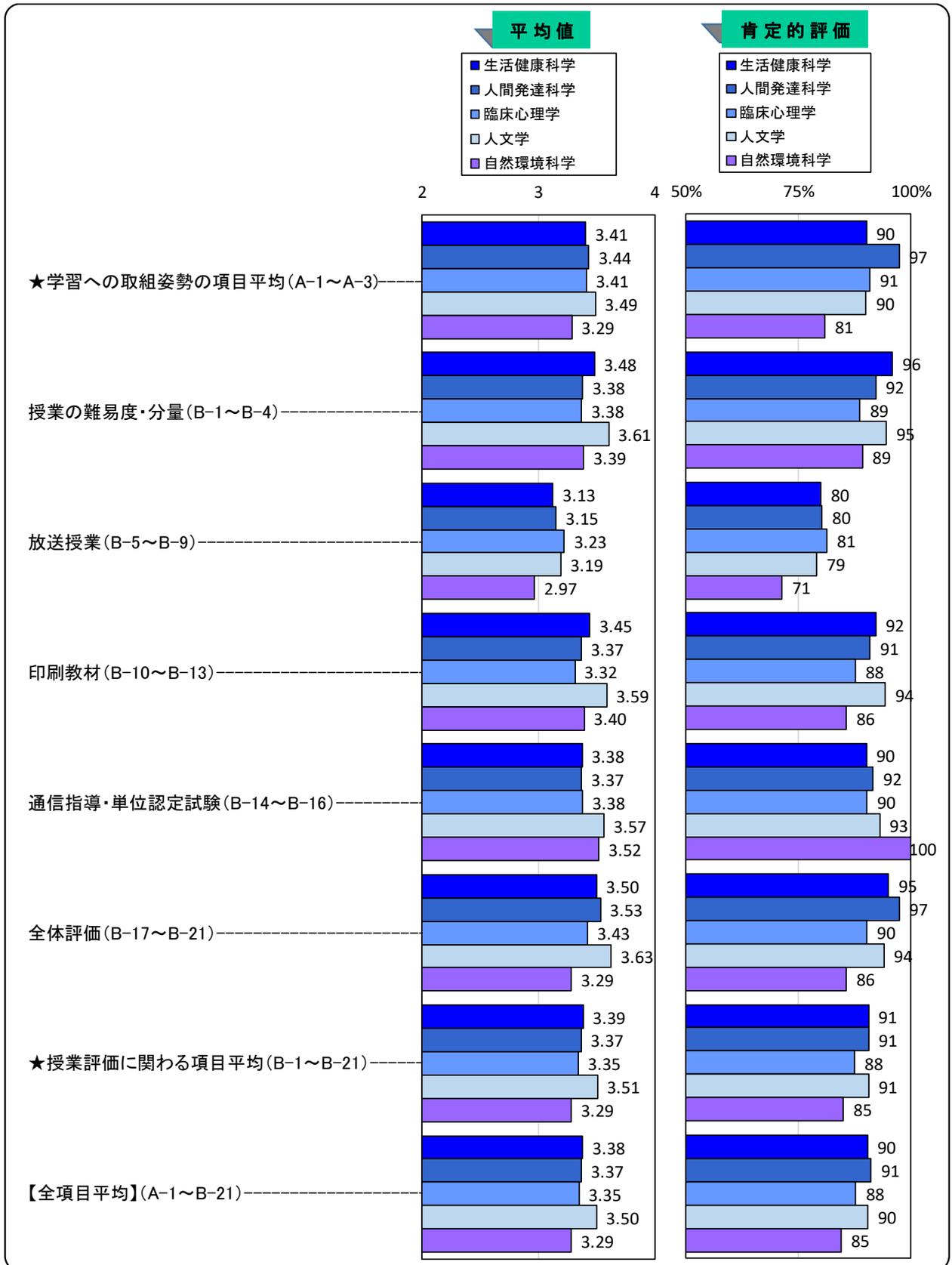
『印刷教材』については、「人文学」が94%と高い評価で、「臨床心理学」が88%と評価が低かった。

『全体評価』では、「人間発達科学」（97%）が高く、「臨床心理学」（90%）が低かった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』は、「臨床心理学」の評価が共に88%と最も低く、それ以外の所属コースはいずれも90%前後で、同レベルであった。

※「自然環境科学」は回答者が7人と少人数で、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図 2 - 5 3 【大学院】 項目平均による所属プログラム別全体の傾向

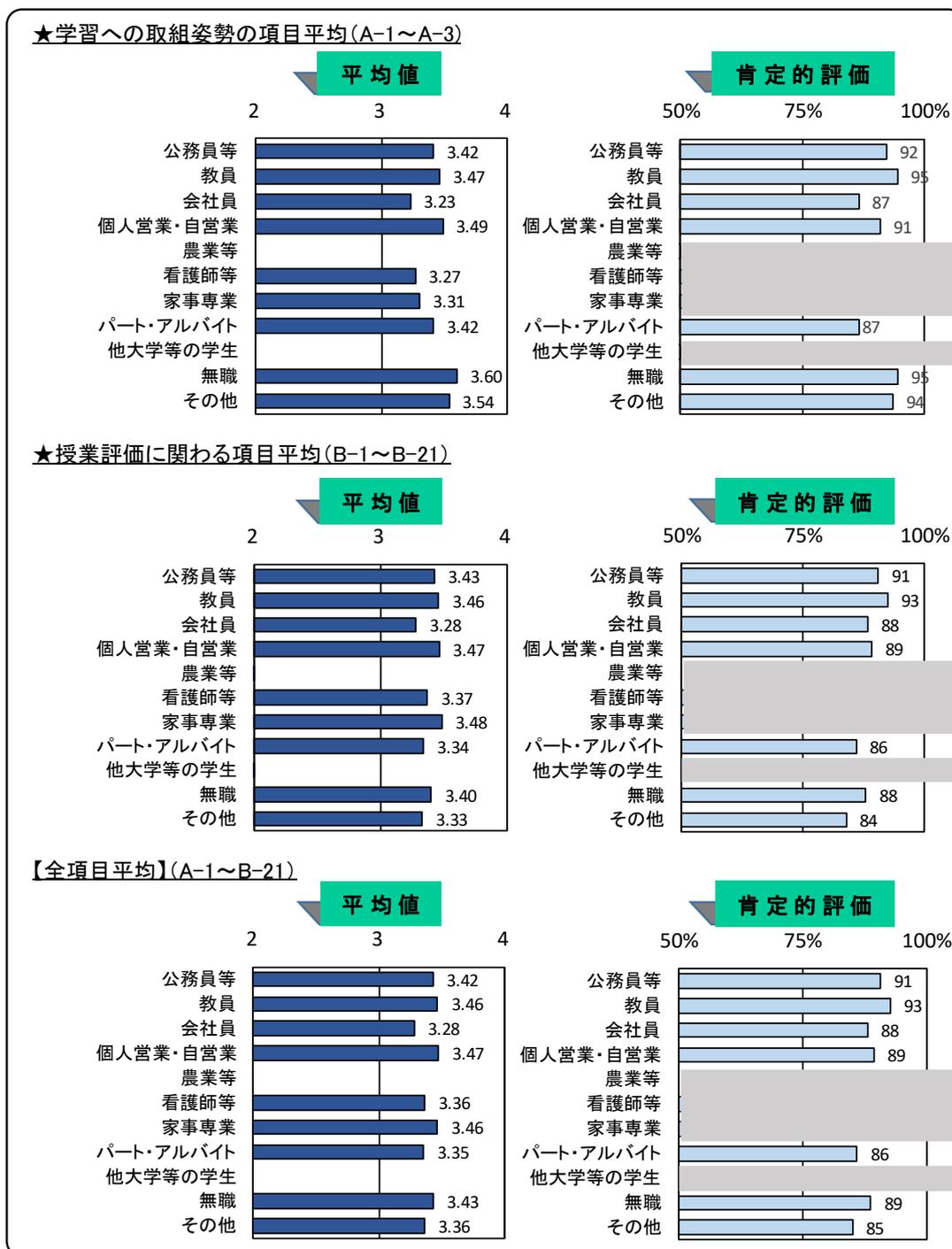


職業別では（図2-54）、『学習への取り組み姿勢』は「教員」「無職」「その他」が94、95%で評価が高く、「会社員」「パート・アルバイト」が87%と評価が低かった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』では、「教員」が両項目とも93%と、評価が高く、「パート・アルバイト」「その他」が、85%前後と、評価が低かった。

※「農業等」と「他大学等の学生」は一人もおらず、「看護師等」（17人）と「家事専業」（13人）は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-54【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

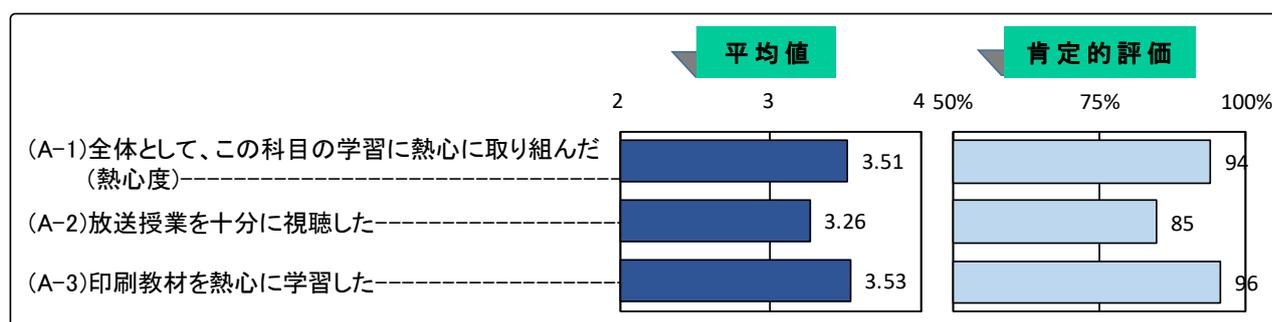


Ⅱ-2-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

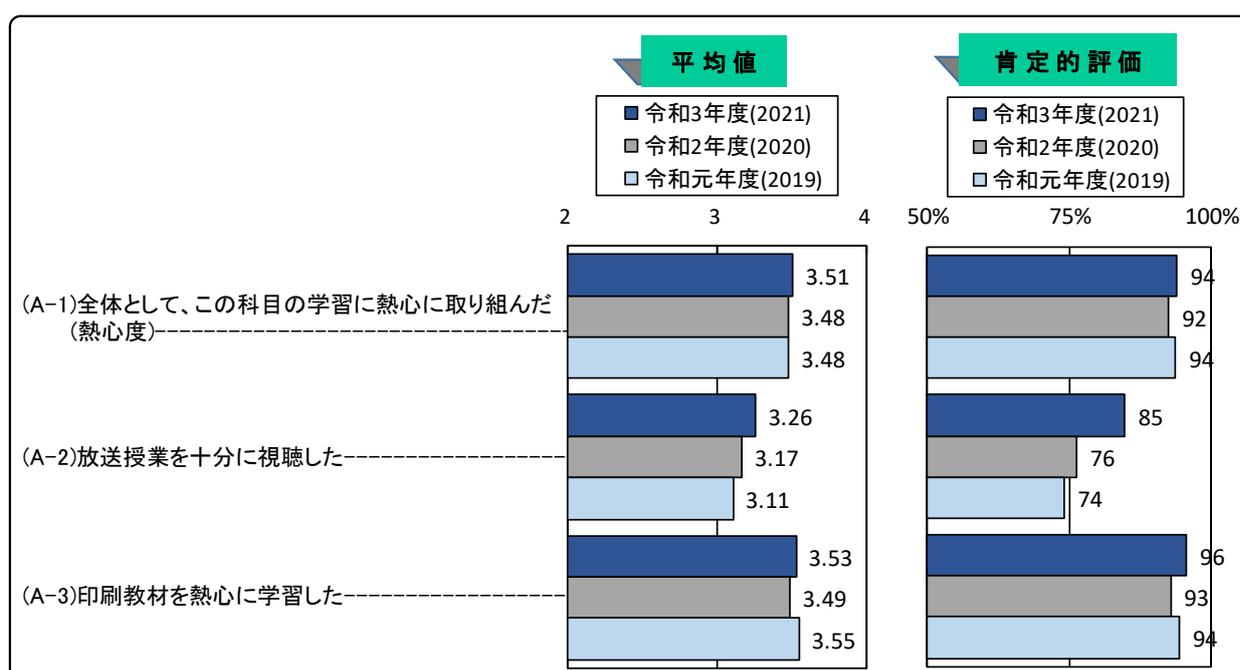
『学習への取組み姿勢』（図2-55）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は95%前後に達していたが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は85%と、前述の2項目に比べると約10ポイント下回っていた。

図2-55 【大学院】回答者全体の取組姿勢



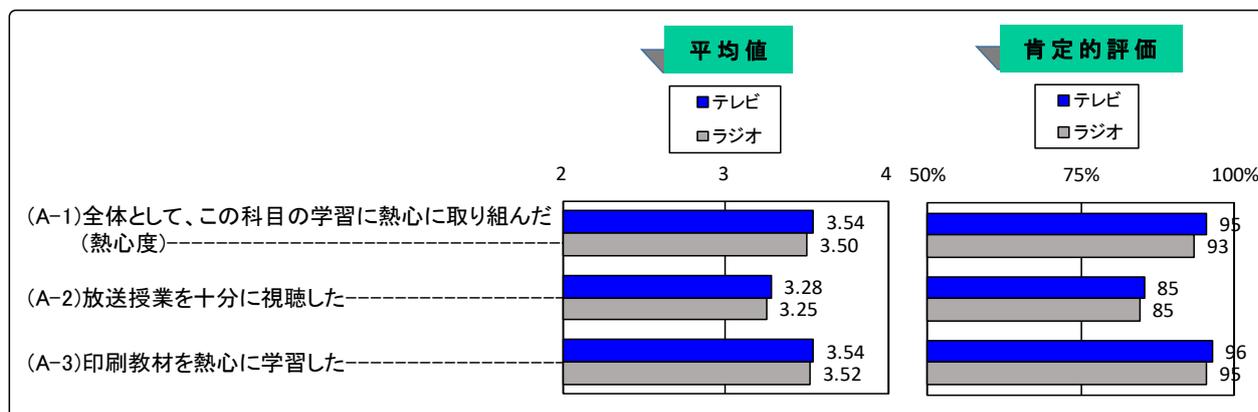
『学習への取組み姿勢』を時系列で見ると（図2-56）、本年度の評価は昨年度と比べ、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、わずかな上昇であったが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については、9ポイントの大幅な上昇が見られた。

図2-56 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-57）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、テレビ科目がわずかに比率は高いが同じ水準で、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」も変わりはない。

図2-57 【大学院】メディア別の取組姿勢



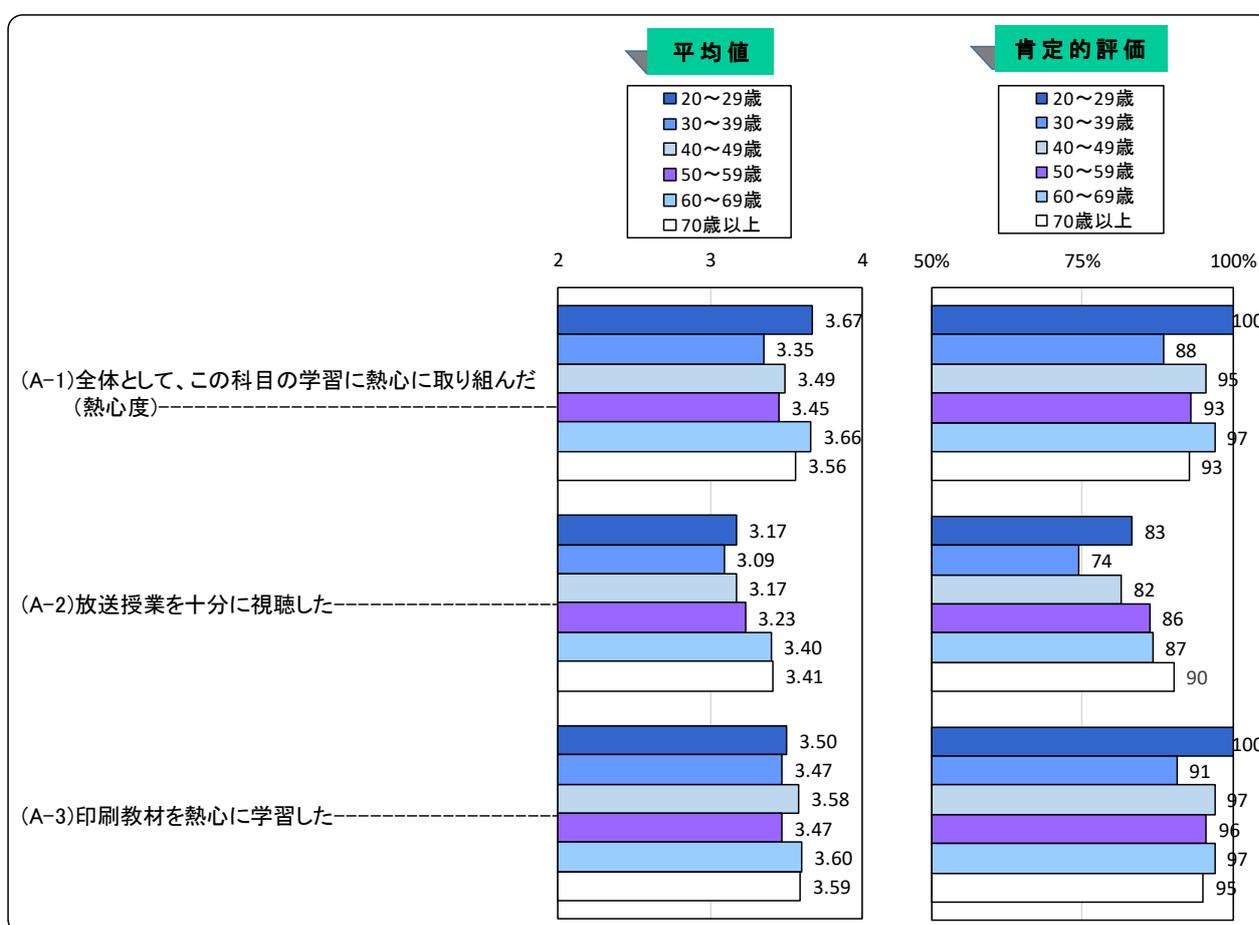
年齢階層別では（図 2 - 5 8）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、60 歳代が 97%と熱心度が高く、次いで 40 歳代が 95%で続いていた。

反対に熱心度が低かったのは、30 歳代で、88%と 9 割に達していなかった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、70 歳以上が 90%と高く、反対に 30 歳代は 74%と極めて低く、他の年代より 8 ポイント以上上下回っていた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、前の 2 項目同様、30 歳代（91%）の評価が低く、それ以外の年代は、96%前後で同レベルであった。

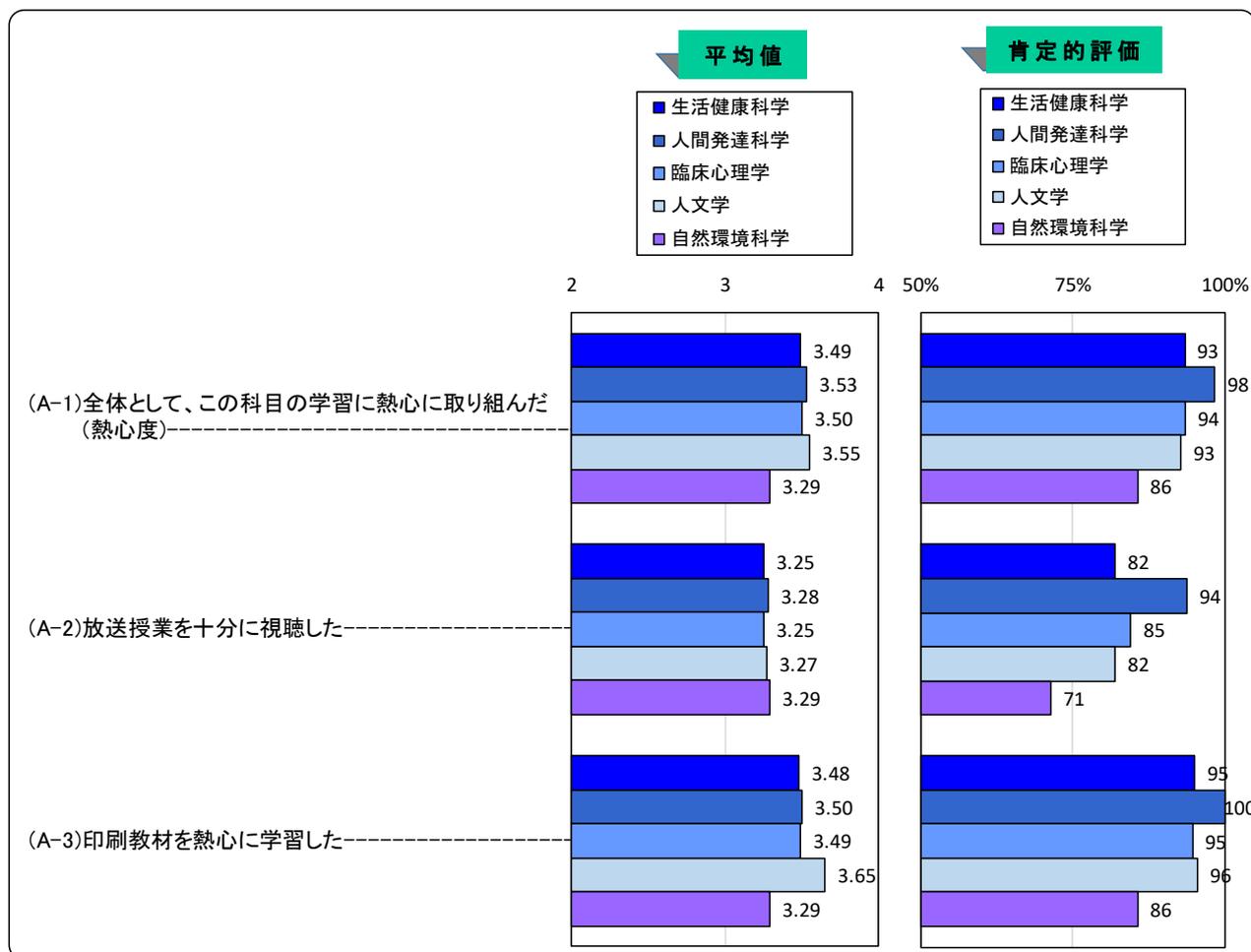
図 2 - 5 8 【大学院】年齢階層別の取組姿勢



所属プログラム別の取り組み姿勢（図2-59）では、全ての項目で「人間発達科学」の積極性が高く、特に(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では、100%と非常に高かった。

プログラム間の差では、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」の「人間発達科学」(94%)が、他のプログラムを9ポイント以上上回り、際立っていた。

図2-59 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



職業別の取組姿勢は（図2-60）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では、「その他」が98%と最も高く、「無職」（87%）がこれに続いていた。

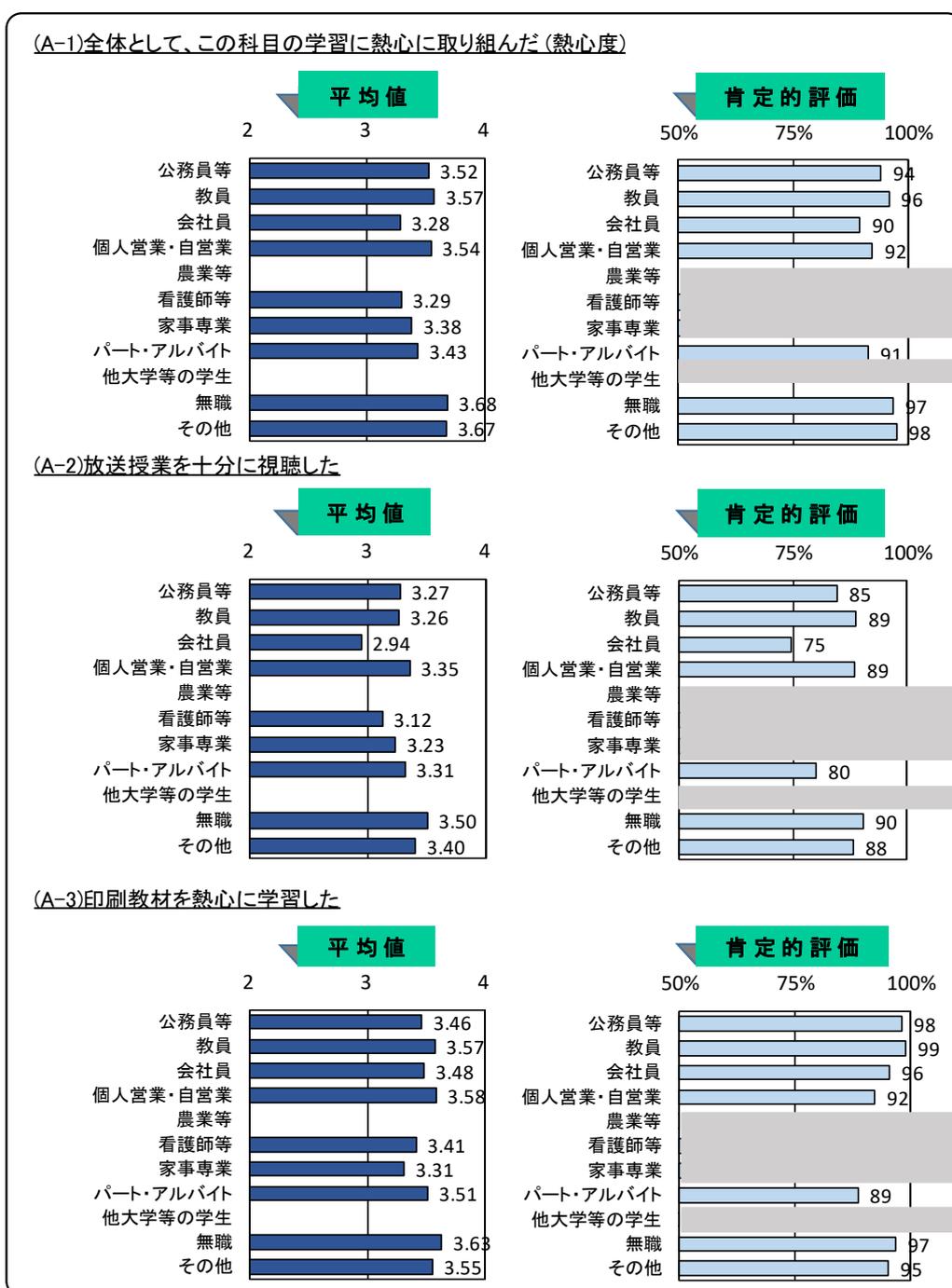
反対に「会社員」「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」が91%前後で低かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「無職」が90%と最も高く、次いで「教員」「個人営業・自営業」が89%で続いていた。

反対に「会社員」が75%と非常に低く、唯一70%代であった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、「公務員等」と「教員」が98、99%と極めて高く、反対に「パート・アルバイト」は、他の職業に比べ89%と低く、9割を割り込んでいた。

図2-60【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法(図2-61)では、属性別で回答者が17人以下と少ない、「20~29歳」「農業等」「看護師等」「家事専業」「他大学等の学生」「自然環境科学」の6属性については、グラフから除外した。

全体は、比率の高い順に「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が77%と、大半を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が19%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は、5%とごくわずかであった。

年齢階層別では、全体と比べ「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が、60歳代は、85%と高く、70歳以上は66%で、他の年代よりも低かった。

また、70歳以上は「ほとんど放送教材の学習だけ」が17%と、全属性の中で最も高かった。

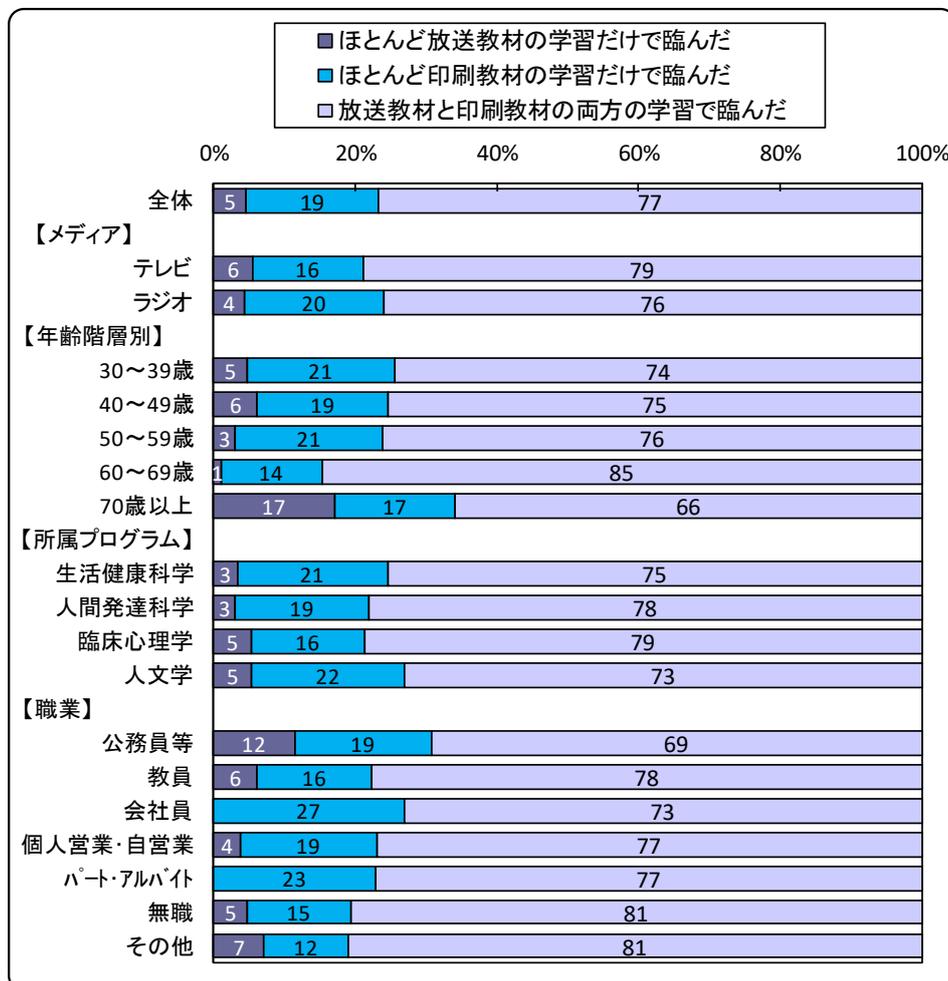
所属プログラム別は、全体の傾向とあまり変わらなかった。

職業別では、「公務員等」の「放送教材と印刷教材の両方」が69%と低く、「ほとんど放送教材の学習だけ」が12%で、全体と比べると高かった。

「会社員」は「ほとんど放送教材の学習だけ」が一人もなく、「ほとんど印刷教材の学習だけ」が27%と、どの属性よりも高く、特異な傾向が見られた。

「無職」と「その他」は、「放送教材と印刷教材の両方」が81%と、全体と比べ高かった。

図2-61【大学院】単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

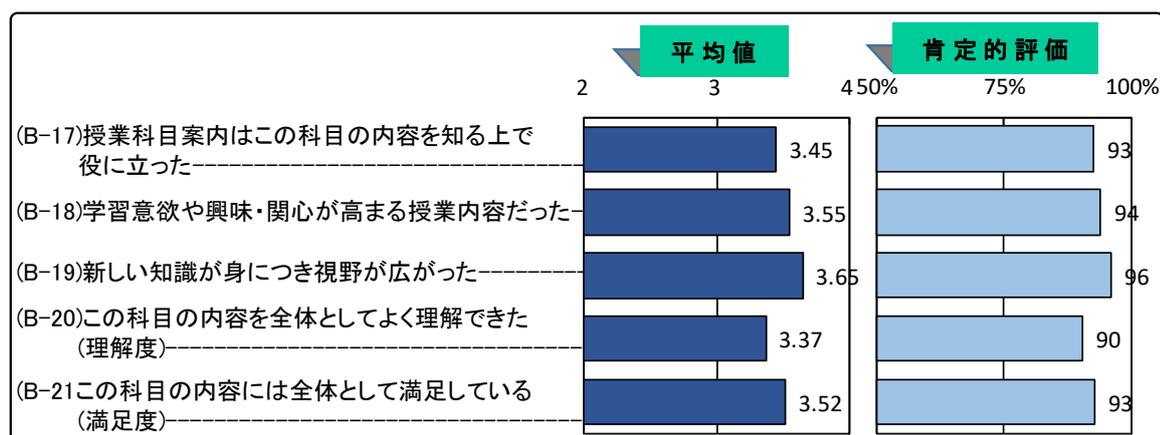
(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくことにする。

全体評価の項目では（図 2－6 2）、(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」(96%) が最も高く評価されていた。

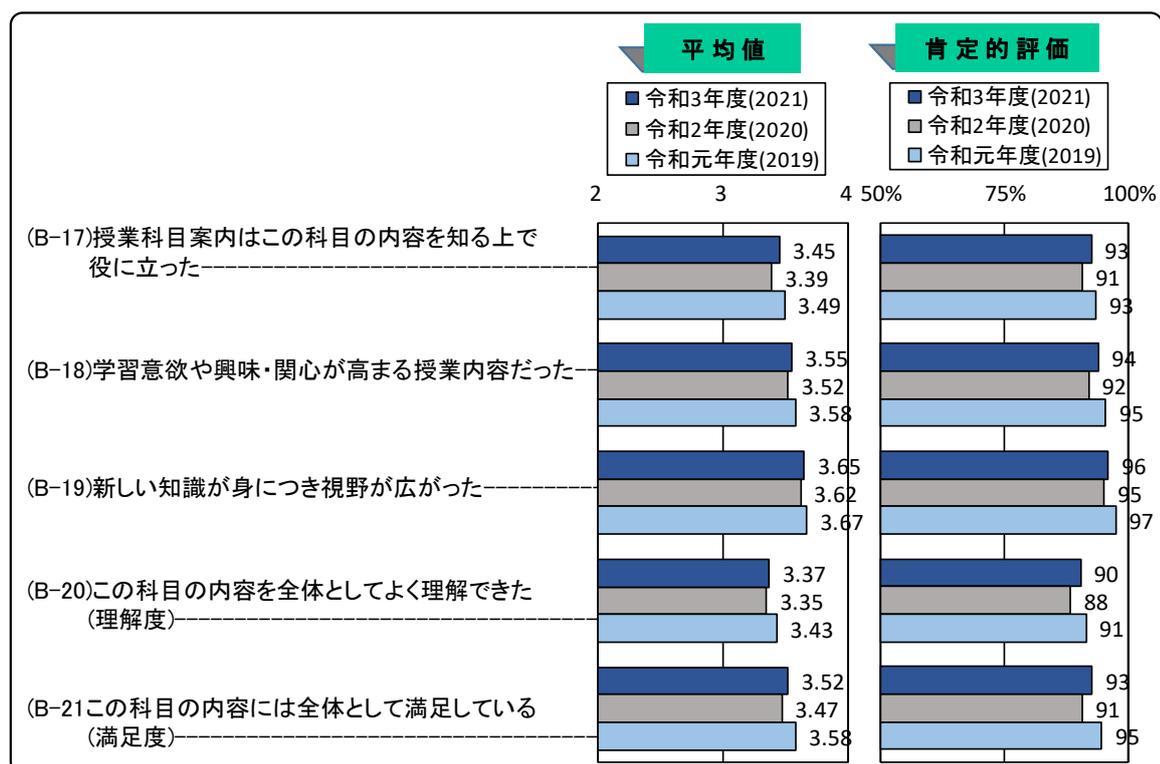
反対に (B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は 90%と、最も低く、それ以外の項目は、93, 94%であった。

図 2－6 2 【大学院】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図 2－6 3）、昨年度と比べ全ての項目で 1, 2 ポイントの上昇傾向が見られたが、一昨年度と比べると、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」以外は、わずかに下回っていた。

図 2－6 3 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）

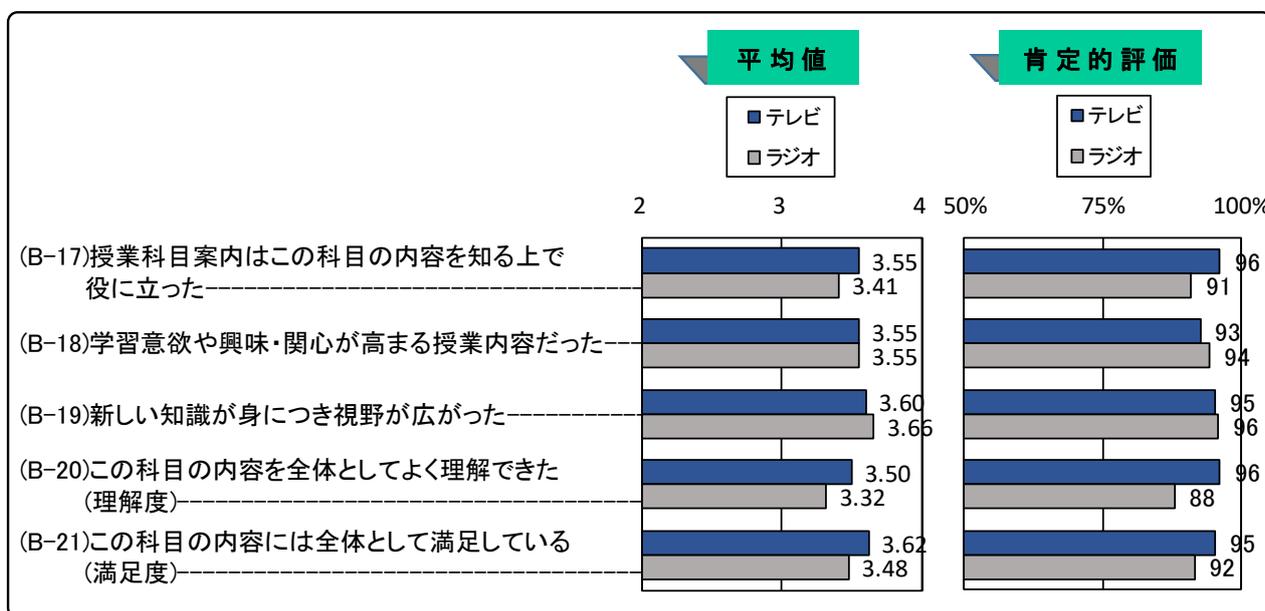


メディア別に全体評価を見ると（図2-64）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、テレビ科目の方が高い評価で、特に(B-20)はプラス8ポイントとラジオ科目との差が大きかった。

また、テレビ科目は、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」はわずかに低いですが、両メディアは同水準であった。

テレビ科目の中では、(B-17)と(B-20)が96%と評価が高く、(B-18)が93%で低かった。ラジオ科目では、(B-19)が96%で最も高く、(B-20)が88%で最も低かった。

図2-64 【大学院】メディア別の全体評価



年齢階層別では（図 2 - 6 5）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は 40 歳代が 97%と最も高く、30 歳代が 86%と目立って低かった。

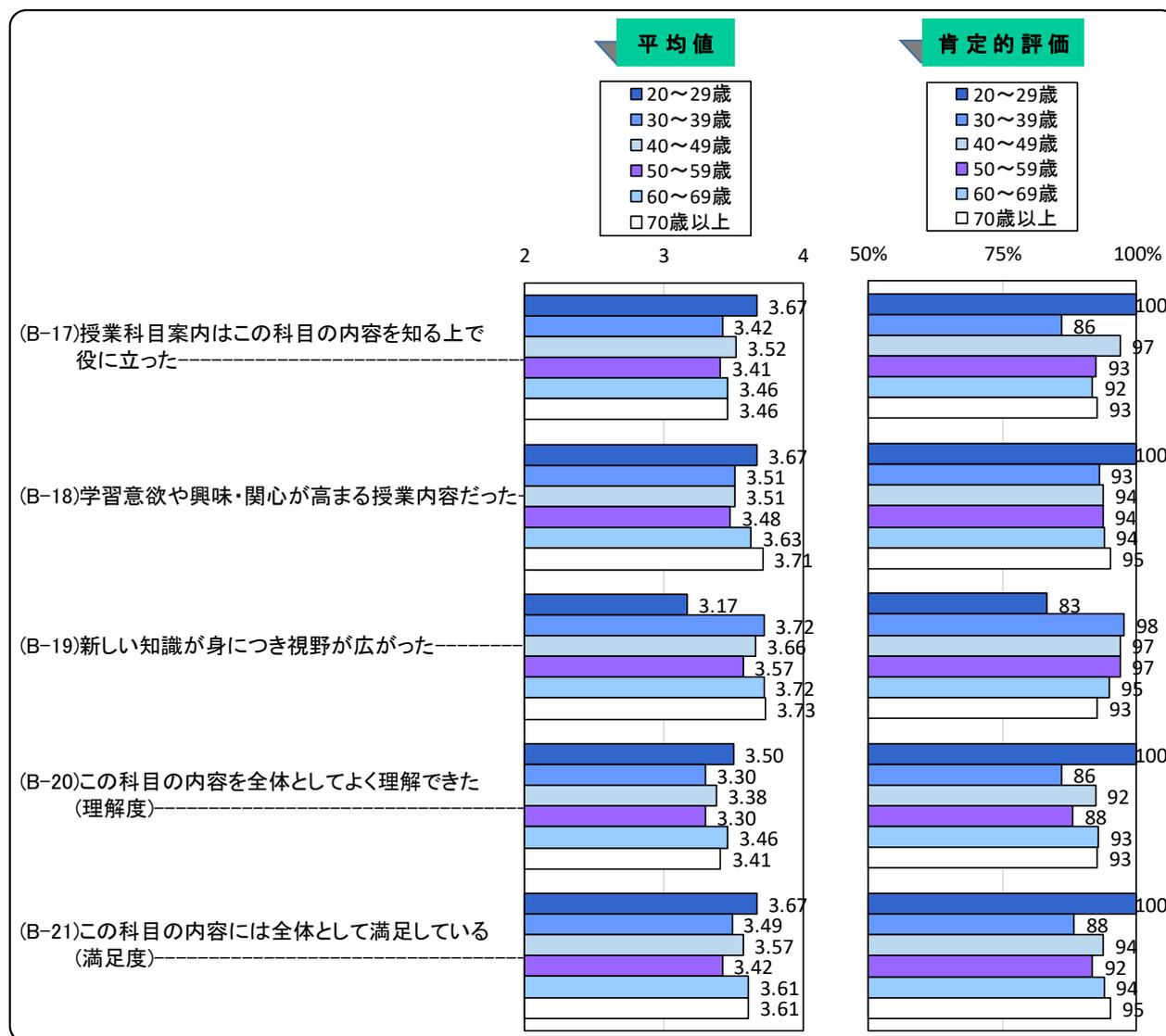
(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、全ての年代が 94%前後で、同等の高い評価であった。

(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、30 歳代が 98%と最も評価が高く、後は年代の上昇と共に、減少傾向であった。

(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」では、60 歳代と 70 歳以上が最も高く、93%、反対に 30 歳代が 86%で最も低かった。

(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、30 歳代（88%）の評価が低く、40 歳代以上は 92%～95%の評価であった。

図 2 - 6 5 【大学院】年齢階層別の全体評価



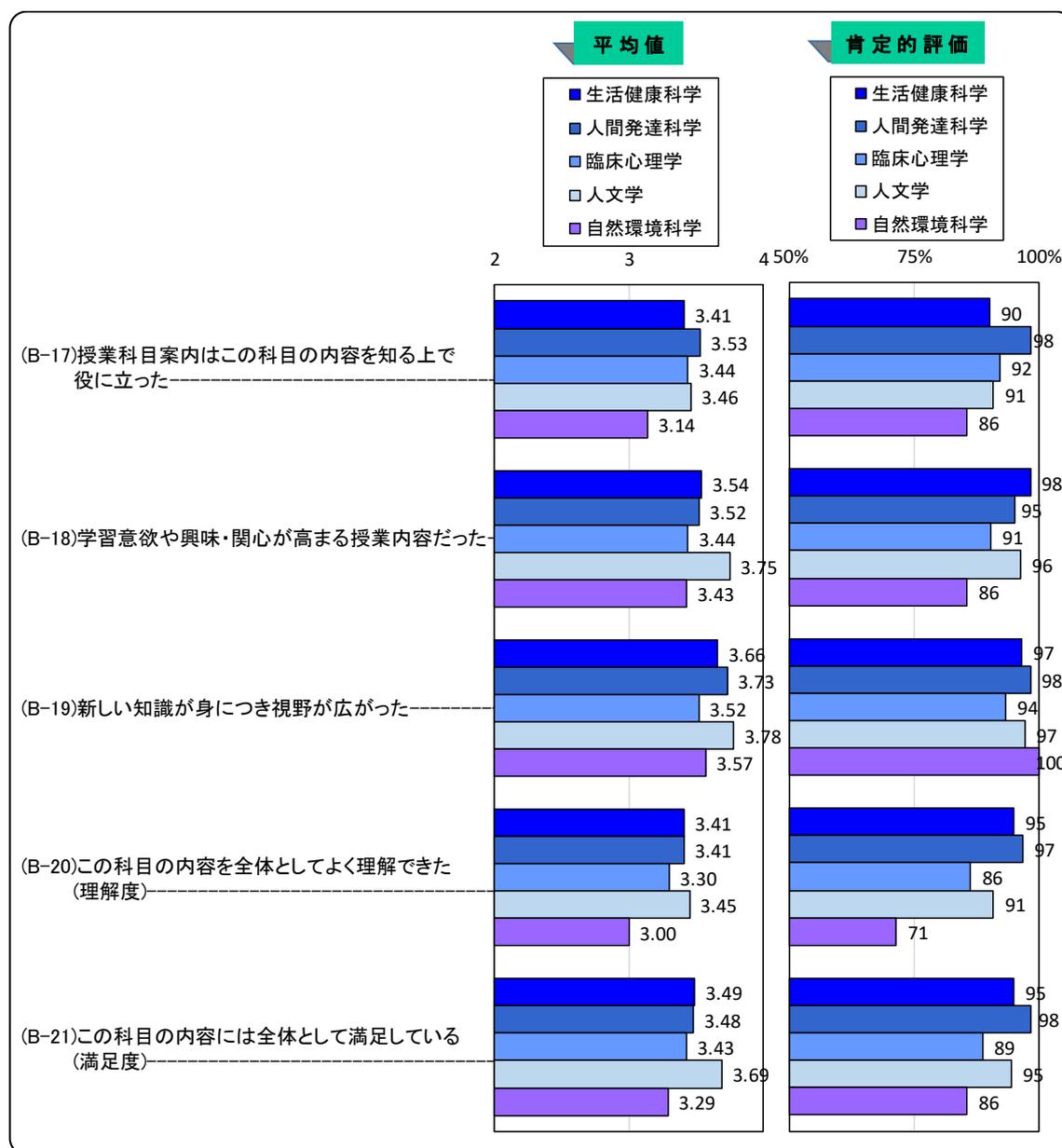
所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-66）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は、「人間発達科学」が98%と最も高く、他のプログラムは91%前後であった。

(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「生活健康科学」が98%と評価が高く、「臨床心理学」が91%と、他のプログラムと比べると評価が低かった。

(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、「生活健康科学」「人間発達科学」「人文学」が97, 98%と評価が高く、「臨床心理学」は94%と、他のプログラムと比べると評価が低かった。

(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、同じ傾向で「人間発達科学」が、97, 98%で最も評価が高く、「臨床心理学」が90%を下回り、評価が低かった。

図2-66【大学院】所属プログラム別の全体評価



職業別（次頁図 2 - 6 7）では、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は、「公務員等」の評価が 98%と最も高く、「無職」(87%)、「その他」(83%)の評価は 9 割に届かなかった。

(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「会社員」「その他」が 91%と評価が低く、その他の職業は、95%前後と一様の評価であった。

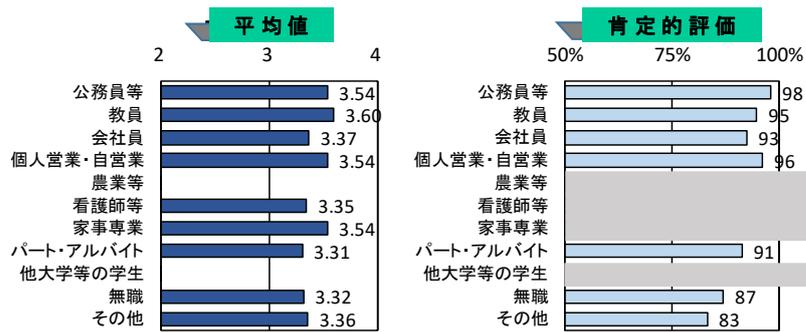
(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、「個人営業・自営業」が 100%と非常に評価が高く、「パート・アルバイト」「無職」は 91, 92%で評価が低かった。

(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については、「公務員等」と「教員」が 96%と最も高く、反対に「パート・アルバイト」と「その他」が 83%で、低い評価であった。

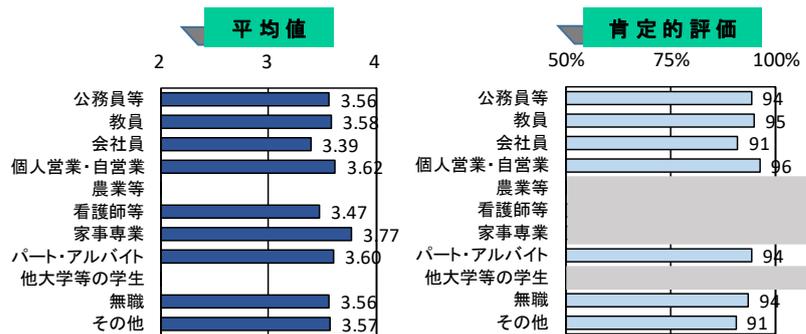
(B-21)では「教員」が 96%と、最も高く、「パート・アルバイト」と「その他」が 88, 89%で、9 割に達していなかった。

図 2 - 6 7 【大学院】職業別の全体評価

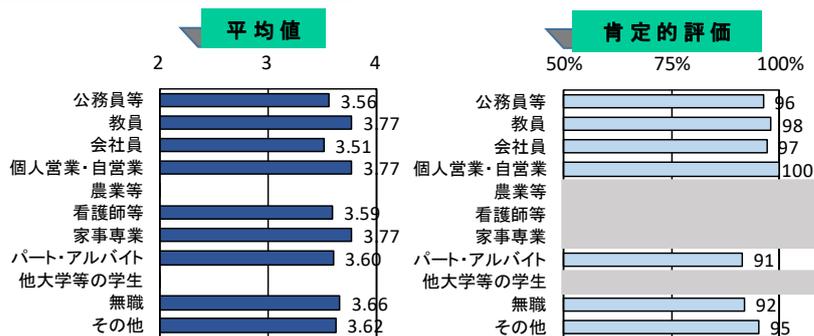
(B-17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った



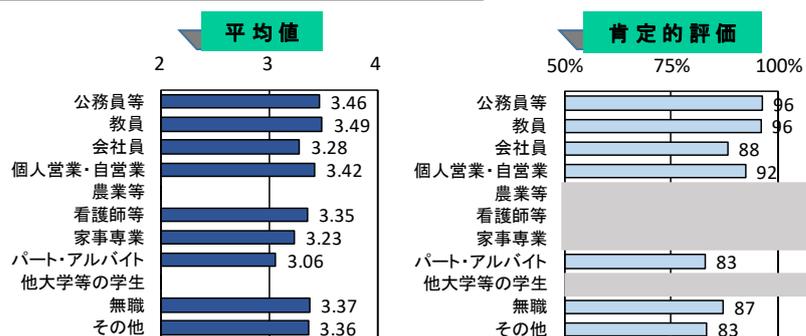
(B-18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



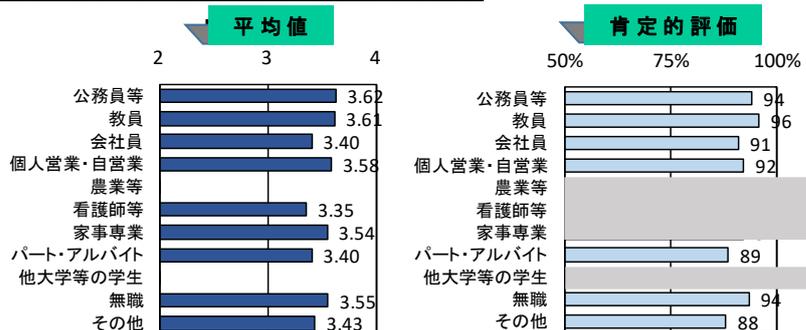
(B-19) 新しい知識が身につく視野が広がった



(B-20) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-21) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

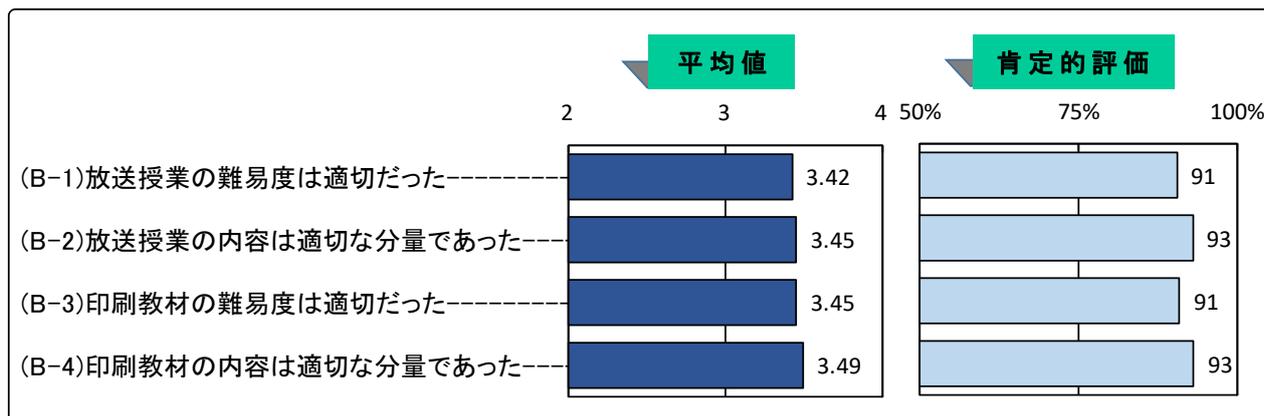


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとに見ていく。

授業の難易度・分量の評価は(図2-68)は、全ての項目で90%を超え、特に(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は93%であった。

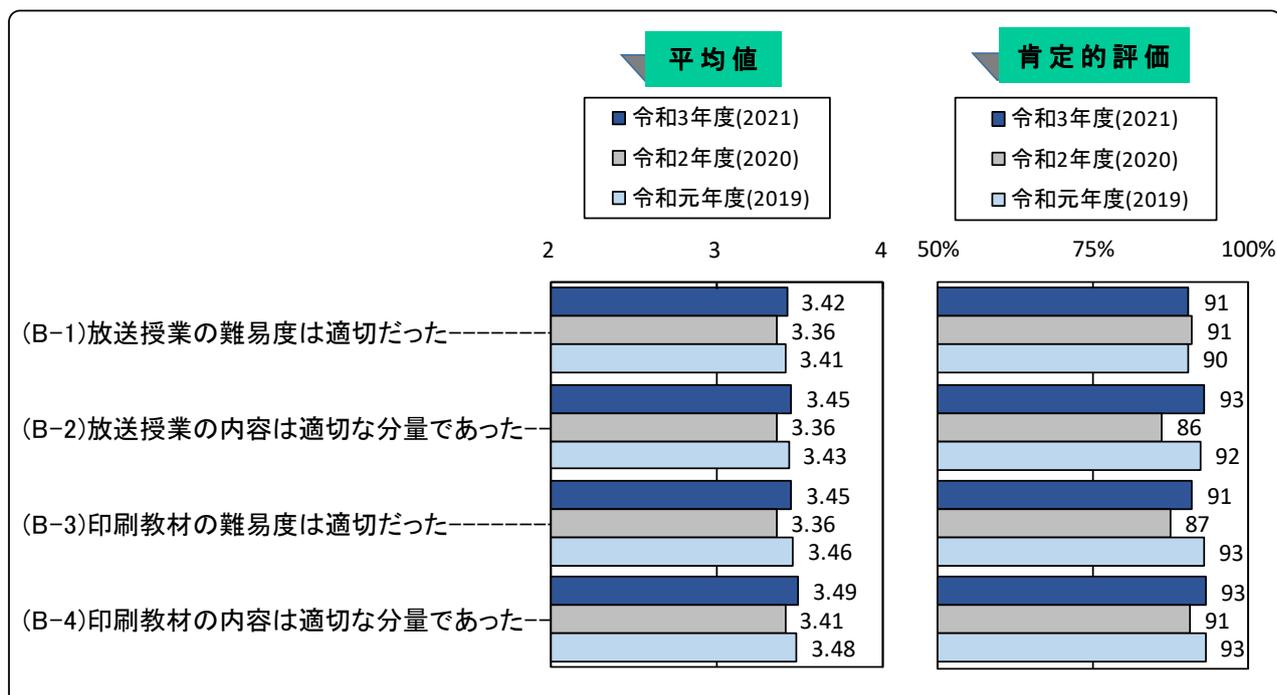
図2-68【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



開設年度別では(図2-69)、本年度と昨年度を比較すると、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は共に91%と変わらなかったが、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」(93%)は、本年度が7ポイントの大幅上昇であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」もそれぞれ、4ポイントと2ポイントの上昇が見られた。

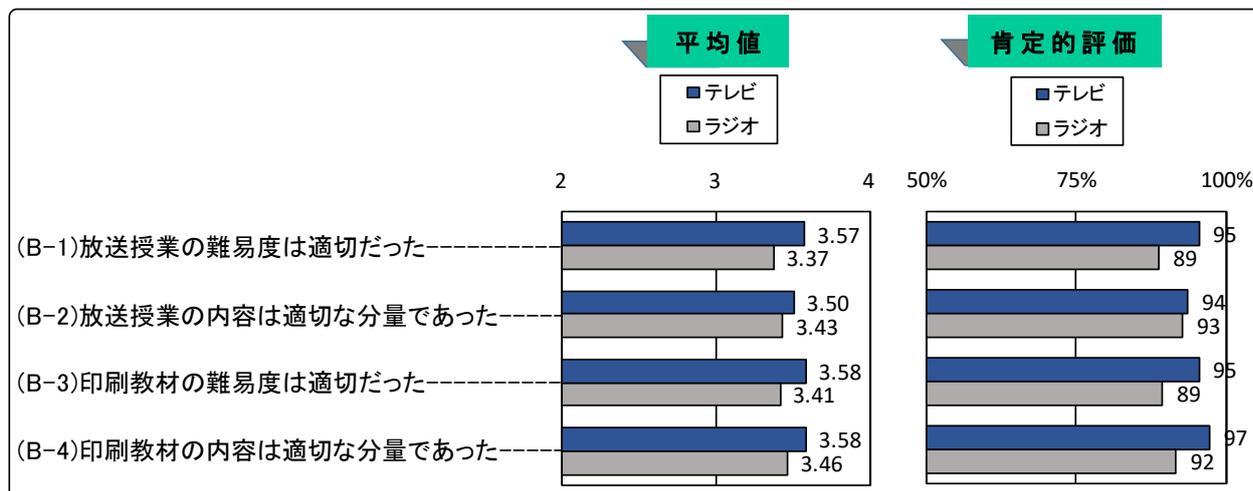
図2-69【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-70）、全ての項目でテレビ科目が高評価で、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」以外の項目では、5,6ポイント高かった。

特にテレビ科目の(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の評価は、97%と最も高かった。

図2-70 【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



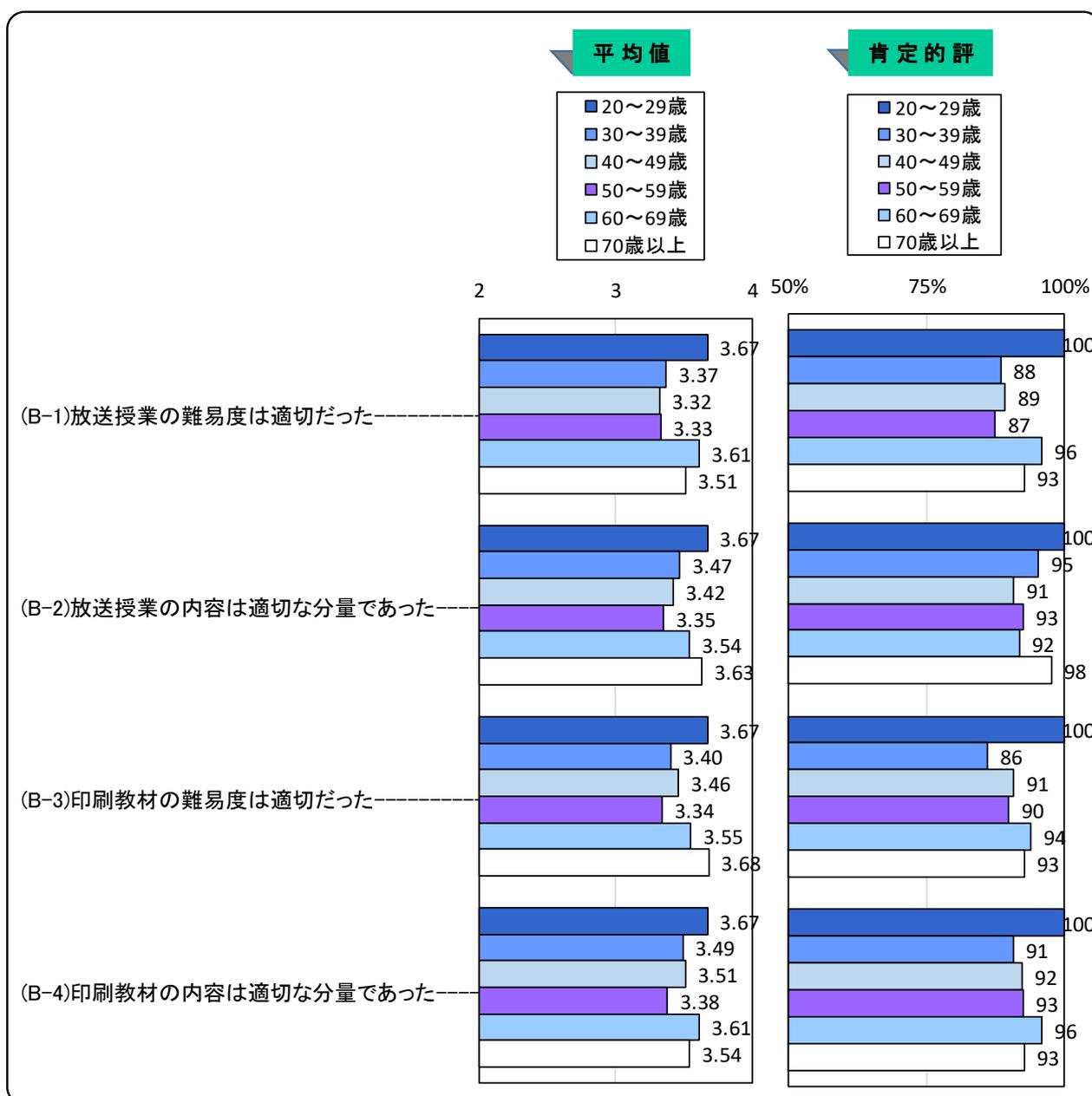
年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-71）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は、60歳代が96%と最も高く、次いで70歳以上が93%と続いていた。それ以外の年代は9割に達していなかった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は、70歳以上が98%と最も高く、その他は93%前後で同じレベルであった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は、30歳代が86%と9割に届かず、最も低かった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は、60歳代が96%と最も高く、他の年代は92%前後で並んでいた。

図2-71 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



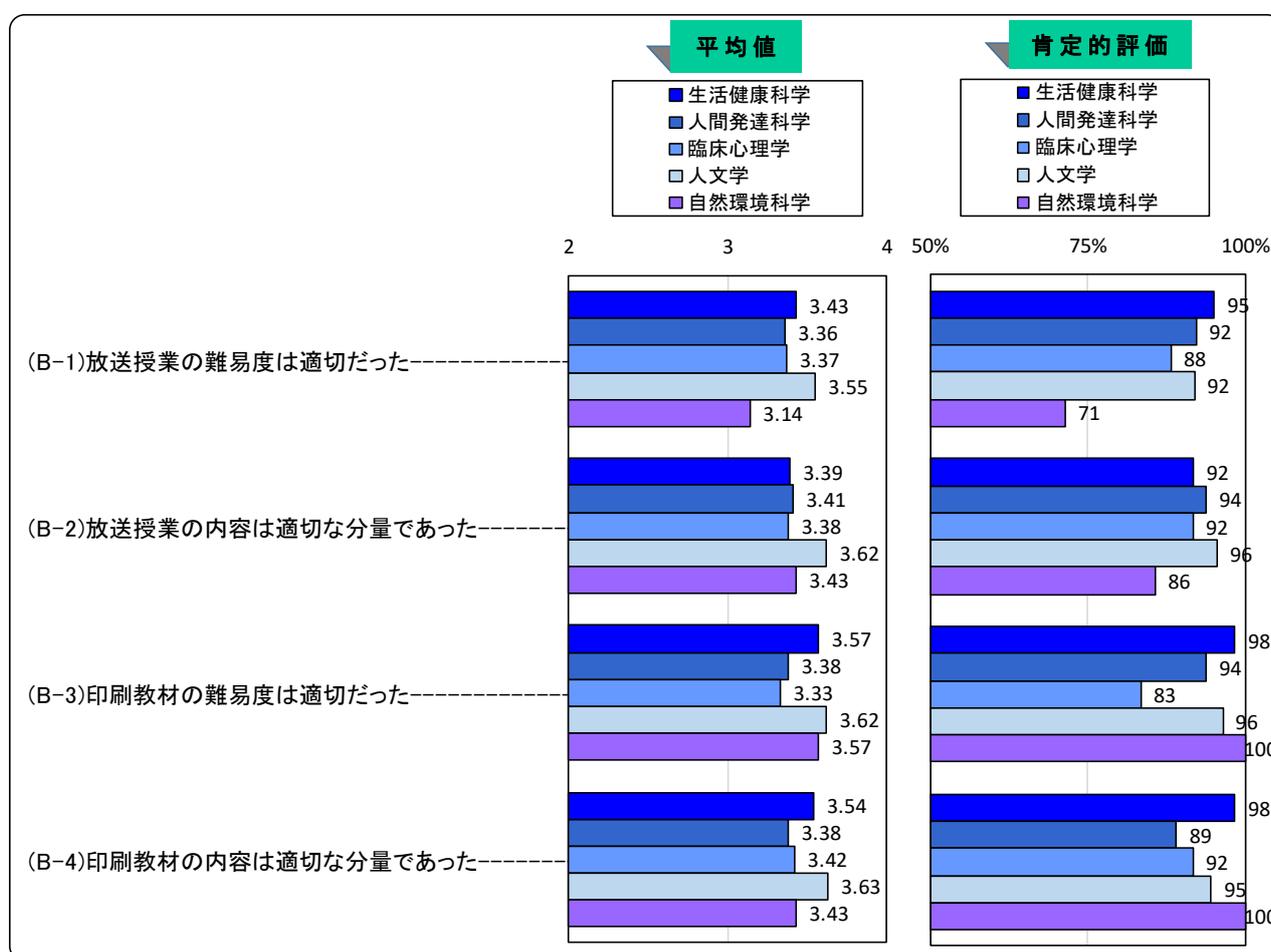
所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-72）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は、「生活健康科学」が95%と最も高く、反対に「臨床心理学」が88%で最も低かった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は、「人文学」が96%で評価が高く、その後も90%前半の評価であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は、「生活健康科学」が98%と高い評価で、「臨床心理学」が83%と極端に低かった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」も「生活健康科学」が、98%と高く、反対に「人間発達科学」が89%と低い評価であった。

図2-72【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（次頁図 2 - 7 3）、全ての項目で「その他」の評価は低い傾向で、特に(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、他の職業と比べ 81%と 8 ポイント以上下回っていた。

反対に高い評価は、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では、「教員」(94%)と「無職」(92%)であった。

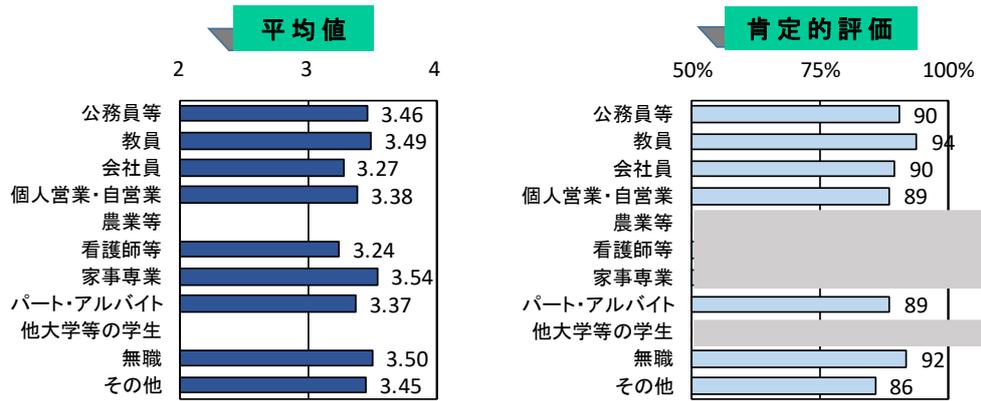
同様に(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では、「パート・アルバイト」が 100%と極めて高く、「教員」が 95%で続いていた。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、「教員」(95%)と「会社員」(94%)が高い評価であった。

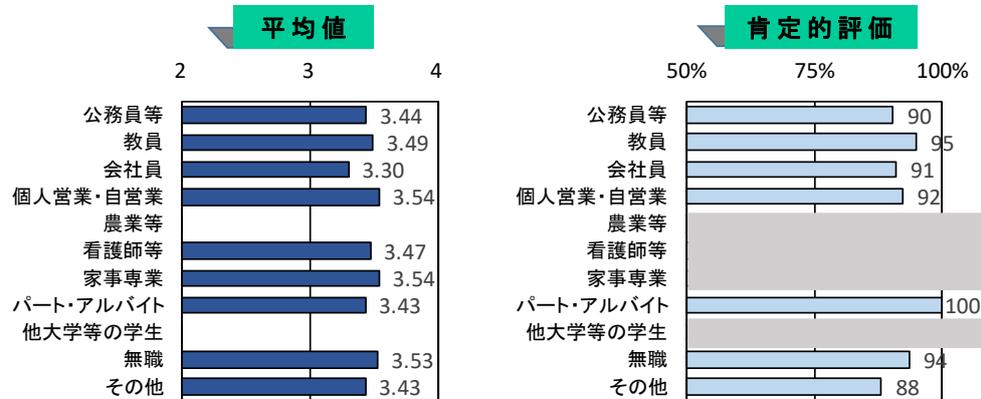
(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は「公務員」が 96%と高く、反対に評価が低かったのは、前述の通り「その他」(91%)と、他に「パート・アルバイト」(89%)であった。

図 2 - 7 3 【大学院】職業別の授業難易度の評価

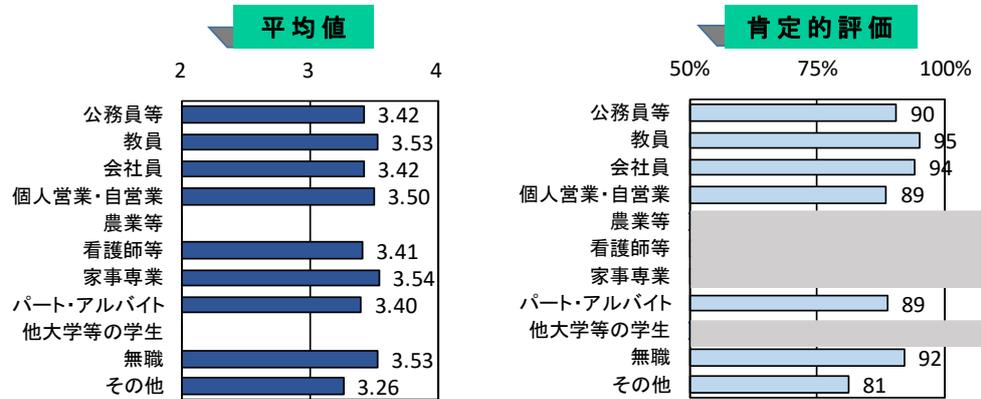
(B-1)放送授業の難易度は適切だった



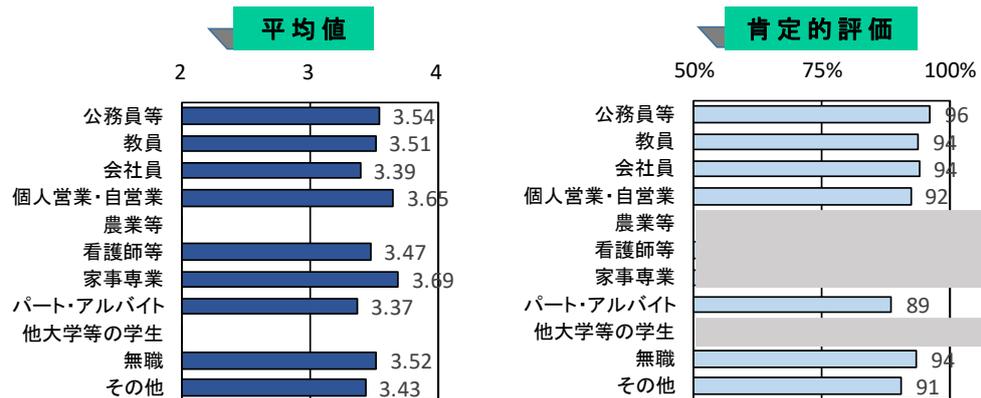
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3)印刷教材の難易度は適切だった



(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量であった



(3) 放送授業

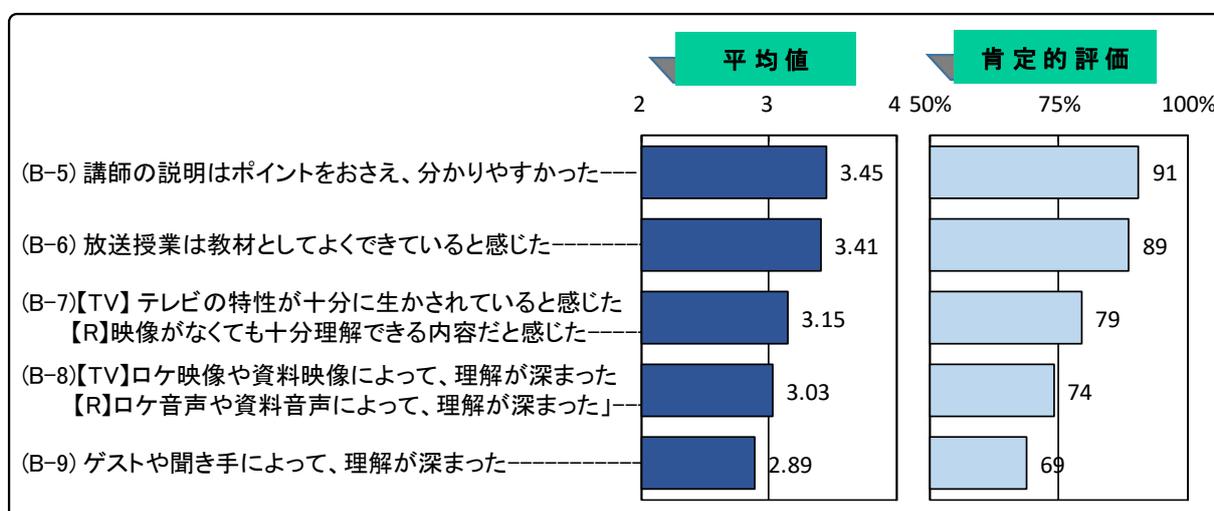
ここからは放送授業について評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目を見ると（図2-74）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は91%、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は89%で、他の項目より10ポイント以上高かった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、79%と前2項目と比べかなり評価が低かった。

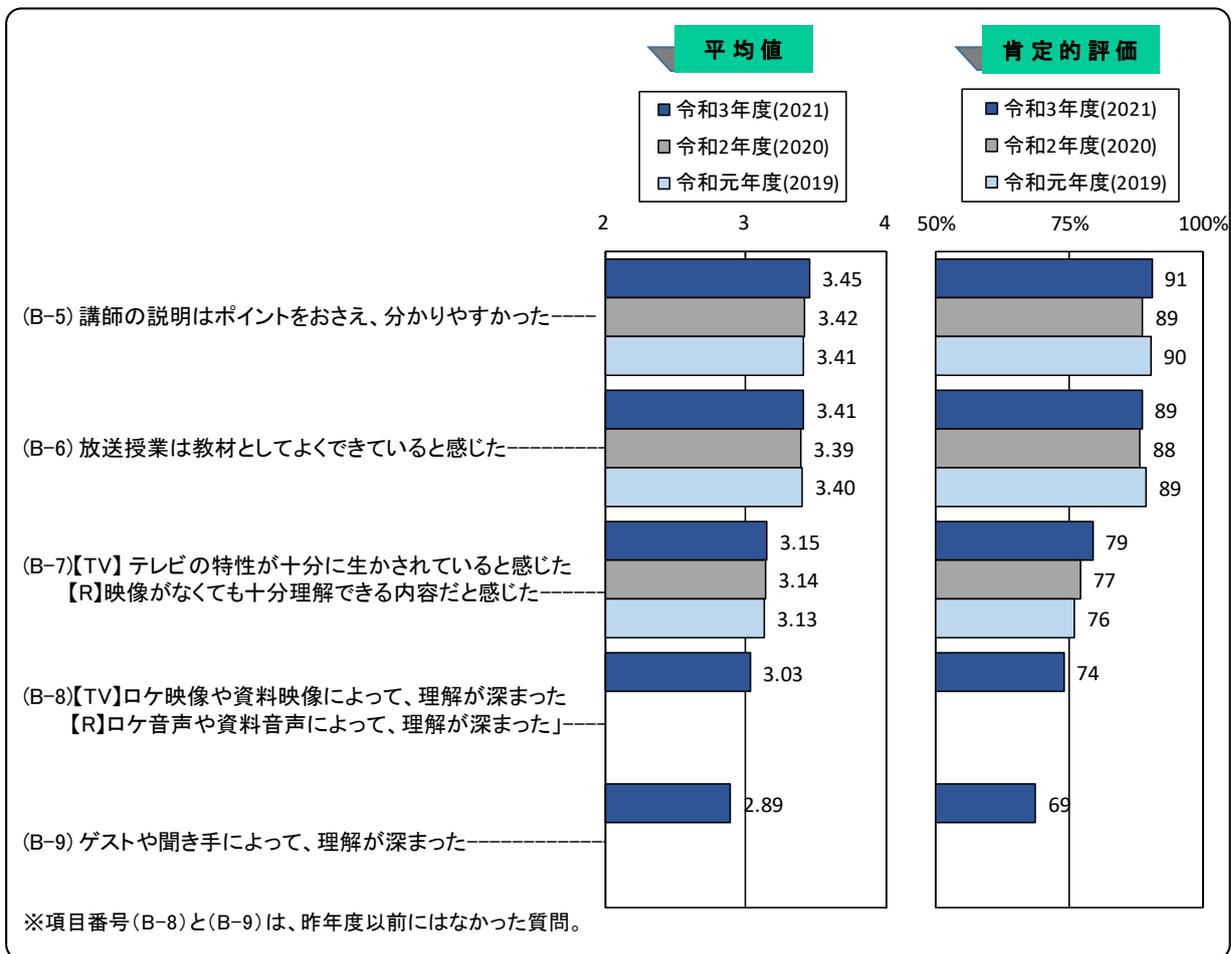
本年度、新たに加わった(B-8)と(B-9)の評価は、他の項目と比べ極端に低く、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は、69%と7割を下回っていた。

図2-74 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-75）、本年度は昨年度と比べ、前半3項目で1,2ポイント上昇していたが、一昨年度を含め大きな変化はなく、同水準であった。

図2-75 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-76）」、全ての項目でテレビ科目の評価が高く、特に(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、テレビ科目が90%、ラジオ科目が76%で、その差が14ポイントと大きな開きが見られた。

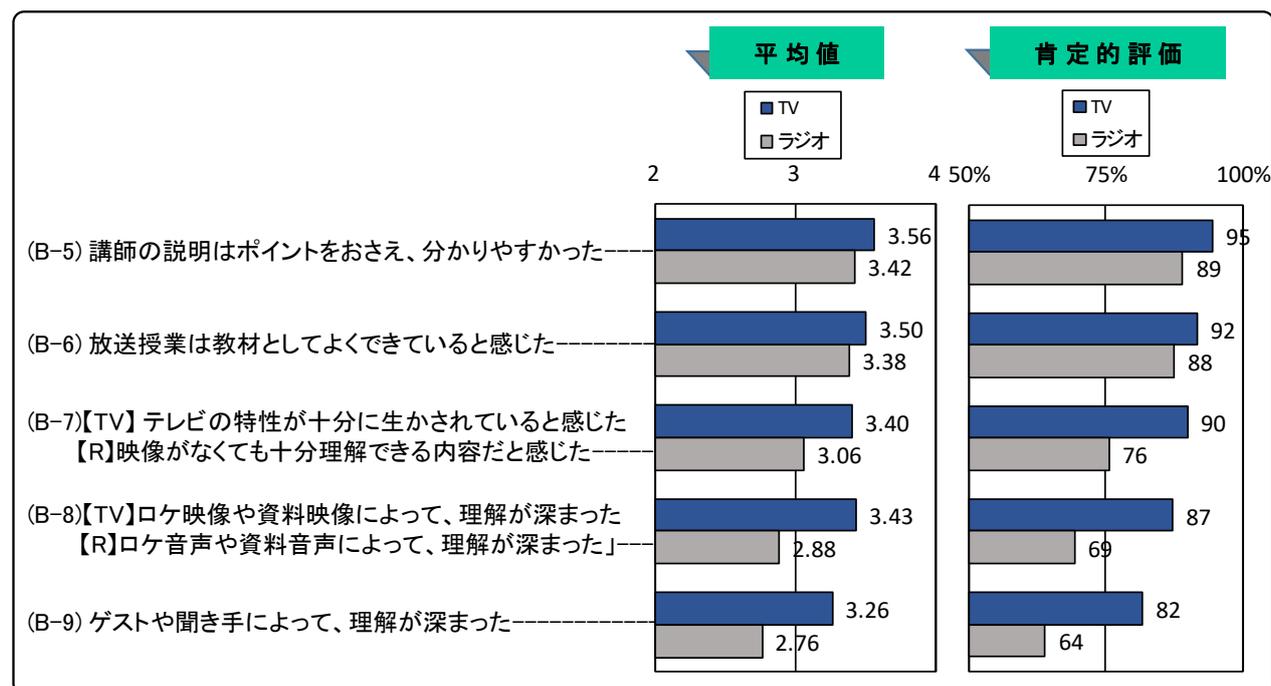
(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、テレビ科目が95%、ラジオ科目が89%で、両メディア共に、全ての項目の中で最も高い評価であった。

(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、テレビ科目が92%、ラジオ科目が88%で、メディア間の差は、4ポイントと最小であった。

本年度新しく加わった、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」と(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は両項目共18ポイントの大差で、ラジオ科目の評価が低かった。

両メディア単独では、(B-5)が共に、最も評価が高く（テレビ科目:95%、ラジオ科目:89%）、同様に(B-9)が最も低かった（テレビ科目:82%、ラジオ科目:64%）。

図2-76 【大学院】メディア別の放送授業の評価



年齢階層別では（図 2-77）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、40 歳代、60 歳代、70 歳以上が、93,94%で評価が高く、30 歳代が 84%と低い評価であった。

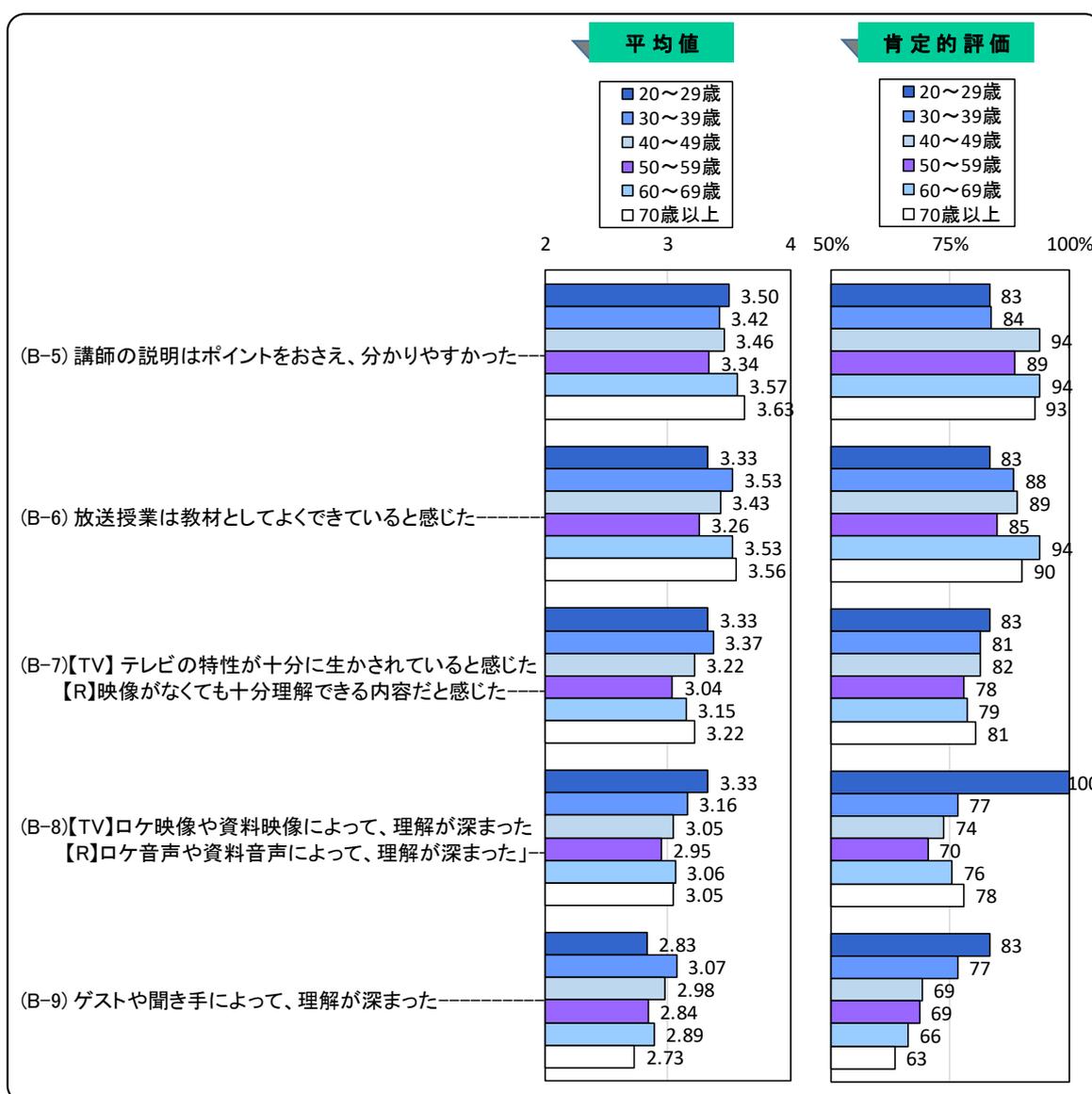
(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、60 歳代が 94%と最も高く、50 歳代が 85%で評価が低かった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価は 78~82%で、各年代とも同じ水準であった。

(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は、70 歳以上と 30 歳代が高く、50 歳代が 70%と最も低かった。

(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は、30 歳代が 77%と最も高く、年代が上がるにつれ減少傾向で、70 歳以上で 63%と大きく評価を下げている。

図 2-77 【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



所属プログラム別では（図 2-78）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、「人文学」が 94%と最も評価が高く、他のプログラムは 90%前後で同レベルであった。

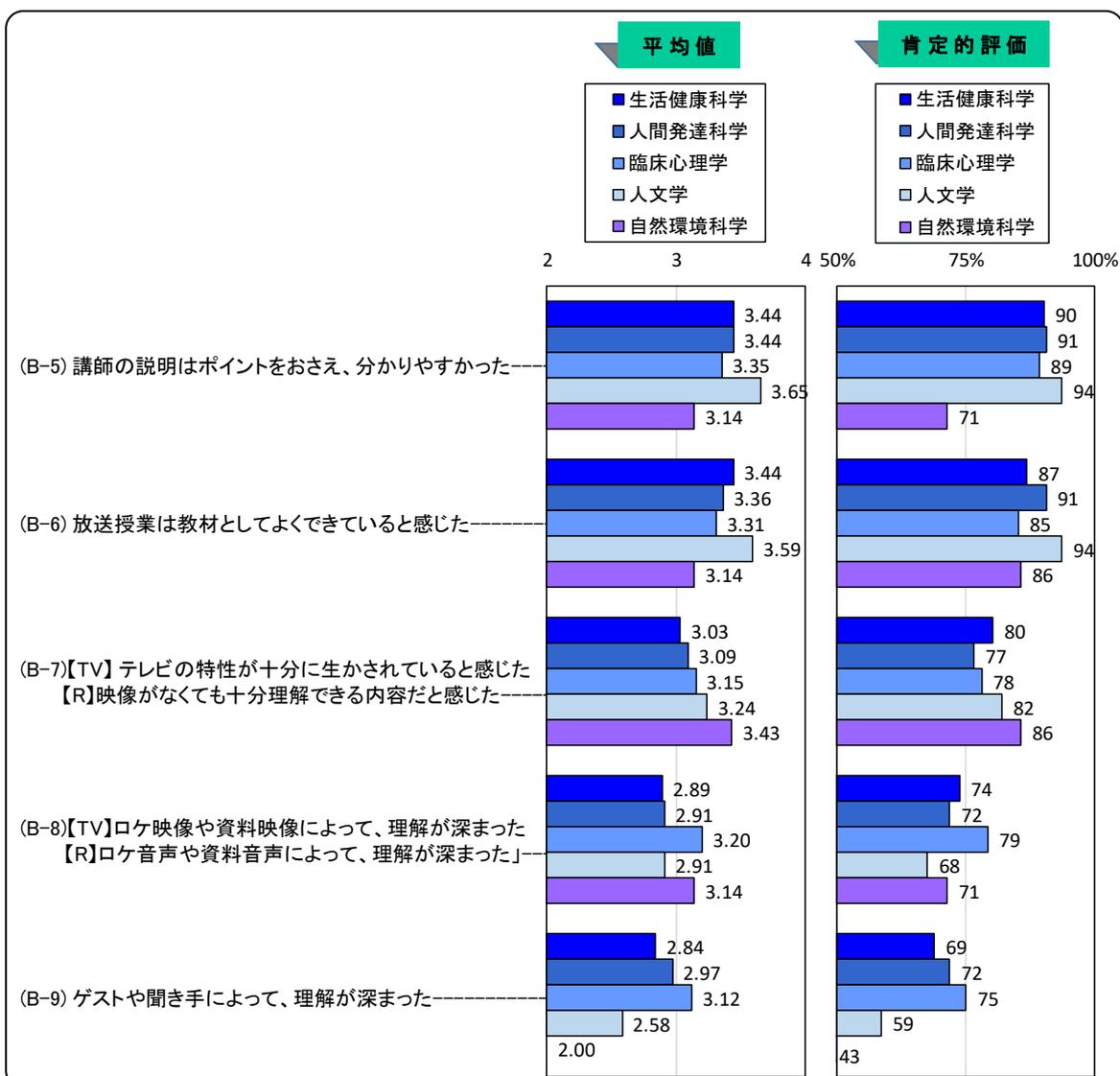
(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」も、「人文学」が 94%と最も高く、「臨床心理学」が 85%と評価が低かった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も、「人文学」が 82%と評価は高かったが、他のプログラムも 77~80%と同じ水準にあった。

(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は、「臨床心理学」が 79%と最も高く、「人文学」が 68%と評価が低かった。

(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」も「臨床心理学」が 75%と評価が高く、最も評価が低かったのは「人文学」で、59%と極端な評価であった。

図 2-78 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



職業別では（図2-79）、全ての項目について「教員」の評価が上位1位か2位と高く、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では、94,95%に達していた。

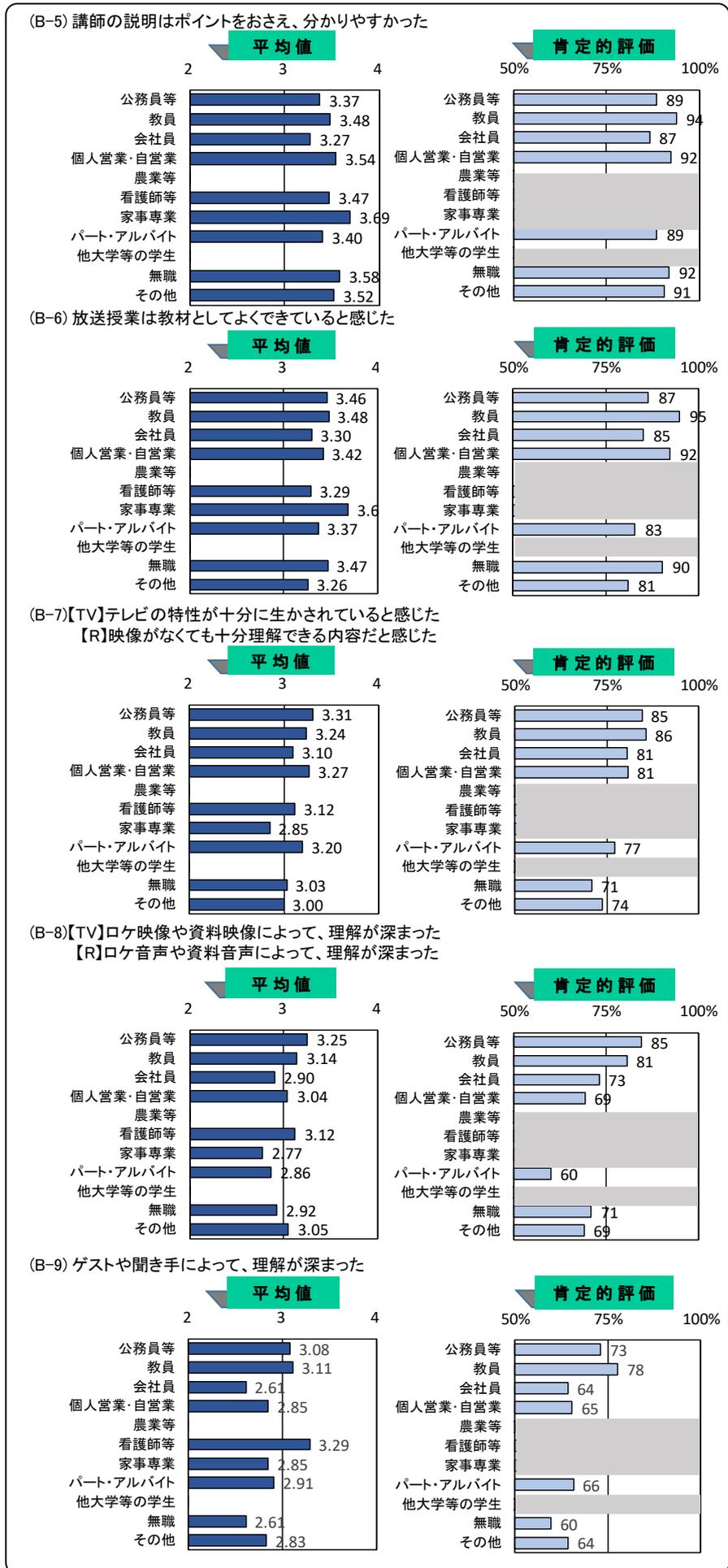
反対に評価が低かったのは、(B-5)では、「会社員」(87%)、(B-6)では、「その他」(81%)であった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、「教員」(86%)と共に「公務員」(85%)も評価が高く、反対に「無職」は71%と低かった。

(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は、「公務員」が85%と最も高く、「パート・アルバイト」は60%と極めて低かった。

(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は、「無職」が60%と極端に低い評価であった。

図 2 - 7 9 【大学院】職業別の放送授業の評価

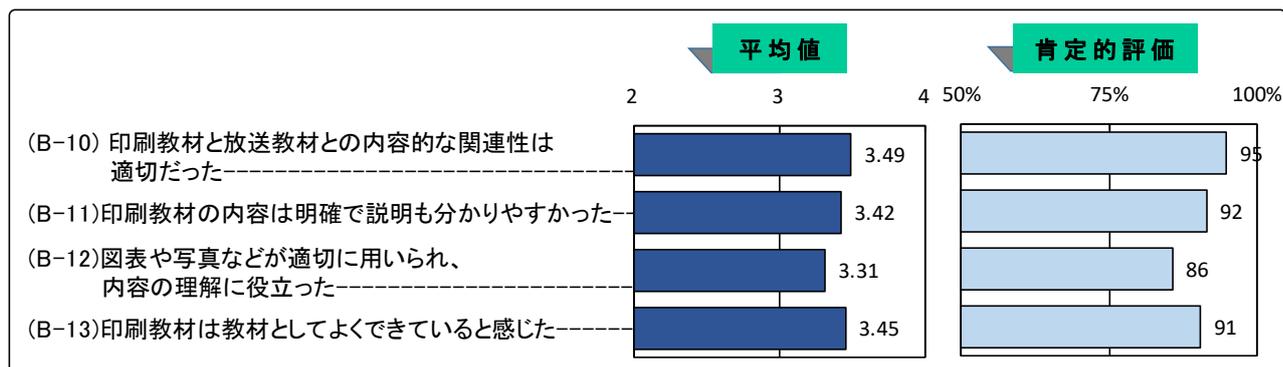


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

印刷教材の評価項目では(図2-80)、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」が95%と最も評価が高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が86%と低い評価であった。

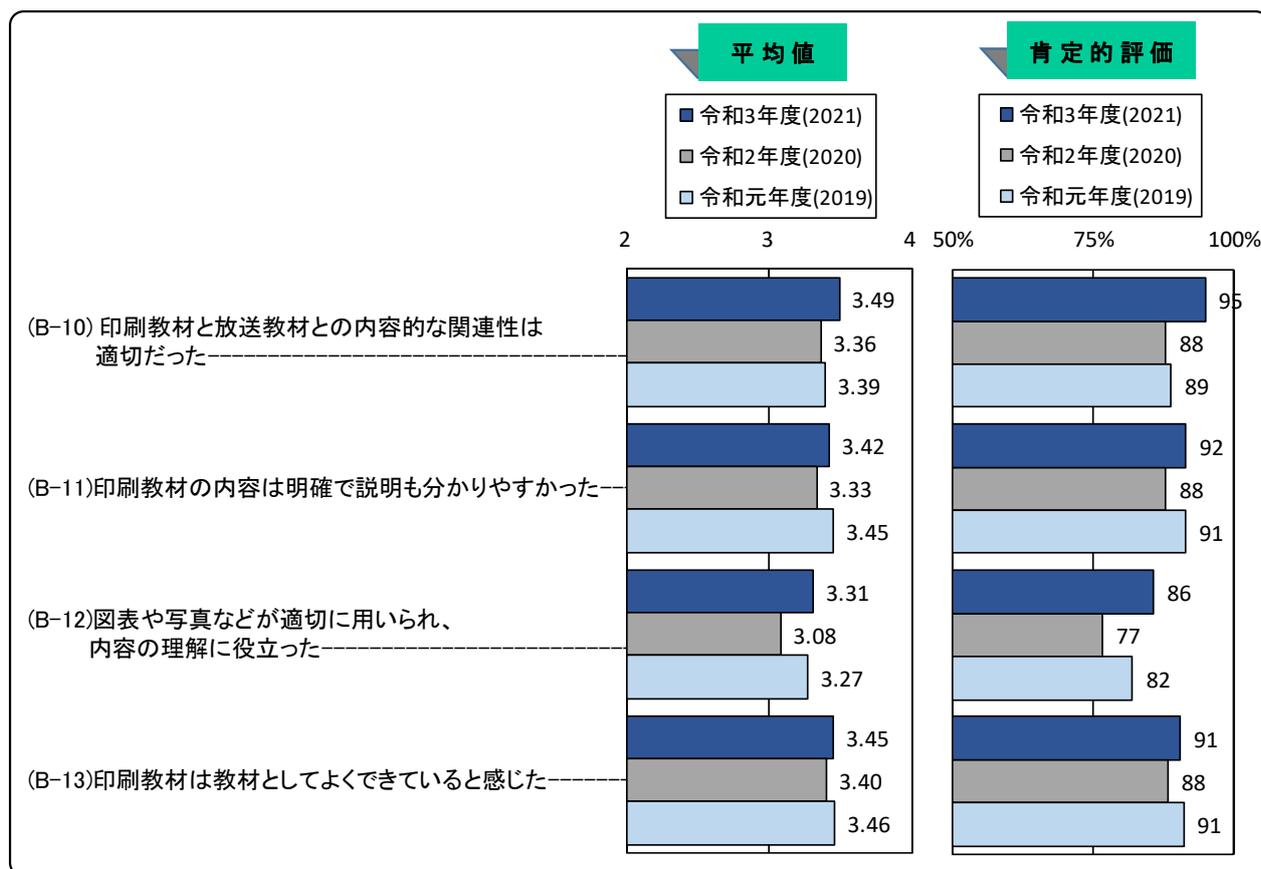
図2-80 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-81）、全項目で、本年度は昨年度を上回っており、特に(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は顕著な上昇で、(B-10)が7ポイント、(B-12)が9ポイントであった。

一昨年度と比べると、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、同水準であったが、(B-10)と(B-12)は、本年度に上昇が見られ、同順に6ポイントと4ポイントであった。

図2-81 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）

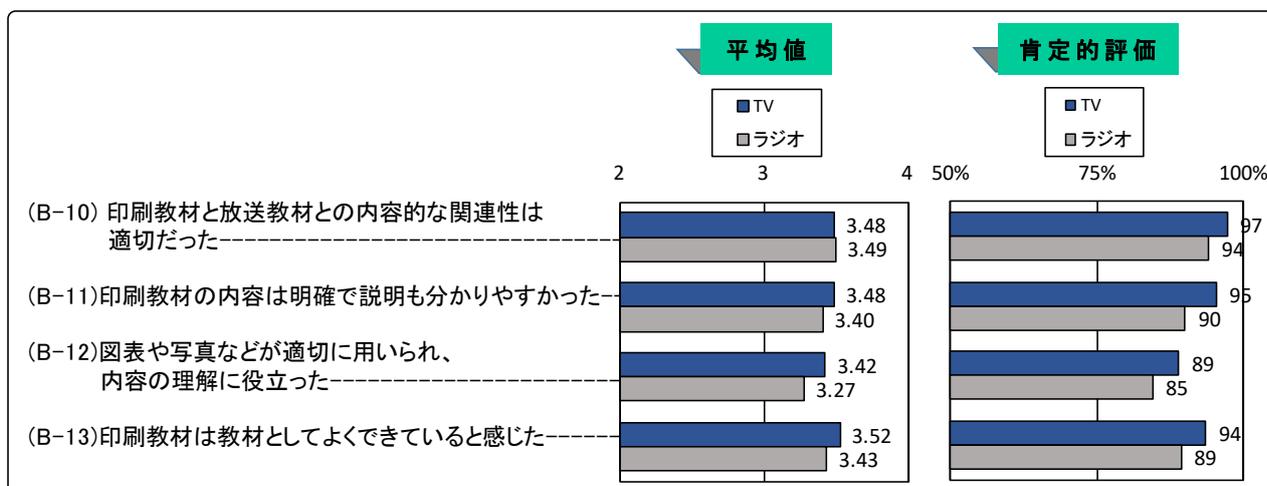


メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-82）、全ての項目でテレビ科目の評価が高く、中でも(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、5ポイントの差であった。

テレビ科目とラジオ科目で最も評価が高かったのは、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」で、同順に97%と94%であった。

反対に両メディアで最も評価が低かったのは、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」で、同順に89%と85%であった。

図2-82 【大学院】メディア別の印刷教材の評価



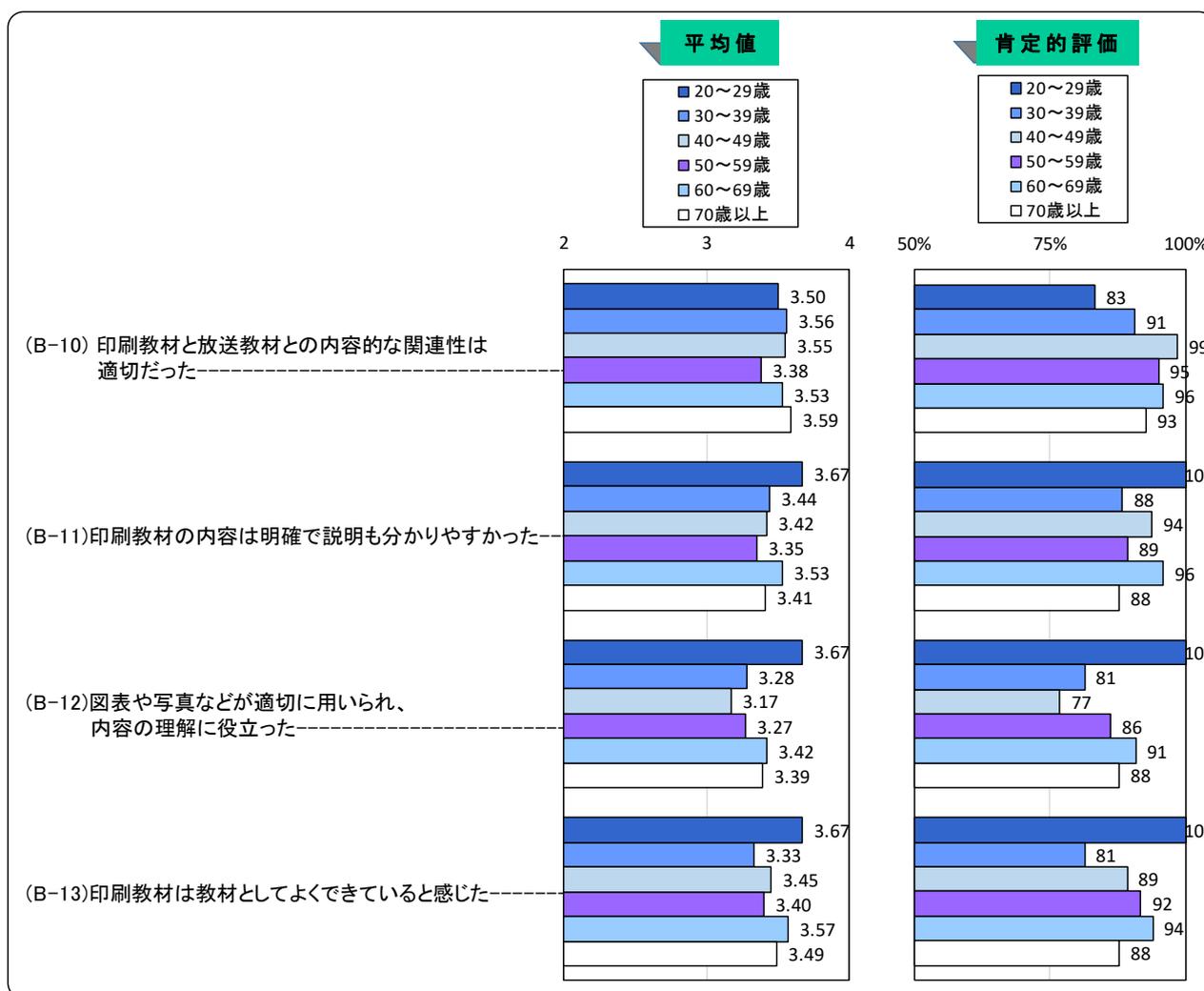
年齢階層別の評価（図2-83）は、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、40歳代が99%と非常に高い評価で、反対に30歳代は91%で、相対的に低い評価であった。

(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、40歳代と60歳代が、94,95%で高く、それ以外の年代は、88,89%であった。

(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、60歳代が91%と最も評価が高く、40歳代が77%と極めて低い評価であった。

(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、60歳代が94%と最も高く、30歳代が81%と低い評価であった。

図2-83 【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



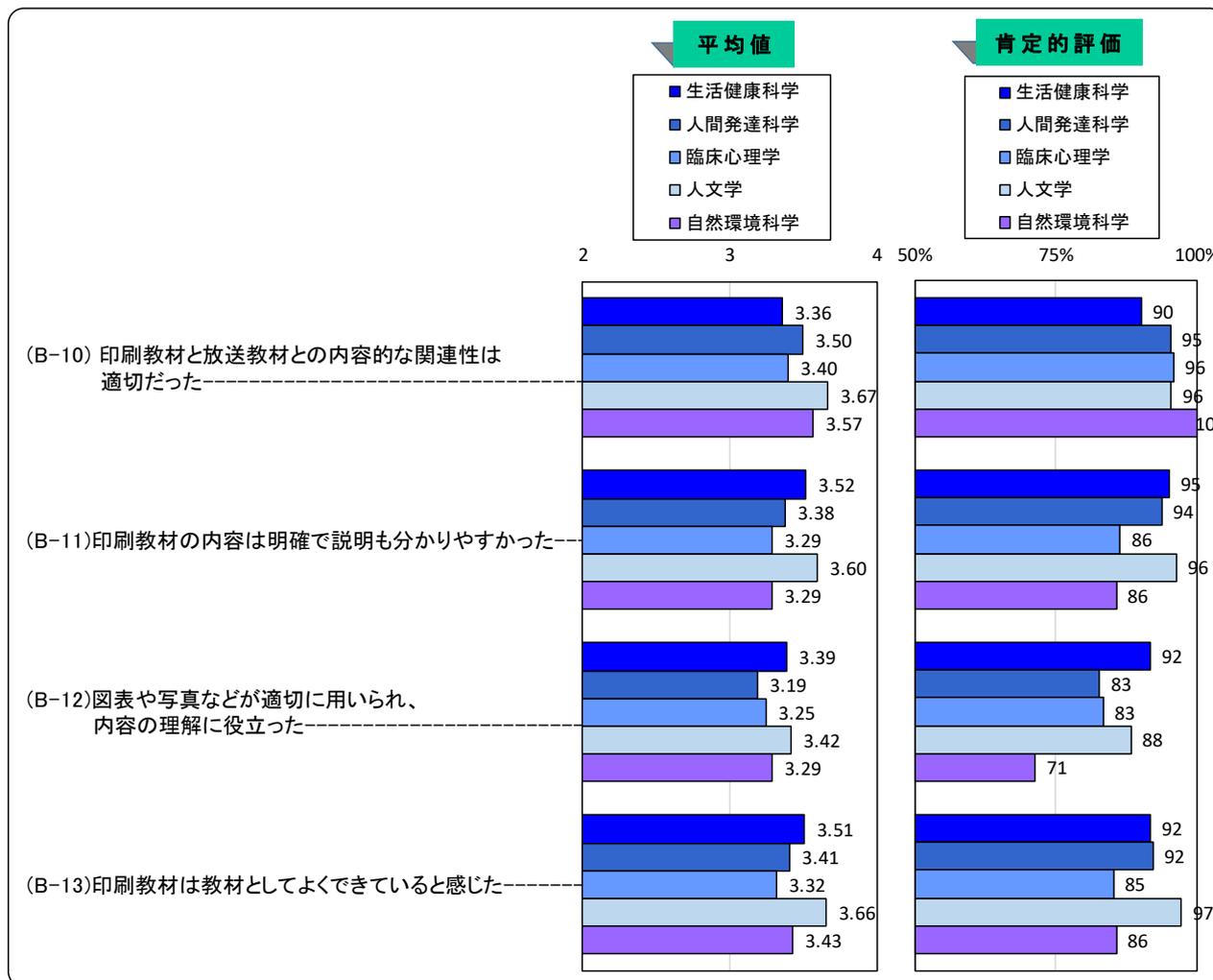
所属プログラム別の評価を見ると（図2-84）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、「人間発達科学」「臨床心理学」「人文学」が95,96%と高く、「生活健康科学」は90%と低かった。

(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では、「生活健康科学」「人間発達科学」「人文学」が95%前後で高く、「臨床心理学」が86%で、他のプログラムと比べ、8ポイント以上上下回っていた。

(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、「生活健康科学」が92%で最も高く、「人間発達科学」と「臨床心理学」が83%で、低い評価であった。

(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「人文学」が97%で最も高く、次いで「生活健康科学」「人間発達科学」が92%で、反対に「臨床心理学」が85%と、低い評価であった。

図2-84 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



職業別では（次頁図 2 - 8 5）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、「会社員」の全員が肯定的評価で、「その他」（88%）以外の職業も 90% 越えていた。

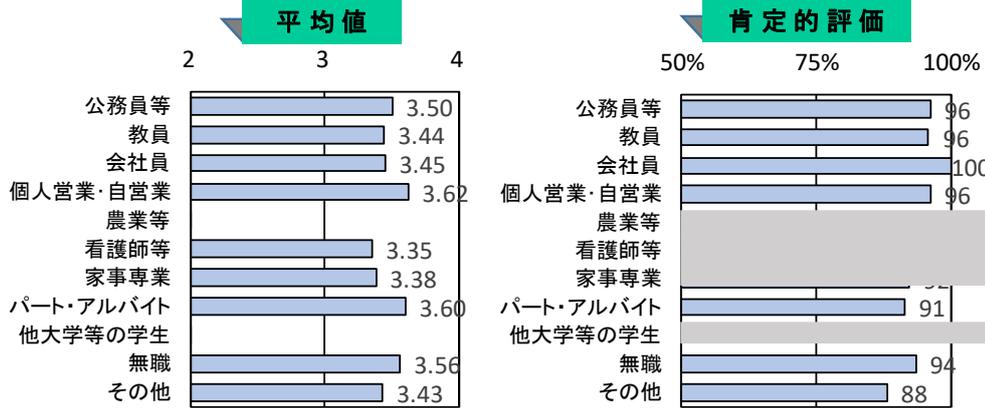
(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、「公務員」～「個人営業・自営業」までが、93%前後と評価が高く、「その他」は 86%と評価が低かった。

(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では、「無職」が 92%と最も高く、「その他」は 79%と、最も評価が低かった。

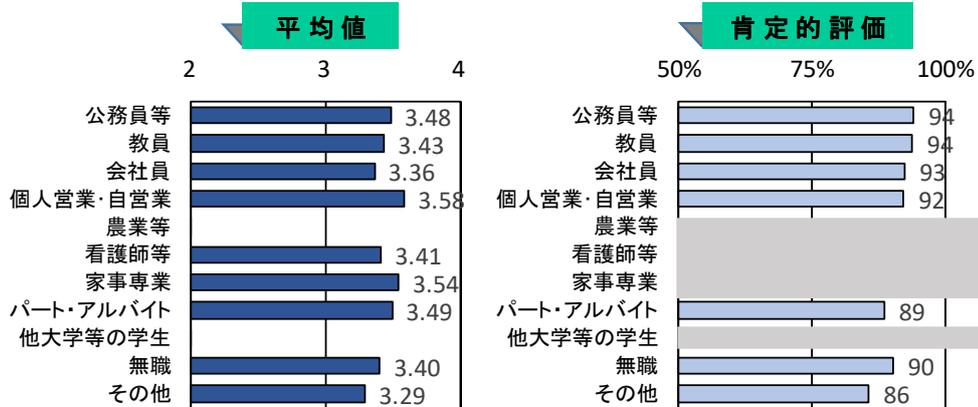
(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「パート・アルバイト」と「その他」が 86%と、評価が低かったが、それ以外の職業は、90%前後であった。

図 2 - 8 5 【大学院】職業別の印刷教材の評価

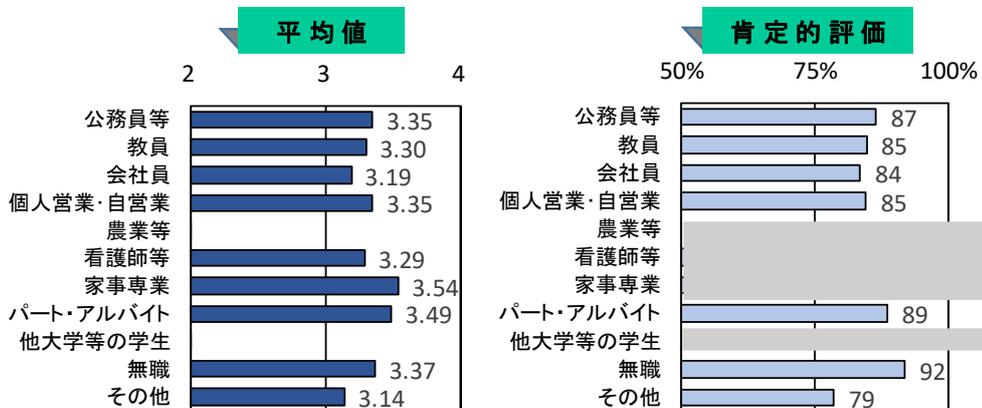
(B-10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



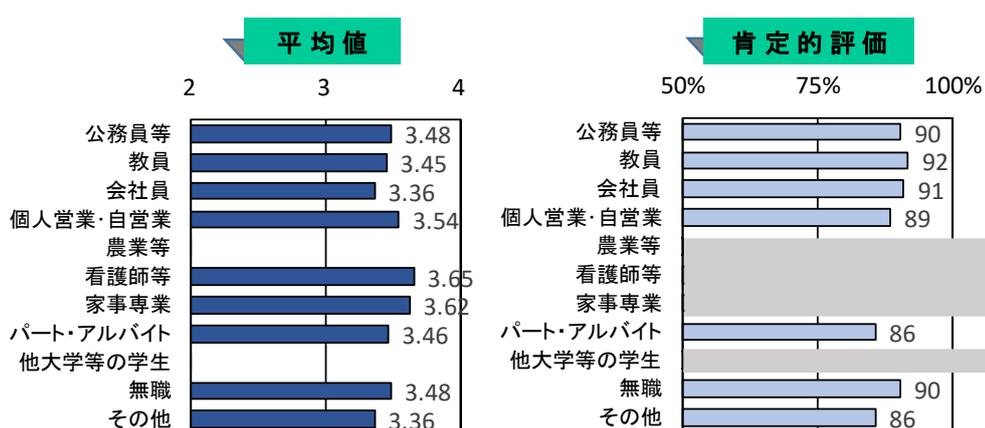
(B-11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた

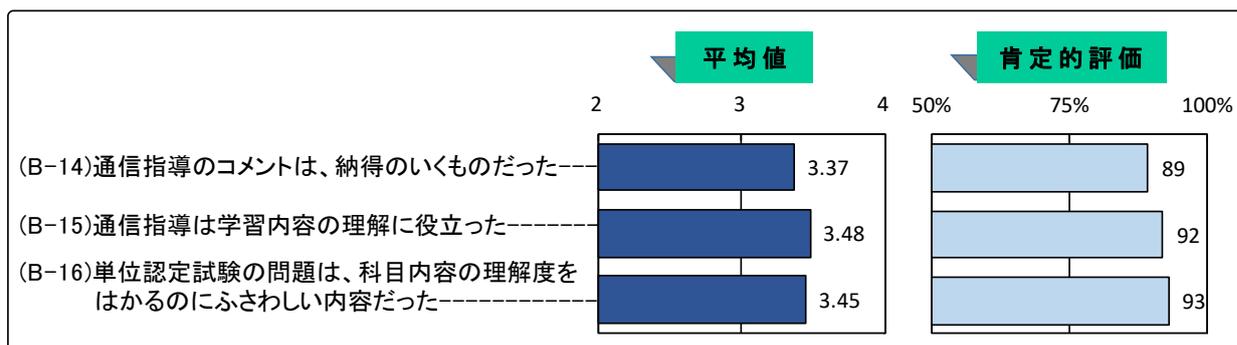


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

(図2-86)の通信指導については、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は90%にわずかに届かなかったが、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、92, 93%であった。

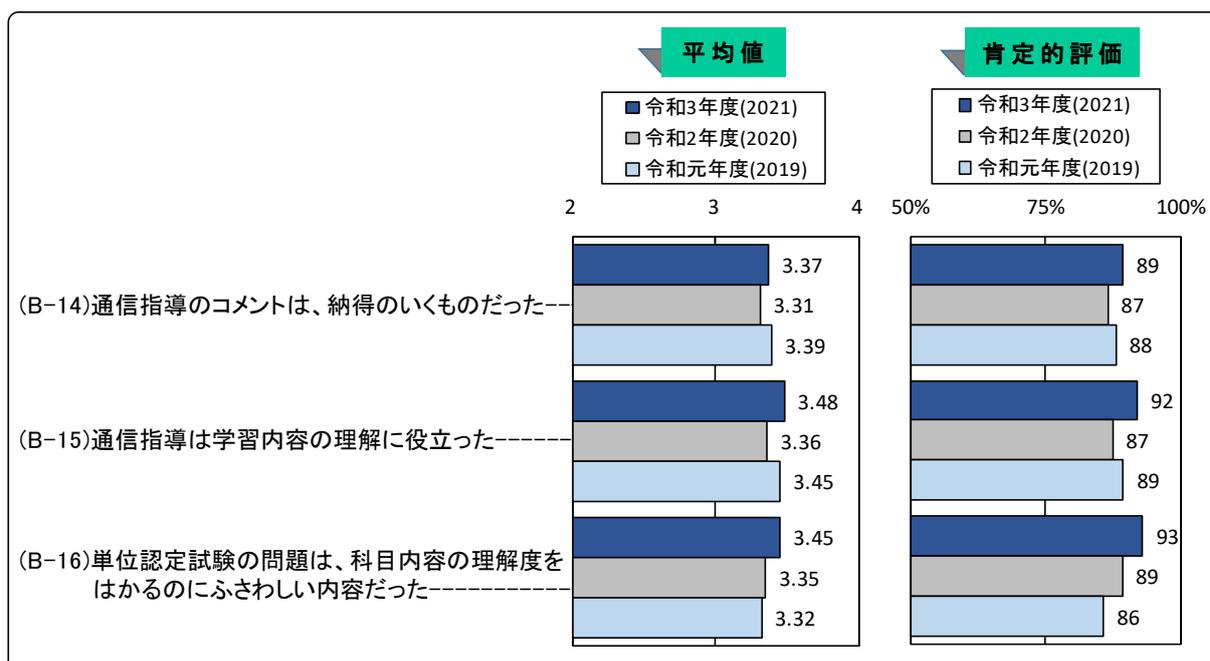
図2-86 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-87)、昨年度と比べ、本年度は、全項目が増加傾向で、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は4, 5ポイント、昨年度を上回っていた。

一昨年度と比べると、本年度は増加傾向で、特に(B-16)は7ポイント上昇していた。

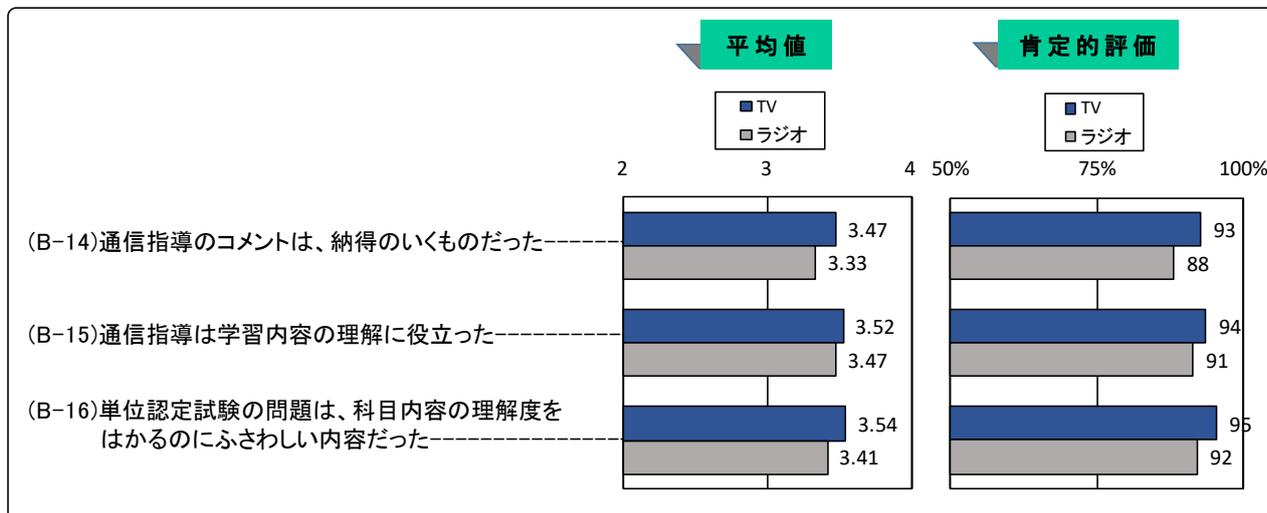
図2-87 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



メディア別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると(図2-88)、全ての項目で、テレビ科目の評価が高く、4ポイント前後、ラジオ科目を上回っていた。

テレビ科目の評価は、93~95%で、同等な評価であったが、ラジオ科目は、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」が88%と9割に届かなかった。

図2-88 【大学院】メディア別の通信指導・単位認定試験の評価

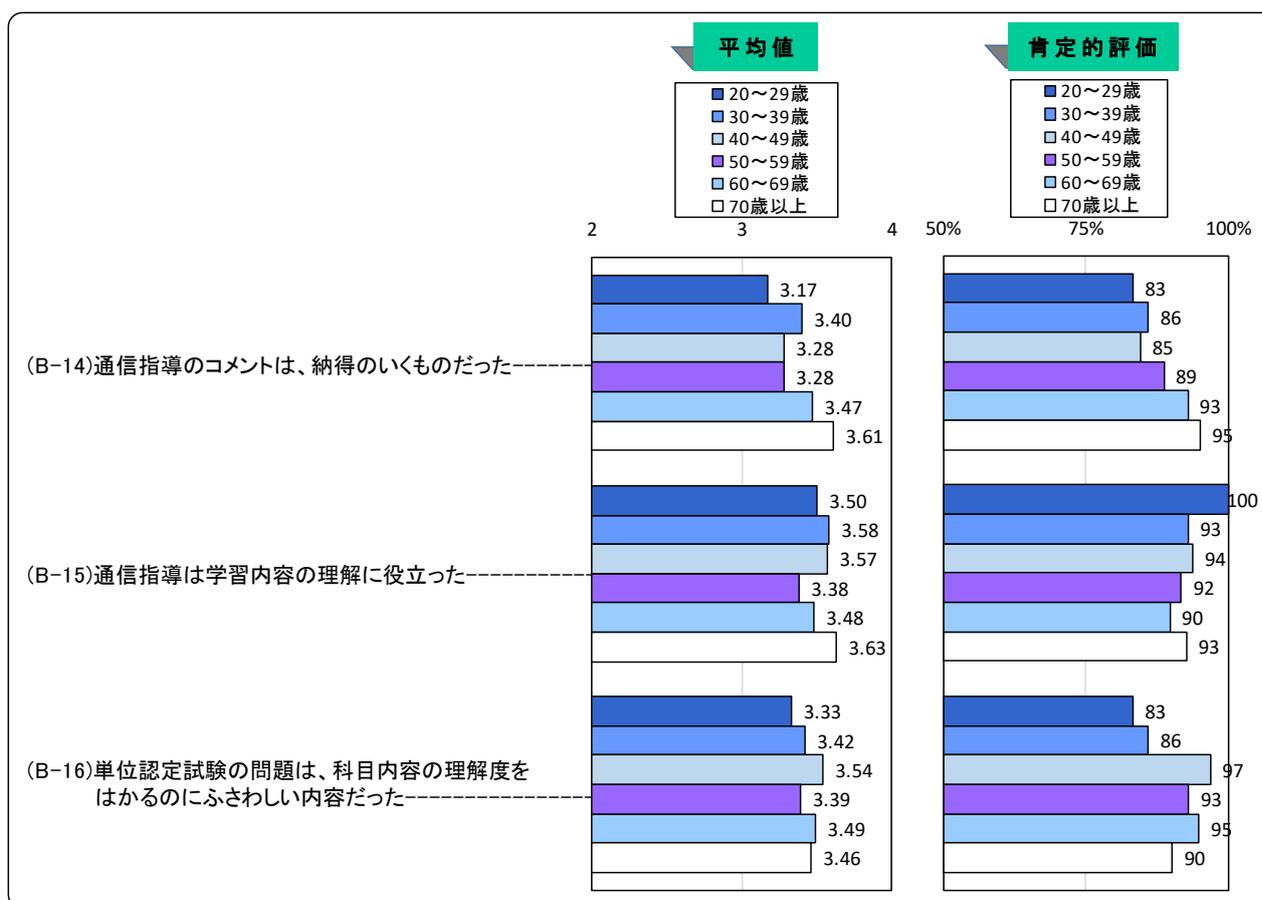


年齢階層別の評価（図2-89）では、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、60歳代（93%）と70歳以上（95%）の評価が高く、反対に30歳代（86%）と40歳代（85%）の若年層は、評価が低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、いずれの年代も90%以上で、中でも40歳代が94%で、最も高かった。

(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」では、40歳代が97%と最も高く、反対に30歳代が86%と、低い評価であった。

図2-89 【大学院】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価

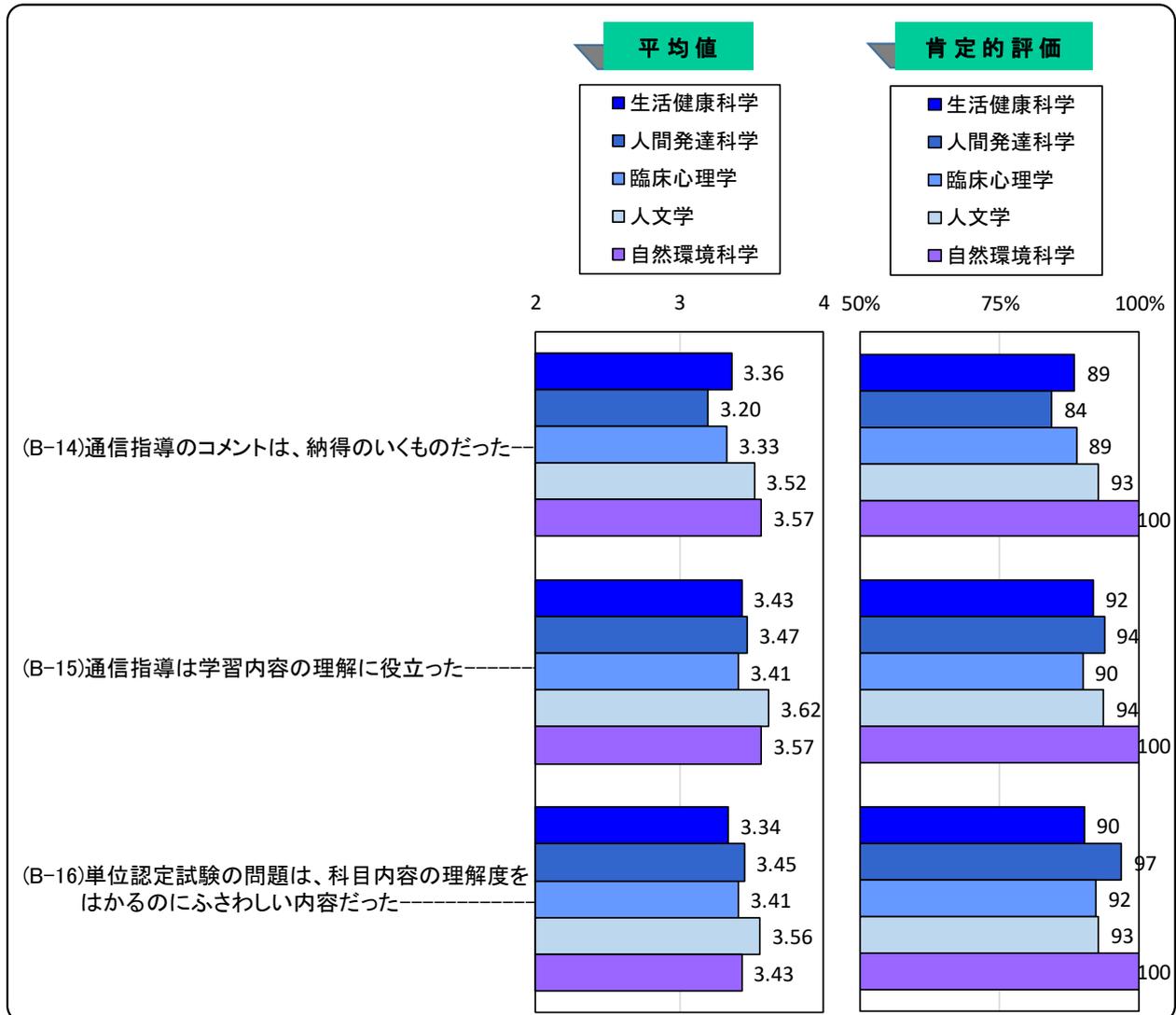


所属プログラム別では（図2-90）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「人文学」が93%と最も高く、「人間発達科学」が84%と評価が低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、いずれも90%以上で、中でも「人間発達科学」と「人文学」が94%で高かった。

(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」も全てのコースが90%以上で、特に「人間発達科学」が97%と群を抜いていた。

図2-90 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価

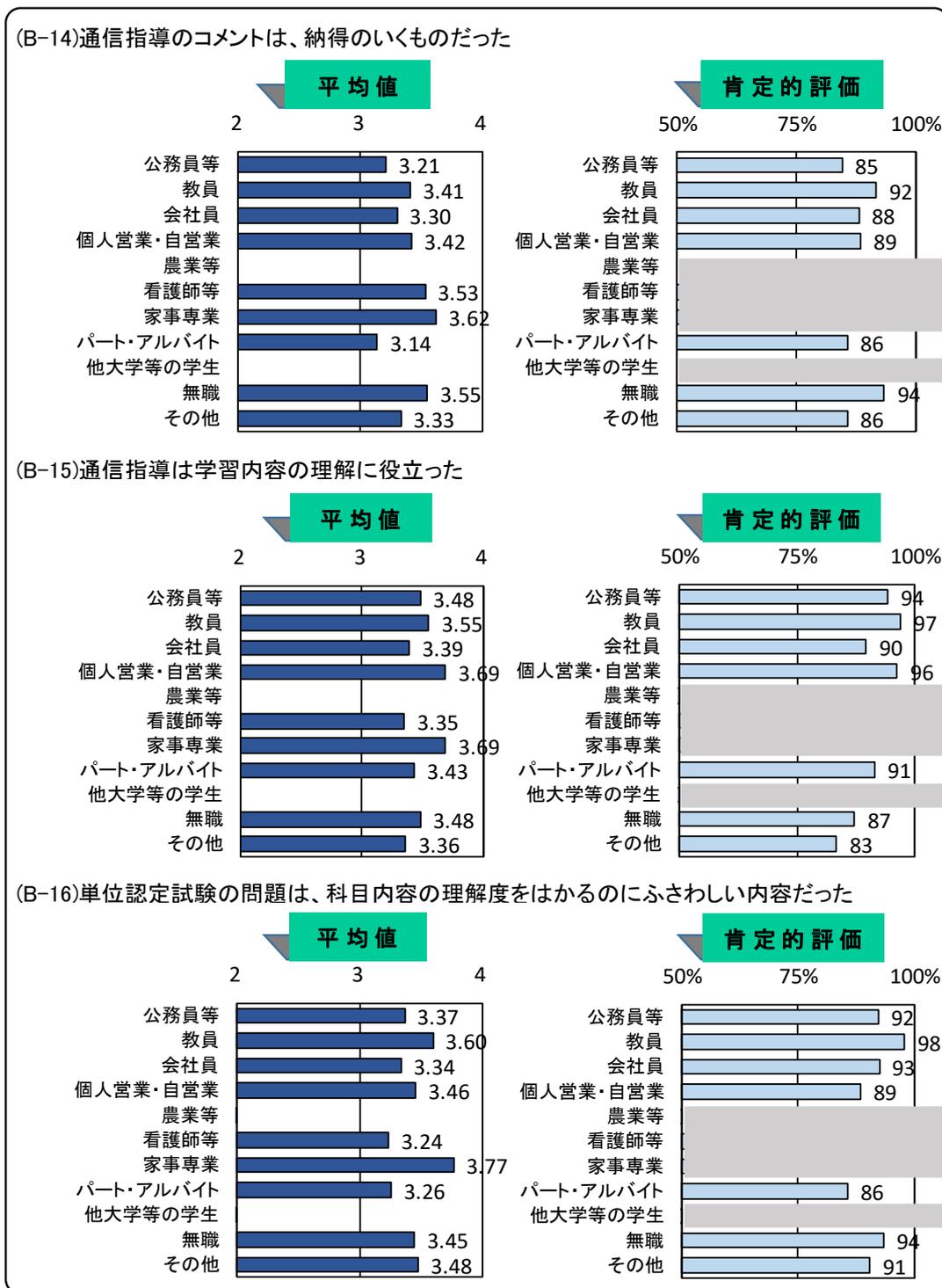


職業別では（図2-91）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「無職」が94%と最も高く、次いで「教員」が92%で続き、評価が低かったのは「公務員等」で、85%にとどまっていた。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「教員」と「個人営業・自営業」が97,96%で評価が高く、反対に「その他」が83%と、極めて低かった。

(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」でも、「教員」が98%と高い評価で、「パート・アルバイト」は86%と最も低かった。

図2-91【大学院】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析を試みた。

その重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-21
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-20: 全 20 問(項目)
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ (説明変数が 20 個の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行う事にする。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した、全有効回答者、412 人のローデータを使用した。

その結果は以下の通りであった。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与度)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.751 であった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で、0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいは、データ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 1.861 となった。

以上の結果から、本分析は問題のない事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.762
自由度修正済み決定係数	0.751
ダーヴィンワトソン比	1.861
残差の標準偏差	0.344

今回の重回帰分析では下表の分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1% である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p 値	判定
全体変動	194.881	411				
回帰による変動	148.514	19	7.817	66.083	0.000	[**]
回帰からの残差変動	46.367	392	0.118			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

標準偏回帰係数（全体の満足度に対する寄与度）が最も高かったのは、B-20「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」で 0.212、次いで B-18「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」（0.185）、他に B-19「新しい知識が身につく視野が広がった」（0.141）、B-5「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」（0.138）と続いていた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-15（0.087）を基準に、他の項目がその何倍になるか算出してみた。（表中の右端の数値）その結果、高い順に B-20:2.4 倍、B-18:2.1 倍、B-19:1.6 倍、B-5:1.6 倍となり、B-20 と B-18 が 2 倍を超えていた。

今後、「全体の満足度」（本年度の肯定的評価 93%）を上げるためには、上位 2 項目（「B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と「B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」）の肯定的評価を上げる事に重点を置く施策が、効果的であると考えられる。

この 2 項目の肯定的評価について見てみると、B-20:90%、B-18:94%で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は、まだ残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-15との対比
B-21.全体の満足度	0.212	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]	2.4
	0.185	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	2.1
	0.141	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	1.6
	0.138	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]	1.6
	0.126	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[*]	1.4
	0.113	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[*]	1.3
	0.101	B-17 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[**]	1.2
	0.087	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	[*]	1.0
		定数項	[*]	

※説明変数の中で有意水準が0.05以下の項目だけを掲載した

Ⅲ. 自由記述のまとめ

自由記述については、オンラインを除く放送授業受講者には以下の4問の質問を行った。

C-1. この科目を受講してよかったと思う点

C-2. この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）

C-3. この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点

C-4. この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想
また、オンライン受講者には、下記3問の質問であった。

B-19. この科目を受講してよかったと思う点

B-20. この科目を受講して改善すべきだと感じた点

B-21. この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

掲載した内容は、自由記述のグラフ、代表的な意見の抜粋、個々の記述内容を要約し、それぞれをカウントした、度数カウント表である。

グラフ化した質問内容は、放送授業では前掲のC-1～C-3を、オンライン授業ではB-19、B-20である。

Ⅲ－１．学部（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

よかった点は、当該科目について回答された項目が3%以上となったものを掲載した。

改善点は、全体か当該科目のどちらかが、3%以上となった項目を掲載した。

※改善すべき点については、前ページのC-2とC-3の問いをまとめて集計した結果を用いた。

【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

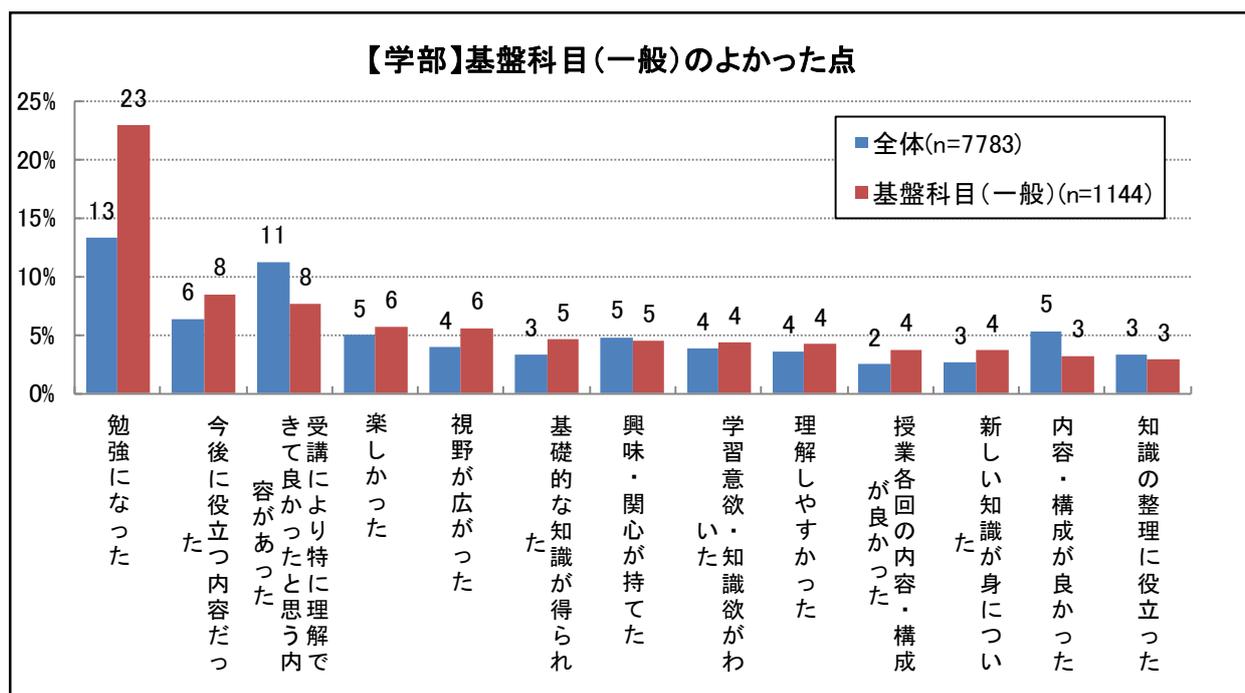
よかった点

「勉強になった」が23%と最も高く、全体との差が大きく、この科目の良かった点を代表していた。

他に「今後役に役立つ内容だった」「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が8%と続いた。

それ以外の項目は6%以下で、全体とほぼ同じ水準であった。

図3－1 【学部】よかった点



【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

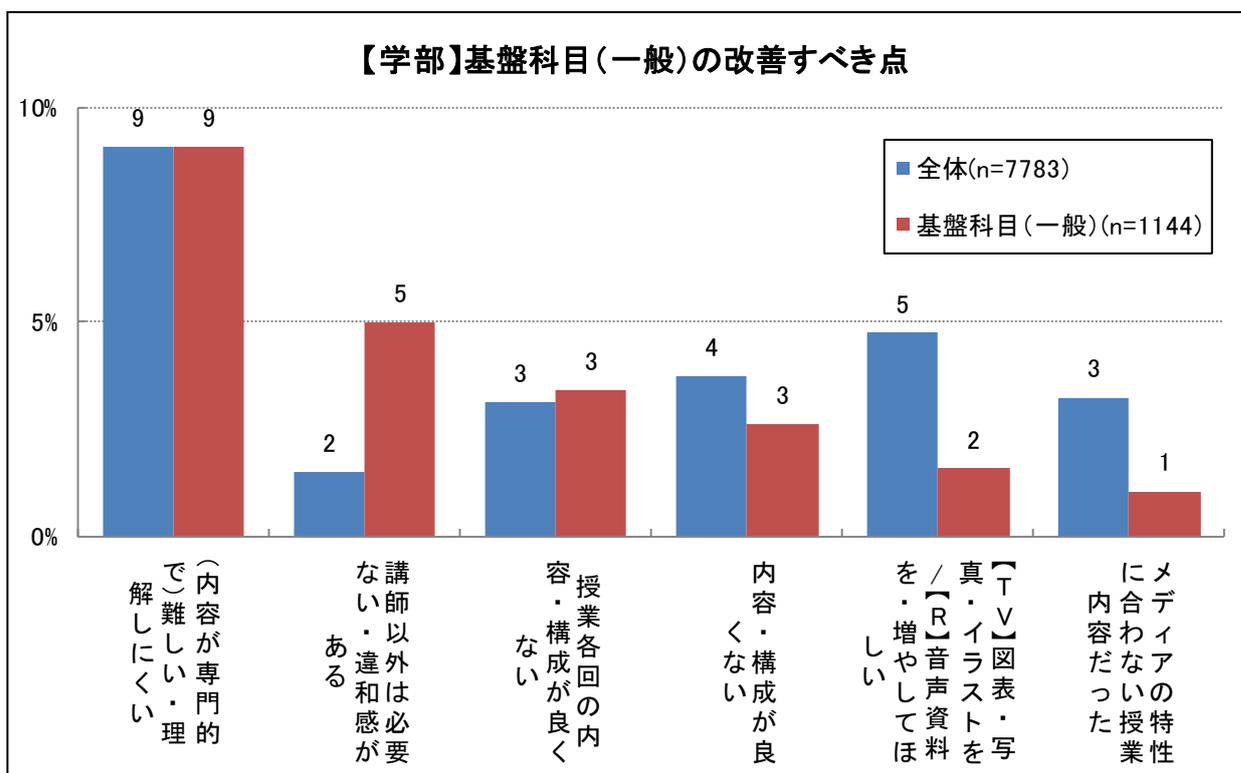
改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が、9%と最も高く、全体と同率であった。

次いで「講師以外は必要ない・違和感がある」(5%) は、全体を大きく上回っていた。

それ以外では「授業各回の内容・構成が良くない」「内容・構成が良くない」が3%で、改善点として挙げられた項目は少なかった。

図 3 - 2 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（一般科目）」抜粋

よかった点

- 新型コロナウイルスで激変する世の中だからこそ、各自が倫理的なレイヤーで認識を新たにすることの必要性を認識できた。
- 今まで漠然と市民生活を送り、なんとなく選挙で投票したり、自治会役員をしたり、消防団活動を続けてきたが、それらの仕組みの根本的な部分を理解した。
- 言葉の選択ミスや、表現方法でいつもつまづく場面が多かった。学習を進めていく過程で、自分の問題点を明確に捉える事ができた。問題点に対する解決方法を見出し、実践し、フィードバックを繰り返す事で、相手に自分の意図する言葉が多少でも伝えられるようになったと考える。
- 私自身が SNS を利用して言葉を発信する際に、改めて文章の作り方を意識できるきっかけになった。接続詞の使い方や長くならない文章作りに気をつけたい。
- これまで自分の文章において書くスキル、読むスキル、考えるスキルへの不安があったことと、仕事柄、他者の文章（履歴書、職務経歴書等での志望動機、自己 PR 文等）の添削をすることがあるため、当教科を受講することで、より読みやすい、分かりやすい文章作成への知識の向上やスキルを身に付けることができたと感じる。
- 仕事で文章を書く機会のたびに、頭の中に授業の内容がリプレイされる。特に、「は」と「が」の使い分けや、ねじれ文になっていないかなど、授業の一部ではあるが自分で添削しながら文章を書く習慣が身に付いたと感じる。
- 国際法、宗教と倫理が大変勉強になった。特に神道と天皇の話は面白かった。
- 「レポートを書く、調べる・考察する」の回が勉強になった。放送大学の学生であることで、先行研究の論文の調べ方などが判ったので、今後利用してみようと思った。
- 日本語ライティングは添削を受けなければこれ以上うまくならないと思っていたが、接続詞をセルフチェック（故意に入れてみる）するだけで向上できることが分かった。
- 国際社会や環境、市場活動、企業などの様々な分野と倫理の関係を学んだことで、倫理的な視点で物事を考える意識が養われた。倫理について幅広く学ぶことができた。
- これまで抱えてきた固定観念が解けて広い視野を持って世間の出来事を俯瞰できるようになった。授業の中でも取り上げられていたが、市民活動は何か特殊で過激なイメージを持っていたが、そうではなく、国が行き届かないところを市民レベルで底から国を豊かにするための活動であると理解することができた。
- 毎日当然のように使っている「日本語」。なぜ文章を書くか考えてみる、そのために「読む」ことを見直す、読んで「分かりにくい」文章には原因があること、そこを意識して書けばよいことなど、今まで知らなかった日本語についての知見がこんなにも整っていることに驚いた。また日本語が「生きている」こと、それを使う自分にも気づくことができた。
- 遠隔学習という切り口で、パソコンやアプリケーションの説明が行われていることが新鮮だった。
- これまで文章を書くことが苦手だと思っていたが、この科目を受講したことで文章の組み立て方など基本的なことから学ぶことができて、苦手意識が薄れてきた。
- なんとなく感覚的に捉えていた文章の読み方や書き方を、日本語の基本中の基本から掘り下げて見える化し、大学生の書く文章の目的地が分かったこと。
- 倫理という切り口で社会と産業コースの担当科目をつなぐ試みは、大胆であり、興味深かった。
- 今まで文章の捉え方があまりわからず本を読むことが苦手だったが、今回の講義を受講して得た段落文章の構成など、教えて頂いたことをもとに読書にチャレンジしていきたいと思うようになった。
- 遠隔学習を始めるにあたって、やり方に不安があったが、この講義でやっていけそうだと自信に繋がった。
- 他のテレビ教材は、聞き手役に講師が淡々と説明していくものが多く、45分授業が長く感じることもあるが、本科目は人形を取り入れたり、写真、フリップを効果的に使用していて、退屈することなく、非常に分かりやすかった。
- 日頃使っている日本語の勉強だから、なんとなく理解していることを整理し学ぶのだろうと、たかをくくっていた。しかし、良い意味で裏切られ、新しい学びが多く面白かった。今まで、説明文の書き方というものを意識したことも、学んだこともなかった。

【学部】「基盤科目（一般科目）」抜粋

改善点

- むいぐるみを使った演出は視聴する上で話題が散漫になるような感覚があり、集中できない要因になった。
- 生徒2名は、最初はパソコン初心者かと思ったが、実際はそうではなさそうなことが途中から分かり、疎外感を感じた受講者もいたかもしれない。
- 後半はプレゼン資料を作成して行くという課題に沿って講義を進めているため、それまでの講義で保たれていた参加型の授業内容が、それ以降、発表者の個別の内容に踏み込みすぎていった結果、視聴側が同レベルでの興味の維持が難しくなってしまった。
- 視覚障害者なので、映像やグラフが読み取れず理解を妨げる部分があった。「ここをクリックして」とかいう表現を見直して、どういうところをクリックするのか具体的表現を取り入れて欲しい。
- Word、Excelの講義は、授業の運び方が難しいと感じた。始めての人にとっては、かいつまみ過ぎで、訳が分からないのではないかと思っし、多少なりとも触ったことがある人には、すでに知っていることばかりになってしまうだろうし、どんなレベルをターゲットにしていたのか、疑問を持った。
- 教本全体の文章の記述がとても分かりにくい。見出しの事柄が、AにもBにもとれたり、または全くその内容が存在しなかったりし、結局何が正解なのか捉えるのがとても難しかった。
- 印刷教材は、もう少し箇条書き部分が多いと理解しやすかったかなと思った。自分にとって難解な内容を長文で読み解くことが苦手だったので、コンパクトに表記された部分がもう少し多かったら、なお読みやすくなったと思った。
- 通信指導・単位認定試験では、放送授業と印刷教材でも内容の表現が統一されていないまま出題されるので、難しく感じ、理解することが困難であった。
- 放送授業がとてもコミカルでEテレを観ている感覚で授業を受けられたが、単位認定試験になると突然ハードルが高くなったように感じた。理解をしていたつもりでも引っ掛けられるような問題が多かったような…。放送授業のコミカルさに、少し油断をしたのかもしれない。
- 授業では、マイクロソフトを利用していたが、マック利用者には対応出来ない部分があった。他の機種への対応もあると、より分かりやすかった。
- 印刷教材と放送教材だけでは十分に理解できないことがあり、講義の都度、その講義の内容が理解できたかを確認できる練習問題などを、回の終わりか、1～3回の復習を4回目にする等してほしい。
- 単位認定試験を受けるにあたり、もっと練習問題が欲しかった。過去の問題には解説が無いので、間違ったところは何か違うのかが分からないままだった。
- 遠隔操作について、一方的な説明だけでなく、学生の操作手順等理解度チェックをパソコン上で、中間、期末で実施してほしい。
- 初心者向けの授業なので、もう少し具体的な例を挙げて教えてほしい所があった。「メールフィッシング」「偽サイト」「課金」…最近は金融系やオンラインショッピングの偽サイトが問題になっている。例えば、「下記の中で怪しいのはどれか」とクイズ形式にしたりして、見分け方を教えてほしい。
- テキストに図表が少ないのが気になった。先生の言われていることは、今までのテキストになかった新しい試みが多いと思った。太字や段落に合わせて図や表があると、独学でも助かったかなと思う。
- 格差の増大を引き起こしている今現在におけるあらゆる自治（国家・企業・市民）のあり方を、もう少し深掘りできる研究科目であるべきと感じた。
- あまり話題を広げないで、江戸時代に儒教があまり流行らなかったことが、明治維新後の日本人の宗教観と倫理にどう影響を与えたかに絞って取り上げてほしいのではないだろうか。
- 「社会科学における倫理」の次に「社会調査」、その次に「国際法」という流れは、少々唐突に感じられ、全体としてのテーマ性を少し読み取りにくいと感じた。
- 放送大学から提供されている、学生が利用できるコンピュータ環境や機能を活用した、具体的な事例や模擬演習などが見られればと思った。

【学部】「基盤科目(一般科目)」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	234	28	262	授業各回の内容・構成が良かった	43		43
今後に役立つ内容だった	84	13	97	楽しかった	27	2	29
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	66	22	88	講師が良かった	21	1	22
視野が広がった	35	29	64	理解しやすかった	21		21
基礎的な知識が得られた	45	8	53	講師の解説が分かりやすかった	13	1	14
興味・関心が持てた	33	19	52	対話形式の授業が良かった	12		12
学習意欲・知識欲がわいた	37	13	50	科目全体の内容・構成が良かった	11		11
新しい知識が身についた	33	9	42	メディアの特性に合った授業内容だった	5	1	6
内容・構成が良かった	23	14	37	良い授業だった	5	1	6
楽しかった	33	3	36	講師の熱意・熱心さが伝わった	5		5
知識の整理に役立った	31	2	33	複数の講師の講義を聞くことができた		4	4
全体として満足している	24	4	28	アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	2		2
理解しやすかった	14	6	20	印刷教材とのバランスが良かった	2		2
具体的な事例、実践的な内容があった	13	6	19	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1	1	2
深く学ぶ(考える)ことができた	5	3	8	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた		2	2
現在の課題や身近な問題点を学べた		8	8	ポイントがつかみやすかった	1		1
学習センターや図書館が良かった・利用しやすかった	7		7	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1
身近に感じられる内容だった	2	4	6	印刷教材と連動して良かった		1	1
自分の意見・考えを持てるようになった	2	2	4				
受験・資格取得に役立った	3		3				
科目の学問的性質、位置づけが分かった		3	3				
難易度・分量が適切だった	2		2				
専門的な内容だった	2		2				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	2		2				
自分のペースで勉強できた	1		1				
最新の情報・研究が学べた	1		1				
資料・データが充実していた	1		1				
小テスト・練習問題が良かった	1		1				
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が良かった	1		1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった	8	2	10	指導内容・コメント・対応が良かった		2	2
手元に置き、今後も読みたい内容だった	8	1	9	記述式が良かった		1	1
理解しやすかった	7		7				
良い教材だった	1		1				
学習内容の理解・整理に役立った	1		1				
熱意が伝わる教材だった	1		1				
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった	1		1
評価が良かった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	25	12	37
内容・構成が良くない	14	5	19
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	15	1	16
例題・練習問題を増やしてほしい	13		13
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	10	2	12
内容が浅い	3	6	9
努力不足だった	8		8
内容にまとまりがない	2	6	8
授業科目案内は内容が不十分だった	5		5
自分のペースで勉強できなかった	4	1	5
現実に生かせる内容にしてほしい	4	1	5
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	4	1	5
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	4	1	5
内容の詰め込みすぎ	1	4	5
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	3	1	4
質問や相談がしたい	3	1	4
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2	2	4
期待していた内容ではなかった	3		3
内容が基礎的で物足りなかった	3		3
内容が専門的で難しかった	2	1	3
科目の分類に疑問がある	2		2
最新の内容を講義してほしい	1	1	2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	2
講義内容と科目名に乖離がある	1		1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	1		1
興味・意欲がわかなかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	14	9	23
内容・構成が良くない	10	1	11
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	5	6	11
放送授業中の資料・データを載せてほしい	7		7
文字が読みづらい	4	1	5
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2	2	4
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2	1	3
内容が薄い・少なすぎる	2	1	3
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1	2	3
難易度・分量が不適切だった	2		2
誤植がある	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1	1	2
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
索引を充実させてほしい	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:講師以外には必要ない・違和感がある
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 放送授業:理解しにくい

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外には必要ない・違和感がある	48		48
授業各回の内容・構成が良くない	37	2	39
理解しにくい	24	13	37
印刷教材の内容が異なる・連動していない	26	1	27
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	15	6	21
印刷教材と異なる講義が聞きたい	1	12	13
講師の解説・指導が良くなかった	9	3	12
メディアの特性に合わない授業内容だった	3	9	12
授業に興味・関心が持てなかった	9		9
講師は1人の方が良い	4	5	9
専門家の意見が聞きたい	4	4	8
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	7		7
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	7		7
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	6	1	7
手話通訳、または字幕がほしい	5	1	6
科目全体の内容・構成が良くない	3	3	6
講師の熱意が伝わらない	4		4
図・表・写真・映像が見づらい	4		4
ポイントがつかみにくい	3	1	4
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1	3	4
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	3		3
単位認定試験と連動していない	3		3
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	2		2

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応に不満がある	3	5	8
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	3	4	7
理解しにくい	3	1	4
学習内容の理解・整理につながらない	1	2	3
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1	1	2
記述式、および記述に関して改善してほしい		2	2
課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている	1		1
提出期間が短い	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	20	1	21
難易度を下げるべき	15		15
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	5		5
評価方法に不満がある	4		4
記述式、および記述に関して改善してほしい	1	1	2
問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1
難易度を上げるべき		1	1

- 難しかった
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない
- 印刷教材:理解しにくい
- 放送授業:講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい

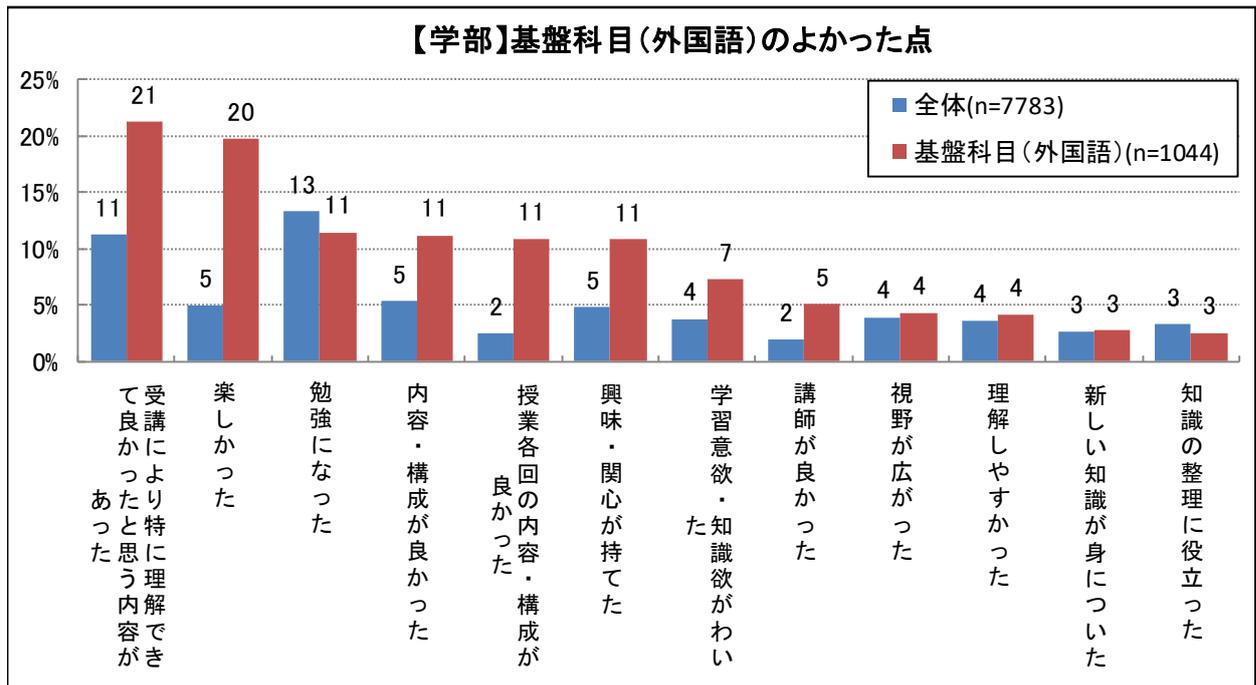
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」と「楽しかった」が2割挙げられ、全体との差が顕著であった。

他に「勉強になった」「内容・構成が良かった」「授業各回の内容・構成が良かった」「興味・関心が持てた」が11%で続いていた。

図3-3 【学部】よかった点

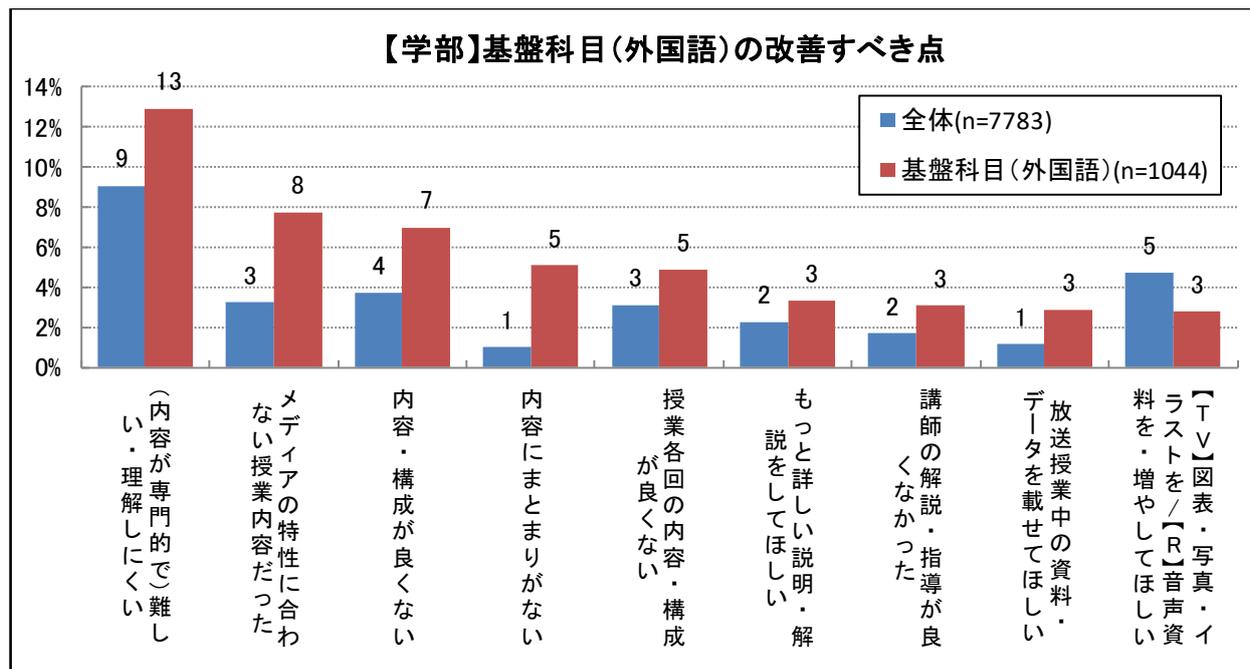


【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が13%と最も高く、全体を上回っていた。他では「メディアの特性に合わない授業内容だった」「内容・構成が良くない」「内容にまとまりがない」「授業各回の内容・構成が良くない」などで、いずれも全体との差があり、授業などの内容に関する点が多く挙げられていた。

図3-4 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（外国語）」抜粋

よかった点

- いくつかの代表的な諸芸や日本文化の基底部分について、知る機会を持つことができた。また、抽象的な内容を英語でどう表現するかを学ぶことができた。
- 他の英語教材ではみられないような詩的な表現や言い回しが、簡単な単語で表現できる事を知り、言語の奥深さを感じる事ができた。
- 放送授業で英語と日本語の訳が交互に紹介されたので、学習しやすかった。
- 「道」というものを、日本人であっても理解していないため、外国語で説明するなどとても難しいと感じたが、内容を理解するようになると、改めて日本文化を見直すきっかけとなった。
- 英語の学習によくあるテキストを読んで文法等を学習するスタイルではなく、話し言葉を通して学習するスタイルが、実際の生きた英語を習得しているような感覚があって、とても良かった。
- ビートルズの音楽と、講師の先生たちの英語を毎回楽しく聴くことができた。英語の発音やリズム、歌詞の意味やフレーズなどを、テンポよく楽しみながら勉強することができた。
- 概念的な単語が多く、難しい点もあったが、日ごろ考えないテーマであったので、英語の理解とあわせて、内容に興味を持てた。
- 道について、理解が難しいものは周辺から核心に迫るということが、日本語アカデミックライティングに通じていて面白かった。
- 今までの大学の授業とは異なり、楽しく進んで勉強できた。英語をリズムでとらえるという発想に感動したのと、授業を受けてそれがどんどん身に付いていくので面白くて、あつという間の15回だった。
- 英語で日本の「道」を表現する難しさや、「道」の文化の奥深さを改めて知る事ができただけでなく、少しだけでも日常に、英語で「道」について考える時間を取り入れたいと意欲が湧いた。
- 単純な英文法の講義ではなく、ビートルズの世界観を通して、口語的な言い回しや音楽的観点から英語を捉えることが学べ、今後の英語学習を継続していく上でのモチベーションにつながった。
- 茶道や武道などの日本の伝統文化について、共通する考え方や精神性など、一歩踏み込んだ説明がなされていたので、勉強になり、新しい視点を得ることができた。
- 復習の回を含む毎回の放送授業の中で、構文や文法事項、便利な表現や言い回し等に関する丁寧な説明をしていただいたことで、英語の理解が深まり、英文を読む力が向上した。
- この講義はビートルズの楽曲を課題にした英文法ということで、親しみをもって受講できた。単なる歌詞の和訳ではなく、歌詞を文法で分解することで言葉の意図する処が理解しやすかった。
- 中学校以降、英語が苦手で避けてきたが、この授業はビートルズの楽曲という身近な素材で英語の基礎から学びなおせたと思う。
- 多種の「道」に実際に取り組んでいる人の姿勢や話を見聞きできたのが為になった。
- テレビ科目であったので、作法等見ることができたので良かった。
- 中学生時代、ビートルズが英語の勉強に役に立っていたと思うが、今回の授業内容では、現在の英語教育方法に基づく新たな知識が得られたと思う。単語を拍で捕らえる方法はカタカナ英語からの脱却に役立った。
- 一般的な英文法の講義より断然親しみやすく、知識も得られる内容だった。特に英語のリズムや特徴を音楽とリンクして説明する内容は本当に楽しく、これまで受けたことのない講義だった。
- 今まで英語の歌をきちんと聞いたことはなかったが、この講座は丁寧に解説してくれて初心者にはありがたかった。
- 講師陣のビートルズに対する姿勢が、同じファンとしても好感が持て、普段であれば続かない英語の学習に意欲的に取り組むことができた。
- 新しい英語の語彙の増強や、ボキャブラリーがより一層増えて、自分自身の英語能力が総合的に向上して、より良い状態へとバージョン・アップした。
- 語学学習として印刷教材を熟読するのは楽しかった。ビートルズというので、ビートルズの背景や曲の意味等、音楽的なエピソードを盛り込んだ内容と思った。

【学部】「基盤科目（外国語）」抜粋

改善点

- 音楽を通じての学習なのでラジオ講義となっていたと思うが、英文法の理解などはテレビ講義で図表を用いての説明が分かりやすいのではと思った。
- ラジオでも十分だが、TV にすると口の動きも確認できて理解が深まるかなと感じた。講師のお3人の掛け合いを見るのも面白そう。
- 初めは歌うことも楽しめたが、段々と楽しめなくなった。歌うことより、もっと歌詞の内容（英語の使い方等含む）の方をもっと深く学びたかったと、今改めてそう思う。
- ゲストの対談の時間の合間に英語を差し込んでほしい。全く別のコンテキストで英語が語られるので、分かりにくい印象だった。
- 講師が学生を置いて、自分だけで進んでしまうような感じだったので、落ちこぼれないような授業にしてほしかった。
- ゲストに外国の方も出演されると、より外側からの理解の違いが分かり、比較文化にも触れられたかと思う。
- ネイティブスピーカーのインタビューを増やし、ヒアリングの機会を増やして欲しい。日本人の場合は英語のアフレコを入れるなどして。
- 初心者向けとはあったが、英語を学ぶ事にはかなりブランクがある身としては、実際に受講してみて結構難しい点が多かった。特に基礎英語（中学・高校初期程度）すら解らない高齢者の受講者等には、ちょっとこの文法やセンテンスを読み解くのは難しいと思う。もっと具体的にテキスト内容を解説したり、説明等が必要であると感じた。
- 「道」を題材としているため、普段使わない単語が多く現れ、その単語の難しさのため内容が把握できず、表現や文法の理解に踏み込めなかった。受講生が努力すべきと思うが、教材が難しすぎる。
- 音楽的知識のあまり無い私にとっては、いきなり難しい音楽用語を連発されると、英語の勉強ではなく音楽の勉強に感じてしまうため、英語のフレーズを覚えられるような内容だと良かった。
- 歌詞解釈、英文法、音楽のどれがメインなのか分かりづらいところがあったので、一番教えたこと到的を絞ってもよいのかと思う。
- 印刷教材に、歌の和訳を載せてもらいたい。
- 印刷教材の訂正が何度も来たことが少しだけ面倒に感じたので、間違いに気づくたびにではなく、まとめて出していただけの方が良かったと感じた。
- 難易度がそれほど高くなさそうな英語系の外国語科目がなかったので履修したが、ビートルズの曲が分からないと興味が湧かない。そういう人も多いと思うのだが、講師の方がビートルズの話で盛り上がり過ぎて、置いていかれている感じがした。
- 試験の内容がほぼ歴史のような内容で、英語をメインで勉強したかった身としては不満足だった。
- 英語力が身に付いたのか身に付いていないのかが分からない。明確にこれといった目標があるわけでもないため、ビートルズで英語を理解するというよりは、もともと英語の素養がある人がビートルズで再復習して語学力を高めるために利用するものだったと思った。
- CDの付録が付いていれば、歌で発音の練習ができたかなと思う。
- 古典的なものを扱うことが多いためか、英単語の難易度が高すぎる。また、文法力の向上にも、長文読解能力の向上にも、資することは無かった。
- 歌詞のように「正しい文法とは少し違う点」についての考え方とかを、もう少し掘り下げてほしかった。
- 印刷教材の内容をもう少し充実して欲しかった。放送授業を聴きながら見ても、書き込む内容が多すぎて、止めながら聞くのが大変でした。
- いくつかの章をまとめて練習問題が作られていて、新しい良い試みと思うが、その問題の数を増やしていただけると記憶に残りやすいし理解が深まる。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	12	210	222	授業各回の内容・構成が良かった	7	107	114
勉強になった	69	51	120	楽しかった	3	99	102
内容・構成が良かった	5	112	117	講師が良かった	2	51	53
興味・関心が持てた	10	103	113	講師の解説が分かりやすかった	8	18	26
楽しかった	6	98	104	講師の熱意・熱心さが伝わった	2	22	24
学習意欲・知識欲がわいた	7	69	76	理解しやすかった	4	16	20
視野が広がった	10	35	45	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	7	3	10
新しい知識が身についた	3	26	29	良い授業だった	1	9	10
知識の整理に役立った		27	27	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	8		8
理解しやすかった	1	21	22	メディアの特性に合った授業内容だった	2	2	4
身近に感じられる内容だった	2	14	16	発音を聞くことができた(語学)		4	4
今後役に立つ内容だった	2	12	14	対話形式の授業が良かった	3		3
基礎的な知識が得られた	1	12	13	ポイントがつかみやすかった	2		2
全体として満足している	5	7	12	印刷教材と連動して良かった	1	1	2
深く学ぶ(考える)ことができた	1	8	9	科目全体の内容・構成が良かった	1		1
難易度・分量が適切だった		3	3				
専門的な内容だった	2		2				
最新の情報・研究が学べた	1	1	2				
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1				
自分の意見・考えを持てるようになった		1	1				
小テスト・練習問題が良かった		1	1				
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が良かった		1	1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった	2	1	3	指導内容・コメント・対応が良かった		1	1
読み物として面白い内容だった		3	3				
良い教材だった	2		2				
理解しやすかった	1	1	2				
学習内容の理解・整理に役立った		2	2				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
評価が良かった	1	3	4

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
難しかった		5	59	64	放送授業中の資料・データを載せてほしい	5	25	30
内容・構成が良くない		8	48	56	誤植がある		25	25
内容にまとまりがない		1	52	53	内容・構成が良くない	7	10	17
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		8	27	35	DVD・CD等、付録の添付を考慮してほしい		13	13
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		2	22	24	理解しにくい	1	9	10
興味・意欲がわかかなかった		1	18	19	図・表・写真・イラストを増やしてほしい		8	8
期待していた内容ではなかった			13	13	内容が薄い・少なすぎる	2	4	6
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		3	6	9	放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	2	4	6
内容が専門的で難しかった		1	8	9	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	4	5
例題・練習問題を増やしてほしい		2	6	8	図・表・写真・イラストが見つからない		5	5
内容の詰め込みすぎ		1	7	8	付録のCDの内容に不満がある	3		3
内容が浅い		2	5	7	文字が読みづらい	1	2	3
現実に生かせる内容にしてほしい		1	4	5	引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1	2	3
講義内容と科目名に乖離がある			5	5	難易度・分量が不適切だった		2	2
授業科目案内は内容が不十分だった			4	4	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			4	4	あまり良い教材ではなかった		2	2
努力不足だった		1	1	2	具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
自分のペースで勉強できなかった		1	1	2	色刷りにしてほしい		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい		1		1	索引を充実させてほしい		1	1
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい			1	1				
質問や相談がしたい			1	1				

放送授業				通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
メディアの特性に合わない授業内容だった			81	81	学習内容の理解・整理につながらない		3	3
授業各回の内容・構成が良くない		9	42	51	指導内容・コメント・対応に不満がある	1	1	2
理解しにくい		4	46	50	理解しにくい		2	2
講師の解説・指導が良くなかった		5	27	32	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない		1	1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		8	13	21	提出期間が短い		1	1
授業のテンポが良くない(早い・遅い)		2	19	21				
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい		1	16	17				
手話通訳、または字幕がほしい		13		13				
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい		5	8	13				
印刷教材の内容が異なる・連動していない		3	7	10				
授業に興味・関心が持てなかった			9	9				
専門家の意見が聞きたい		4	3	7				
解説中の印刷教材のページが分かりにくい			7	7				
講師以外は必要ない・違和感がある			6	6				
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい			4	4				
科目全体の内容・構成が良くない		2	1	3				
図・表・写真・映像が見つからない		1	1	2				
ポイントがつかみにくい			1	1				
講師の熱意が伝わらない			1	1				
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい			1	1				

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:メディアの特性に合わない授業内容だった
- 難しかった
- 内容・構成が良くない

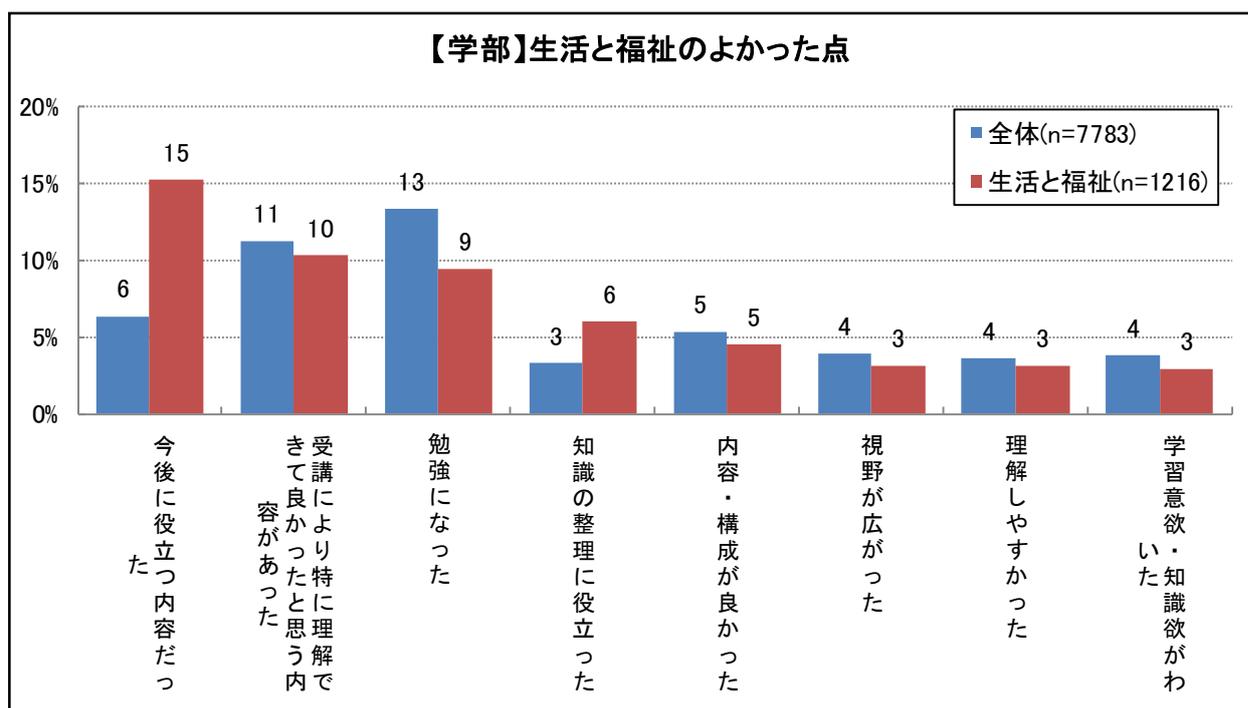
- 内容にまとまりがない
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 放送授業:理解しにくい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

【学部】「生活と福祉」の傾向

よかった点

「今後に役立つ内容だった」が15%と最も高く、全体との差が極端であった。
 他に「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」と「勉強になった」も1割挙げられていた。
 それ以外は、6%以下で多岐にわたっていた。

図3-5 【学部】よかった点

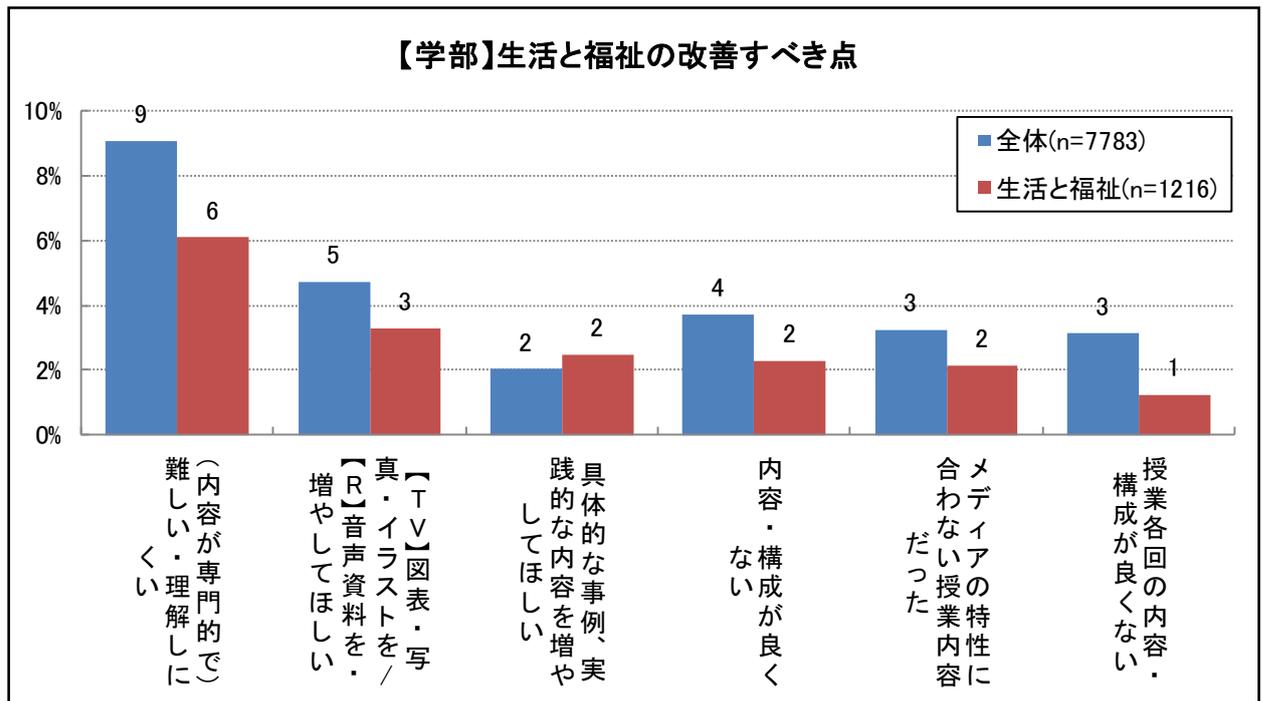


【学部】「生活と福祉」の傾向

改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が6%で最も高く、他では「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を・増やしてほしい」などが続いていたが、いずれも全体を上回る項目はなく、「生活と福祉」の特徴的な回答は見られなかった。

図3-6 【学部】改善すべき点



【学部】「生活と福祉」抜粋

よかった点

- 身近な家族の気持ちや、症状が起きる仕組み、正しい(間違っただけ)対処の仕方を知ることができ、また援助を受ける場合も、どんな方法・仕組みがあるかについての知識を得ることができ、今後の取り組み方について考える助けになった。
- 自分や家族が現在かかえている疾病について、関わっている医師より、この講義で学んだことの方が遥かに理解できて役に立った。
- 認知症のメカニズムが理解できた。認知症の人への理解が深まり、介護・接し方を学ぶことができた。地域でどのように認知症の方を見守り、寄り添っていったらよいか、学ぶことができて受講して良かった。
- 認知症のメカニズムが理解できた。認知症の人への理解が深まり、介護・接し方を学ぶことができた。地域でどのように認知症の方を見守り、寄り添っていったらよいか、学ぶことができて受講して良かった。
- 病気の発病因子や原因について理解が深まった。また、もし病になった場合に、治療と回復について患者自身の注意点が参考になった。
- 適切な食事や食中毒、健康食品などへの日常感じている疑問についても理解できた。
- 以前、准看護師資格を取得するときに学習した内容を、再度掘り下げて学ぶことができて良かった。
- 食の安全に関する内容が幅広く網羅的に学べ、それでいて、それぞれの回が深く詳細に掘り下げられ、とても良い授業だった。
- 自分の中に、認知症に対しての偏見があったことに気づき、その考えを変えることができた。
- たまに教材を見直したりするくらい楽しかった。多分、この教材は自分には一生ものになったと思う。
- 子供の権利条約という国際的な条約があることを初めて知った。色々な場面で子供の人権を守る為に、法律や、制度、支援、携わる人たちがいることを知る機会になった。
- 自分の年齢からして近い将来に体験するかも知れない多くのことを学ぶことが出来て良かったと考える。
- 自分の健康管理に役立てられる項目がたくさんあったので、興味深く勉強できた。
- 睡眠障害に対しての正しい理解ができた。今まで、睡眠は睡眠時間がとれていれば健康的に過ごせると思っていたが、睡眠の方法、規則正しい起床時間、昼寝の時間などの詳しい実験の内容を知ることができたので、何故睡眠障害が起きるかの科学的な説明ができるようになった。
- 感染とか免疫のことを基本から理解することで、間違いが多い情報の中から正しく判断できるようになれたのではないかと考えている。
- 子供家庭福祉の法整備と施策が近年変わりすぎて、新科目として学習できたことは良かった。
- 実生活や身近にある問題を、今まで持っていた疑問や当事者の視点から知ることができたことが良かった。
- 若年性アルツハイマーの患者さんの話を聞く機会はなかなかないため、本当に困っていることや望んでいることを聞く機会となった。
- 事例を用いて、その日の授業を通して治療方法を考えることができたので、理解しやすかった。
- 印刷教材は、家族に話す際にも活用できる大切な1冊になった。
- 先生方の説明は豆知識もたくさん挟まれていて、楽しみながら何度も放送教材を聞き返して復習できた。
- 臨床の専門的な授業を受けたことがなく、知識の向上と保持の為に履修した。やはり、専門の先生に教えていただくと理解が深まることを実感した。
- 軽度の認知症の方に向けた施設の運営や、そこに参加する方の生の声と姿が映像的に理解できたことは、大変勉強になることだった。

【学部】「生活と福祉」抜粋

改善点

- 教材と講義に出てくる図表の違い、講師の講義にあつて教材にない内容が気になる。最新の知見に基づく講義をされているために生じるものと理解しているが、教材の改定もこまめに行う必要があるのでは。
- 病理組織画像は、病理学会のコア画像から拾っているものだったが、もっと強拡大の画像でないと、細胞や組織が見えない。
- 図表の内容を理解できないところがあった。初めて学習する者にも分かりやすい補足説明が欲しい。
- ゲストの講師を通しての授業が多く、それぞれ専門の講義を受講できて良かったと思うが、その講師の主体的な意見や主張が少なかったことを残念に思う。新しい科目だけに、日本の現状や今後の課題など、講師の先生方の主体的な意見があれば、参考になるし、興味ももっと膨らむように思った。
- TV視聴したが、教材に記されている内容を淡々と読み聞かせしないで、教材テーマに沿うものの、出席者の具体的な意見を増やしてもらえると、もっと身近な授業になると感じた。
- 実際の症例のお話があったが、教科書に書いてあることに加えて、先生方のお話やゲストの方のお話として症例に関するものが聞けたらよいと思った。
- 実際の病気の画像などを使っている回があったが、それがとても興味深かった。可能なら、もう少しそのような画像があるとよいと思う。
- どのような植物か微生物か等、具体的に写真などで出してもらえると、もっと興味が持てたと思う。
- コラム的な扱いでもよいので、実臨床での薬剤使用についての豆知識なども交えると、より興味が持てて良いなと思った。
- 実際にグループホームなどで勤務している福祉職の方の苦労や工夫など、もっと実践的な話が聴けると良かった。とても綺麗に作られていたと思うが、実際はもっと厳しく、綺麗ごとだけでは済まされないのが現状だと思う。
- ドクターからの話なので、機序や難しい話があり、なかなか理解するのに苦しんだ。45分授業を、何倍もの時間をかけて少しずつ理解したが、やはり分からない所が多数あった。
- 物質の摂取が人体に与える影響について、もう少し具体的に示すと分かりやすくなると思う。例えば、薬の長期服用にサプリが与え得る悪影響について等が考えられる。
- 体温の推移が少し分かりにくかったので、補足などを追加していただければと思った。
- テーマの掘り下げ方に、ムラが見られた。導入科目であるので、枝葉末節まで取り上げず、広く浅く学べられれば良いと思う。
- 元看護師だったので、薬理学は看護学校時代に学んだし、放送大学でも面接授業で学んだが、それらと比較してレベル（難易度）が高く、やや馴染みにくいと感じた。
- 授業内容が広範にわたっており、15回の放送授業ではとても説明できないくらいのボリュームだと感じている。これを基礎編に例えるならば、発展的な応用編や、面接授業での補完的講義なども、検討頂ければ有難い。
- 放送で用いた図や表を、別売りでもよいのでサブテキストに欲しい。出典が分かれば、その本を買う。または、ノート用に放送授業の図をダウンロードできれば有難い。
- 教科書の5章の内容が不必要に難しいように感じた。医学を専門に学ぶ学生を対象にしているのであれば納得のできる内容だが、先生が「どのような視聴者層」を相手に、「何を一番に伝えたいのか」が伝わらない内容であったように個人的には思う。
- 法律、関係機関、民間関係部門等の相関性はある程度理解できたが、元々知りたかった「子供の人權をどうまもるか」との問い掛けに対しては、ジャンルの多さ、広さのとのバランスもあろうかと思うが、どうしても浅く、広くとの感じは歪めない。
- ロケ地もだが、こういうご時世の状況下なので、尚更、どの科目においても直近の情報（何年も前の収録ではなく）を取り入れた授業形態が望ましいと考える。
- 印刷教材では、具体的事例(放送教材で触れるロケ先やゲストの話など)は不要と思った。それよりも、客観的な内容が多い方がよいと思う。
- 微生物学、特に病原微生物学、臨床微生物学に興味があるのだが、細菌やウイルス寄生虫などについて深く掘り下げた専門科目があったらよいなと思う。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
今後に役立つ内容だった	97	88	185	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	11	1	12
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	73	52	125	理解しやすかった	9	2	11
勉強になった	101	14	115	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	8		8
知識の整理に役立った	55	18	73	講師の解説が分かりやすかった	5	3	8
内容・構成が良かった	42	13	55	楽しかった	3	5	8
視野が広がった	31	7	38	講師が良かった	5	2	7
学習意欲・知識欲がわいた	28	8	36	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	3	1	4
身近に感じられる内容だった	24	2	26	良い授業だった	3		3
新しい知識が身についた	21	5	26	複数の講師の講義を聞くことができた	3		3
興味・関心が持てた	20	5	25	アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	3		3
深く学ぶ(考える)ことができた	15	10	25	講師の熱意・熱心さが伝わった	2	1	3
基礎的な知識が得られた	20	4	24	ポイントがつかみやすかった	1		1
理解しやすかった	17	5	22	科目全体の内容・構成が良かった	1		1
全体として満足している	14	7	21	授業各回の内容・構成が良かった	1		1
楽しかった	9	8	17	対話形式の授業が良かった	1		1
最新の情報・研究が学べた	13	2	15	図・表・写真・映像が見やすかった	1		1
現在の課題や身近な問題点を学べた	10	2	12	印刷教材と連動していて良かった	1		1
具体的な事例、実践的な内容があった	7		7	印刷教材と異なる内容で良かった		1	1
専門的な内容だった	3	1	4				
自分の意見・考えを持てるようになった	3		3				
自分のペースで勉強できた	2		2				
資料・データが充実していた		2	2				
難易度・分量が適切だった	1		1				

印刷教材				単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
手元に置き、今後も読みたい内容だった	7	2	9	科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった	1		1
理解しやすかった	3	2	5	難易度が適切だった	1		1
内容・構成が良かった	3		3				
良い教材だった	1	1	2				
図・表・写真・イラストが見やすかった	1		1				

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	26	4	30	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	33		33
難しかった	21	8	29	メディアの特性に合わない授業内容だった	1	25	26
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	15	6	21	印刷教材の内容が異なる・連動していない	19	3	22
内容が専門的で難しかった	18	1	19	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	15		15
内容・構成が良くない	16	3	19	授業各回の内容・構成が良くない	13	2	15
内容の詰め込みすぎ	15		15	図・表・写真・映像が見づらい	14		14
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発行してほしい	13	1	14	理解しにくい	11	1	12
内容が浅い	7	4	11	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	7	3	10
最新の内容を講義してほしい	9		9	講師の解説・指導が良くなかった	6	2	8
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	7	1	8	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	7		7
科目の分類に疑問がある	3	2	5	印刷教材と異なる講義が聞きたい	5		5
内容にまとまりがない	4		4	講師以外は必要ない・違和感がある	4		4
現実に生かせる内容にしてほしい	4		4	ポイントがつかみにくい	3	1	4
内容が基礎的で物足りなかった	3	1	4	専門家の意見が聞きたい	3	1	4
自分のペースで勉強できなかった	3		3	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	2	1	3
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2		2	インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	2		2
授業科目案内は内容が不十分だった	2		2	手話通訳、または字幕がほしい	2		2
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	2	授業に興味・関心が持てなかった	2		2
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1	1	2	科目全体の内容・構成が良くない	2		2
努力不足だった	1		1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2		2
受験・資格取得に役立つ内容にしてほしい	1		1	講師の熱意が伝わらない	2		2
興味・意欲がわかかなかった		1	1	講師は1人の方が良い	2		2
学校の対応(WAKABA、シラパスを含む)が不十分だった		1	1	単位認定試験と連動していない	1		1

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	6	8	14	課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている	2		2
内容・構成が良くない	9		9	課題(問題)に誤りがあった	1		1
色刷りにしてほしい	9		9				
図・表・写真・イラストが見づらい	6	2	8				
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	5	2	7				
放送授業中の資料・データを載せてほしい	6		6				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	3		3				
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	3		3				
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	2	1	3				
内容が薄い・少なすぎる	1	2	3				
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2				
索引を充実させてほしい	2		2				
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる	1	1	2				
誤植がある	1		1				

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 難しかった

- 放送授業:メディアの特性に合わない授業内容だった
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容・構成が良くない

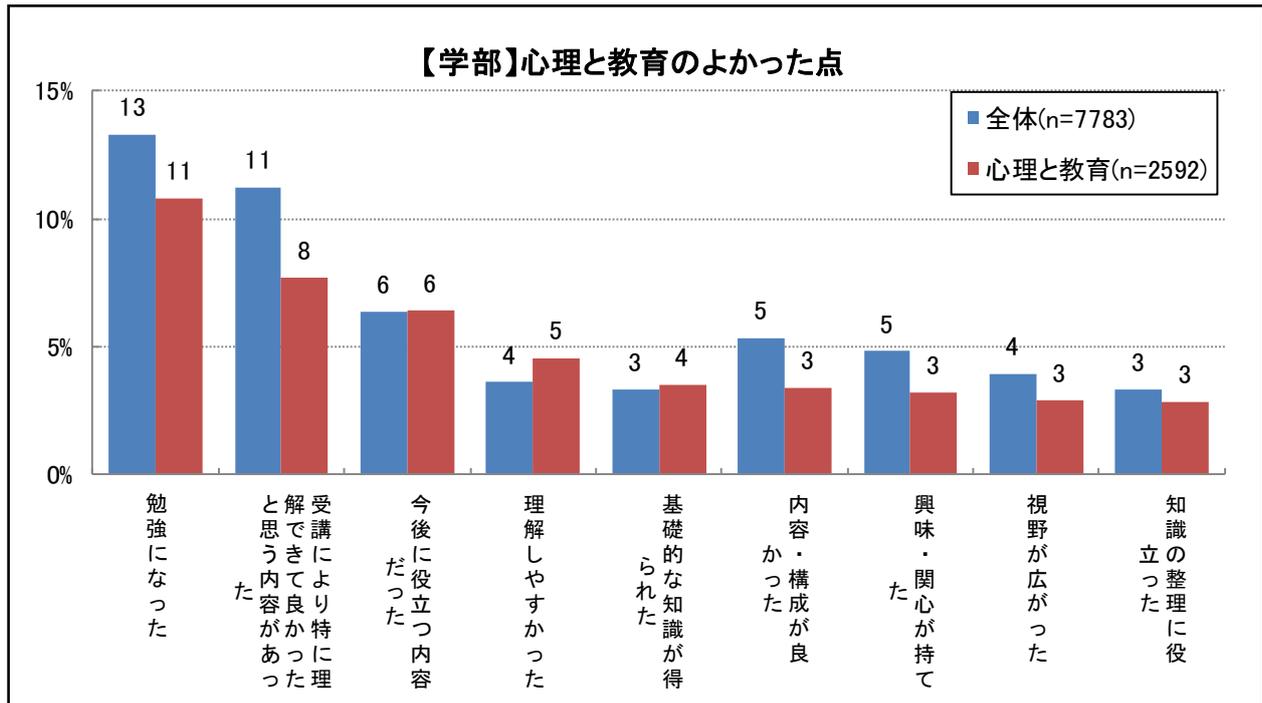
【学部】「心理と教育」の傾向

よかった点

「勉強になった」が11%で最も高く、次いで「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が8%で続き、両方とも全体の方が高かった。

他に「今後役に立つ内容であった」「理解しやすかった」などが6%以下で、色々な意見が挙げられていた。

図3-7 【学部】よかった点



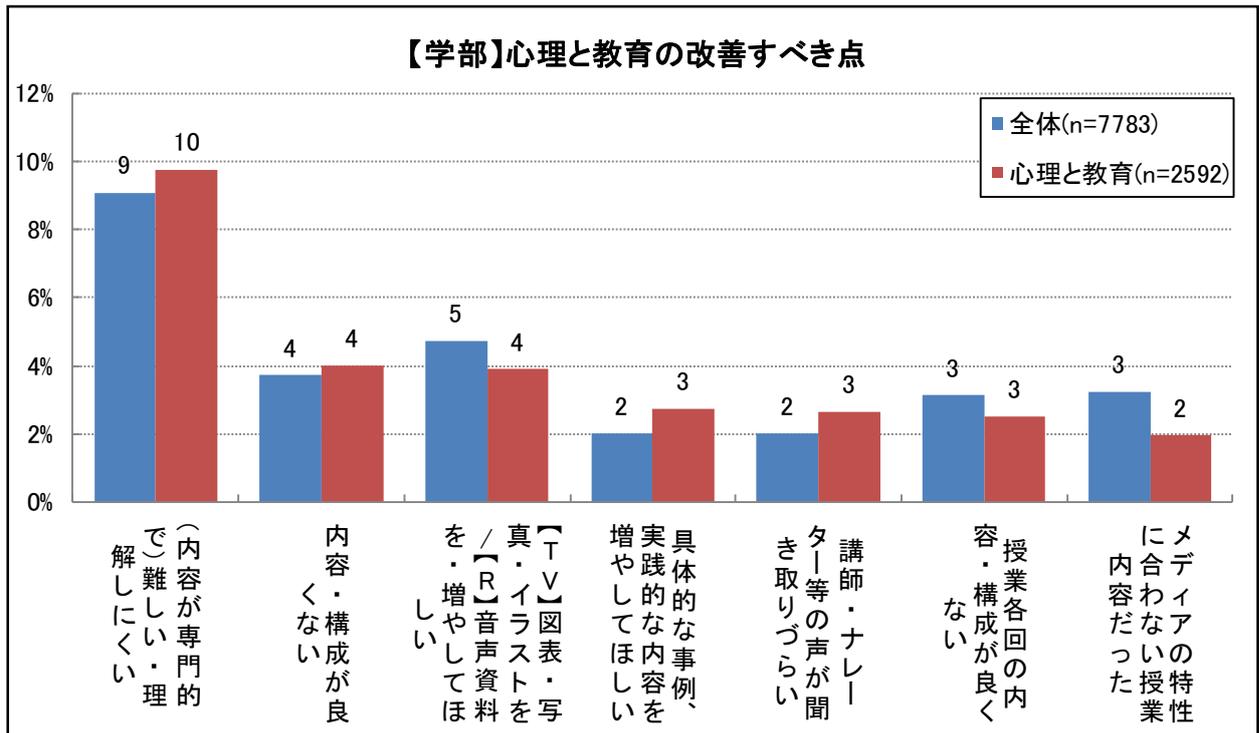
【学部】「心理と教育」の傾向

改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が 10%で、他の項目より目立って高く、全体と同じ水準であった。

他では「内容・構成が良くない」「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を増やしてほしい」が 4%で続いていた。

図 3 - 8 【学部】改善すべき点



【学部】「心理と教育」抜粋

よかった点

- 心理学に数学的な思考が不可欠であること、統計学の重要性がよく理解できた。
- 私たちの生活が多くの社会福祉の取り組みによって守られているかが理解できた。社会における助け合いの、理解を改めて考え直す機会ができた。
- DV、児童虐待について学ぶことができ理解が深まった。特に、児童養護施設の実態、現状については全く知らない世界だったので、興味を持つと同時に、偏見を持っていたことに気づいた。
- 社会のすべての分野が、法・倫理・制度の上に成り立っていることが示されており、また超高齢社会の中で時々刻々変遷を重ねていることが理解できた。
- 1歳児の子育て中なので、発達や遊び方等について役立てられそうな内容で良かった。保育園や幼稚園の役割についても学べたので、今後、子供をどこに預けようか考える指針にもなった。
- 2つの中学校で特別支援教室専門員、スクールカウンセラーとして勤務しているが、自らの資質能力の向上につながっている（つなげたい）と考えている。また現在、目前に迫る公認心理士試験にも役立っていると考えている。
- 障害者・障害児心理学という科目名は少し難しい（専門性が強い）印象を受けたので、ついていけるか不安だったが、実際は、障害者・障害児についての特性や、また、社会の制度など基本的な内容も盛り込まれていたため、身構えず受講することができた。
- 道德教育の基本的な考え方を改めて学習することができた。また、特別の教科道德の授業についても学ぶことができた。
- 序説の講座名に相応しい内容で、私自身、今まで放送大学受講を含む多様な場で心理カウンセリングを学んできたが、振り返りや学び直しとして受講したので、体系的な整理ができて良かった。
- 「学習・言語心理学」という科目を、一つの結論を押し付けるのではなく、皆さんはどうお考えになりますか？や、関心のある方はさらに学習を深めてください、といったスタンスは「学習・言語心理学」の性格上好ましいものだと感じた。学習上のキーワードを英語表現でも提示されたところは良かった。
- 新しい分野の勉強で全てを理解、修得するのは大変だが、勉強していて考えさせられる部分が多く、心理学により一層関心を持つことができ、引き続き勉強していきたいと思う。
- この授業を受けたことによって、身の回りの統計データについて関心が持てたと同時に、数値についても深く考えるようになった。
- 知識だけではなく、講師の方それぞれのセラピストとしての信念や思いが伝わってきて、大変興味深く受講することができた。最後の受講生へのメッセージも、気持ちが引き締まると同時に、とても心強く感じた。
- 言語や学習について、他の心理の科目とは重ならないような視点からも学べたことが良かった。
- 世の中の統計というのが、例えば、コロナ関連のことに置き換えても、どのように計算されているかの仕組みや考え方がよく分かり、自分がより科学的、客観的にものを見られるようになった。
- 教員試験を受けるときや、教員になってから生徒に指導する際に、分かったつもりになっていたことを理論的に整理することができて良かった。
- 福祉分野で働いていながら、あまり関わってこなかった分野。学び直しとして適していたと感じる。
- 歴史と共に変わる法制度を見直すのに、分かりやすい説明だった。
- とても難しく、理解できたと思っても中々整理まで行かず大変だったが、心理学的支援というものがとても奥深く、また、用いる手法によって根本的な部分から変わってくるのが分かってきて、心理学やその関連科目を改めて必死でやってみようと思った。
- こんな法律もあったのかというような私の知らない法律が多数出てきたので、受講してからは、ニュースで耳にする法律について関心を持つようになった。
- カウンセリングの実践的な情報が得られて良かった。
- 聞き取りやすい話し方で、色々な演出、たくさんのおもちゃも紹介してもらえて、楽しく受講できた。

【学部】「心理と教育」抜粋

改善点

- サンプルデータのイメージをイラストで表したり、パワーポイントのアニメーションを使うなど、親しみやすい説明がされると、難しい統計学も分かりやすくなると思う。
- 講師の先生方が、放送の収録配信に慣れていない様子だった。早口だったり、妙な間があったりして聞きづらかった。
- 1人の先生が話すばかりでなく、複数の先生で色々な考えを交換するという場面もあると良かった。
- 実践の様子（各施設の様子）を、音声だけでなく、映像で見られると尚良かった。
- とにかく、もっと分かりやすく説明してほしい。厳密に説明したい気持ちは分からなくもないが、少なくとも初学者に専門用語を多用するのは避けてほしい。
- 講師によっては、印刷教材の内容をほぼそのまま解説している時間が大部分を占めていることがあった。せっかく放送教材と印刷教材がそれぞれ用意されているので、放送教材では印刷教材に書いていないことをさらに補足したり、ビジュアルで理解しやすくする工夫がもっとなされると、さらに理解が深まったと思う。
- 法律の専門家の話や心理職の方の話が沢山聞きたかった。仕事として守っていくのに大変な事や、色々な事例を聞きたかった。
- 難しすぎる。せめて、印刷教材の3章分ぐらいは初学者の為に懇切な説明に充てて、数学〈統計分野〉の学力が中学校三年生から高等学校一年生ぐらいの水準でも、授業についていけるようなレベルにしてほしい。
- 非常に難しかった。また、提出課題への模範解答がいずれも自分で調べねばならず、はたして「これで合っているのか？」の不安がぬぐえない設問がいくつか残ってしまった。もちろん、先生の意図があつてのこととは思いますが、なかなか十分な理解に至れず、苦戦した。
- こういう現象なんだと頭で理解はしていても、実際の生活でしている行動に当てはめると難しく感じる点が多くあった。生活の中での事例等が紹介されていたら、もっとイメージしやすくなったのではないかと感じる。
- 用語や学問分野の定義に関する説明が多く、単調に感じた。
- 印刷教材の訂正が五月雨式に大量に出されたので、困惑した。印刷前に十分に校正をやって欲しい。
- 印刷教材を読みやすく執筆していただきたい。論文だと考えて基礎知識ありきで書かれると理解に窮する。
- 重要な部分を太字にしたり、枠づけ、囲み枠など、強弱のある表記にさせていただくと、更に学びが深まると感じた。
- 覚えるべき必要な公式は、何度も練習問題をやらせて欲しい。
- 印刷教材に図や写真などがもう少しあると良いように思う。学問の性質上、どうしても抽象的な言い回しや修飾語が多くなるので、文章だけを追って理解するのは少々しんどい。画像や図表などがもう少しあると、学習しやすいと思う。例えば、カウンセリングルーム風景やカウンセラーの服装などは、印刷教材でも写真やイラストによる例があると良いと思う。
- 放送内容とテキストの内容に沿った単位認定試験にしてほしい。自宅での受験だったので、ネットなどで確認した設問もあったが、本来はテキストや放送授業で出されたものが出題されるべきではないかと思っている。
- 障害・症状について、期待していたより内容が薄かった。もう少し具体例（よくあるケース、間違いやすい対応など）を知りたかった。
- 放送授業で使用していた板書資料をPDFなどで提供して欲しい。印刷教材では書き方が違うので復習に使えない。
- 公式だけ印刷教材に掲載されているが、どこで間違っているのか確認するため、途中の解き方も載せてほしい。
- 概要欄でチャプターを表示していただくと、復習時に大変役立つ。
- 通信指導の解答に、もう少し詳しい説明が書いてあると助かる。どこが間違っているのか理解できないところがあった。
- 公認心理師対応のため仕方ないのかもしれないが、学習心理学と言語心理学は別々の科目とした方が、より深く学べて良いのではないかと思う。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	185	95	280	講師の解説が分かりやすかった	48	7	55
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	103	96	199	講師が良かった	38	8	46
今後に役立つ内容だった	85	81	166	講師の熱意・熱心さが伝わった	42	2	44
基礎的な知識が得られた	73	18	91	理解しやすかった	29	7	36
内容・構成が良かった	55	33	88	複数の講師の講義を聞くことができた	19	1	20
興味・関心が持てた	53	30	83	楽しかった	15	5	20
視野が広がった	48	27	75	授業各回の内容・構成が良かった	16	1	17
知識の整理に役立った	48	26	74	メディアの特性に合った授業内容だった	13		13
理解しやすかった	38	25	63	良い授業だった	11	1	12
学習意欲・知識欲がわいた	47	15	62	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	4	7	11
新しい知識が身についた	32	21	53	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	9		9
具体的な事例、実践的な内容があった	34	15	49	科目全体の内容・構成が良かった	4	3	7
受験・資格取得に役立った	23	23	46	図・表・写真・映像が見やすかった	4		4
全体として満足している	31	10	41	ポイントがつかみやすかった	3	1	4
身近に感じられる内容だった	9	14	23	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	3		3
深く学ぶ(考える)ことができた	16	6	22	印刷教材と運動して良かった	3		3
資料・データが充実していた	21		21	印刷教材とのバランスが良かった	2		2
楽しかった	14	3	17	アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった		2	2
現在の課題や身近な問題点を学べた		10	10	対話形式の授業が良かった	1		1
自分の意見・考えを持てるようになった		9	9	印刷教材と異なる内容で良かった	1		1
最新の情報・研究が学べた	2	4	6				
専門的な内容だった	4	1	5				
自分のペースで勉強できた	4		4				
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が良かった	3	1	4				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	2	2	4				
科目の学問的性質、位置づけが分かった	3		3				
難易度・分量が適切だった	1	2	3				
小テスト・練習問題が良かった	2		2				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすかった	14	5	19	指導内容・コメント・対応が良かった	2		2
学習内容の理解・整理に役立った	6	1	7	学習内容の理解・整理に役立った	1		1
良い教材だった	3	4	7				
内容・構成が良かった	5	1	6				
手元に置き、今後も読みたい内容だった	2	1	3				
引用・参考文献の紹介が良かった	1		1				
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った	1		1				
熱意が伝わる教材だった	1		1				
体系的に学べた・理解できた			1				
図・表・写真・イラストが良かった			1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目内容の理解度をはかるのに相応しい内容だった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	103	8	111	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	72	6	78
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	50	21	71	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	60	9	69
内容・構成が良くない	56	14	70	授業各回の内容・構成が良くない	56	9	65
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	55	7	62	理解しにくい	48	3	51
内容が専門的で難しかった	30	1	31	メディアの特性に合わない授業内容だった	9	42	51
内容の詰め込みすぎ	20	8	28	講師の解説・指導が良くなかった	38	4	42
例題・練習問題を増やしてほしい	23		23	印刷教材の内容が異なる・連動していない	37	4	41
内容が浅い	11	9	20	印刷教材と異なる講義が聞きたい	14	24	38
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	15	4	19	専門家の意見が聞きたい	15	8	23
科目の分類に疑問がある	12	3	15	ポイントがつかみにくい	12	8	20
期待していた内容ではなかった	12	2	14	科目全体の内容・構成が良くない	10	3	13
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	9	2	11	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	9	2	11
授業科目案内は内容が不十分だった	9	1	10	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	9	1	10
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	8		8	図・表・写真・映像が見つらい	9		9
内容にまとまりがない	7	1	8	授業に興味・関心が持てなかった	5	4	9
現実に生かせる内容にしてほしい	5	2	7	講師の熱意が伝わらない	7	1	8
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	6		6	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	4	2	6
努力不足だった	2	3	5	インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	3	3	6
最新の内容を講義してほしい	1	3	4	手話通訳、または字幕がほしい	5		5
興味・意欲がわかかなかった	3		3	講師は1人の方が良い	5		5
講師・事務方の対応が良くなかった	3		3	講師以外は必要ない・違和感がある	1	1	2
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2	1	3	単位認定試験と連動していない	1		1
質問や相談がしたい	2	1	3	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい		1	1
講義内容と科目名に乖離がある	2		2				
受験・資格取得に役立つ内容にしてほしい	2		2				
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい		2	2				
交流の場を用意してほしい	1		1				
印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
誤植がある	42	9	51	理解しにくい	16		16
理解しにくい	37	7	44	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	12		12
内容・構成が良くない	25	9	34	課題(問題)に誤りがあった	7	1	8
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	12	11	23	指導内容・コメント・対応に不満がある	6		6
内容が薄い・少なすぎる	15	4	19	課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている	4		4
索引を充実させてほしい	12	4	16	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	3		3
放送授業中の資料・データを載せてほしい	11	3	14	学習内容の理解・整理につながらない	2		2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	7	1	8	課題(問題)が、単位認定試験と直結していない	1		1
色刷りにしてほしい	3		3	記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
あまり良い教材ではなかった	2	1	3				
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1	2	3	単位認定試験			
図・表・写真・イラストが見つらい		3	3	意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度・分量が不適切だった	2		2	試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	18	3	21
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2	難易度を下げるべき	10	1	11
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1	1	2	試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	7	2	9
DVD・CD等、付録の添付を考えてほしい	1		1	問題の解答・解説・用紙がほしい	3	1	4
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい		1	1	記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
主な改善点の提案:集約				教材・電卓持込みについて変更してほしい	1		1
●難しかった				難易度を上げるべき		1	1
●放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい				●内容・構成が良くない			
●具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい				●放送授業:講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい			
				●放送授業:授業各回の内容・構成が良くない			
				●もっと詳しい説明・解説をしてほしい			

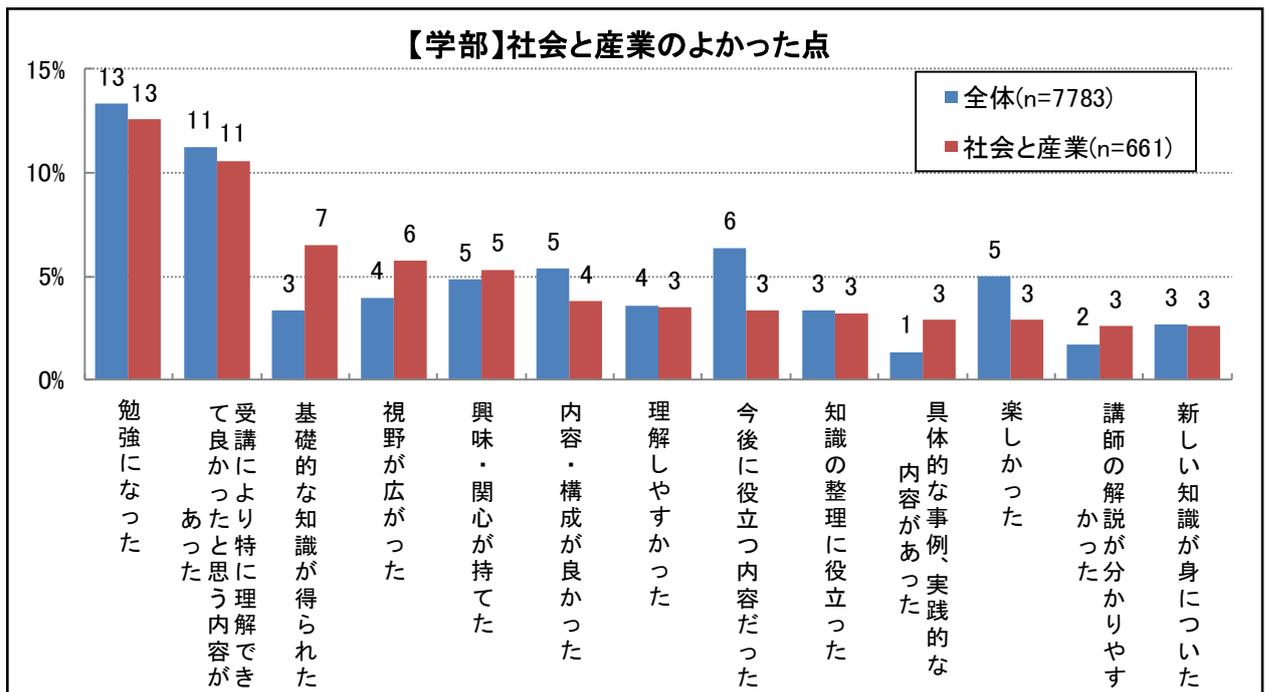
【学部】「社会と産業」の傾向

よかった点

「勉強になった」「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が1割を超え挙げられた。

他に「基礎的な知識が得られた」「視野が広がった」が7,6%で続き、この両項目は全体を上回っていた。

図3-9 【学部】よかった点

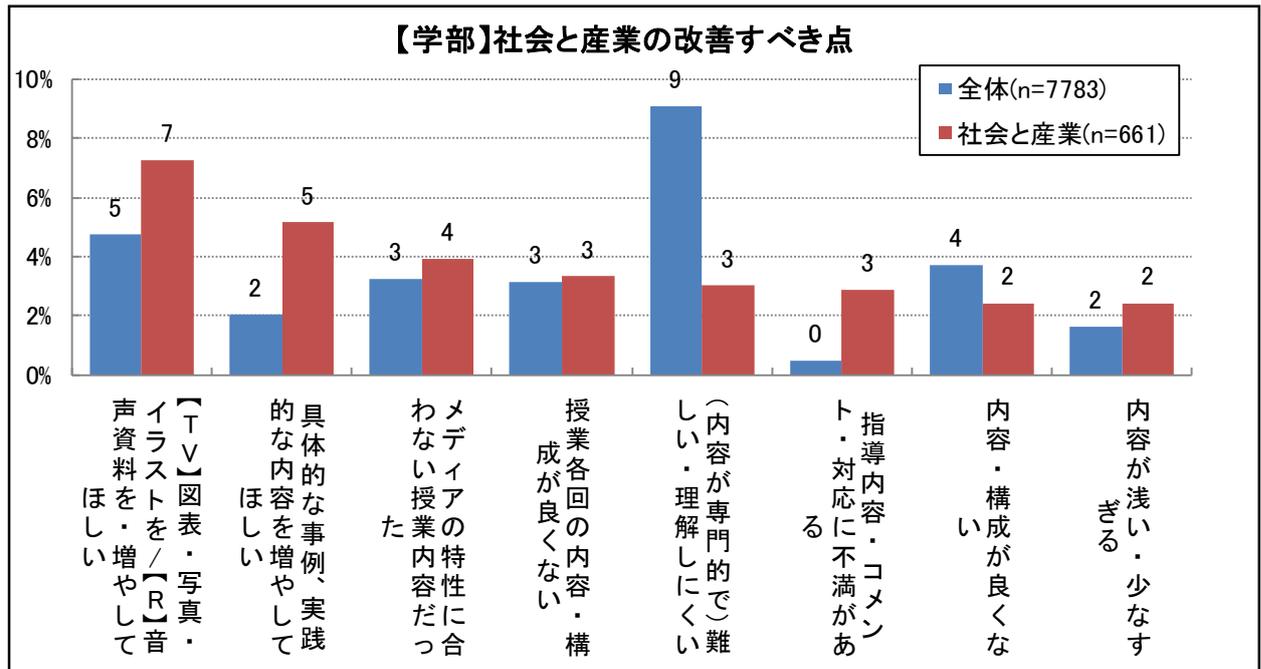


【学部】「社会と産業」の傾向

改善点

「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を・増やしてほしい」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が6%前後で上位に挙げられ、全体を上回っていた。他に「メディアの特性に合わない授業内容」などが4%以下で続いていた。

図3-10 【学部】改善すべき点



【学部】「社会と産業」抜粋

よかった点

- 企業での実践の現場では、個別の手法についての雑多な知識しか得られないが、本授業でマーケティングの全体像についての理解を深めることができたと思う。
- 社会学という抽象的な概念について、基本的な考え方や基礎的な知識を広く学べる構成になっているので、現代の社会の問題を考える上で参考になった。
- NPO や NGO と呼ばれる法人にもいくつか種類があること、法人制度が変わったことにより現在の制度になったことなど、法人手続きについてよく分かった。また、世界的に有名な NPO 組織についても知る事ができた。
- 戦後の日本が辿った歴史と、世界における位置づけの変遷が理解できて良かった。特に東南アジアに対する現在の日本の立ち位置が、戦後の歴史の中でどのように形成されてきた結果であるのか理解できたことは良かったと思う。
- マーケティングの初歩的な概念を理解するのに役立った。仕事で用いたことのある手法等についても学問として学ぶことができ、より実践的な知識の理解に近づけた。
- 人とは何か、命とは何かという哲学的な問題と刑法がここまで密接に関連しているとは思っておらず、非常に興味深い内容だった。
- 環境問題で、科学、経済学、政治学の観点から、幅広くコンパクトに解説頂いた事が良かった。
- 会計事務所での新規事業に対する政府への補助金申請に携わったが、新しい市場の分析が必要な場面が多く、SWOT 分析等、講義で取得した内容をすぐに実践に役立てることができた。個人的にはまさしくタイムリーな内容であった。
- 今まで、社会学の書籍を読んで理解していたと思っていたことが、授業を受けて整理された。社会学が社会をどう捉えようとしているのか理解できた。質的データをどのように扱うのか知りたかったので、そこを理解できたことが良かった。
- 法律科目だが直近の判例等も紹介されていて参考になった。放送授業では著名な学者などのインタビューも聞いて、充実した内容だと感じた。
- NPO・NGO という分野で組織されている様々な団体が、日本だけでなく国際的な活動として世界に大きな影響を及ぼしていることを確認できたことは新しい発見になった。
- 講師による授業は、複雑な国際情勢を関係当事者にインタビューする等、分かり易く興味を持てた。
- 日本の政治と韓国の政治の比較は大変面白かった。朝鮮における日本の植民地支配について関心があるので、参考になった。中国の政治思想はどうなっているのか知りたいと思う。
- 社会学概論の名にふさわしい、丁寧に初学者にも分かりやすく、社会学に関心を持ちやすい内容であり、社会学関連科目への関心が高まった。
- 教授の現地の映像を取り入れた講義は、いつもながら理解に役立ち、楽しく受講できた。
- 社会学で使われる基礎的な概念、タームの内容が大変よく理解できた。講義の内容は明晰で、授業が進むごとに理解が深まる。一流の講師が周到に準備した講義を受けて、「社会学」という分野への考えが変わった。
- 知らないことばかりだったので面白かった。天皇という存在が実際にはどういうものなのかが分かった。
- 今までにない興味深い授業で、大変満足している。身近な題材から入って、マーケティングについて話を広げる手法で、改めてマーケティングというものが日常生活に根付いているものなのだということが理解できた。
- 二人の主任講師が少し違った観点から日本外交の問題について議論をし、さらには放送中にゲストとして出演された先生方の考え方もよく分かって、いわば立体的にこの科目のテーマについて学習できた。
- 定年後に再就職しているので、雇用に関する法律を改めて自分事として理解できたし、現在の雇用に関する課題を改めて多岐にわたることも考えさせられた。
- 放送授業はとても凝った作りで、楽しく学ぶことができた。おかげで表面的な理解ではなく、しっかり頭に入ってきたように思う。
- 労働法、特に働き方改革によって変更された部分は、仕事において理解すべき必要事項であった。また改めて、働くとは何か、働き方に関して理解が深まり、学習できて非常に良かった。

【学部】「社会と産業」抜粋

改善点

- 飲酒運転など、ある事件によって方向性が変わってきたというようなことを時系列に年表のようにまとめてもらえたら、判例も理解しやすくなると思う。
- 最先端の倉庫などの実際の状況をビデオで紹介したり、物流企業の方のインタビューなどがあれば、さらに理解できたと思う。他の授業でも言えることだが、社会科学系の授業は放送授業の特性を生かし、実際の現場や企業などの解説映像を入れていただくと理解が進むと思う。
- 放送授業の映像がやや固く感じた。静止画の資料が多かったため、印刷教材に掲載してラジオ科目でも良かったように感じた。
- ラジオだと、専門用語の漢字が分からず理解に苦労した。
- 幅が広い為に、もっと専門家のゲストを迎え、2人で展開する回を増やしていくとよいと思う。
- 講師の相手になる方の発言がすべて、講師が「その通りです」と肯定する内容であった。「それはちょっと違う」というような、講師が軌道修正する発言がいくつかあると、視聴者の理解が深まるきっかけになるのではないかと感じた。
- 通信指導（記述式）の講師指導に、「”要約”を求めたのに要約でなかった回答が多い、要約回答はどのように記述されるべきか」という内容が書かれていた。要約を学ぶ点では良い経験をしたと思ったが、日本の外交を学ぶのが本来の目的であるので、外交の理解についての指導を入れて欲しかった。
- 短時間での大量の通信指導は大変かと思うが、コメントが全体的な内容だったので、もう少し個別に頂けたらありがたかった。
- 放送授業は主に講師がテキストを読み上げるような形が多かった。その方法でも分かりやすいのだが、テキストの全てを時間内に収めようとすると、やはり読んでいだけになりやすいのではないかと思う。テキストを自学する部分を設けて、その代わりに参考図書を詳しく解説してみたりすると、もっと興味が湧いてくるのではないかと思った。
- 大学教授の意見は専門性に富み、参考になる。社会企業の方の意見も取り入れては如何だろうか。
- 大学生が陥りやすい労働トラブル（ブラックバイト等）も、事例を交えながら教えて欲しい。実際の解決方法まで含められれば、より実践的な科目となるだろう。
- 特に、其々の外交に関わった本人知人や、関係者達の思いや、その時の立ち位置等の背景を感じ取れるような演出を強調していただけたら、よりいっそう興味深く学習が進んだと思う。
- 刑法の学習を終わっていることが前提ではないか。
- 過去の日本外交史をなぞるのではなく、過去の日本外交をベースにして、また世界各国の外交戦略を踏まえて、日本はどう世界に立ち向かっていくべきかという視点が欲しい。特に中国の急激な台頭を踏まえて、日本としてどのような戦略をもってアジアの中で存在感を発揮していくのかということが聞きたい。
- 私自身は、5章：品質マネジメントのためのツールと活用法は読み飛ばした。管理手法であり、参考レベルで取り上げるか、別科目にして頂き、むしろ企業等の組織体に対応している例を、最後の決済まで含めて説明頂いた方がより分かりやすいと思う。
- 放送授業でフリップを用いて解説していた算術的な手法（計算式等）について、教科書の記載内容が、文章として表現されているものが目立った。算術的な手法（計算式等）については、図表化し、分かりやすく記載いただけるとより理解が深まる。
- 放送授業では刑法の基本的な用語、例えば「観念的競合」の説明があるものの、印刷教材には記載がなかった。これら用語は用語集みたいな簡単な補足でも構わないので記載されていると便利である。法学部でないから、レベルは敢えて午後のワイドショーレベルに抑えていると思われ、難しいコトバは印刷教材に書かない配慮が感じられるが、もう少しページ数を増やしてもらっても構わない。
- もっと内容を深く掘り下げて、その上で学部レベルの通信教育というプラットフォームで展開させるべきだと思う。はっきり言って、もはや常識レベルの内容も含まれていた。
- 今まで「マーケティング」ということを特別に学んだことはなかったが、どこかから得た既に知っている内容が多かったことが意外であった、というか、少し残念な気もした。もっと先には何があるのか、ということまで掘り下げることができなかったのは個人的な今後の課題と考えているが、授業でももう少しそのあたりの話があればうれしかった。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	56	27	83	講師の解説が分かりやすかった	13	4	17
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	35	35	70	講師が良かった	11	1	12
基礎的な知識が得られた	39	4	43	楽しかった	10	2	12
視野が広がった	32	6	38	理解しやすかった	8	1	9
興味・関心が持てた	23	12	35	良い授業だった	7		7
内容・構成が良かった	17	8	25	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	6	1	7
今後に役立つ内容だった	17	5	22	科目全体の内容・構成が良かった	6		6
知識の整理に役立った	18	3	21	複数の講師の講義を聞くことができた	4		4
具体的な事例、実践的な内容があった	14	5	19	印刷教材と連動していて良かった	4		4
新しい知識が身についた	9	8	17	授業各回の内容・構成が良かった	3	1	4
学習意欲・知識欲がわいた	11	4	15	アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	3		3
理解しやすかった	10	2	12	メディアの特性に合った授業内容だった	2		2
楽しかった	1	6	7	講師の熱意・熱心さが伝わった	2		2
現在の課題や身近な問題点を学べた	6		6	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
身近に感じられる内容だった	2	4	6	図・表・写真・映像が見やすかった	2		2
科目の学問的性質、位置づけが分かった	5		5	対話形式の授業が良かった	1		1
全体として満足している	4	1	5	印刷教材とのバランスが良かった	1		1
最新の情報・研究が学べた	4	1	5	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった		1	1
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	4		4				
深く学ぶ(考える)ことができた	3		3				
難易度・分量が適切だった	1		1				
資料・データが充実していた		1	1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しやすかった	2		2
内容・構成が良かった	1		1
良い教材だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった	5		5
学習内容の理解・整理に役立った	1	1	2
課題(問題)の範囲・難易度・分量が適切だった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
評価が良かった	2		2
科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般 意見	科目全般			放送授業			
	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	26	8	34	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	34	3	37
内容・構成が良くない	9	6	15	メディアの特性に合わない授業内容だった	6	20	26
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	7		7	授業各回の内容・構成が良くない	19	3	22
内容が浅い	6	1	7	印刷教材と異なる講義が聞きたい	10	4	14
最新の内容を講義してほしい	5	1	6	専門家の意見が聞きたい	11	1	12
難しかった	4	2	6	講師の解説・指導が良くなかった	10	1	11
もっと詳しい説明・解説してほしい	3	2	5	理解しにくい	7	3	10
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	4		4	講師は1人の方が良い	9		9
内容の詰め込みすぎ	3	1	4	科目全体の内容・構成が良くない	5	4	9
現実に生かせる内容にしてほしい	3	1	4	印刷教材の内容が異なる・連動していない	6	1	7
期待していた内容ではなかった	2	2	4	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	5		5
努力不足だった	2		2	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	4	1	5
例題・練習問題を増やしてほしい	2		2	図・表・写真・映像が見づらい	4	1	5
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	2		2	授業に興味・関心が持てなかった	2	1	3
興味・意欲がわかなかった	1	1	2	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	2	1	3
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1	1	2	手話通訳、または字幕がほしい	2		2
講師・事務方の対応が良くなかった	1	1	2	ポイントがつかみにくい	2		2
内容にまとまりがない		1	1	講師の熱意が伝わらない	2		2
内容が専門的で難しかった		1	1	講師以外は必要ない・違和感がある	1	1	2
講義内容と科目名に乖離がある		1	1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1	1	2

印刷教材 意見	印刷教材		
	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	6	5	11
放送授業中の資料・データを載せてほしい	10		10
内容が薄い・少なすぎる	2	7	9
図・表・写真・イラストが見づらい	2		2
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	2		2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2		2
理解しにくい		2	2
あまり良い教材ではなかった	1		1
内容・構成が良くない	1		1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
色刷りにしてほしい	1		1
誤植がある	1		1

通信指導 意見	通信指導		
	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応に不満がある	19		19
記述式、および記述に関して改善してほしい	2		2
課題(問題)が、単位認定試験と直結していない	1	1	2
理解しにくい	1		1
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1		1
課題(問題)に誤りがあった	1		1

単位認定試験 意見	単位認定試験		
	テレビ	ラジオ	合計
記述式、および記述に関して改善してほしい	2		2
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	1	1	2
評価方法に不満がある		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業: 図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業: メディアの特性に合わない授業内容だった

- 放送授業: 授業各回の内容・構成が良くない
- 通信指導: 指導内容・コメント・対応に不満がある
- 内容・構成が良くない
- 放送授業: 印刷教材と異なる講義が聞きたい

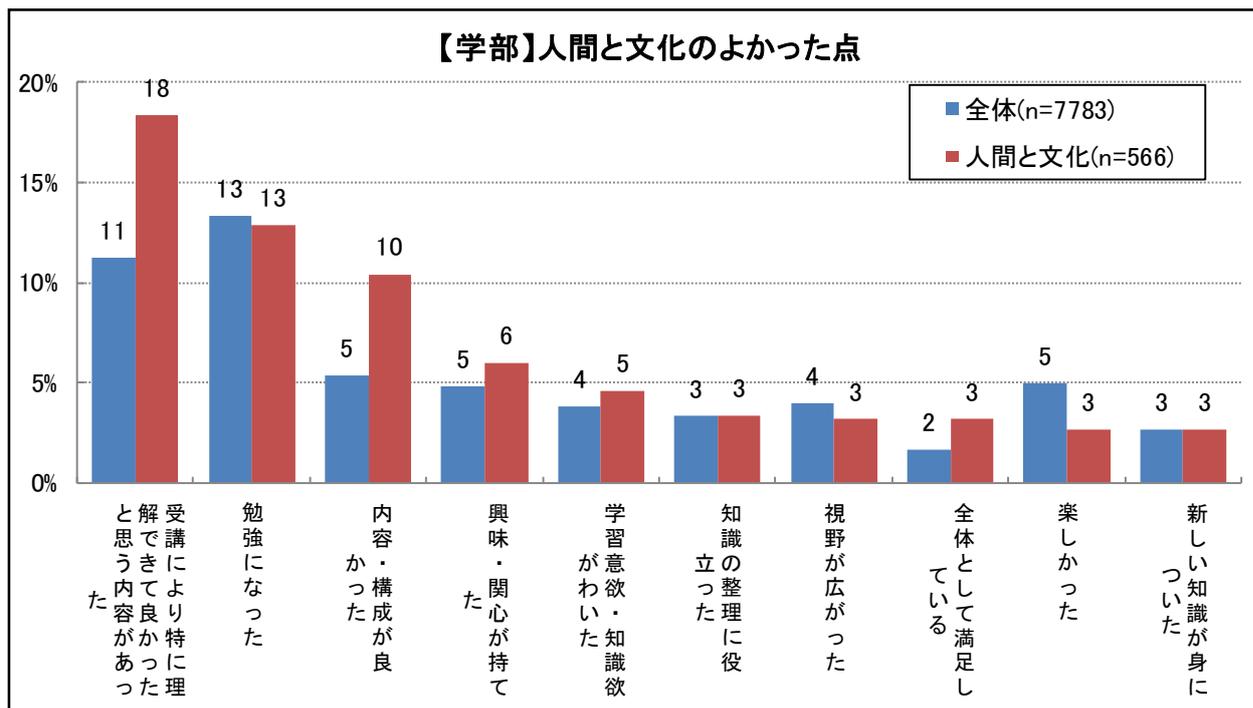
【学部】「人間と文化」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が18%と最も高く、全体との差が大きかった。

後は「勉強になった」「内容・構成が良かった」が1割以上挙げられ、「内容・構成が良かった」は、全体を大きく上回っていた。

図3-11 【学部】よかった点



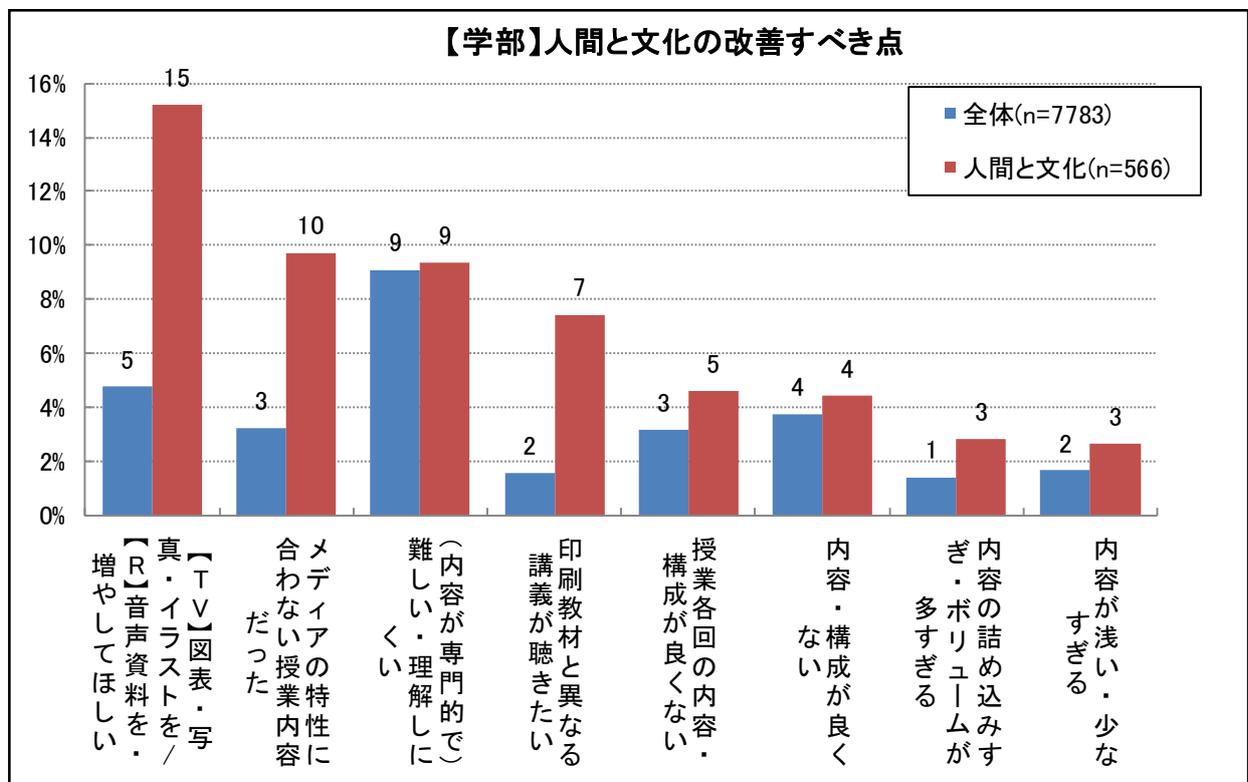
【学部】「人間と文化」の傾向

改善点

「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を・増やしてほしい」(15%)と「メディアの特性に合わない授業内容」(10%)が1割越えで上位に挙げられ、全体との差が目立って大きかった。

他に「(内容が専門的で)難しい・理解しにくい」(9%)、「印刷教材と異なる講義が聴きたい」(7%)が続き、「印刷教材と異なる講義が聴きたい」も全体を大きく上回っていた。

図3-12 【学部】改善すべき点



【学部】「人間と文化」抜粋

よかった点

- デジタル社会の現代までも脈々と続く和歌の世界を垣間見ることができたこと、歴史上の人物の心を和歌を通して感じる事ができたこと、そして何よりも「和歌」とは何であるかが少し理解できたことが良かった。
- 中世都市の市民構成や市民意識の推移、また塔や広場、市壁などの構造的な特徴とその意味について学ぶことができて良かった。
- 明治以降の日本の政治の流れが大まかに理解できて良かった。どの時代にも課題があり、それにどう対処していくのか、判断の違いなど政治の難しさに触れられて良かった。
- 古代から現代まで朝鮮韓国史を網羅した内容であり、知らないことや誤解していたことが分かった。
- 作品論や作曲家論を中心に西洋音楽史を辿っていくのではなく、西洋音楽の本質的な思想・理論を理解するのに役立つような知識を得られた。
- 多くの和歌が取り上げられ、一つ一つの説明がよくされていたと思う。作者の生き方、時代背景の説明によって理解が深まった。印刷教材とラジオの組み合わせがうまく合った授業だと思う。
- 通史ではなく、「都市」を切り口にしたヨーロッパ史はとても興味深い内容でした。都市を取り巻く社会や文化の背景なども分かりやすく、毎回、楽しみにして講義を受講できた。
- 西洋音楽が、歴史や哲学などと関係していることが興味深かった。私はしっかり理解できていなかったかと思うのだが、今まで知らなかったことを学ぶことができて面白かった。
- 従来の日本近代史叙述にはない材料で組み立てている意欲が良かったし、それで当方は刺激された。意欲が高まったと言える。
- この科目を待っていた。日本人の和歌に対する思い入れを理解するのに良い科目だと思う。好きな和歌も見つけた。時間内では難しいだろうが、近代の歌も取り上げられると、日本の歌の流れをもっと見ることができると思う。
- 比較的、現代史は理解していたつもりだったが、中世、近世をほとんど理解していなく、それらを補完できた。また、中国の影響・関連、人々の生活様式、文化なども理解できて良かった。同じ隣国でありながら、中国と比較すると韓国・朝鮮の情報は少なく、また偏ったものが多いことに改めて気付かされた。
- 歴史・用語・楽器の仕組み・演奏の形式や構成等々、音楽を専門にしたことがない者が学習する機会は少ないので、受講できて良かった。それらを知ることによって、ただ音楽鑑賞するだけでは得られない深い感動が生まれると思う。
- 久しぶりの記述式問題に取り組むことが、40年前の現役大学生の頃を思い出して非常に楽しく、やり切った感があった。結果はどうあれ、放送大学に入学して良かったと改めて思った。
- 西洋音楽の歴史を通じて、形式の約束事や音楽に対する考え方の変遷など、いろいろ興味深い視点を持つことができるようになった。
- ヨーロッパ史を都市の視点で考えるということは初めてだったので、新しい見方ができるようになった。
- 教会の音楽や、自分にとってなじみのあるベートーベンやバッハの内容が楽しく学習できた。聞けない音楽というものは初めて知り、興味深かった。
- ヨーロッパの理解のために受講しているが、自分の知らなかった内容で学べたことに満足している。
- いろいろな時代の音楽を聴きながら授業を受けることができたところが良かった。印刷教材とラジオの授業内容が対応していて、分かりやすかったところが良かった。
- 高校までの世界史の授業では具体的にイメージできなかった都市部の庶民の暮らしを、画像を交えて具体的に解説いただき、とても勉強になった。
- 先生の解説がゆっくりした口調でとても分かりやすかった。和歌の朗読もゆっくりで、区切れるところ（七五調、五七調）がよく分かった。
- 講師の先生が長年積み重ねてこられた研究のエッセンスを受講者に分かりやすく示してくださっている教材と放送授業で、和歌に対する興味深まった。
- 学校教育では学習できなかった内容があり、面白かった。

【学部】「人間と文化」抜粋

改善点

- テレビ科目で映像がある方が、資料や和歌の関連する時代や風土がイメージしやすく、理解が深まりやすいと思う。
- これがテレビ科目であれば、参考の曲が流れると同時に楽譜も流すことができたり、楽器の構造などにしても実際に演奏している動画で確認することができれば、さらに理解しやすかっただろうと思う。
- 折角テレビという動画による授業であるにもかかわらず、映像の使用がなく、画像や図表の提示も少なかった。例えば過去の都市の様相を想起させる現在の写真や、現代に引き継がれている祭りの動画等で具体的なイメージを示したり、説明内容をコンパクトに示す図表をできるだけ多く使用して、理解を助ける工夫が欲しい。
- 解説が印刷教材を読んでいるような感じだったので、放送授業は、画像や映像をもっと多く使った、印刷教材にはない内容であったら良かったなと思った。
- 講師の先生が5名と多いため、取り上げる内容について一部重複しているように感じた。例えば、戦前の地方名望家の話や個人後援会の話は何回も出てきた。事前に講師の方は打ち合わせをしていると思うが、もう少し綿密に役割分担や打ち合わせをしていただければ、全体としての統一性や一貫性が確保できるのではないかなと思う。
- オムニバスという講義方式のマイナス点が出てしまったような印象がある。担当講師の講義内容に一貫性がやや欠けているような印象がある。
- 図表が少ないと感じた。また、政党の主張・変遷や政党・人物の連関図などを図表やチャート等での説明があると、もっと理解が進むのではないかな。
- ラジオ音声と印刷教材だけなので、印刷教材の中で、文章に合わせた位置に地図や図や写真があるとよいと思う。また、年表もあるとよいと思う。
- 和歌の講義ということで、より理解を深めるために先生が監修された入門書を手に取り、専門用語などの基本的な語句等を読んだ上で講義に臨んだが、初心者にとってはやはり難しく感じた。もし可能なら、もう少し噛み砕いた説明をしていただけたら有難いと思った。
- 第11章及び第12章で、ピアノの切り口からの講義で興味深いものがあつたが、ピアノのアクション構造の図から、その仕組みや変遷をイメージするのはなかなか難しいと感じた。実際にピアノをやっている人は理解できるのだろうが、経験がないと難しいと思う。
- ドイツ騎士修道会とかイスラム教徒による略奪とかの影響も中世都市の形成に影響があつたと思うが、全然触れられていなかった。
- もっと簡潔に、分かりやすくしてほしい。テキストは1文をもっと短くして、端的に、論理的な流れを積み上げていくような記述にしてほしい。
- 数千年の歴史を一学期で終わらせるのでやむを得ないと思うが、駆け足で残念だった。貨幣の流通はとても面白いのに、どの時代もとぎれとぎれなので、全体が分かりにくい。歴史部分と文化部分は別の回に分けた方がよいのではと感じた。
- どのような場所で歌われているのか、どのような服装で歌っているのかなど、見ることが出来れば、歌声をより区別して覚えることが出来ると思った。
- 印刷教材に掲載されている和歌の直訳や文法分析を付加してほしい。
- 短歌を理解する視点をもう少し掘り下げて欲しかった。例えば、枕詞のような技法の変遷とこれをどう理解評価していけばよいのか、本歌取りを理解できるまでにはどこまで古い短歌を知っていることが求められてきたのか、等。
- 海外旅行でヨーロッパの都市を見聞した際に、どのようにしてこれらの都市が形成されたのか、また各国の都市の違いはどのように生まれたのかに興味を抱いたので、受講した。その結果、前者についてはほぼ納得したが、後者についてはあまり触れられておらず、期待外れだった。
- 印刷教材は、各章の中でも、人物・文化・政治など、内容があちこちに散らばっていて、一つの流れとして捉えにくく、とてもまとめにくかった。

【学部】「人間と文化」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	23	81	104	授業各回の内容・構成が良かった	2	9	11
勉強になった	12	61	73	講師の解説が分かりやすかった		11	11
内容・構成が良かった	22	37	59	楽しかった	2	3	5
興味・関心が持てた	8	26	34	講師が良かった		5	5
学習意欲・知識欲がわいた	6	20	26	講師の熱意・熱心さが伝わった		3	3
知識の整理に役立った	4	15	19	印刷教材と連動していて良かった		3	3
視野が広がった	7	11	18	複数の講師の講義を聞くことができた		2	2
全体として満足している	2	16	18	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1
新しい知識が身についた	6	9	15	良い授業だった		1	1
楽しかった	2	8	10	理解しやすかった		1	1
深く学ぶ(考える)ことができた	1	7	8	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた		1	1
基礎的な知識が得られた	1	6	7				
今後に役立つ内容だった			5				
専門的な内容だった			3				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった			3				
理解しやすかった	1	1	2				
身近に感じられる内容だった	1	1	2				
現在の課題や身近な問題点を学べた			2				
最新の情報・研究が学べた			1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった	2	1	3
内容・構成が良かった		3	3
手元に置き、今後も読みたい内容だった		2	2
理解しやすかった		1	1
熱意が伝わる教材だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式が良かった	3	1	4
学習内容の理解・整理に役立った	2		2
指導内容・コメント・対応が良かった	1	1	2

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式が良かった	3		3
受験して良かった	1		1
評価が良かった		1	1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	6	20	26	メディアの特性に合わない授業内容だった			55
内容・構成が良くない	4	15	19	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	35	9	44
内容の詰め込みすぎ	2	10	12	印刷教材と異なる講義が聞きたい	23	19	42
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		9	9	授業各回の内容・構成が良くない	6	20	26
内容が浅い		7	7	講師の解説・指導が良くなかった	7	7	14
期待していた内容ではなかった	4	2	6	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	3	11	14
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	3	3	6	講師は1人の方が良い	4	7	11
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	2	1	3	専門家の意見が聞きたい	4	7	11
内容が専門的で難しかった		3	3	授業に興味・関心が持てなかった	4	4	8
内容にまとまりがない	1	1	2	理解しにくい	1	7	8
興味・意欲がわかかなかった		2	2	科目全体の内容・構成が良くない	4	2	6
講義内容と科目名に乖離がある		2	2	授業中に使用された映像・音楽が(他メディアで)部分的に視聴できなかった		6	6
努力不足だった	1		1	図・表・写真・映像が見づらい	4	1	5
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい		1	1	ポイントがつかみにくい	2	2	4
例題・練習問題を増やしてほしい	1		1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		4	4
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		1	1	講師の熱意が伝わらない	2	1	3
講師・事務方の対応が良くなかった		1	1	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1	2	3
				授業のテンポが良くない(早い・遅い)		1	2
				インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	1	1	2
				印刷教材の内容が異なる・連動していない		2	2

印刷教材				通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			42	42	課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている		4	4
理解しにくい	2	11	13	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	2	1	3	
放送授業中の資料・データを載せてほしい	2	9	11	理解しにくい		3	3	
内容が薄い・少なすぎる	8		8	課題(問題)に誤りがあった		3	3	
内容・構成が良くない	6		6	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	2		2	
文字が読みづらい		5	5	記述式、および記述に関して改善してほしい	2		2	
図・表・写真・イラストが見づらい	1	3	4	指導内容・コメント・対応に不満がある	1		1	
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		4	4					
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	2	3					
色刷りにしてほしい	1	1	2					
誤植がある		2	2					
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる	1		1					
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1		1	試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		4	4	
難易度・分量が不適切だった		1	1	記述式、および記述に関して改善してほしい	2	1	3	
索引を充実させてほしい		1	1	問題数が多かった・範囲が広がった	1		1	
				試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった		1	1	
				難易度を下げるべき		1	1	

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:メディアの特性に合わない授業内容だった
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい

- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 難しかった
- 内容・構成が良くない

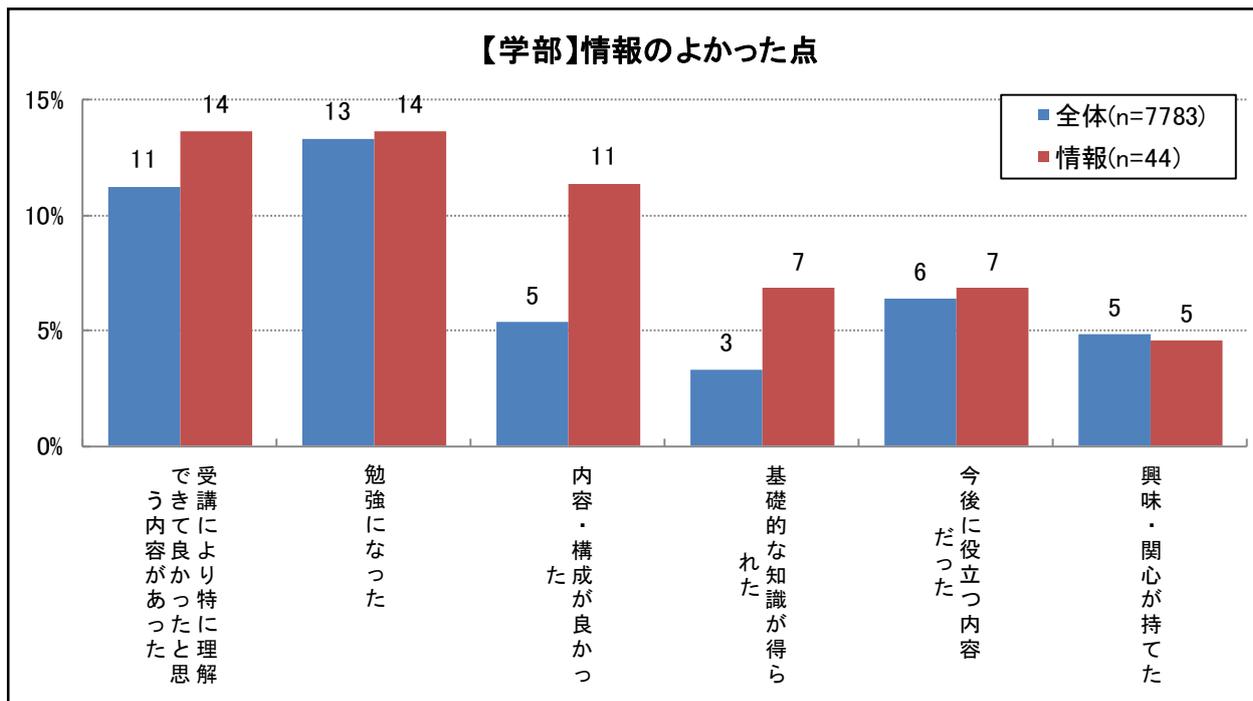
【学部】「情報」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」「勉強になった」が14%と最も高く、次いで「内容・構成が良かった」が11%で続いていた。

「内容・構成が良かった」は全体を大幅に上回っていた。

図3-13 【学部】よかった点



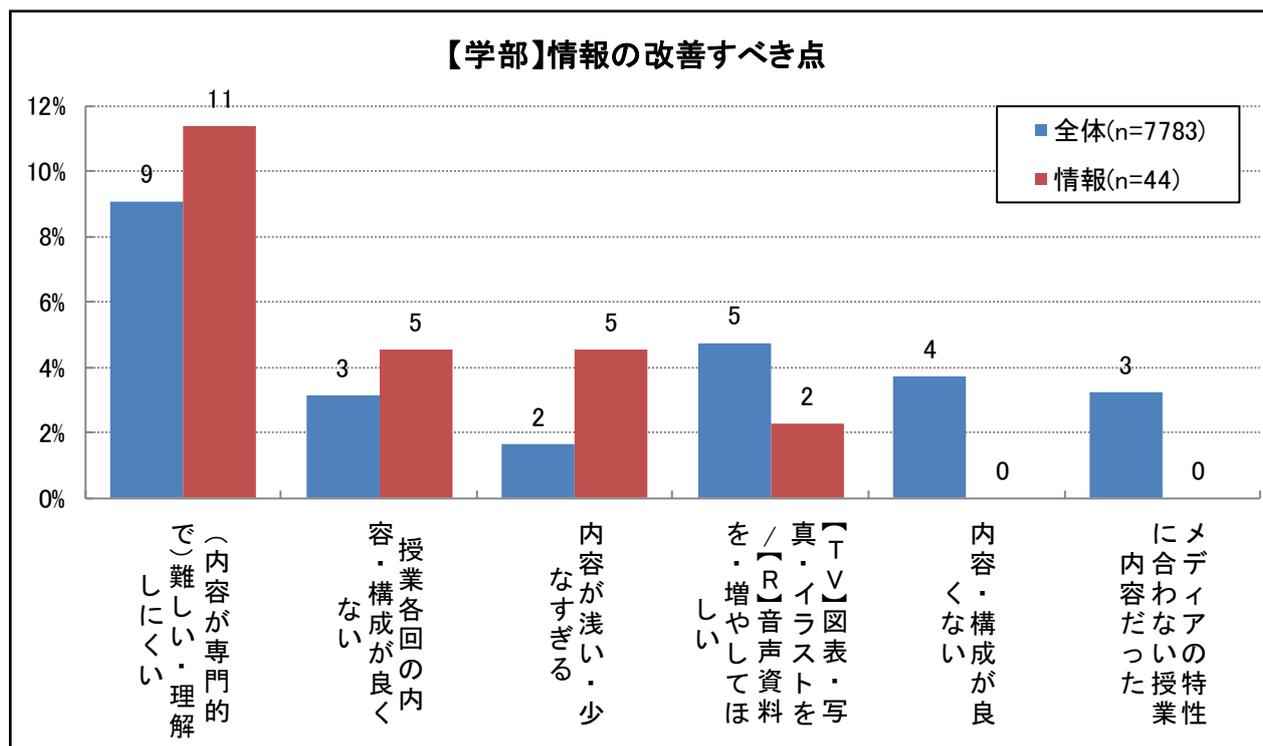
【学部】「情報」の傾向

改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が11%で最も高く、次いで「授業各回の内容・構成が良くない」「内容が浅い・少なすぎる」が5%で続いていた。

改善点として挙げられた項目数は、かなり少なかった。

図3-14 【学部】改善すべき点



【学部】「情報」抜粋

よかった点

- オペレーションズリサーチの考え方に触れることができたのは、大変な収穫であった。
- 数理最適化は、今までちょっと聞いたことはあるものの、いかにも難易度高そうで、踏み込んで勉強することのなかった領域だった。現時点でも全て理解したとは言えないが、自分で勉強して進めることができる程度になれたと思う。
- 現在の仕事と間接的につながる内容なので、興味深く学習させていただいた。頭がこんがらがることが多々あったが、問題解決の論理的思考の素養を身に付けることができたので、受講して良かったと思う。
- 世間の活動行為やサービスに関する判断の仕組みが推測できて、興味深かった。元より関心のあった内容なので、今後も学んでいきたい。
- 日常生活の中で意思決定が必要な場面は実際に多く存在するが、勘や経験で決めてしまうことが多々ある。それらの問題も、この科目で教わったような考え方で数理モデル化し、論理的、数理的に最適解を導出できることを知った。今後の日常生活、業務の中で活かしていきたい。
- 問題を定式化し、計算することで問題を解決できることが分かった。
- 幅広いオペレーションズリサーチを扱っており、多くの問題を知ることができた。
- 独学で学習する場合、散在した情報をまとめるのに非常に時間がかかるが、数理を用いたモデルを体系的に学ぶことができた。
- 解決方法を具体的な数式を使って学べたことは良かった。確率統計は他の授業と重なるところがあったが、全体的に内容は良かった。
- 問題を数理的に分析して解決の解を得る方法の手段として、今後、役に立つ場合があると思う。
- 数理最適化演習ともリンクしており、より理解が高まった。実務でも数理最適化を使えるようになった。
- 実際にあり得るシチュエーションが題材になっていたのも、イメージが付きやすかった。
- 数理モデルとは何か、ほとんど理解していなかったが、概要をつかめたことが良かった。

改善点

- もう少し内容を絞って幅広い例を示して頂ければ、もっと理解しやすかったのではないかなと思う。
- 画面に出てきた図表について、先生がどの部分の説明をされているのかすぐに分からないことがあった。『初歩からの数学』のように、説明している箇所をポイントしてくれると、より良かったと思う。
- 後半、難しい内容を1回の授業に無理矢理詰め込んでいるようで、急に難しく、理解できない回があった。難しい回は2回に分けるなどして、理解しやすくなると良い。
- ゲスト、またはアシスタントの登場がなかったので、ちょっとだけ変化球を投じていただければ、さらに良くなると思う。
- 講師のお話は分かりやすく、授業としては問題ないと思うが、もう少しテレビ（ネット配信）の特性を活かして動画を活用するなど、視聴者の興味を引くような”演出”があればよいかもしれない。
- 初めて情報分野を受講して、予想以上の奥深さを知ったので、もう少し初心者でも分かるような紹介をしてほしい。
- 主成分分析と Random Matrix の特異値解析について知りたいと思っていたので、その分野の記載がなかったのは残念だった。
- 授業に対してというよりは自分だが、数の読み方をもっと覚える必要があると感じた。
- カリキュラム的に難しいところがあると思うが、例えば、線形計画法等についてもっと授業回数を増やして、より基礎的なところから学べる科目があると良いなと思った。
- 知識の詰め込みではなく、話題を絞って深く理解できるようにしてほしい。

【学部】「情報」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	6		6
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	6		6
内容・構成が良かった	5		5
今後役に立つ内容だった	3		3
基礎的な知識が得られた	3		3
興味・関心が持てた	2		2
全体として満足している	1		1
学習意欲・知識欲がわいた	1		1
理解しやすかった	1		1
新しい知識が身についた	1		1
視野が広がった	1		1
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1

【学部】「情報」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が専門的で難しかった	2		2	理解しにくい		3	3
努力不足だった	1		1	授業各回の内容・構成が良くない		2	2
内容の詰め込みすぎ	1		1	ポイントがつかみにくい		1	1
内容にまとまりがない	1		1	講師の解説・指導が良くなかった		1	1
例題・練習問題を増やしてほしい	1		1	専門家の意見が聞きたい		1	1
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	1		1	講師以外には必要ない・違和感がある		1	1
質問や相談がしたい	1		1	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる	2		2

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:理解しにくい
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 内容が専門的で難しかった

- 印刷教材:内容が薄い・少なすぎる
- 放送授業:ポイントがつかみにくい
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:専門家の意見が聞きたい

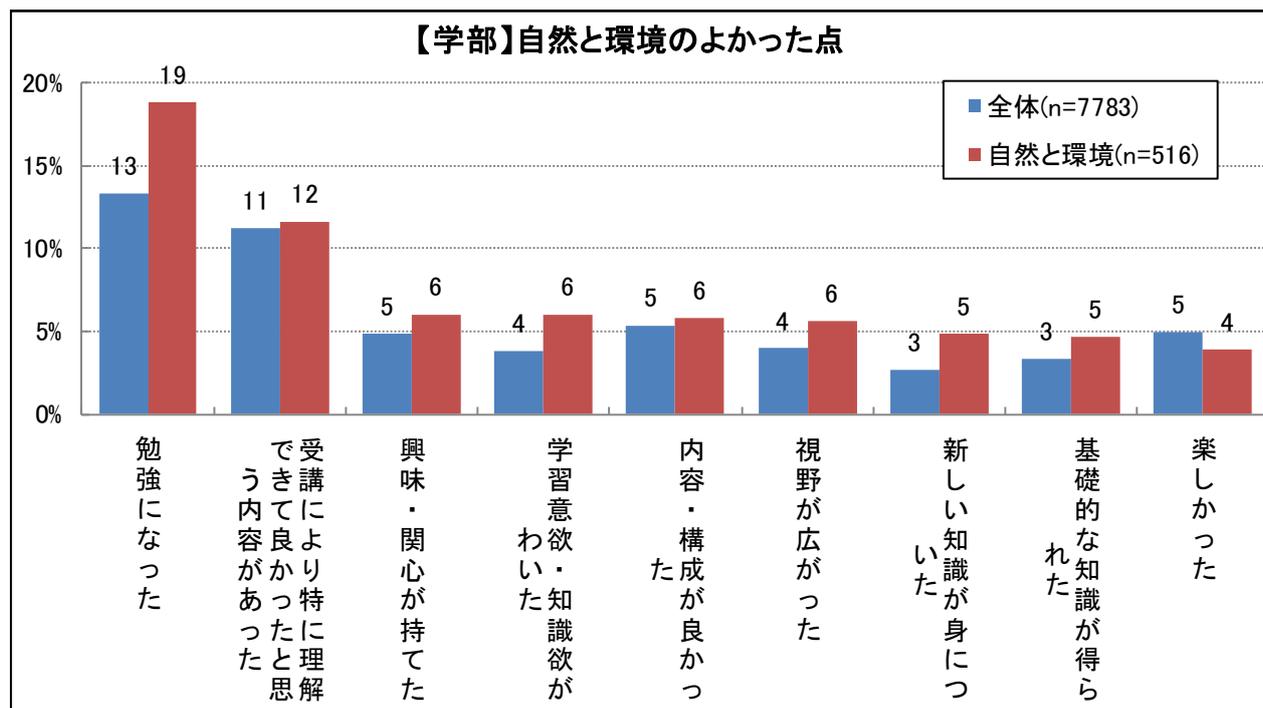
【学部】「自然と環境」の傾向

よかった点

「勉強になった」が19%と突出して高く、全体との差も大きかった。

他に上位に挙げられたのは、「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」（12%）で、後は6%以下で続いていた。

図3-15 【学部】よかった点



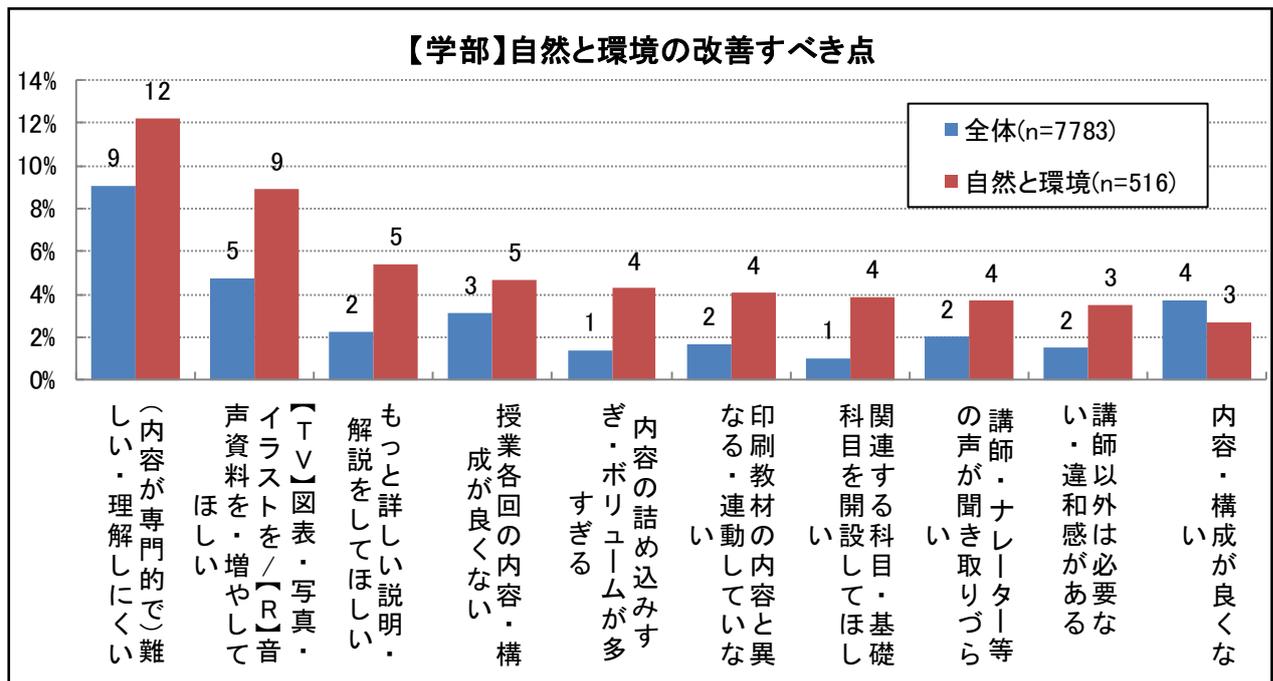
【学部】「自然と環境」の傾向

改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」(12%)、「【TV】図表・写真・イラストを / 【R】音声資料を・増やしてほしい」(9%)が上位に挙げられ、全体との差も大きかった。

他に「もっと詳しい解説・説明がほしい」「授業各回の内容・構成が良くない」が5%で続き、この2項目も全体を上回っていた。

図3-16 【学部】改善すべき点



【学部】「自然と環境」抜粋

よかった点

- 気象学だけでなく地震や火山活動等、日本列島でなにが起こっているのか分かったら、災害等への備えが分かってくるように思える。
- 初等的な題材から始め、線形代数と加群、群論、体論と、比較的広い道具立てにより幾何を扱うという経験を積むことができた。
- 現在の気候、は昔（小、中学生の頃）とは何かが違うと感覚的に感じている。今回、「はじめての気象学」を受講して、気候が気温、気圧、地球の回転、太陽からの放射熱などの要因によって、その姿を時々刻々と変化させていることに気づかされた。初めての気象学ではあったが、理論的に学べたことは感覚的な一面に科学的な要素を取り入れられ、一層興味のある分野になった。
- 天気という現象が、地球全体、また宇宙からの相互作用により顕われていることが理解できた。受講前に比べて、天気図や降雨レーダーの読み方の理解が深まったことがうれしかった。
- 身近な味噌や醤油などのことは何となく分かっていたが、アミノ酸やグルタミン酸などが微生物により生産されていると分かって、驚いた。安心したのと同時に、遺伝子組み換えにより作られているものも多く、危険も伴っているなどと思った。食品の品質表示のところをよく見るようになった。
- 放送大学では、線形代数以外に代数学を学ぶ教科はない。その中で群論からはじまり、環、体、そして線形空間。幅広い知識に触れることができた。また、素数の神秘性を垣間見ることができて良かった。
- ワクチンの製造法や暮らしの中での微生物の有効活用がよく分かった。ゲノム編集がどんなものか分かって良かった。
- 植物はどのような生物なのか知らなかったことが多く、とても興味深い内容だった。
- 「地球の歴史」に関する具体的な調査など、実態の映像を見られて、これまで以上に興味が湧いた。
- もともと雲や星を眺めることは好きであったが、その観察などはけっして得意な分野ではなかった。最近の異常気象や地震などの自然災害を見て、もっと地球について知りたいと思った。地球を取り巻く宇宙や自然、また地球そのものについても、もっと興味が湧いてきた。
- 以前より量子物理学を目標に、基礎から、数学も含め学習してきた。まだまだこれから学ぶべきことがあるが、何をどのように学ぶか、講師の先生でも苦労された話を聞いて意欲が湧いてきた。
- 量子物理学への入り方が、他の教科書にはない独特なアプローチで、ディラック方程式を取り上げていたり、コンパクトだが独特で、さらりと高度なことを紹介している。
- 過去から最新まで、よく網羅していると思った。大変勉強になった。発酵についてもさることながら、一番驚いたのは洗剤での酵素の役割。ああ、そうだったんだ、ということは今さら理解した。動物の科学も並行して受講しており、授業の中では、植物・動物の垣根はなしとの話があり、代謝が同じというのは驚きでもあった。
- 他大学において講義では触れられることのあまりない海外の植物を例にとることもあり、特に共生例としての着生性のアリ植物の生態などは、初めて知る内容であり、有意義な時間を過ごせたと考える。
- 植物と動物の違いを改めて、また、新しく知ることができた。植物にもホルモンがあることなど、少しオーバーだが、驚くことが多くあった。
- プレートの運動がマントルまで達することなどを知り、わくわくした。
- 地球について、今まで考えたことのない時間スケールで考えることができた。そして、その時間の感覚がとても面白かった。
- 「はじめての気象学」と共通する部分があり、気候変動等、理解することができた。我々はダイナミックな地球に存在し、一生命体として生きているという事を改めて強く実感させられた。
- 昔、高校で習った地学と異なっていたように思う。学問の世界も大きな変化があったのだと思った。非常に高度な内容を分かりやすく勉強できた。
- 自分にとってはレベルの高い内容だったが、全く手の届かないほど難解という訳ではなかった。確かに半年で内容を習得するのは困難ではあるが、受講期間終了後も勉強を続けて頑張れば、8割ぐらいは何とか理解できそうに思える。「背伸びして何とか手が届くレベル」の講義の内容は、数学学習における自己鍛錬の場を私に提供してくれたと考えている。

【学部】「自然と環境」抜粋

改善点

- アニメーションや3D画像の利用など、気流や海流などをダイナミックに画面に映し出してほしい。テキストでは分かりにくい気流の動きなども、もっと工夫して映像化して欲しかった。
- 表の説明が多かったように感じた。印刷教材にある表は流してもよいかと思った。その分の時間を、ロケとか動画を増やした方が楽しくなるのでは。
- 放送授業と印刷教材の説明が整合されてなくて、理解しづらかった。放送授業で使用されたものはアウトプットできるようにしてほしい。
- 植物の現地での解説の際に、環境音に打ち消されて聞き取りづらい箇所が数箇所あったので、次回以降のロケでは、環境音を軽減する施策や、場合によっては後に追加でナレーションを吹き込むなどの工夫をすべきだと感じた。
- 授業の内容に化学反応式などの関係式が出てくる場合、説明に「こうなって、こうなります」というような指示語が多用され、さっぱり分からないという感じだった。時間が足りないためなのだろうが、「こうなる」のところから理解できていないので、丁寧な説明を望みます。
- パソコンで視聴しているが、図表の文字が小さすぎて読めないものがあった。もう少し大きな文字で作成してほしいと思った。
- 講師によって説明方法が違うのは致し方がないにせよ、全体として一貫性がないのには辟易した。
- 一部、15年の再放送であった点は改善頂きたい。内容的に進化していないのであれば、21年にする必要はないと考える。
- 「はじめての気象学」という講義名のわりには難しい内容でした。地学の基本知識がない者にとっても理解できるように、いろはの「い」の部分にもう少し時間をかけてほしい。
- むしろ、このような専門的な数学の内容を含む授業を増やしてほしいと思った。この授業は代数学の要素を含むものだったが、集合と位相や微分幾何や多様体のような数学の授業の種類が増えるとよいと思った。
- 遺伝子組み換え等については、これだけを独立させて、教科として詳しく学べるようにしてほしい。
- 後半のディラック方程式以降は、急激に難易度が高くなった印象がある。15回の講義にしては非常に広範な話題を盛り込んでいるので、ひとつひとつの説明に時間がさけなかったのではないかと感じる。もう少しかみ砕いて説明していただけると理解しやすいと思う。印刷教材の15回分を、放送授業では25回くらいに割り当ててもよいのではないか。
- 画面のハードコピーが出来るようにしてほしい。または、放送授業中に出た表やグラフを、授業教材としてアップロードしてほしい。
- 印刷教材の演習問題の解が簡潔しすぎる。もっと詳しい記述をお願いします。
- 気象については、最近、スパコンの活用が言われている。実際の気象予報の現場で、どのようにしてスパコンが利用され、スパコン使用の前後でどの程度予報の確度が上がったのか、実際例で具体的に放送して頂く機会があればと思っている。
- 放送内容は、図・絵などがカラーで豊富に使用されていたが、テキストには見られない内容がかなりあったように思う。受講時にカメラで映して、受講後に印刷してテキストに張り付けるなどしてカバーした。
- 構成に緻密さが欠ける部分が多々見受けられた。構成には時間をかけて頂きたい。
- 質問を「質問箱」から送ったが、返信は来ず、催促も送ってみたが、何の返答もなかった。くだらない質問だったかもしれないが、そこが分からないばかりに、それ以上前へ進めないこともある。親切的な返答を期待したい。
- 印刷教材では、説明が整理されていず、ごちゃごちゃしているので、小見出しなどを付けるなど整理してほしい。
- 印刷教材は、式の記載量は十分と思うが、図をもっと増やしてほしい。印刷教材の式と文章だけではイメージするのが難しく、インターネットで調べたり、YouTubeの動画配信を多用して理解を深めた。
- 印刷教材は、図表の不鮮明なところが多く、また小さいので見づらかった。授業内容が図表から理解していく場面が多いので、その点は少し残念だった。
- 印刷教材の誤植等については、学習スタート時期に訂正していただきたい。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般			放送授業		
意見	テレビ	ラジオ 合計	意見	テレビ	ラジオ 合計
勉強になった	97	97	図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	8	8
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	60	60	楽しかった	7	7
興味・関心が持てた	31	31	アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	6	6
学習意欲・知識欲がわいた	31	31	講師が良かった	5	5
内容・構成が良かった	30	30	講師の解説が分かりやすかった	4	4
視野が広がった	29	29	講師の熱意・熱心さが伝わった	4	4
新しい知識が身についた	25	25	授業各回の内容・構成が良かった	3	3
基礎的な知識が得られた	24	24	現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	3	3
楽しかった	13	13	科目全体の内容・構成が良かった	2	2
知識の整理に役立った	11	11	良い授業だった	1	1
最新の情報・研究が学べた	11	11	講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	1	1
専門的な内容だった	9	9	対話形式の授業が良かった	1	1
具体的な事例、実践的な内容があった	9	9			
身近に感じられる内容だった	8	8			
全体として満足している	5	5			
理解しやすかった	5	5			
深く学ぶ(考える)ことができた	5	5			
今後に役立つ内容だった	3	3			
現在の課題や身近な問題点を学べた	2	2			
受験・資格取得に役立った	1	1			
難易度・分量が適切だった	1	1			
科目の学問的性質、位置づけが分かった	1	1			
資料・データが充実していた	1	1			

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った	1		1
図・表・写真・イラストが良かった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った	1		1
記述式が良かった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式が良かった	2		2
難易度が適切だった	1		1
評価が良かった	1		1

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	28		28	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	40		40
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	20		20	授業各回の内容・構成が良くない	24		24
難しかった	19		19	印刷教材の内容が異なる・連動していない	21		21
内容の詰め込みすぎ	19		19	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	19		19
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	16		16	理解しにくい	17		17
内容が専門的で難しかった	13		13	図・表・写真・映像が見づらい	15		15
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	11		11	講師の解説・指導が良くなかった	11		11
例題・練習問題を増やしてほしい	10		10	講師は1人の方が良い	11		11
内容・構成が良くない	8		8	印刷教材と異なる講義が聞きたい	10		10
最新の内容を講義してほしい	7		7	科目全体の内容・構成が良くない	7		7
講師・事務方の対応が良くなかった	7		7	講師以外は必要ない・違和感がある	7		7
内容が浅い	5		5	ポイントがつかみにくい	6		6
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	5		5	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	5		5
授業科目案内は内容が不十分だった	4		4	手話通訳、または字幕がほしい	5		5
現実に生かせる内容にしてほしい	3		3	授業のテンポが良くない(早い・遅い)	5		5
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	3		3	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	5		5
興味・意欲がわかなかった	2		2	講師の熱意が伝わらない	4		4
講義内容と科目名に乖離がある	2		2	授業に興味・関心が持てなかった	2		2
受験・資格取得に役立つ内容にしてほしい	2		2	メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
期待していた内容ではなかった	1		1	インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	1		1
自分のペースで勉強できなかった	1		1	(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
内容が基礎的で物足りなかった	1		1	専門家の意見が聞きたい	1		1
科目の分類に疑問がある	1		1				
質問や相談がしたい	1		1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	13		13	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	5		5
内容が薄い・少なすぎる	12		12	課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている	4		4
放送授業中の資料・データを載せてほしい	11		11	指導内容・コメント・対応に不満がある	2		2
内容・構成が良くない	6		6	理解しにくい	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	6		6	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1
図・表・写真・イラストが見づらい	6		6	記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
色刷りにしてほしい	6		6				
誤植がある	6		6				
索引を充実させてほしい	4		4				
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	4		4				
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3		3				
文字が読みづらい	3		3				
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	3		3				
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1		1				

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない

- 放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 放送授業:講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい
- 難しかった

Ⅲ-2. 学部（オンライン授業）

ここからは、学部オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

学部のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点については、回答された項目が 5%以上の場合、改善すべき点は、回答された項目が 3%以上か、比率の高い上位 5 項目を掲載した。

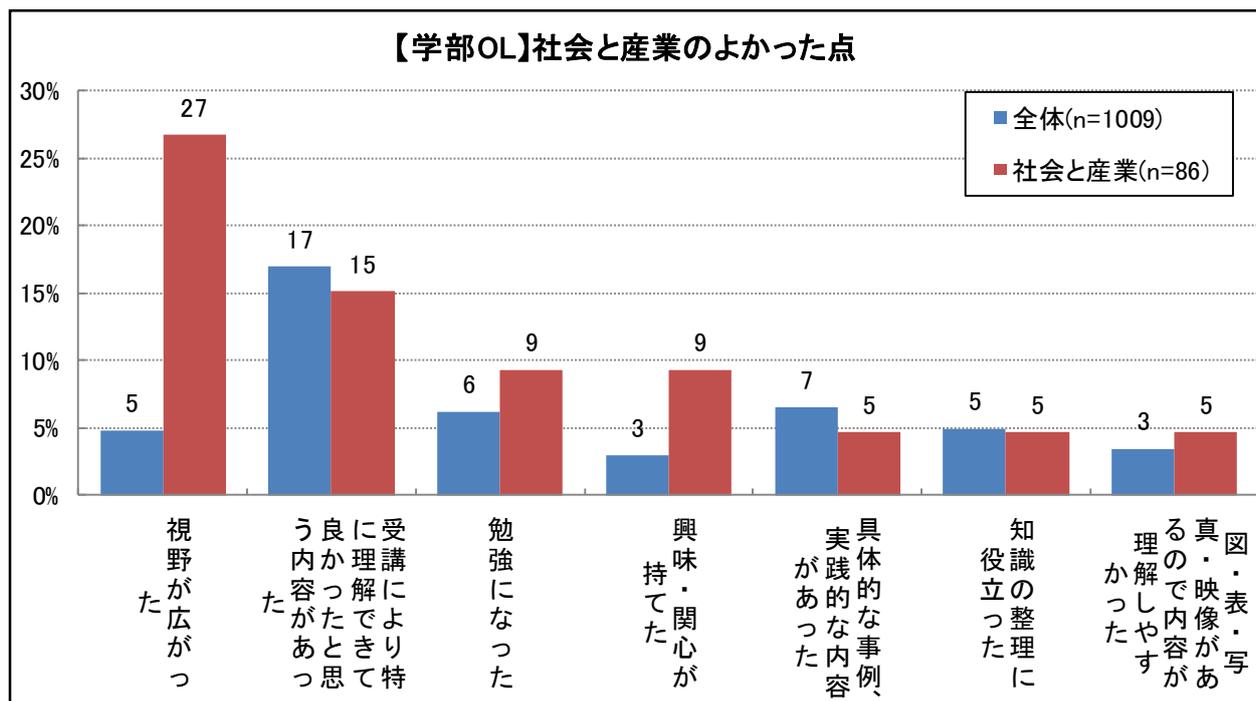
【学部 オンライン】「社会と産業」の傾向

よかった点

「視野が広がった」が 27%と突出しており、全体を大幅に上回り、「社会と産業」の代表的な良かった点であった。

他では「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」(15%)、「勉強になった」(9%)、「興味・関心が持てた」(9%) が上位に挙げられていた。

図 3-17 【学部 オンライン】よかった点



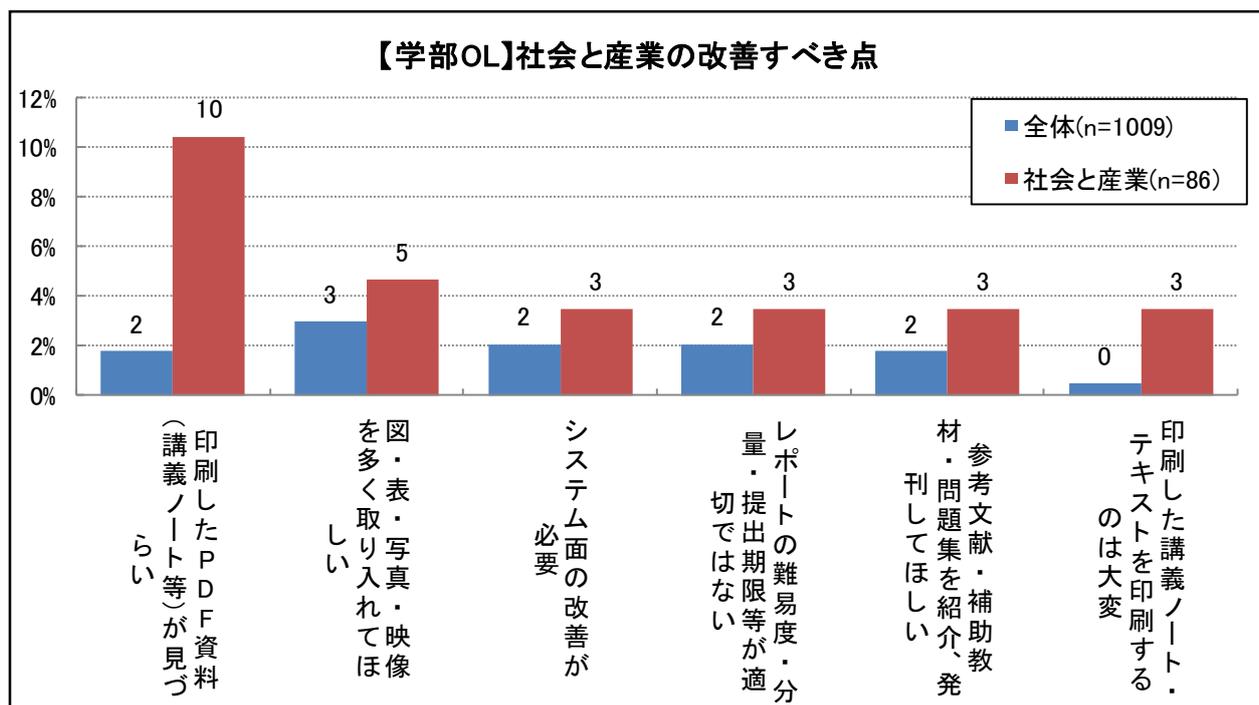
【学部 オンライン】「社会と産業」の傾向

改善点

「印刷した PDF 資料（講義ノート等）が見づらい」が 10%と最も高く、全体との差が大きく、「社会と産業」の特有な改善点であった。

他では「図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい」などが 5%以下で挙げられていた。

図 3 - 1 8 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「社会と産業」抜粋

よかった点

- 緑地が大切なのは知っていたが、我々の生活にこんなにも影響があり、こんなに工夫されていたことを知り、視野が広がった。
- 人工物をより自然に作り、人間にとって癒される環境や、そこに住む動物たちとも共存していくような世界を作ろうと努力している人たちが昔から大勢いたことに、驚きと安心を感じた。また、その考えを大事にすべきだと思った。
- 最近、SDGsという言葉が身近に聞くことが多くなり、持続可能な環境や資源などの取り組みが少しでも出来ればと思った。この授業を受講することで、知識も広がり、より今後の自身の活動に生かせると思った。
- 普段の緑化問題への漠然とした疑問と課題が、かなりの程度、明確になった。緑化問題の奥の深さを思い知らされた。
- 初めての放送大学の授業がこのオンラインで、正直ついていけるか不安だった。でも、授業は毎回引き込まれる内容で、今は心から受講して良かったと感じている。
- 建築を職業としているので、参考になる事例が多く、大変興味深かった。海外の事例も大変勉強になった。
- 今後、仕事の領域を広げるべく受講したが、現在の仕事にも生かせること。曖昧になっていた緑化の知識を、豊富な事例によって体系立てて理解できた。
- スライドごとにキャプチャーが別れているので、聞き直しがしやすかった。
- 先生の説明がとても分かりやすく、専門用語の解説も手短かに織り込んでくださったので、理解がさらに深まった。特に防災、減災と、緑地環境の説明はとても勉強になった。
- 多量の資料と写真が、講習の勉強に役立った。
- 緑地が自分の生活にいかに身近なものかが分かった。授業で自分が生活しているところなどが出ると嬉しく感じた。
- 教材の作り方は大いに参考になった。内容も緑地の法的な扱い、住まいしている地域でのあり方への注意の向け方など、受講前には思いもよらない方向への発展を楽しむことができた。

改善点

- 授業ノートを印刷したが、スライドが小さくて、文字や絵がはっきり見えなかった。
- 印刷したテキストの表の部分が読みづらく、拡大コピーしたり、ルーペで見ても書き直していた。別紙・資料として大きく表記していただけると助かる。
- 教材を印刷して受講したが、資料の文字や数字が小さくなってしまい、画面を一時停止してメモをしては受講を進めるという状態だった。オンライン授業でも、資料を紙ベースで提供してもらえたらと思った。
- 同じ資料(写真等)を使って、同様の説明が何箇所かあった。できれば、色々なケースを提示して欲しかった。
- 事例に挙がる施設や場所の所在地および名称を、すべての写真につけてほしかった。興味があっても行ってみたいと思っても、情報がなくて困った。
- 参考になる図書や文献、論文などの紹介をしてほしい。もう少し、深く学ぶためにはいろんな知識が必要なので、それを補うための方策を示してほしい。
- 授業スピードを受講者が選択できるようにしてほしい。1.25倍、1.5倍、2倍等の選択のことで、当コースの本編は選択不可だった。
- 仕事柄、陸上にいることが少ないため、講義内容を文書化してもらえると、ネット環境から外れたところでも学習を進められると思った。
- 緑地環境デザインの詳細で具体的な内容や作図の手順、参考文献なども、できればオンライン資料としてあると発展的に活用できるように感じた。
- 動画が全体的に長すぎると感じた。放送授業と同じ位の量にしてほしい。

【オンライン学部】「社会と産業」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
視野が広がった	23	図・表・写真・映像があるので内容が理解しやすかった	4
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	13	受講しやすい環境だった	3
勉強になった	8	講師の解説が分かりやすかった	3
興味・関心が持てた	8	楽しかった	1
知識の整理に役立った	4	ポイントがつかみやすかった	1
具体的な事例、実践的な内容があった	4		
学習意欲・知識欲がわいた	3		
今後役に立つ内容だった	3		
内容・構成が良かった	3		
新しい知識が身についた	2		
基礎的な知識が得られた	2		
資料・データが充実していた	2		
理解しやすかった	1		
身近に感じられる内容だった	1		
深く学ぶ(考える)ことができた	1		
自分の意見・考えを持てるようになった	1		
専門的な内容だった	1		
最新の情報・研究が学べた	1		
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		
良い教材だった(視覚教材、補助教材、他)	1		

【オンライン学部】「社会と産業」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	3	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	4
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	2	システム面の改善が必要	3
自分のペースで勉強できなかった	1	操作・説明がわかりにくい	1
難しかった	1	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	1
内容が基礎的で物足りなかった	1	講義の分割の仕方が良くなかった	1
交流の場を用意してほしい	1	理解しにくい	1
		内容・構成が良くなかった	1
		講師の解説・指導が良くなかった	1
		図・表・写真・映像が見づらい	1

講義ノート・テキスト	
意見	合計
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい	9
講義ノート・テキストを印刷するのは大変	3
文字・画像が見づらい	2
講義ノート等の教材に誤りがある	1

設問解答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	3
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	1
レポートに関する情報を早く教えてほしい	1
解答の送信方法がわかりにくい	1

主な改善点の提案:集約

- 講義ノート・テキスト:印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい
- オンライン授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい
- 参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい
- オンライン授業:システム面の改善が必要
- 講義ノート・テキスト:講義ノート・テキストを印刷するのは大変
- 設問解答:レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい

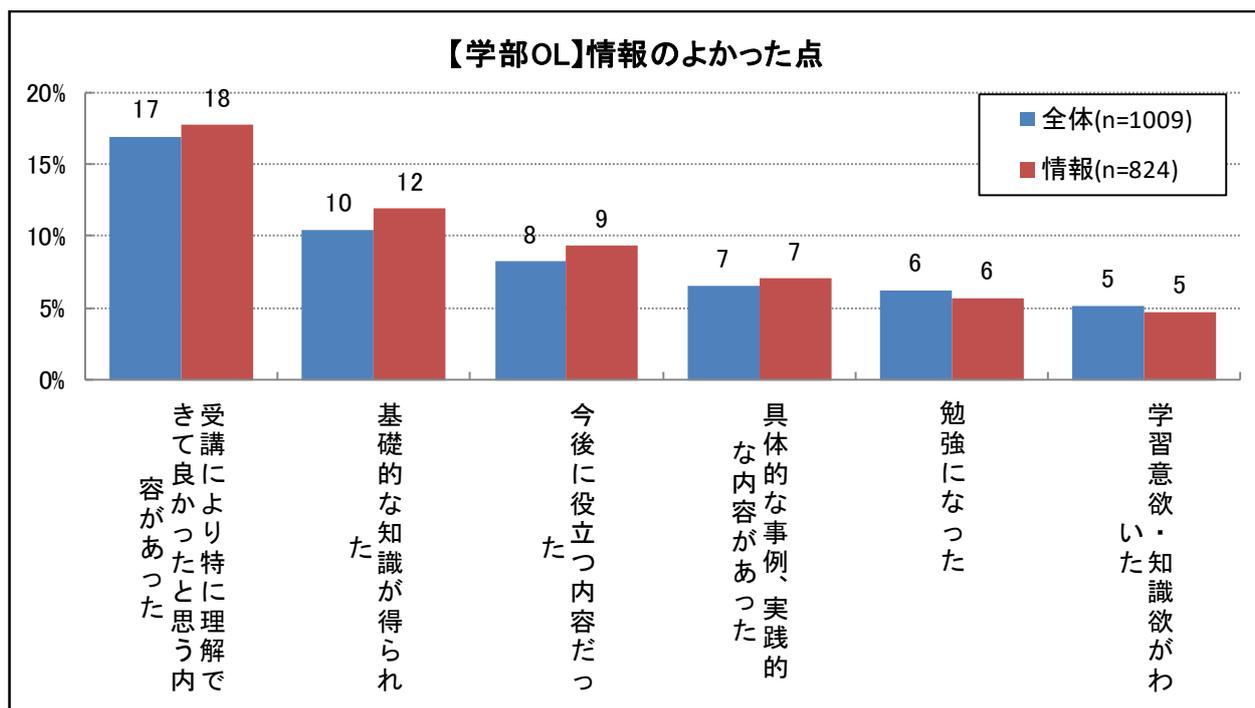
【学部 オンライン】「情報」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が 18%、「基礎的な知識が得られた」が 12%で、上位に挙げられ、「今後に役立つ内容だった」が 9%で続いていた。

他に「具体的な事例、実践的な内容があった」などが、7%以下で挙げられていた。

との差が図3-19【学部 オンライン】よかった点



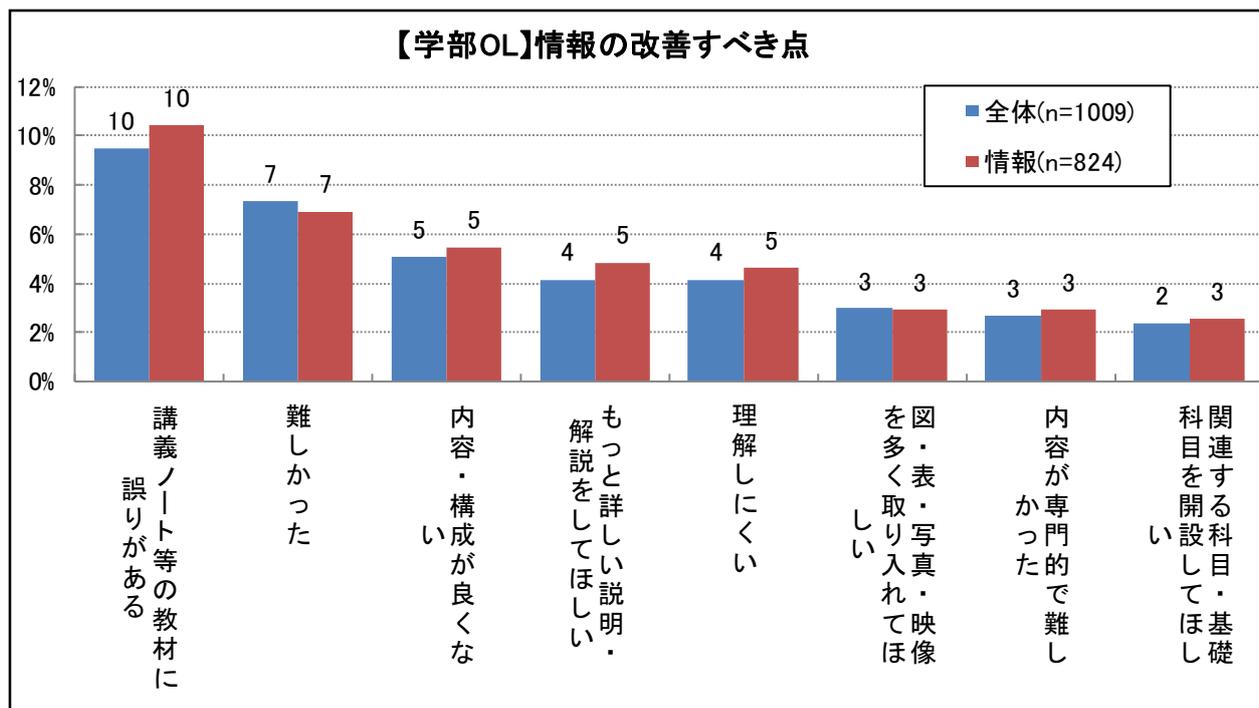
【学部 オンライン】「情報」の傾向

改善点

「講義ノート等の教材に誤りがある」が10%、「難しかった」が7%で上位に挙げられていた。

他では「内容・構成が良くない」などが5%以下で多く挙げられていた。

図3-20 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「情報」抜粋

よかった点

- 以前から R を利用したいと考えていたが、独力では利用も難しく、なかなか進められなかったと思う。今回の受講が、R を使い始めるきっかけになってくれた。統計的推定の考え方を、R のシミュレーションを用いて視覚的・感覚的に理解することで、学びが深まったように感じる。
- Excel のマクロと VBA の違いをよく理解できた。各章毎のファイルダウンロードなど、とても丁寧な指導内容と思う。
- プログラミングがどういった経緯で導入されているか、また、指導で求められている考え方など、背景的な側面を理解することができたことで、指導する側の不安や負担が少し和らいだ。
- 以前、VBA を独学しようとして、導入部の基礎知識がなく断念したことがあったが、今回の講義で基本を知ることができたので、今後、独学できる自信がついた。
- 2020 年から始まった小学校プログラミング教育に対する考え方や、目的・目標などが理解できた。
- R の独特な書式と、確率統計を同時に学ぶ必要があるのも、初めは難しく感じた。しかし、次のステップへ進む足がかりとしてはとても良い講座であると思う。
- 講義途中で行った課題のソースを修正しながら仕事に活かそうだと思い、仕事に活かす前提で考えながら受講出来た。受講してとても良かったと満足している。
- R のプログラムサンプルを配布いただいたため、実際に手元の PC で動作させることができ、役に立った。統計学について、理論だけでなく、R を使用してシミュレーションを行うことで理解が深まった。
- 動画を視聴するだけでなく、紹介されたプログラミング教材を体験することができたことで、教員として、また、児童として、どのようにプログラミングに取り組むことができるのか、分かりやすかった。
- なんとなく便利そうだけれど意味が分からないものから、仕組みがなんとなく分かって、見よう見まねで動かせた。ここから広がっていけそう。
- プログラミング授業は始まったばかりで、先生方や子供たちの試行錯誤が見られて、今後、どのように授業が変化していくのか楽しみ。
- 統計解析を用いる際、意味をあまり理解していなかったり、前例を参照したりなど、根拠が曖昧だった。まだまだ学習は必要だが、今後は根拠を考えながら解析を行おうという考えを持つに至った。
- 時代に即した内容で、すでに現場にいる者にも参考になり、全く無関係の職種の者にも興味や知識が持てるような内容だった。
- R という言語を理解するうえで、その前の段階で突っかかってしまうことが多いと思うが、この講座ではやったことのない人に丁寧に教えて下さったので、本当に助かった。自主学习で理解できなかったところが、講義を聴きながら普通にできているので、受講して良かった。
- コードを打てばこう出ます、というだけでなく、相関係数の所では、途中こういう計算をしているという説明のコードも入っていたので、”コードを打ち込めば、よく分からないけれど数値が出る”ではなく、”どういう流れで計算しているか”が見えて、「何となく結果を出している」状態から脱却できそうな気がする。
- 20 分程度の動画に分かれており、オンラインですべて受講できるため、スキマ時間で勉強できるのが良かった。
- 一人で学習すると、時間がかかったり、辞めてしまうこともあるが、良いペースメーカーとして利用できた。コロナの影響もあるが、自宅でマイペースの学習ができて良かった。
- プログラム学習をする場合、それぞれの開発環境をセットアップしなければならないが、Excel がインストールされているだけで良いところが良かった。
- Mac 版 Excel 利用者への配慮もあり、復習を兼ねて、Mac 版 Excel でもやってみたいと思った。

【学部 オンライン】「情報」抜粋

改善点

- 修正が多かったなので、そこは少し改善してほしい。講師からのお知らせ・連絡事項で、修正箇所が示されたが、少し雑然としていたので、評定締め切り後でよいので、差分でなく修正された視聴メモを配布してほしい。
- 用意された視聴メモだけでは理解が難しい内容が多く、印刷教材等の資料が欲しいと感じた。
- 後半（第5回）あたりから急に難易度が上がったと感じた。もう少し細かく注釈や解説があると、理解がしやすかったと思う。
- 講師の説明動画が短すぎたように感じる。
- もう少し体験型というか、授業に参加している実感が欲しかった。
- 確率統計に関する理解、R言語の基礎知識を前提とした構成になっており、ハードルの高い内容だった。シラバスには、前提とする知識(科目名等)を記載しておく必要があると思った。
- プログラムが動く様子を、映像でも見たかった。
- 全体的に分量が少なく感じたので、15回の講義にして、もう少し大きなマクロを作成するか、応用編の講座を別途追加して、もう少し発展した内容があると良いと思った。
- 上手くいっている事例だけでなく、失敗した事例、可もなく不可もない多くの事例なども知りたいと思う。
- テキストをダウンロードできるようにしてほしい。講義形式ではないので、自分で読みすすめるという形であるが、これではオンラインの意味を感じなかった。つまり、印刷教材を読みながら、VBAを自分の環境で動かすわけだが、例えば、レベルに応じて多くの課題が出てくるというようなオンライン授業ならではの仕掛けを入れれば、もっと効果が高まると感じた。
- 回が決まっているため難しいと思うが、私のレベルでは駆け足に感じたため、もう少しじっくり学べるとありがたい。
- 練習問題集がついてくるとか、もう少し何回か練習できると、もっと理解できるかも、と思った。
- 評価レポートに問題を感じる。「小学校プログラミング教育実践の際の課題とその改善策を400字以内で述べなさい」とあるが、授業内容の中にある課題と改善策を書くのか、私個人が考える課題と改善策を書くのかの指示がないのが問題だと思う。他の授業では、本の引用と自分の意見は分けて書くことや、ファイルのタイトルを指定してあった。この授業はまるで指示がなく、大学の授業として相応しくないように感じる。
- より深く学習するための調べ方（参考文献やWebサイトの紹介など）や、プログラミングの設計方法についての指針があると、さらに学習意欲が向上すると感じた。
- 1単位で履修するのに内容が豊富すぎて、Rというアプリの操作方法を理解することができなかったし、確率統計についても理解するのが難しかった。まず、Rについての操作方で1単位の科目を履修し、Rの操作ができる前提で1単位の確率統計の科目を履修できるようにしてもらえるとよいと思った。
- 受講にあたり Excel for Mac を用意したが、できないことがあることに事前に気づけなかった。知っていたら Windows 版の選択もあった。
- 印刷資料にページをつけること。印刷資料全体を通した索引をつけること。
- 1単位とはいえ、放送「大学」の授業科目なのだから、もう少し講義に厚み・深みが欲しかった。
- レジュメを印刷したが、内容を読み取れないほど小さい字になる。A4、1枚に、スライド2つが入るようにしてほしい。誤植が目につく。

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	146	図・表・写真・映像があるので内容が理解しやすかった	31
基礎的な知識が得られた	98	講師の解説が分かりやすかった	23
今後に役立つ内容だった	77	理解しやすかった	13
具体的な事例、実践的な内容があった	58	内容・構成が良かった	10
勉強になった	47	受講しやすい環境だった	6
学習意欲・知識欲がわいた	39	オンラインの特性が生かされていた	4
最新の情報・研究が学べた	33	ポイントがつかみやすかった	3
知識の整理に役立った	31	楽しかった	2
内容・構成が良かった	29	設問解答・小テスト(確認テスト)等と連動していて良かった	2
新しい知識が身についた	24	操作・説明がわかりやすい	1
興味・関心が持てた	22	良い授業だった	1
視野が広がった	22	講師の熱意・熱心さが伝わった	1
理解しやすかった	20	講義ノートやテキストと連動していて良かった	1
自分のペースで勉強できた	8		
楽しかった	7		
全体として満足している	6		
資料・データが充実していた	5		
交流フォーラムが良かった	5		
身近に感じられる内容だった	4		
小テスト・練習問題が良かった	4		
深く学ぶ(考える)ことができた	3		
難易度・分量が適切だった	3		
専門的な内容だった	2		
自分の意見・考えを持てるようになった	1		
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	1		

講義ノート・テキスト	
意見	合計
良い教材だった	4
学習内容の理解・整理に役立った	2
ポイントがつかみやすかった	1

設問解答	
意見	合計
学習内容の理解・整理に役立った	4
小テスト(確認テスト)が良かった	3
課題の難易度・分量が適切だった	2
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切だった	1

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しかった	57	理解しにくい	38
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	40	図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	24
内容・構成が良くない	27	システム面の改善が必要	18
内容が専門的で難しかった	24	内容・構成が良くなかった	18
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	21	講義ノートやテキストと内容が異なる・連動していない	8
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	18	図・表・写真・映像が見つらい	7
例題・練習問題を増やしてほしい	16	オンラインの特性が十分に生かされていない	6
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	14	操作・説明がわかりにくい	5
内容の詰め込みすぎ	13	講義ノートやテキストと異なる講義が聞きたい	5
授業科目案内は内容が不十分だった	13	設問解答・小テスト(確認テスト)等と異なる・連動していない	5
演習を増やしてほしい	11	講義の分割の仕方が良くなかった	4
内容が浅い	9	講師の解説・指導が良くなかった	4
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	8	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	3
興味・意欲がわかかなかった	6	学習の進捗状況がわかる画面がほしい	1
努力不足だった	4	ポイントがつかみにくかった	1
内容にまとまりがない	4	講師の熱意が伝わらない	1
最新の内容を講義してほしい	4	講師の声が聞き取りづらい	1
期待していた内容ではなかった	3	専門家の意見が聞きたい	1
現実に生かせる内容にしてほしい	2		
講義内容と科目名に乖離がある	2		
科目の分類に疑問がある	2		
質問や相談がしたい	2		
自分のペースで勉強できなかった	1		
内容が基礎的で物足りなかった	1		
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	1		

講義ノート・テキスト

意見	合計
講義ノート等の教材に誤りがある	86
良い教材ではなかった	12
学習内容の理解・整理につながらない	9
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見つらい	9
文字・画像が見つらい	4
講義ノート・テキストを印刷するのは大変	2

設問解答

意見	合計
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	18
出題の仕方が不適切だった	15
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	10
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	7
レポートに関する情報を早く教えてほしい	7
各問題の解答・解説がほしい	6
課題の難易度・分量が適切ではない	5
指導内容・コメント・対応に不満がある	4
小テスト(確認テスト)はあまり学習に役立なかった	4
練習問題はあまり学習に役立なかった	2
解答の送信方法がわかりにくい	2

主な改善点の提案:集約

- 講義ノート・テキスト: 講義ノート等の教材に誤りがある
- 難しかった
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- オンライン授業: 理解しにくい
- 内容・構成が良くない
- 内容が専門的で難しかった
- オンライン授業: 図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい

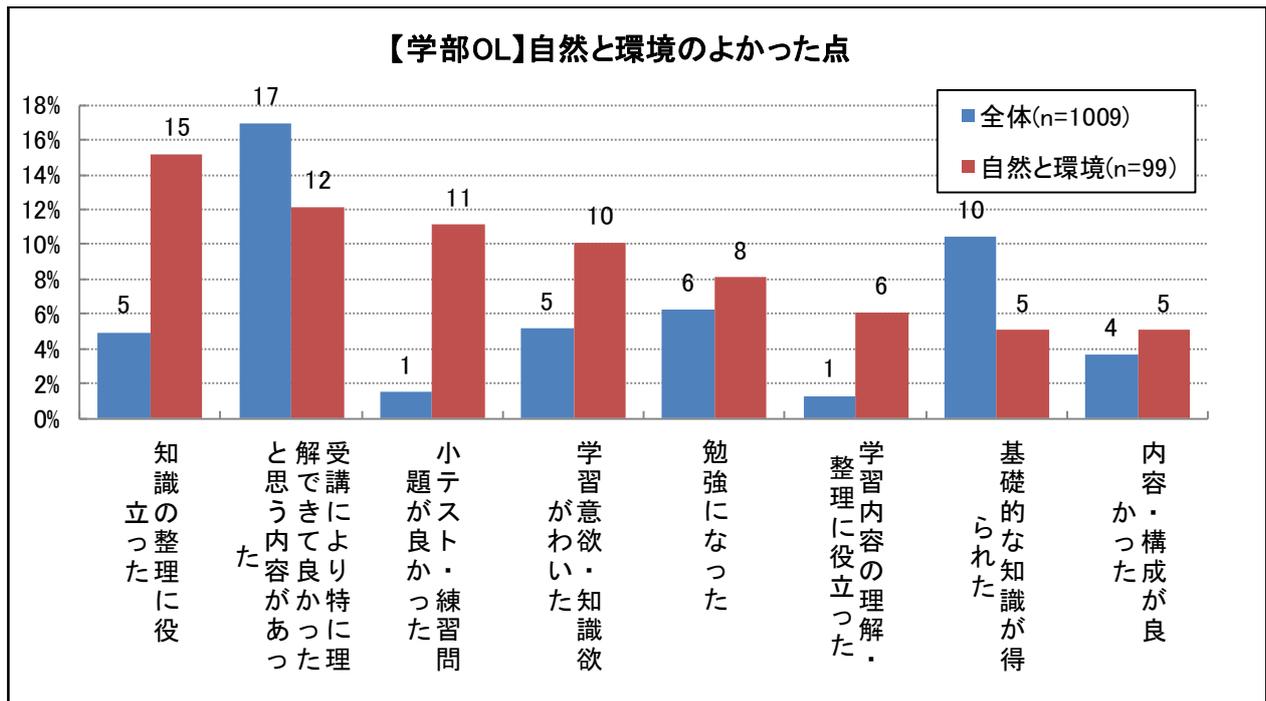
【学部 オンライン】「自然と環境」の傾向

よかった点

「知識の整理に役立った」が15%と最も高く、「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」は12%でこれに続いていた。

「知識の整理に役立った」は全体との差が大きく、これ以外でも「小テスト・練習問題が良かった」「学習意欲・知識欲がわいた」1割挙げられ、全体を大幅に上回っていた。

図3-21 【学部 オンライン】よかった点



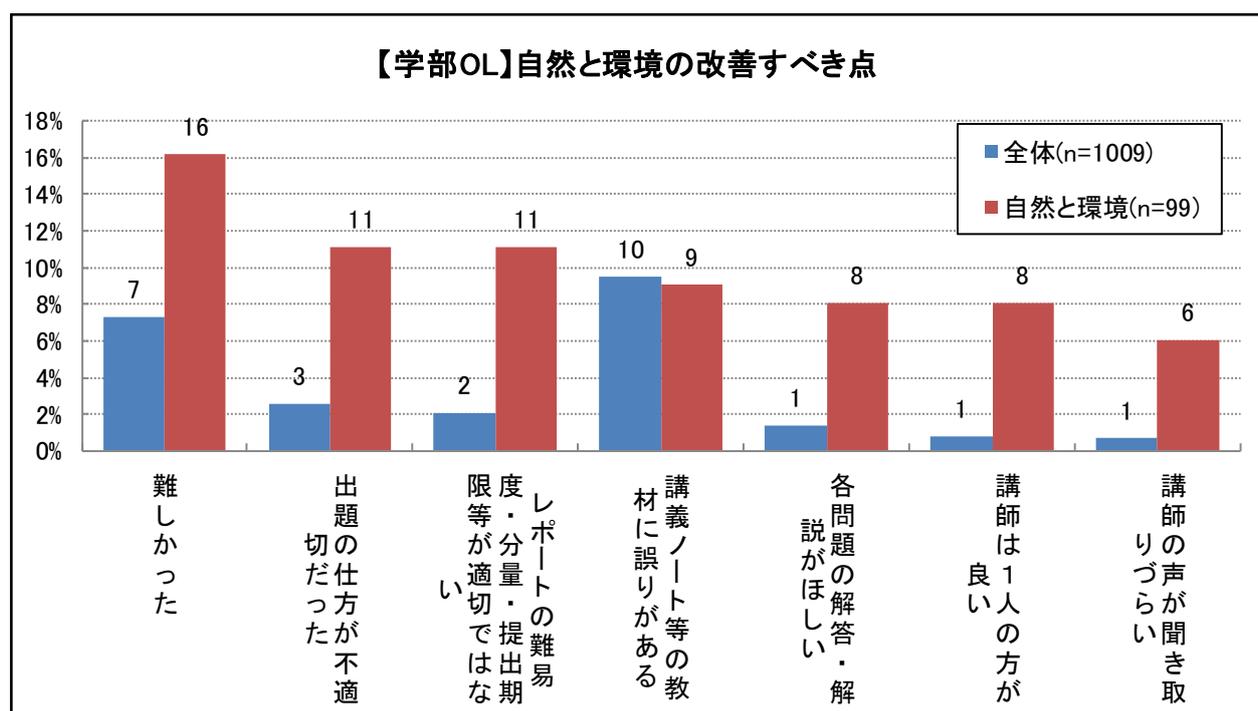
【学部 オンライン】「自然と環境」の傾向

改善点

「難しかった」(16%)、「出題の仕方が不適切だった」(11%)「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない」(11%)が、上位の項目で、いずれも全体との差は大きかった。

他に「講義ノート等の教材に誤りがある」以外の「各問題の解答・解説が欲しい」「講師は1人の方が良い」「講師の声が聞き取りづらい」は、全体との差が大きかった。

図3-22 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「自然と環境」抜粋

よかった点

- 一度勉強したものの、よく理解できていなかった部分の確認や、忘れてしまっていた知識の定着を図れた点がとても良かった。
- 最低限身に付けておくべき知識の整理ができ、自分は何が弱く、さらに何を勉強すべきか、というガイドラインを得ることができた。
- 解析力学に、ちんぷんかんぷんなながらも触れたこと。
- 自然科学、特に物理や化学において、どう数学を使うか役立てるかが少しでも理解できた気がした。
- 問題を自分で解くという、楽しさと苦しさを体験できた。
- 演習問題を解くことが理解につながるの、このような演習中心の科目が作られたことは良かったと思う。
- 来学期以降も復習用としてこの教材は利用できるようなので、再度学習を深めたいと考えている。
- 実際の問題に対して、じっくり考える機会が得られた。より一層、理解が深まった。
- 専攻外でしたが、広く浅く学べた。
- 古典力学の基本を勉強できて良かった。
- レポートの課題は難しかったが、レポートの問題を通して授業内容や物理の教科書を見返したりして、最初は分からなかった問題にも、時間をかけて少しずつ理解が出来るようになったこと。
- 数学を理学部的視点から検討することで、新たな「気づき」が得られたと思う。
- 自分で手を動かし演習することでしか、身につかない考え方が養成できたと感じる。
- 4名の先生での講義で、4科目分の充実した内容だと思った。
- 新しい切り口からの解説が得られた。試験問題を提出するために、考えて調べる時間が十分取れて満足できる。
- 新しい知識に触れることができたことに加えて、数式エディタ「Math」を使い、レポートを提出したという経験が新鮮で良かった。
- 4年制大学の理工学部で勉強するのとまったく同じ内容の数学を、効率よく勉強できたことがとても良かったと思った。
- 宇宙エレベーターのレポート課題では、ちょっとした研究気分になって楽しかった。
- 数学に関しては、独学ではなかなか身につかない内容なので、受講して非常に良かった。
- 講義資料がよく吟味されており、説明も分かりやすかった。

【学部 オンライン】「自然と環境」抜粋

改善点

- もう少し、物理や化学の内容自体を勉強しておくべきだと感じた。例えば、運動方程式の立て方そのもののところから悩むことが多く、時間をとった。
- 基本的な事項だったのだろうと思うが、“*”が共役複素数を意味することなど当初気づかず、理解が遅れたところがあった。
- 個人的な知識不足のまま講義を取ってしまい、受講して初めて全く理解できないことに気づいた。興味があって取ったが、最初から全く理解できず残念だった。
- 解析力学になって、全くついていけなくなった。特に7章を丁寧にやってもらいたかった。なぜハミルトニアンなのか、一般座標なのか、その辺をちゃんと教えてもらいたかった。
- レポートの設問がかなり高度だったので苦戦した。TeX も初心者で、取っ掛かりにくいと感じた。簡単な設問と高度な設問の組み合わせが良いと思う。
- レポートが難しすぎる。せっかく苦勞してレポートを出しても、解答を得られないので、学習効果が上がらない。レポート問題の解答、解説を提供してほしい。
- レポートの難易度に大きなばらつきがあったように感じる。
- レポートの期限が、小テストの期限より10日も早いのは奇妙に感じた。成績評価の手間などの特別な理由がないのであれば、期限は逆に設定してもらえの方が受講計画を立てやすく助かる。
- 数学的手法を身に付ける科目なのに、内容が物理に偏って、問題を解くのにここで勉強した内容だけでは不足で、他の本をあさらないとできず、ちょっときつすぎると思った。
- 練習問題・テスト問題でミスが何件もあり、それが原因で戸惑ったところがあった。やはり初学者にとって教材のミスは大きな障害となるので、改善してほしい。
- 小テストとか資料で誤植（すでに指摘、訂正されている内容以外に2か所もあった）が目立ち、講義内容全体の信頼性に疑問を持った。
- 担当の先生によって解説にムラがある。微分方程式の回は、数学的な公式と物理法則の話の切り分けがあまりされておらず、微分方程式の公式の説明も少ないと感じた。
- 授業が分かりやすい先生と分かりにくい先生の差が非常に大きいように感じた。誤植の訂正も先生によって対応が異なり、とても混乱した。
- 声が聞き取りにくい。ゆっくりと話をして、噛んで含めるような感じで講義をしてほしい。
- 放送教科とオンライン教科の内容の難易度に、差があると思った。オンライン教科が放送教科と比較して負荷が高いにも関わらず、単位数が少ないのは残念だ。
- 物理に利用するための数学を勉強するものだと思っていたら、しっかり物理の専門知識が必要だった。
- これから物理を学びたいと思っている人を対象とした、基本的な内容にして欲しい。すでに物理を学んだ人を対象にしているように思えた。
- 分光理論やスペクトル解析等でもオンライン授業を増やして欲しい。
- 小テストの内容と量がまちまちなので、できれば同じくらいにしてほしい。
- レポート提出で、量子力学など個別分野の設問となっていたが、全くその分野の馴染みがなく、オンライン授業で少しでも解説があったら良いと感じた。

Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

改善点は、当該科目について回答された項目のうち、上位5項目について掲載した。

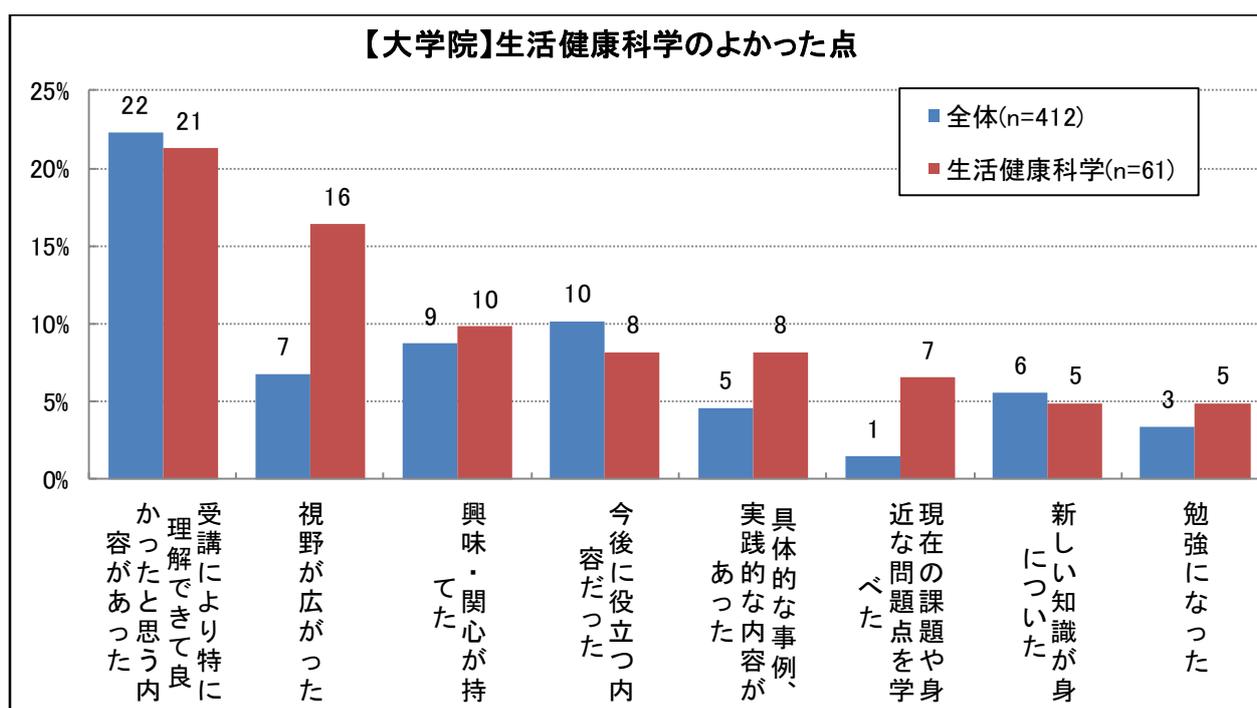
【大学院】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」は21%と最も高く、次いで「視野が広がった」が16%で続き、「視野が広がった」は全体との差が大きく、生活健康科学の特徴的な項目となっている。

他に「興味関心が持てた」「今後役に立つ内容だった」が10%以下で続いた。

図4-1 【大学院】よかった点



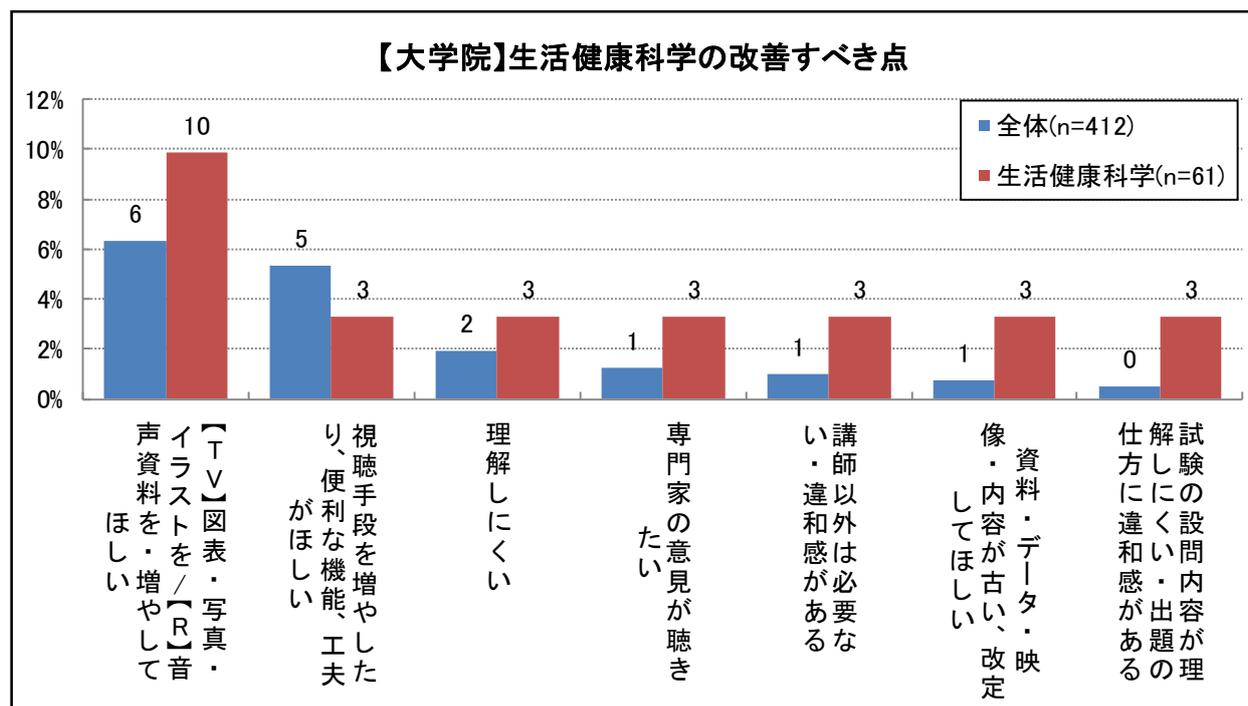
【大学院】「生活健康科学」の傾向

改善点

「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を・増やしてほしい」が10%で上位に挙げられ、全体を上回っていた。

後は「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」などが3%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 家族に対する日本の政策を、諸外国と比較して知ることができた。
- 世の中のいろいろな問題点を政治家及び専門家だけに任せるのではなくて、市民が中心になって、市民が議論して、専門家にも話を聞きながら問題提起していくことの大切さを学んだ。問題の本質が、隠されるのではなく、情報の開示により広く議論される事が大切だと感じた。
- 初めてこのような視点からの学びを受けることができた。あまり考えたことがなかった。様々な社会的な問題がある中で、新聞などで見聞きしていた問題も自分事にしていなかったと感じた。この年齢になって今更という思いもあるが、この授業を受講することで大変考えさせられたことは良かったと思う。広い視点で様々なことに注意して学んでいきたいと感じた。
- 現在の日本の戸籍制度の問題点、家制度について、離婚や育児、生殖医療など、様々な視点からそれぞれの制度上の問題などを学ぶことができた。特に戸籍制度について、自分自身も問題に感じることがあり、深く考える材料を与えていただけたと思う。
- 今までの知識だけでなく、新しい観点や考え方が自分にプラスされたと思っている。
- これまであまり問題意識を持っていなかった点に関し、大きな問題をはらんでいることを認識できた。大変興味深い内容であった。
- スポーツ栄養に興味があったので、受講により理解が深まったと感じた。もっと真剣に学びたいと思った。もっと若い時に学びたかった。
- 自分の修士論文に関連する科目であったこと。実際に論文の内容を補強するのに役立っている。
- 世の中や身近に起きている事柄やニュースについて理解が深まり、自分の生活にどのように影響している、してくるのか分かった。
- 家族政策についての流れと現状がよく理解できた。また講師の視点や問題意識がよく分かり、現代社会の喫緊の問題として、家族政策をとらえることができたように思う。
- 家族という言葉に関して、さらに深く学問したいと考え、履修させて頂いた。まだまだ身に付いた知識は浅いとは思いますが、以前よりは、知識が深く広くなった実感が持っている。まだ学び続けたい分野である。
- 健康・スポーツの科学的アプローチについて、例示もあり、分かりやすかった。

改善点

- 実際開催された会議などがYouTube等で参照できると、より問題意識が上がる。
- ゲスト相手にお膳立て通りの対談を繰り返して、置いてきぼりにされてしまったような印象がある。様々な人が聴いていることを前提に、心に響く言葉を届けほしい。
- 放送内容はテキストにない部分が多かったのも、もっとテキストに放送内容を盛り込んだ方が良いのではないかな。
- 時間が無い中で受講しているので、よりシンプルな説明や講話でありつつ、分かりやすい形を望みます。
- 印刷教材に図版等をもう少し増やしていただけると、理解の助けになると感じた。印刷教材は優れていると思うが、図表や統計、アンケート結果に関しては、なるべく新しい、違った観点からのものがあたら良かった。
- ケースとして紹介される人生相談の内容は考えさせられるものが多かったが、今日的なものの割合を高められると、より現代的な課題が把握できると感じた。
- もし可能であれば、実習単位のようなものがあると、個人的には受けてみたい気持ちがある。
- 地域に限らず、他県や世界各国の市民活動を知るためのアクセス方法を、引用参考欄にもっと載せて頂きたい。
- 印刷教材の各章の研究課題の解答例があると、うれしい。
- 通信指導、単位認定試験の内容は簡単すぎると思う。教材に載っていること、そのままの設問は避けて頂きたい。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			13 13	講師の解説が分かりやすかった			1 1
視野が広がった			10 10	講師の熱意・熱心さが伝わった			1 1
興味・関心が持てた			6 6				
今後に役立つ内容だった			5 5				
具体的な事例、実践的な内容があった			5 5				
現在の課題や身近な問題点を学べた			4 4				
勉強になった			3 3				
新しい知識が身についた			3 3				
学習意欲・知識欲がわいた			2 2				
知識の整理に役立った			2 2				
身近に感じられる内容だった			2 2				
深く学ぶ(考える)ことができた			2 2				
専門的な内容だった			2 2				
全体として満足している			1 1				
自分のペースで勉強できた			1 1				
理解しやすかった			1 1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1 1				
基礎的な知識が得られた			1 1				
最新の情報・研究が学べた			1 1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった			2 2
理解しやすかった			1 1

【大学院】「生活健康科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい			2 2	図・表・写真・イラストを増やしてほしい			4 4
興味・意欲がわかかなかった			1 1	理解しにくい			2 2
内容の詰め込みすぎ			1 1	文字が読みづらい			1 1
最新の内容を講義してほしい			1 1	具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい			1 1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1 1	引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい			1 1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった			1 1				
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			1 1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい			2 2	指導内容・コメント・対応に不満がある			1 1
専門家の意見が聞きたい			2 2	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない			1 1
講師以外は必要ない・違和感がある			2 2	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい			1 1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい			2 2				
メディアの特性に合わない授業内容だった			1 1				
理解しにくい			1 1				
科目全体の内容・構成が良くない			1 1				
講師の解説・指導が良くなかった			1 1				
印刷教材の内容が異なる・連動していない			1 1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある			2 2
難易度を上げるべき			1 1

- 主な改善点の提案:集約
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
 - 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
 - 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
 - 放送授業:専門家の意見が聞きたい
 - 放送授業:講師以外は必要ない・違和感がある
 - 資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい
 - 印刷教材:理解しにくい

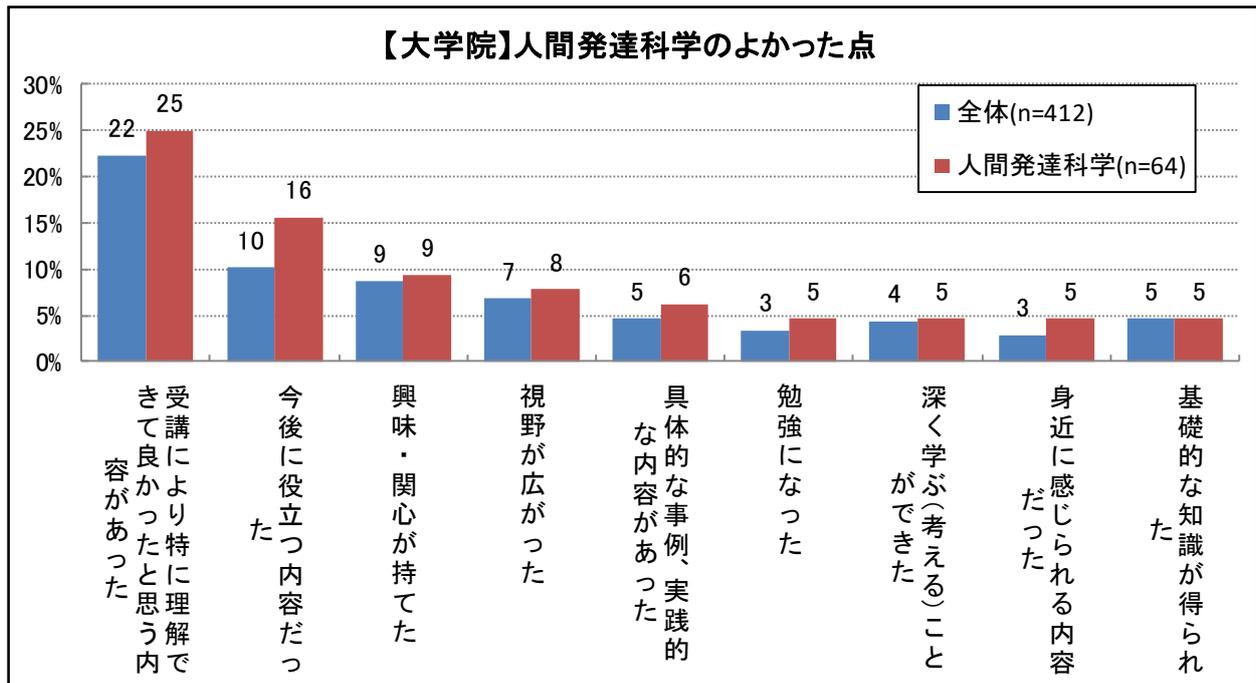
【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が、25%で突出しており、次いで「今後役に役立つ内容だった」は16%で、これは、全体を上回っていた。

後は「興味・関心が持てた」などが9%以下で続いていた。

図4-3 【大学院】よかった点

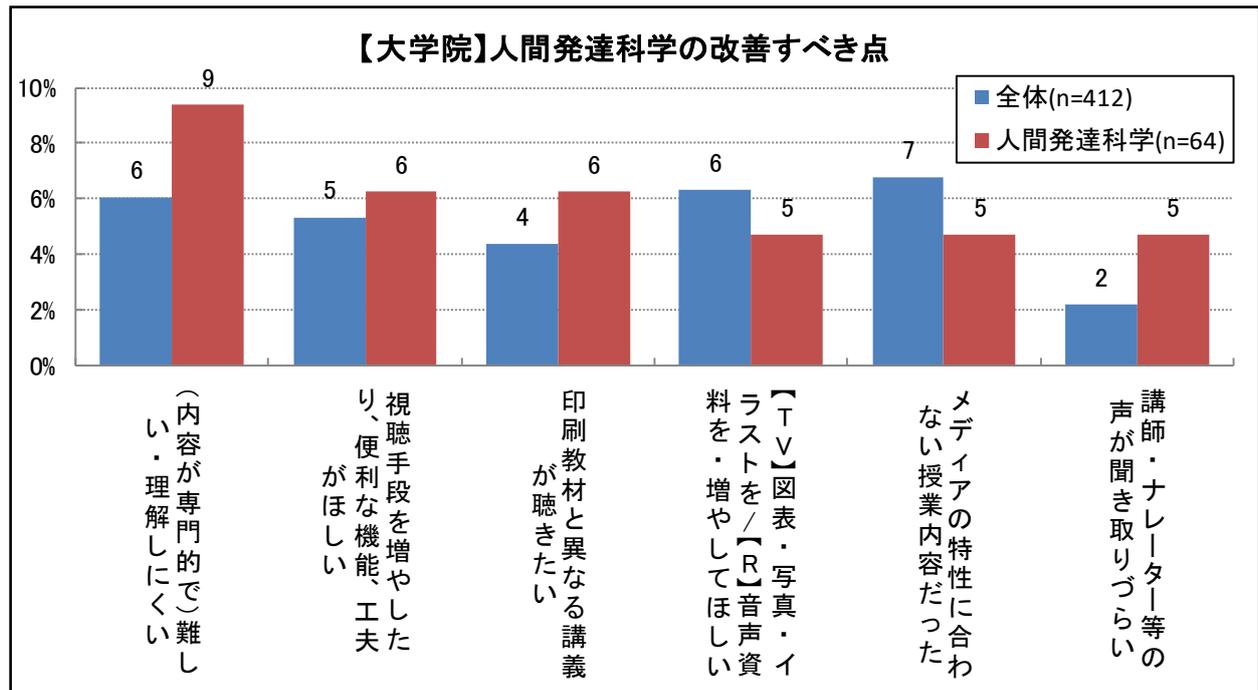


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が9%と最も高く、次いで「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」「印刷教材と異なる講義が聴きたい」が6%で続いていた。

図4-4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 日本の教育制度とは異なる、各国の制度を知ることができた。お手本にしたいシステムもあり、希望がわいてきた。
- 非常勤大学講師としてリモート授業を行っており、留学生も多いので、海外の教育改革について知ることは非常に有益であった。
- 海外の英語教育について知ることができ、とても良かった。特にアジアでの英語教育について詳しく知ることができて良かった。
- 日本におけるシニア女性へのジェンダー教育に関心がある為、この講義で、各国の教育への改革を知ることが出来たことは、とても有意義だった。
- 自分の学習方法を改良していくためには、カリキュラムの考え方は貴重な知識だった。
- 修士論文を書く際の注意点や、論文作成の進め方が毎回書かれており、大変勉強になった。
- OECD、PISA 調査、SDGs などの理解が進んだ。また、各国の教育改革や生涯学習も興味深く、受講して良かった。
- 各国の教育最前線事情を知ることができ、日本の現状がなぜこうなっているのかも理解が深まった。親の立場としても、大変興味深い内容だった。
- 諸外国の事情については、なかなか見聞する機会がないため、とても有意義であったし、改めて日本の教育について考える機会となったことに満足している。
- 教育現場においてカリキュラムの問題は常時気にかかるものである。また、最近の教育環境の変化の中で、「何が大切なのか？」について、改めて考える良い機会となった。
- 教師ではない立場（教師の手伝い）で、学校勤務時に、専門的な内容を幾らかでも理解して仕事をしたかったので、助かった。
- 教職に携わる上で必要な知識を学べたこと。職務に直接関連性があり、有用であること。
- カリキュラムの最新の理論と情報が紹介されていて分かりやすい。
- 身近で、曖昧に理解していた「カリキュラム」にまつわる事柄を、いろいろな角度から学ぶことができた。
- 看護学校の教員の登録にこの科目の単位が必要だとのことで受講した。学ぶ姿勢に対して、放送大学という存在が環境作りをしてくださるので、お金、時間とか、色々な壁があっても平等性を感じられた。

改善点

- 経済学者の専門的な話は理解に苦しむので、もう少し噛み砕いて欲しい。
- ラジオ講座だったので、印刷教材を見ながらの受講だったが、真っ暗な画面を見ながらの受講は勉強意欲を低下させる。画像があったら良いのに、と何度も思った。
- 放送内容と印刷教材の内容がほぼ同じだったので、放送を一通り聞いたあとは印刷教材だけで勉強を進めた。それぞれのメディアの特性を活かして、別の内容にしても良いと感じた。
- 印刷教材の説明も、もう少し放送教材の中で説明してほしいと思った。テーマに合ったゲストをお呼びしてその内容が放送されているが、時に、その内容が全く印刷教材に含まれていないこともあった。
- この科目を受講して、改めて修士論文とは何かを考えた。1年1学期に受けた e ラーニングで分かったようなつもりでいたが、全く分かっていなかった。
- 制度のみではなく、生徒視点の内容がもう少しあってもよいかと思った。
- いくつかの国や地域の教育の違いについて、単純比較できるポイントを3つくらい設定していただけたら、分かりやすいと思う。しかしながら、内容がかなり充実していたので、学習内容については大変満足している。
- テストが難しい。微妙なところはやめてほしい。教材通りに出してほしい。
- 単位認定試験が難しかった。通信指導と比べて、内容が難しかった。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	16		16
今後に役立つ内容だった	10		10
興味・関心が持てた	6		6
視野が広がった	5		5
具体的な事例、実践的な内容があった	4		4
勉強になった	3		3
身近に感じられる内容だった	3		3
深く学ぶ(考える)ことができた	3		3
基礎的な知識が得られた	3		3
全体として満足している	2		2
知識の整理に役立った	2		2
内容・構成が良かった	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	1		1
理解しやすかった	1		1
新しい知識が身についた	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1
最新の情報・研究が学べた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師が良かった			1
講師の解説が分かりやすかった			1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った			1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
努力不足だった	2		2
内容・構成が良くない	2		2
内容が専門的で難しかった	1		1
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
授業科目案内は内容が不十分だった	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を下げるべき			2
評価方法に不満がある			1
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった			1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	5		5
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	4		4
印刷教材と異なる講義が聞きたい	4		4
メディアの特性に合わない授業内容だった	3		3
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	3		3
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	3		3
科目全体の内容・構成が良くない	2		2
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2		2
専門家の意見が聞きたい	1		1
印刷教材の内容が異なる・運動していない	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい	2		2
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:理解しにくい
- 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 放送授業:メディアの特性に合わない授業内容だった
- 放送授業:講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない

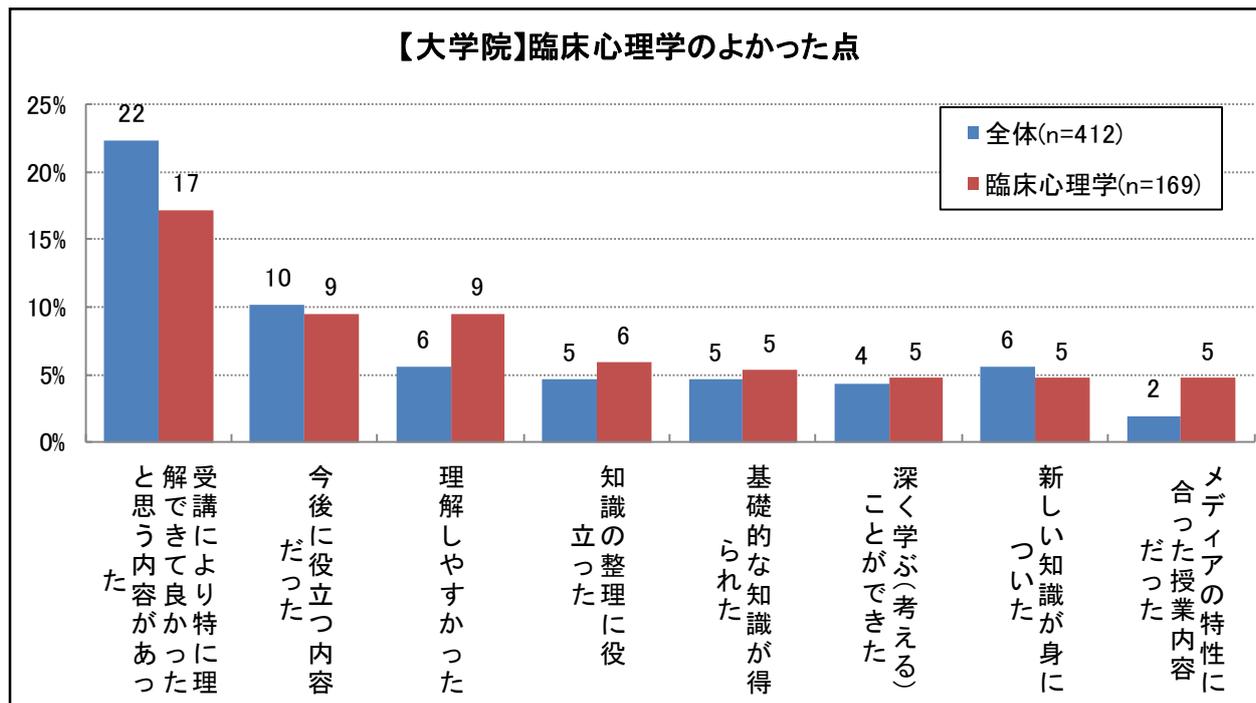
【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が17%と最も高く、次いで「今後に役立つ内容だった」「理解しやすかった」が9%で続いていた。

以降、「知識の整理に役立った」などが6%以下で挙げられていた。

図4-5 【大学院】よかった点



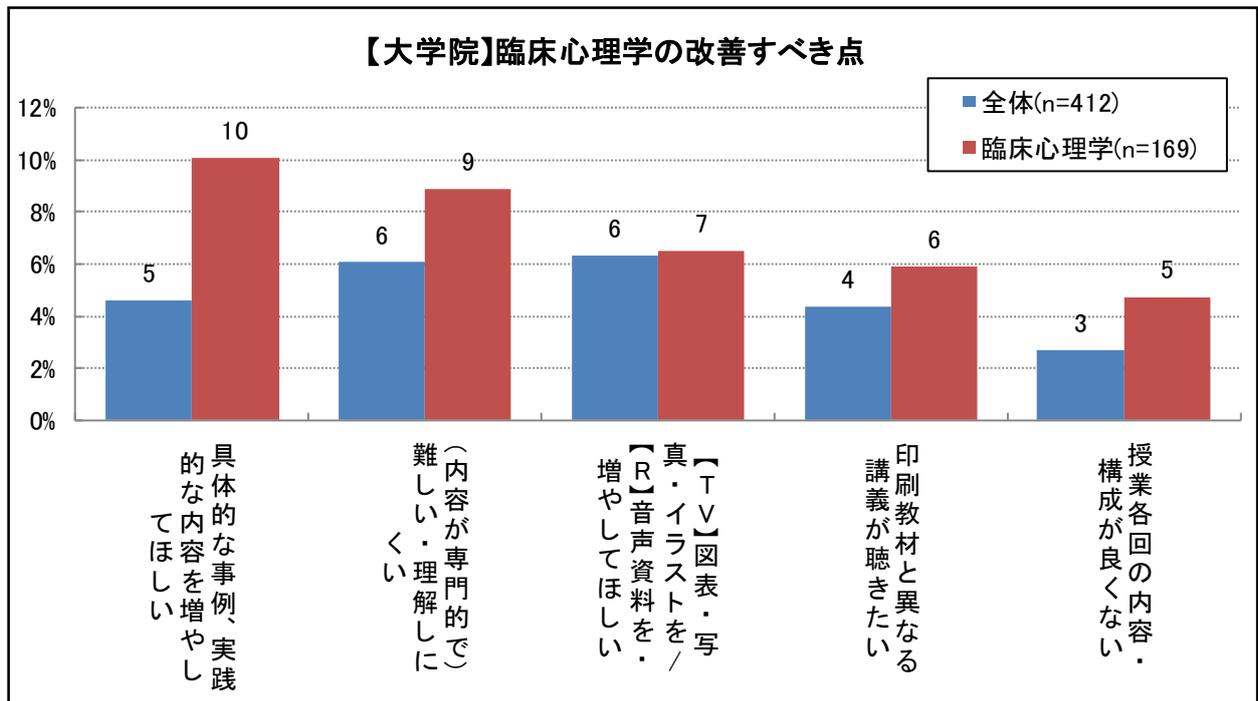
【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が10%と高く、全体を上回っていた。

次いで「(内容が専門的で) 難しい・理解しにくい」が9%、「【TV】 図表・写真・イラストを/ 【R】 音声資料を・増やしてほしい」が7%、他に「印刷教材と異なる講義が聴きたい」などが、6%以下で挙げられていた。

図4-6 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 発達の段階で、その時期にすべきこと、注意すべきことがあることが分かった。特に、親や教師といった生き方の見本となる人には学ぶ価値が高いと思った。
- 臨床心理士の具体的な面接の仕方を視覚的に学べて大変良かった。
- 放課後、児童指導をしている中で、児童とのかかわり方や、かかわりが難しいと感じられる子供へのアプローチ方法などにヒントを得られたと思う。
- 学校で教員をさせて頂いているが、学生だけでなく、他の教員にも学んでほしい内容だと思った。今後の教員生活において役立てていきたいと思う。
- 生涯発達の観点から、受精から高齢期、死を迎えるまでの人生の連続性があり、理解しやすかった。その時期特有の課題もあり、実践上、役立った。
- 実際に統計を用いて論文を書く際の知識を身に付けることができた。
- 学校カウンセリングの大切さについて再認識できた。相談時の意識、心構え等についても理解できた。また、再現ドラマで細かく理解できなかった部分については、印刷教材で理解することができた。
- 私自身、2歳の子供がいるのでとても興味のある内容だった。言葉や知能、行動などが、これからのように発達していくのか分かった。もっと早く学習しておけば良かったと思った。
- テレビ科目で、実際の事例をドラマで見せてもらったので、具体的で非常に分かりやすかった。どんな時に教師がどんな態度を取っているかなど、参考になり、今まで疑問に思っていたことがよく学べたと感じる。
- 発達という概念を、大学院レベルではあるが、基礎的な点から説明がなされているのは理解の助けとなった。
- 現在、学部の心理と教育コースも受講しているが、大学院での講座は更に踏み込んだ内容となっており、大いに視野が広がった。
- 統計分析が試験そのものを変えていることや、どう未来を予測していくのか、その方法がとても面白かった。後半になるほど興味深かった。
- 「医療分野でのコラボレーション」で、「パーソン・センタード・アプローチ」、一人ひとりを尊重し、多職種連携を行い、チーム医療で、それぞれのメンバーが対等な関係で、オープンダイアログで、ヒエラルキーを超えて治療的民主主義を行うという講義は、SDGsにつながり、いろいろな方面で応用できるのではないかと、希望を頂いた気がする。
- 個人情報には配慮しつつも、各学校段階での具体的な場面の設定がなされた事例を取り上げてあったので、分かりやすかった。おかげで、イメージを持ちやすく、学習の理解が深まったと感じた。
- 統計に関して、ほとんど知識がなかったので、この講座を受講した。難しい部分も多くあったため、何回も印刷教材を見直した。今後、心理の勉強をしたいので、必須だと思って勉強した。
- 臨床心理学と社会との関係や役割が明確に示されたこと。心理学の社会での位置づけが分かった。
- ベイズ統計や一般線形モデルなど、統計学の最前線を概観できる内容だった。
- 研究に統計の手法を取り入れることで、分かりやすさや説得力が大きく高まると認識できた。
- 大学院科目でありながらも、統計の基礎から学ぶことができる科目であった。
- 「臨床心理」と「地域援助」という、二つのテーマがどう統合されるのか、学問として学べた。
- 英語教育に携わっているが、これまで実践発表は生徒の作品を示すことしかできなかった。今後、統計の知識を活用し、生徒の変容を数値やデータで具体的に示すことで実践発表できればよいと考えている。
- 人の生涯発達のプロセスを、世代ごと、テーマごとに学べたのが良かったと思う。
- 私は心理系の資格取得を目指しており、その勉強にも役立った。発達について、これまで学んだことを見直すことができた。

改善点

- たまたまだと思うが、自分が視聴した回は印刷教材の補足のような説明が多かった。正直それ以降は、内容がコンパクトにまとめられている印刷教材での学習に偏ってしまった。印刷教材の学びを深めるエピソードなど、放送授業ならではの内容が多いとありがたい。
- 事例のビデオは、外国の事例の代わりに日本人の子供に登場してほしいと感じた。肖像権等が課題とは認識しているが。
- せっかくの TV 授業なので、もっとパワーポイントを使って分かりやすい画面や、視覚的に理解しやすいイラストが欲しかった。今どきのパワーポイントやイラストを使った教材を見慣れてしまうと、事例の再現映像以外は物足りなく感じた。今どきのネット上の講義映像などから比べてみても高いレベルとは感じられず、そこが残念だった。
- 視聴している受講生が実践する視点から、留意すべき点などを示してもらいたい。
- 図表番号が途中で、印刷教材と放送内容とで順序が合っていなかった。
- 放送を聴きながら図表を見る事に追いつかず、何度も戻しながら聴き直した状態だった。TV 授業で受けたかったと思った。
- やはり、動画で図示されたらもっと容易く理解できるのにと感じた。次元が高くなっても、動画なら表現の幅が広がるはずだ。3D 表現も時間の次元を用いることにより感覚的に次元増やせるはず。予算の問題もあるだろうから、全編でなくともかまわない。要所要所に、数分で充分なので、参考動画があると次に学ぶ方達の助けとなると思う。
- 各年齢における代表的な例を、再現ドラマ等を用いて紹介いただいたので、大変分かりやすかった。15 回では限界があるが、より多くの事例があるとさらに理解を深めることができる。
- とにかく統計学は数学を天降り式に用いるので、数学を専門とした学生にとっても決して易しくない。全体的に高度な内容が多いように思えたので、数学的基礎をもう一章増やし、統計手法の話題を厳選しても良いのではないか。
- テキストで分かることよりも、その学習にまつわるトピックスをあげてもらうなど、科目に対して興味を深められる内容が欲しい。
- ゲストの実践例も大切だが、実践に役立つかに疑問があった。カウンセリングの際のポイントが示されると分かりやすい。
- 発達心理学は、子育てなど日常生活に直接的に関係しており、在学生からの関心が高い科目だと感じる。他の科目以上に、最新の研究知見を取り入れると同時に、普遍性の高い内容が求められるのではないだろうか。
- 各章のタイトルの横に、その章を代表するような図が欲しかった。例えば分散分析とかベイズ統計とか、人の図や内容の図、どんな時に使うと便利、など、一目で分かりやすいような図があると、「この章では何を学ぶのかな」とイメージしやすく、そのイメージに当てはまるような方向性を考えながら、学びを進めていったのでは、と思う。
- 授業内で扱った統計ソフトの使用方法などを補助教材として、アップロードしていただくと、より理解が深まると感じた。
- 内容を理解するまでに何度も教材を読み返して理解するよう努めた。教材自体は平易な記載でとても分かりやすかったが、理解しなければならぬ情報量が多く、履修に苦戦し、途中でくじけそうになった。
- 演習問題の模範解答を丁寧に載せ、問題を解く過程からその章の学習内容をしっかりと振り返ることの出来る構成が欲しかった。
- 文系出身の学生にも分かりやすいように、もう少しレベルを下げたところから授業をしていただきたいかった。数学的な知識の差により、理解度が大きく変わると感じた。この授業は理系出身の現役学生にとってはきっと分かりやすいものであったと思う。
- 少し映像にレトロ感があり、出演する生徒も、今どきあのような格好の中学生はいないかな…と想ったりしたが、どうだろうか。
- 試験問題や通信課題の内容が、学習目標のようなものと対応しているのか、やや疑問。

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	9	8	17	印刷教材と異なる講義が聞きたい	5	5	10
難しかった	1	7	8	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	6	2	8
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		6	6	授業各回の内容・構成が良くない	5	3	8
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	3		3	印刷教材の内容が異なる・連動していない	4	2	6
最新の内容を講義してほしい	3		3	理解しにくい	2	4	6
努力不足だった	2	1	3	メディアの特性に合わない授業内容だった	1	4	5
内容・構成が良くない	2	1	3	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	3	1	4
現実に生かせる内容にしてほしい	2	1	3	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1	3	4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	1	2	専門家の意見が聞きたい	1	1	2
内容が基礎的で物足りなかった		2	2	図・表・写真・映像が見づらい	1	1	2
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		2	2	放送授業の時間(スケジュール)が合わない	1		1
自分のペースで勉強できなかった	1		1	ポイントがつかみにくい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1	科目全体の内容・構成が良くない	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1	講師は1人の方が良い	1		1
学習センター・図書館・サテライトスペースが利用しにくかった	1		1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1
興味・意欲がわかなかった		1	1	手話通訳、または字幕がほしい		1	1
内容の詰め込みすぎ		1	1				
内容が専門的で難しかった		1	1				

印刷教材			
意見			合計
放送授業中の資料・データを載せてほしい	1	3	4
理解しにくい		4	4
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		3	3
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
内容・構成が良くない		1	1
誤植がある		1	1

通信指導			
意見			合計
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1	1	2
課題(問題)が、単位認定試験と直結していない	1		1

単位認定試験			
意見			合計
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なり	1		1
難易度を上げるべき	1		1

主な改善点の提案:集約

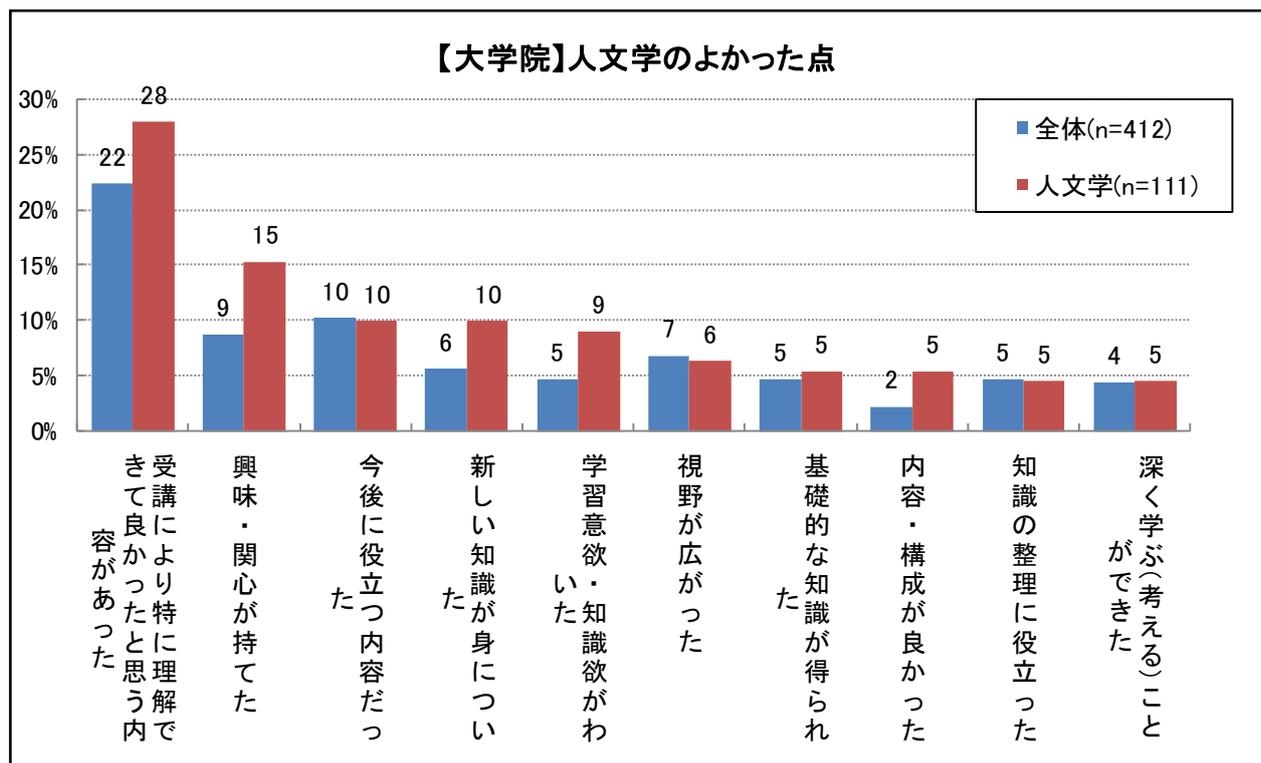
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 難しかった
- 放送授業:理解しにくい
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる・連動していない

【大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が28%と他の項目から突出しており、他に「興味・関心が持てた」(15%)、「今後に役立つ内容だった」(10%)、「新しい知識が身についた」(10%)など、10%以上の項目が多く挙げられていた。

図4-7 【大学院】よかった点



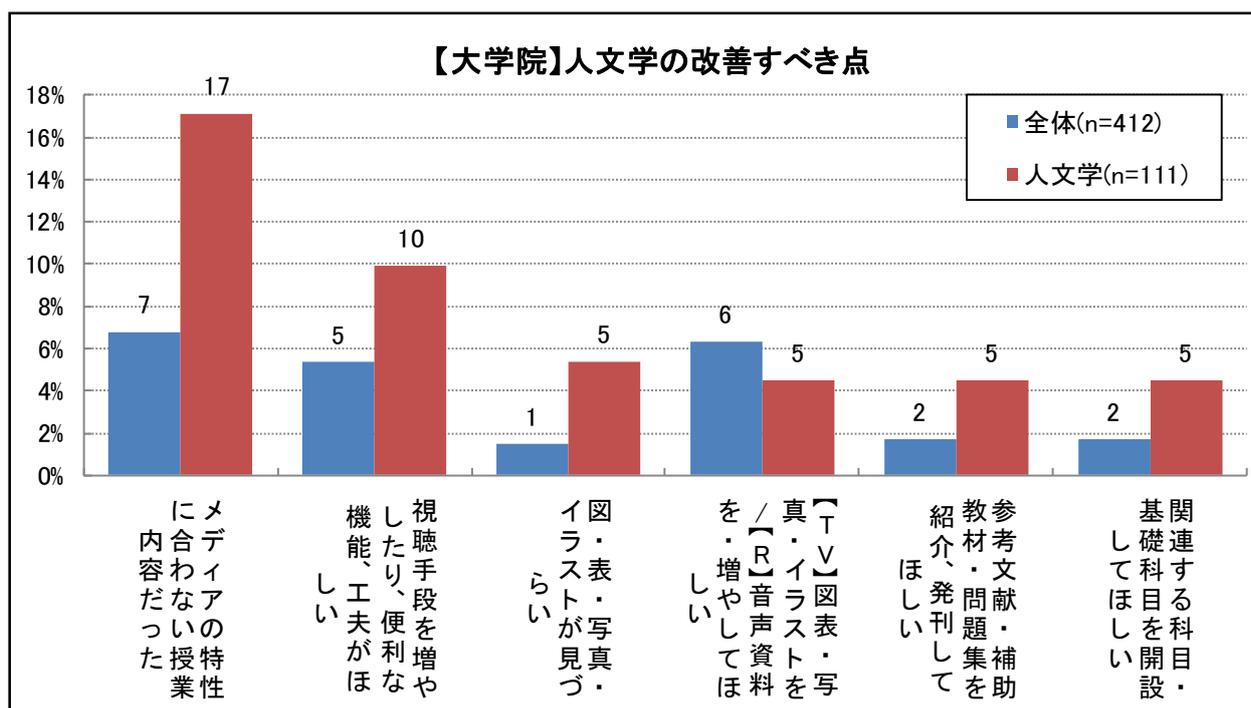
【大学院】「人文学」の傾向

改善点

「メディアの特性に合わない授業内容だった」が17%と最も高く、「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」が10%でこれに続き、両項目とも全体を大きく上回っていた。

他に「図・表・写真・イラストが見づらい」などが5%で続いていた。

図4-8 【大学院】改善すべき点



よかった点

- 中世ヨーロッパの身分ごとの衣食住が理解できて良かった。
- 歴史研究における文字史料の重要性はもとより、活用する上での心構えや目配りすべき点、古文書としての体裁・体系を、実際の適切な史料で学ぶことができた。またテキストに取り上げられた文字史料すべてが興味尽きない史実の紹介だった。
- 日本文学の奥行きを感じた。注釈の歴史に詳しく触れたのは今回が初めてだった。今に続く系譜、そして作者や作品、注釈がどのように関わり影響し合ったかが理解できた。
- この授業を受講して、この時代のアメリカが想像以上に多様性に富み、多岐にわたって展開していたかを知ることができた。特に 13 章以下は大変役に立った。
- 初めての通信で不安もあったが、興味深い事例で大変参考にもなり、楽しい講義だった。
- 古典作品が注釈が行われるようになった年代順に配列された構成を、とても興味深く読んだ。
- 毎回興味を喚起し、「発見」を用意する講師の素晴らしい知識と技量に感服した。
- 大学の国文学科を卒業し、高校国語教員として長く働いているが、勉強不足で全く知らないことばかりが次々出てきて、本当に為になった。
- 歴史という流れの中で、特に修道院との関係を知ることができ良かったと思う。また、教会と世俗社会との関係の複雑さについて意識することができるようになり、現代でも、社会を考える上で役に立つと思う。第 15 回の「展望」も役に立った。
- 授業で扱った内容の多くが、修士論文と関連するもので、論文作成にとっても参考になった。
- テキストが分かりやすく、なかなか触れる機会の無かった史料に多く触れることが出来た。さらに掘り下げた史料に触れてみたいと考えるようになった。
- 研究史という観点から日本の古典文学のことを知ることができ、文学を学ぶ意欲をかきたてられた。また、過去から蓄積されてきた文学研究の多様性の中で、自分の研究を相対化し考え直すきっかけになった。
- 古代から近代までの歴史資料への理解が深まった。歴史資料だけでなく、歴史自体への関心も、これまでとは違う角度で持てるようになったと考える。
- 西洋中世史について、さまざまな切り口から学習することができ、幅広い見方で考えることの重要性が感じられたのが良い点だと思う。特に文化の面を時代に即して考えることができる編集になっていたのも、興味深い内容だった。
- 20 世紀初頭、世の中が帝国主義へと移り変わろうとしていた時代に、モダニズムの文化と文学が果たした役割を、教材（印刷教材、放送教材、通信指導、単位認定試験）を通じて一連の流れが理解できるように構成されていた。
- 西洋中世史における知識が混沌として断片的であったが、理解が深まったような気がする。試験の成績は悪かったが、印刷教材以外にも文献にあたり、読んで学ぶ機会を持つことができたので満足している。
- 本講義では、芸術観・芸術論を、いくつかの過去の文化・芸術上の事象を拾い、通貫して関連づけ、組み立てていく、その手法に興味深く感じた。
- とても難しい内容であるが、分かりやすくするような先生の御努力が感じられた。
- テキストに取り上げられた文字史料すべてが、興味尽きない史実の紹介だった。

【大学院】「人文学」 抜粋

改善点

- オンライン科目として開講しても良いのではと思った。史料の提示や歴史事実のあった現場の雰囲気も伝えられたのでは思った。
- この授業はぜひテレビにして頂きたいと思った。音声だけでは、せつかくの内容の広がり十分に伝わらない。もったいないと思う。
- テレビであれば、普段見られない当時の修道院の様子などが分かるような写真や絵などが見られて良かったかもしれない。
- ラジオ番組だが、絵とか写真だけではなく、グラフなど、Webのどこかでアクセスできるとか、何らかの形でビジュアルデータがあればよいと思った。
- 印刷教材に掲載されている画像、図は理解を助けてくれるが、放送授業でも、それらと本文内容との関連について案内や説明をしていただきたい。
- 具体的な写本を教材にした講義、ここで使われている写真映像が小さく、拡大鏡と共に見ていた。ここだけでも、もう少し大きな写真映像にしていただくと助かる。
- 原史料の図版を部分的に拡大して、問題点がよく確認できるとさらに良いと思う。
- 隣接する科目が少ないのが気になる。唯一の日本史専門科目であり、他の日本史に関する勉強をしたくてもできないことが不満。
- 時代を俯瞰する目と思考力を養う必要性から、地理学的観点をも視野に、このような日本の歴史・文化に関係する科目をさらに増やしていただきたいと思う。
- 図表は別刷りでもよいので、資料集として豊富に用意して頂けると、より理解が深まると思う。
- 取り扱う作品が身近にないため、その内容や体裁をより身近で分かりやすくするために、印刷教材中の説明箇所近くに画像を掲載し、その数をさらに増やしていただくと助かる。
- 印刷教材の誤記が多かった点。発表された正誤表のもの以外にも見つけたが、どこに連絡すればよいか分からないため、そのままとなっている。
- 印刷教材の修正が配られたが、修正ではなく、改訂版を出した方が良いと思う。
- こんなに難しいとは思わなかった。面接授業の方がよいと思った。
- インターネットを活用して実際のデータベースにできるかぎりアクセスしたが、データベース構造を理解していないと、たどり着くまでが容易でないものもあった。そのあたりを解説されたものが資料としてあるとよいと思った。
- 第二次世界大戦、とりわけアジア民族国家たる日本の台頭は、アメリカの社会・文化に影響があったものと思う。今後、そのようなことも含めて講義いただければ、と思う。
- 生徒に伝えるべき事が多すぎて、まとめた表現が少し枠をはみ出す観があった。1年を通した科目があっても良いと思う。
- 授業内容及びそれに関する事柄について、やっと質問が整理された頃には、質問をできる期間が過ぎてしまったことを知った。大変残念である。この点を工夫できないだろうか。
- ブラック・エンペラーの項目で、紙面的には制約があったのかもしれないが、より詳しい歴史的背景の記載があれば良いと思った。
- 通信指導の講評について、記述式であったので、もう少しボリュームのある講評を期待したいが、受講生が多ければ難しいのかと思う。ご検討願いたい。
- 通信指導の分量がもう少し多くても良いのではないかと感じた。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			31	31	講師の解説が分かりやすかった		4	4
興味・関心が持てた			17	17	講師の熱意・熱心さが伝わった		2	2
新しい知識が身についた			11	11	講師が良かった		1	1
今後に役立つ内容だった			11	11				
学習意欲・知識欲がわいた			10	10				
視野が広がった			7	7				
内容・構成が良かった			6	6				
基礎的な知識が得られた			6	6				
知識の整理に役立った			5	5				
深く学ぶ(考える)ことができた			5	5				
具体的な事例、実践的な内容があった			4	4				
全体として満足している			3	3				
勉強になった			3	3				
楽しかった			3	3				
理解しやすかった			2	2				
科目の学問的性質、位置づけが分かった			2	2				
専門的な内容だった			2	2				
身近に感じられる内容だった			1	1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1	1				
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった			1	1				

【大学院】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい			5	5	メディアの特性に合わない授業内容だった		19	19
関連する科目・基礎科目を開設してほしい			5	5	視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい		11	11
難しかった			2	2	印刷教材と異なる講義が聞きたい		4	4
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			2	2	授業各回の内容・構成が良くない		3	3
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった			2	2	放送授業の時間(スケジュール)が合わない		2	2
期待していた内容ではなかった			1	1	講師の解説・指導が良くなかった		2	2
内容・構成が良くない			1	1	講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい		2	2
内容の詰め込みすぎ			1	1	図・表・写真・映像が見づらい		2	2
内容が基礎的で物足りなかった			1	1	理解しにくい		1	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			1	1	講師は1人の方が良い		1	1
授業科目案内は内容が不十分だった			1	1	図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		1	1
質問や相談がしたい			1	1	解説中の印刷教材のページが分かりにくい		1	1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			1	1				

印刷教材				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	合計		
図・表・写真・イラストが見づらい			6	6	指導内容・コメント・対応に不満がある	1	1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			4	4	課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1	1
色刷りにしてほしい			4	4	課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1	1
誤植がある			3	3			
あまり良い教材ではなかった			1	1			
内容が薄い・少なすぎる			1	1			
放送授業中の資料・データを載せてほしい			1	1			
索引を充実させてほしい			1	1			

単位認定試験		
意見	合計	
記述式、および記述に関して改善してほしい	1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:メディアの特性に合わない授業内容だった
- 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストが見づらい

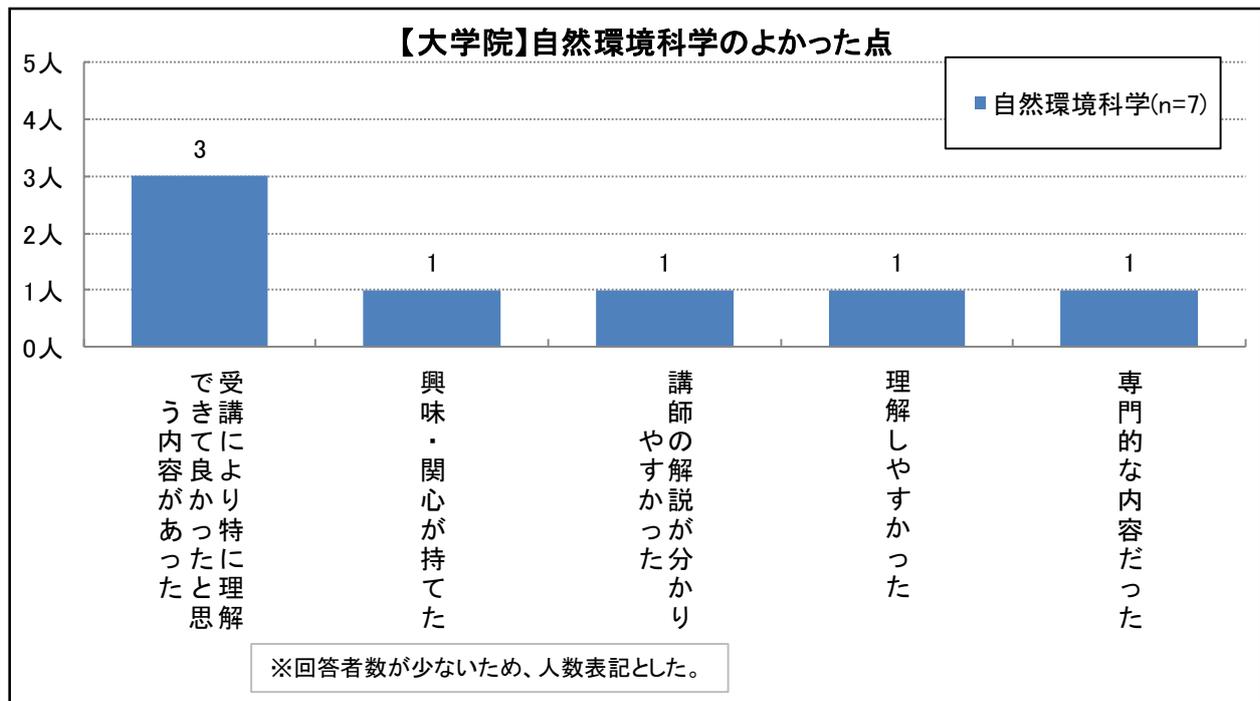
- 参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい

【大学院】「自然環境科学」の傾向

よかった点

「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」が3人、「興味・関心が持てた」「講師の解説が分かりやすかった」などが、1人から挙げられていた。

図4-9 【大学院】よかった点

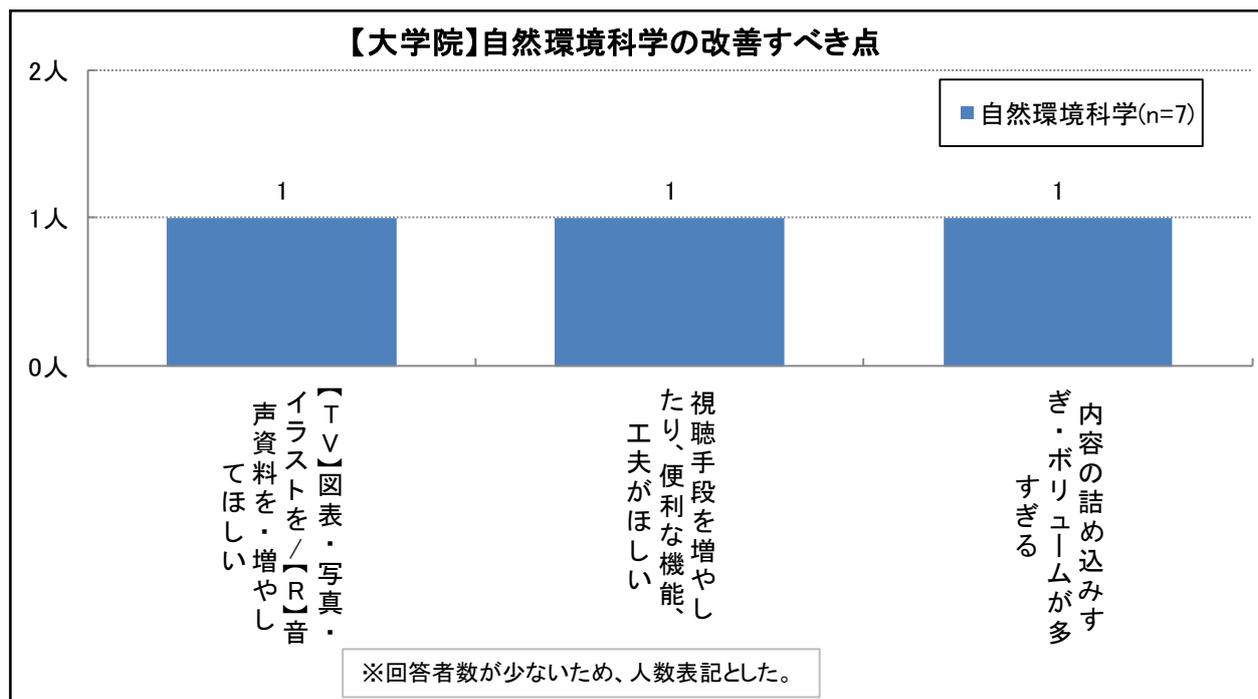


【大学院】「自然環境科学」の傾向

改善点

「【TV】図表・写真・イラストを/【R】音声資料を・増やしてほしい」「視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい」「内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる」が、それぞれ1人から挙げられていた。

図4-10 【大学院】改善すべき点



【大学院】「自然環境科学」 抜粋

よかった点

- 差分方程式、空間に関して理解を深めることができた。
- 課題解決に理論をどのように応用するか、理解を深めることができた。
- 「学びの広場」は大変役に立った。位相空間も少し触れることができた。
- 離散方程式やフラクタルに関して、全く知識がなかったため、この科目を受講したことで興味を持つきっかけになった。
- 計算能力の重要性を再認識した。
- 講師の先生の話し方が丁寧で、初心者には分かりやすかった。
- インターネット動画配信がありがたかった。

改善点

- テレビ放送の枠が少ないようなら、本科目のように、できるだけインターネット動画配信にしてほしい。
- テレビなので、より図を活用した講義を行ってほしかった。
- インターネット動画配信で、「特別問題演習回」のような追加講義があればとよい。
- 改善点ではないが、1回45分、全15回では、時間が少ないように思う。

【大学院】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	3		3	講師の解説が分かりやすかった		1	1
興味・関心が持てた	1		1				
専門的な内容だった	1		1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:理解しやすかった	1		1

【大学院】「自然環境科学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容の詰め込みすぎ	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	1		1

主な改善点の提案:集約

- 内容の詰め込みすぎ
- 放送授業:視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい

Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点については、回答された項目が 5% 以上の場合、改善すべき点は、比率の高い上位 5 項目を掲載した。

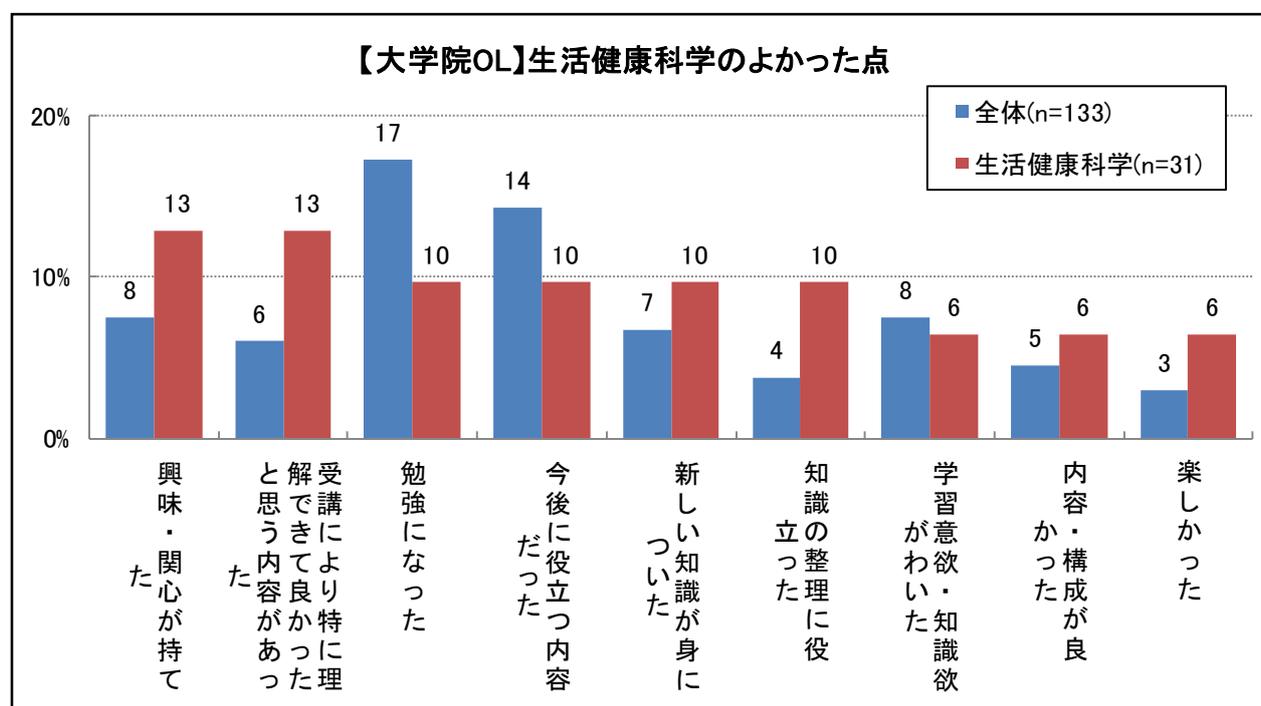
大学院 オンラインは各プログラムの回答者が 30 人代と少ないため、全体との有意な差が出にくく、全体の値は参考値として扱ってきたい。

【大学院 オンライン】「生活健康科学」と情報学の傾向

よかった点

10%以上の項目は、「興味・関心が持てた」「受講により特に理解できて良かったと思う内容があった」「勉強になった」「今後に役立つ内容だった」「新しい知識が身についた」「知識の整理に役立った」と多岐にわたっていた。

図 4-11 【大学院 オンライン】よかった点

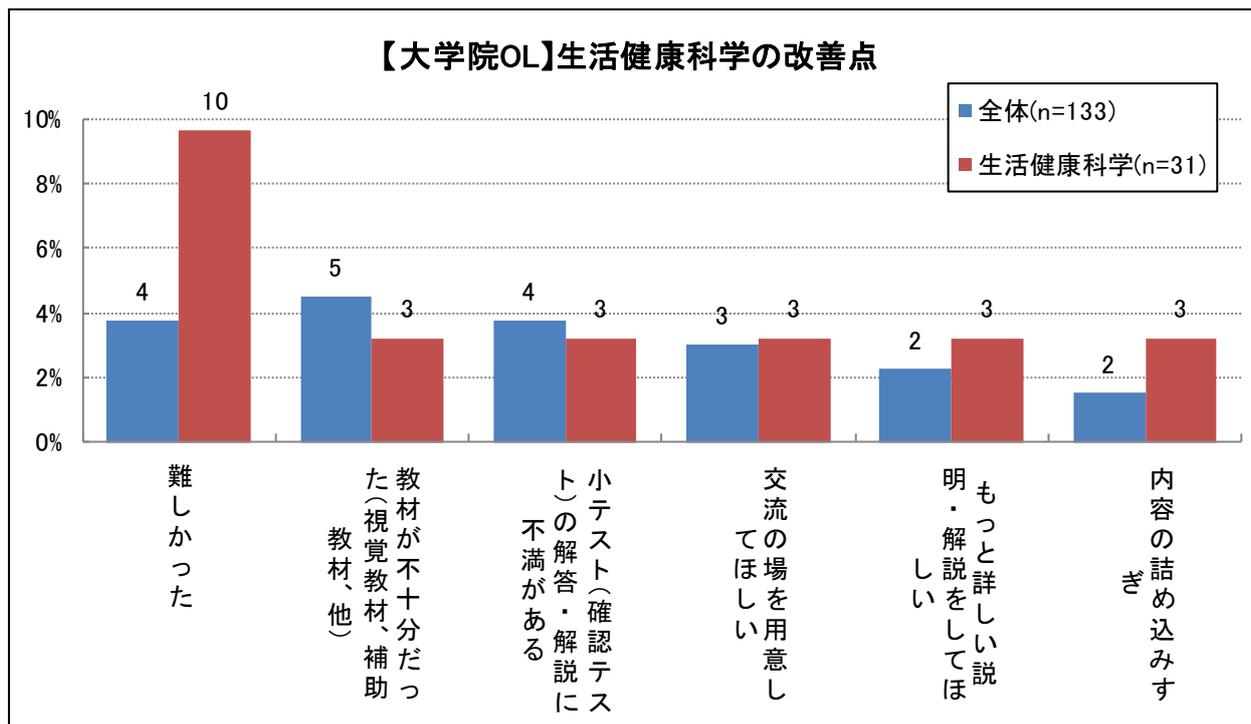


【大学院 オンライン】「生活健康科学」の傾向

改善点

「難しかった」が10%と突出しており、他では「教材が不十分だった（視覚教材、補助教材、他）」など、3%の項目が多く挙げられていた。

図 4 - 1 2 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 機能性食品やアレルギーなどに関して、しっかり学ぶことができた。
- 具体的な物質の化学的な構造が分かって良かった。
- ”食”が生命維持にどれだけの影響を与えるのか、これまであまり関心をはらってこなかったのに、思っていた以上で驚いた。大変興味深かった。
- 健康への興味・関心が高まり、健全に生きることの大切さを学ぶことができた。特にバランスのよい食事、適切な運動、十分な睡眠などが、健康な生活を継続するために必要不可欠であることを改めて認知した。
- 食健康に関する知識を、科学的根拠をもとに理解ができたことは良かった。
- 以前から興味のある分野で、復習を兼ねながら最新の知見を学ぶことができた。
- 「食と健康」の内容も「食健康科学」の内容も、ただ結果を覚えるだけではなく、なぜそうなるのかと、物事の仕組みを丁寧に教えてもらった。「あっ、そうだったのか！」と納得することがたくさんあり、とても楽しく勉強ができた。
- 高校では化学の科目が嫌いではなかったはずだが、40年間のブランクがあるので、なかなか難しい。だが、思い出すこともあり、懐かしく感じながら学習を進めている。
- 普段から何となく食べている食事に興味が湧いた。また免疫やアレルギーについての知識が増えた。参考文献を購入して、もう少し勉強を進めてみようと思う。
- 講義の構成がコンパクトにまとめられて、要点を押さえることができて良かった。
- スライドの図やグラフが分かりやすく、理解を深めるのに役立った。
- 放送大学で、これだけ高いレベルの、そして最先端の授業が受けられるとは思っていなかった。嬉しくて涙が出てしまった。
- 前学期に放送大学で「食と健康」の授業を受けたが、授業内容がとても良く、大変勉強になった。今学期も同じ先生方で、「食健康科学」の授業を受けることが出来てとても嬉しかった。

改善点

- 受講していて、どんな食べ方が良いのか、どのくらいの量が適切なのかなど、疑問に思うこともしばしばあった。オンラインでなく、質疑応答などの場が、もっと使いやすく活発になれば良いと思った。こんな程度の低い質問などしてはいけない気がして交流フォーラムなどへの書き込みは気が引ける。もっとオープンに交流できる場があれば、学びも興味も深めることができると思う。
- 免疫系統については、少し難しく、もっと詳しく教えていただきたい点もあった。
- 講義が細部に渡り、理解するのに苦労した。
- スライドだけでは、なかなか理解出来ない部分もあった。自分で学ぶ必要を感じた。
- 小テストの解説で2ヶ所ほど、厳密に言えば正解ではないのでは、と思われるものがあった。

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	4	内容・構成が良かった	2
興味・関心が持てた	4	ポイントがつかみやすかった	1
勉強になった	3	図・表・写真・映像があるので内容が理解しやすかった	1
知識の整理に役立った	3		
新しい知識が身についた	3		
今後役立つ内容だった	3		
楽しかった	2		
学習意欲・知識欲がわいた	2		
全体として満足している	1		
視野が広がった	1		
深く学ぶ(考える)ことができた	1		
内容・構成が良かった	1		
専門的な内容だった	1		

改善点

(単位:人)

科目全般		主な改善点の提案:集約
意見	合計	
難しかった	3	●難しかった
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	●もっと詳しい説明・解説をしてほしい
内容の詰め込みすぎ	1	●内容の詰め込みすぎ
交流の場を用意してほしい	1	●交流の場を用意してほしい
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	1	●教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)
		●設問解答:小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある

設問解答	
意見	合計
設問解答:小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	1

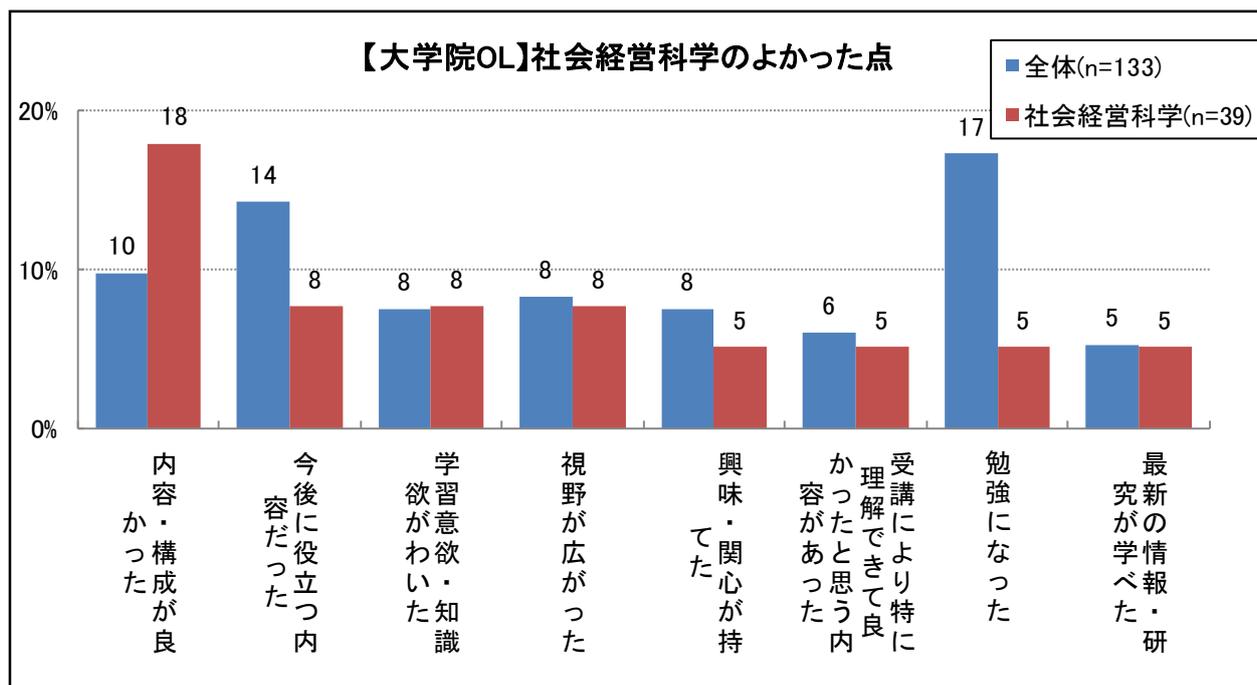
【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

よかった点

「内容・構成が良かった」が18%で最も高く、他に「今後に役立つ内容だった」などが、8%で続いていた。

「勉強になった」(5%)は、全体と比べると、大きく下回っていた。

図4-13 【大学院 オンライン】よかった点

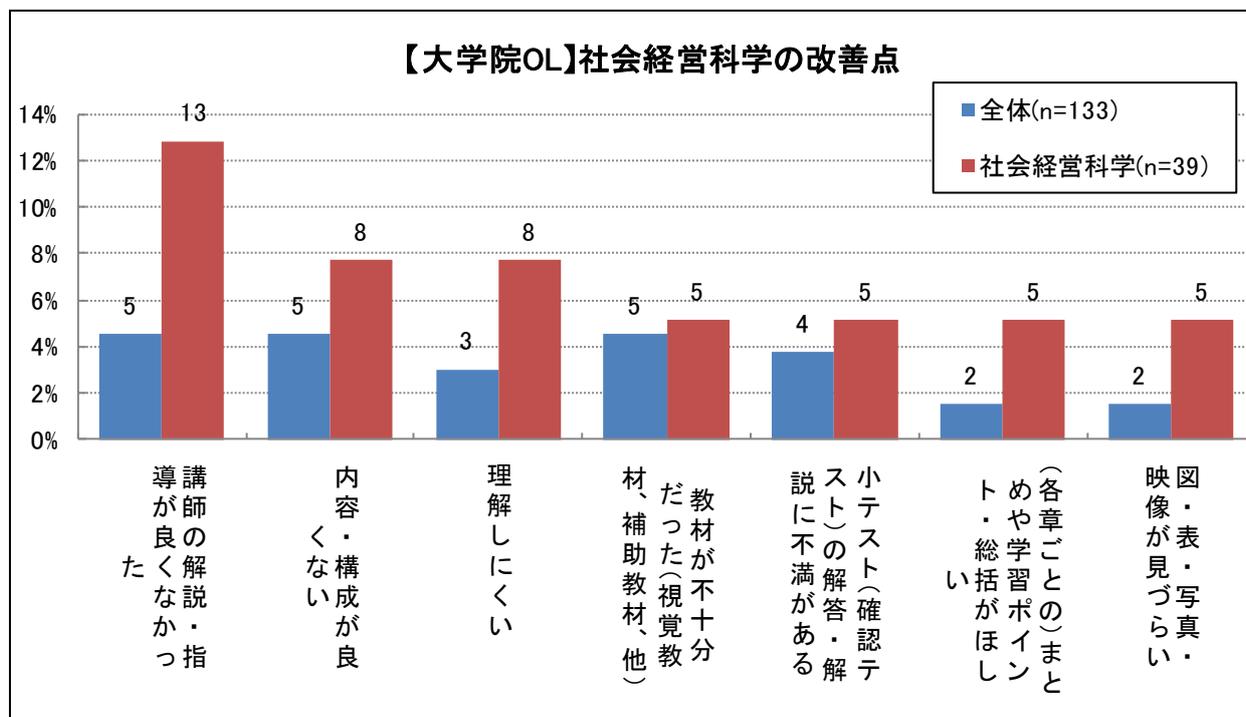


【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

改善点

「講師の解説・指導が良くなかった」が最も高く 13%で、全体を上回っていた。他に「内容・構成が良くない」「理解しにくい」が 8%で、上位に挙げられていた。

図 4 - 1 4 【大学院 オンライン】改善すべき点



よかった点

- 経済文明という広範で重層的な領域を対象とした科目を理解することは易しいことではない。また、文献講読の手法を学ぶというのはまったく別のジャンルである。本科目はこの二つを接続して両方を一緒に理解しようとする、ある意味でとても欲張りな科目だが、受講を重ねるうちに講師の意図するところに得心が行くようになった。
- 法と倫理、生命科学・情報科学・環境科学、知的財産などの異なる面から章立てがされており、複数の視点で捉えることが出来たので良かった。
- イノベーション戦略に係る法令や規制、問題点の存在を幅広く認知することができた。
- 著作権、知的財産権や研究倫理などについて、広く学ぶことができた。
- 学術研究から知財に展開するための課題をもっと勉強する必要性を痛感した。まず頭の中にイメージをつけるために、マンガ・イラスト付き入門書からやり直す必要性を感じた。
- 普段、法律に触れる機会がなく、法律関係に苦手意識を持っていたので、世の中の新しい課題について法律的に解説しているのが、いろいろ考える機会となって良かった。
- 新しい視点を得ることができた。受講内容を活かせるとよい、と考えている。
- 論文執筆の構成を考える際、レトリックを意識することの重要性に気づかされた点は良かったと思う。
- 法律の勉強から遠ざかっていたので、久しぶりの法学。法律用語について、独特な表現形式を学ぶことができたのは良かった。
- 最新の法令などの動向を概観することができた。
- 科学技術と法体系の関係が整理できた。

改善点

- 法文や計画の文言をそのままなぞって講義しており、理解しにくい。
- 講義における口頭による説明の文章が、活字を読む分には問題ないと思うが、聴講には難しいと思う程度に文の構造が複雑で、頭になかなか入ってこない。言い換えると、口頭説明の原稿が複雑な構造の文章である。
- 最近のイノベーション重視の科学技術政策の転換等に関する動き（法改正や推進体制等）についての内容を期待していたので残念。知財や AI など、個別の論点を取り上げるのであれば、それらに特化した講座を設け、より充実した内容とした方がよい。この内容であれば、科学技術政策概説とか、タイトルに工夫がほしい。
- カリキュラムについて、先生の知財制度論の授業内容との差異がよく分からなかった。知財制度論を踏まえた次のステップとして、もっと知財戦略の内容を強化しては如何だろうか。
- 生命科学・情報科学・環境科学における、類似点と相違点をまとめるような回があると理解が深まると思う。
- 法体系の説明時は、歴史的な経過なども含めて説明いただけると分かりやすいと思う。
- パワーポイントは分かりやすいのだが、本と比較して情報量が少ないため、練習問題を解く時や、再学習する際に不十分であった。
- 講義の説明やパワーポイントデータが分かりづらかった。ポイントが示されていない。活字だけの羅列のページも多かった。
- 練習問題及び小テストで、何の知識を得ることを求めているかの意図が不明であり、体系的な知識の習得にプラスとは言いがたかった。
- 学習を進めるうえで、参考となる基本図書の紹介が皆無だった。学習・研究のための書籍や論文を丁寧に紹介してほしい。

【オンライン大学院】「社会経営科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
内容・構成が良かった	7	講師の解説が分かりやすかった	1
学習意欲・知識欲がわいた	3		
視野が広がった	3		
今後役に立つ内容だった	3		
勉強になった	2		
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	2		
興味・関心が持てた	2		
最新の情報・研究が学べた	2		
全体として満足している	1		
自分のペースで勉強できた	1		
知識の整理に役立った	1		
深く学ぶ(考える)ことができた	1		

【オンライン大学院】「社会経営科学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
内容・構成が良くない	3	講師の解説・指導が良くなかった	5
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2	理解しにくい	3
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	2	図・表・写真・映像が見づらい	2
期待していた内容ではなかった	1	システム面の改善が必要	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	オンラインの特性が十分に生かされていない	1
内容が浅い	1	授業に興味・関心が持てなかった	1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1	ポイントがつかみにくかった	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1	講師の声が聞き取りづらい	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	講義ノートやテキストと内容が異なる・連動していない	1
講義内容と科目名に乖離がある	1		
科目の分類に疑問がある	1		
交流の場を用意してほしい	1		

設問解答		講義ノート・テキスト	
意見	合計	意見	合計
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	2	講義ノート・テキストを印刷するのは大変	1
練習問題はあまり学習に役立たなかった	1		
小テスト(確認テスト)はあまり学習に役立たなかった	1		
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	1		

主な改善点の提案:集約

- オンライン授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 内容・構成が良くない
- オンライン授業:理解しにくい

- (各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい
- 教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)
- オンライン授業:図・表・写真・映像が見づらい
- 設問解答:小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある

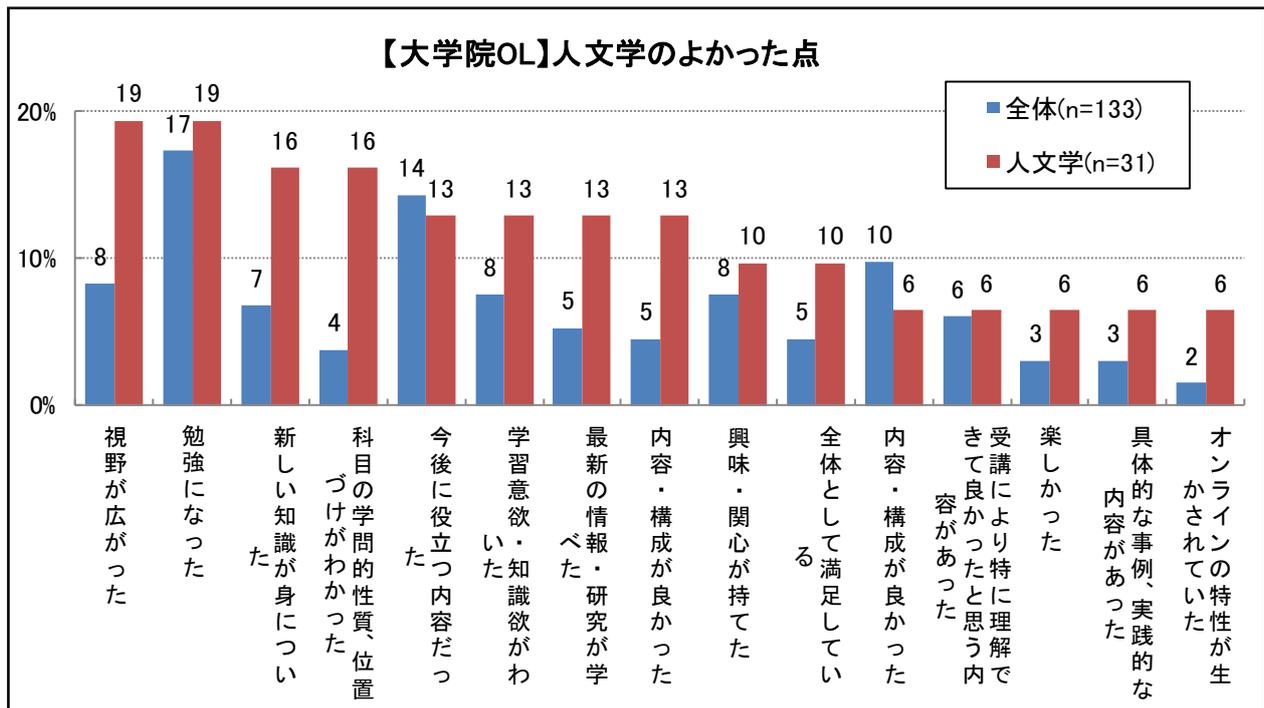
【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

よかった点

「視野が広がった」「勉強になった」が19%、「新しい知識が身についた」「科目の学問的性質、位置づけが分かった」が16%で上位に挙げられた。

他にも「今後役に立つ内容だった」「学習意欲・知識欲がわいた」など、10%以上の項目が数多く、内容も多岐にわたっていた

図4-15 【大学院 オンライン】よかった点

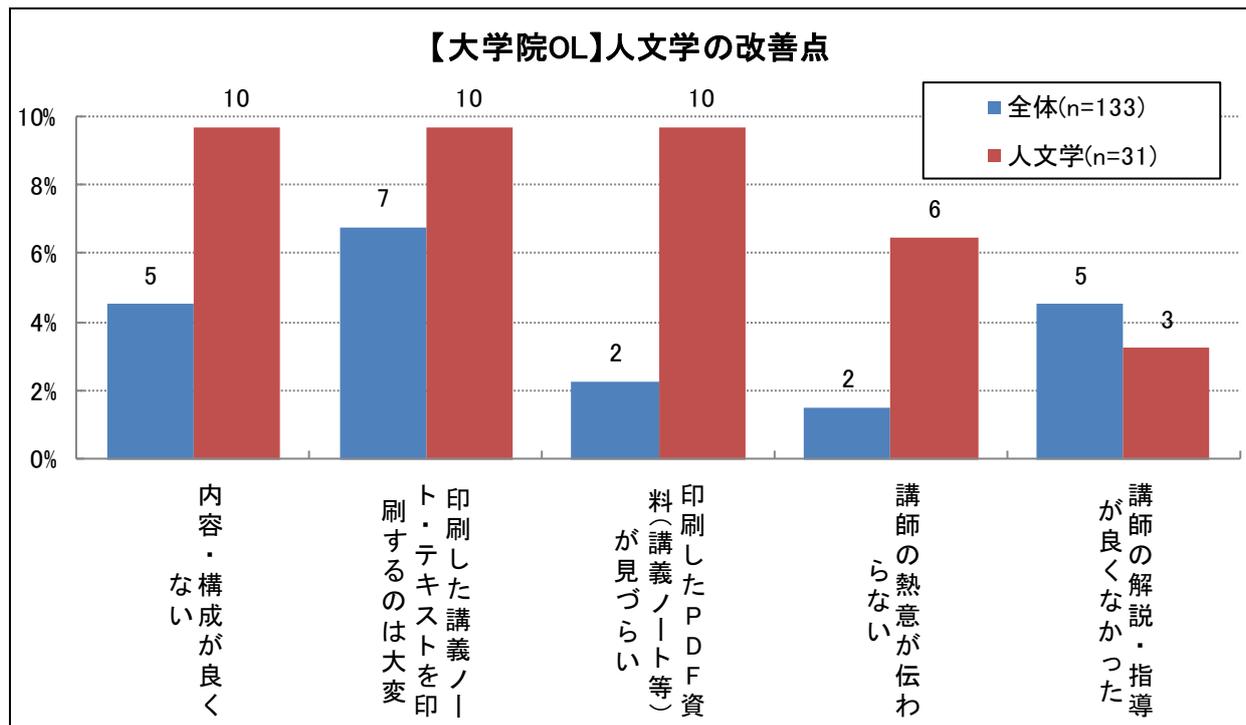


【大学院 オンライン】「人文学」の傾向

改善点

「内容・構成が良くない」「印刷した講義ノート・テキストを印刷するのは大変」「印刷したPDF資料（講義ノート等）が見づらい」が10%で挙げられ、他に「講師の熱意が伝わらない」が6%で続いていた。

図4-16 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「人文学」 抜粋

よかった点

- 文化人類学という学問は、今まで触れたことのない学問だったので、すべてが新鮮で大変勉強になった。今後の小生の研究を進めていく上でも大変参考になる学問だった。
- 様々な考え方と事例が紹介され、絶望的に見える人類の未来にも僅かな可能性があることを学べた。
- 人新世時代の文化人類学という新しい視点を得ることができ、非常に刺激的だった。
- ずっと自然科学分野ばかりを勉強していたので、社会科学はある意味、新鮮な驚きの連続だった。学術用語の使い方や定義など、自然科学分野の勝手と違う点があり、ウィキを活用しながら聴講を進めていた。「文化人類学」や「人新生」など、初めて知った。生物学を考察するにあたって、これらの学問の概念を取り込むことで新しい視点が生まれ、さらに研究意義を明確にすることが出来そうだった。
- 人新生という言葉を知った。地球温暖化がかなり深刻な状況にきていることを知った。
- 今から40数年前の大学時代に文化人類学の講義を受けたことがあるが、その時の講義内容とは全く異なっていた。今回この科目を受講して、人新世という時代を知り、文化人類学の重要性について再認識させられた。
- 最先端の議論や仮説を見聞きすることができ、独学では得られない経験になった。
- 授業の内容が非常に良かった。文化人類学という分野に留まらず、文系、理系、双方にとって刺激的な講義だったと思う。
- やりとりの中で、研究結果や論文を読んだだけでは分からないような小さな疑問など、細かい部分も知ることができた。
- 学部科目の「人新生」時代の文化人類学の知識とうまくつながり、人類の抱えている問題の本質と、文化人類学がどのようにそこにかかわるかがよく理解できた。
- 内容にも工夫が施され、オンライン授業の利点を十分に活用されたものだった。
- 講師陣が多彩で、文化人類学の領域の広がりを実感できた。

改善点

- テキストがラジオの講義などとは違い、ないため、復習ができない。次年度以降、テキストを見返すなどできないことが残念。
- 視聴メモをプリントアウトした字の大きさが小さくて、拡大して使用した。本として、記録物として残りにくい。
- 各々の専門家の方たちの研究などがアブストラクティックに終始したので、分かったような気になるけれど、理解できていない感が否めない。出来れば、イントロダクション、方法と手法などまで掘り下げて欲しかった。
- 授業内容が、思っていた内容とややずれがあった。「文化人類学」というと、異文化、中でも経済的には”未開な”世界の記述、という典型的なものを思い描いていたので。
- 人類の為になる事柄、行動をしている人々を、色々な分野からピックアップしてはどうだろう。
- 範囲が広いので、分野を分割してもよいかなと感じた。
- 可能ならば、講師のフォーラムなどの参加があることで、この科目の意義を、受講生が自分の研究として確立できると思う。
- 手元に残せるPDF資料の中で、著作権の関係で空白となっているページが多いものもあり、もう少し資料として、掲載可能なコンテンツや代替情報を選択していただけると、後で読んだときに内容がより分かって良いのではと感じた。
- 放送大学の学生は一般学生とは異なり、多くが勤めを持つ社会人であることから、このような長時間のオンライン授業は、受講に困難が生じると考えられる。
- 各設問の難易度はもう少し高めでも良かったのではないかな。その上で、解答に関する解説をより充実させてもらえればと感じた。

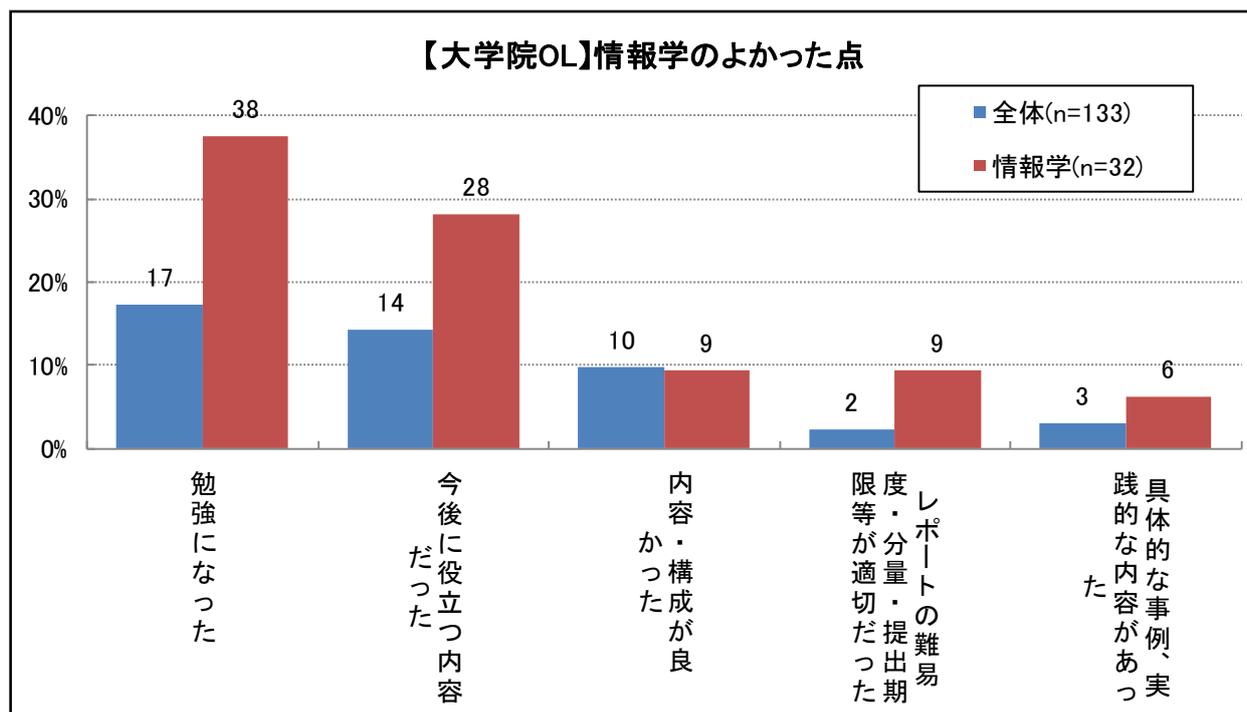
【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

よかった点

「勉強になった」38%と最も高く、次いで「今後に役立つ内容だった」が28%で続き、両項目とも全体との差は大きかった。

他に「内容・構成が良かった」「レポートの難易度・分量・提出期限等が適切だった」が、9%挙げられていた。

図4-17 【大学院 オンライン】よかった点



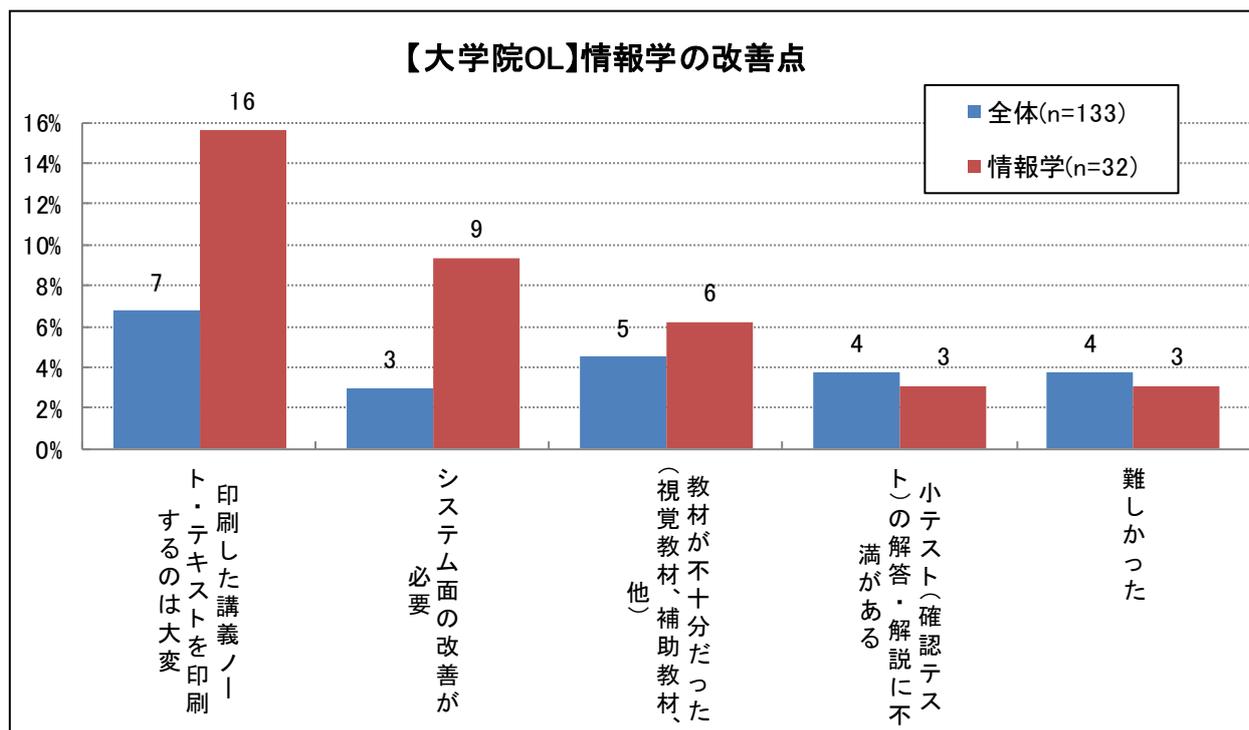
【大学院 オンライン】「情報学」の傾向

改善点

「印刷した講義ノート・テキストを印刷するのは大変」が16%で最も高く、次いで「システム面の改善が必要」(9%)「教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)」(6%)が挙げられた。

他に「小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある」などが3%で続いていた。

図4-18 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「情報学」 抜粋

よかった点

- 研究の方法論について理解できた。研究の具体的な進め方についても触れることができた。
- 研究や ICT 活用についての知識が深まった。
- 修士論文作成の上で、論文の構成について説明があり、ICT の活用方法なども示されていたので、大変参考になった。
- 修士論文執筆のプロセスや資料集めの方法など、知りたい内容を得ることができた。
- 研究に関して、そのプロセスを再学習することで、今後の研究や学生研究指導に生かせる授業だった。
- 現在の職務に直結する内容で、大変役立つ講義だった。
- テーマとしている内容にとどまらず、修士課程において何をなすべきか、についてもご教示頂けたのが大変に良かった。
- 大学院に入って良かったと感じる科目だった。特に砂時計の比喻や、「巨人の肩の上に立つ」という言葉がとても新鮮だった。
- 最近のトレンドを、具体的に講義をしてくださる試聴内容で興味深く学習できた。

改善点

- テキストが欲しい。そのため、放送授業でも良かったのではと思う。何度も見返したくなる内容であるため、講義ノートに自分でメモするだけでは不足していた。
- 長らく印刷教材で勉強してきた身としては、印刷教材が必要と感じた。特に、印刷教材での勉強は場所を選ばないからだ。忙しい現役サラリーマンにとっては、電車の中や昼休みなど、ちょっとした隙間時間の活用は必須だ。
- 印刷環境が不十分なので、希望者にはテキスト購入ができるようにしてほしい。
- スライド以外の情報量が多く、あとで振り返る際に不便のため、印刷教材に近い体裁のものがあれば復習しやすいと感じた。
- 字幕をスクロールしても、最後まで読めないことがあった。
- 受講時間の関係から途中でやむを得ず中断し、そのスライドから次の時に始めることがあったのだが、講義受講完了のチェックマークがつかなくて難儀した（この科目に限らず、オンライン授業のシステム上の問題かもしれない）。
- オンライン授業映像の中から、自分が確認したい箇所を見つけることが困難。
- 修士2年目で受講したが、1年目で受講すべきだった。科目を選ぶ時に、このことをもう少し明記してもらえると良かった。
- スライドと音声は単調で集中力が続かず、各回を数回に分けて視聴した。形式にとらわれず、最初から分かっていた方が理解しやすいと思った。
- まだ入学したばかりで研究内容もぐらぐらしていた時だったので、中間レポートの課題は、なかなか的を射たものに仕上げるができなかった。修士課程2年生と1年生ではレポートの厚みが違い、評価も違うのではないかと思った。
- 最終レポートの提出が、1週間前にはボックスに入れたのだが、送信ボタンを押さなかったのか送信されておらず、教室に入り評価確認をした時にはすでに期限が切れていた。せっかく時間をかけたレポートなのに残念でしかたない。
- パワーポイントへ、口頭でお話しされた内容をもう少し記述頂きたい。

【オンライン大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		設問解答	
意見	合計	意見	合計
勉強になった	12	レポートの難易度・分量・提出期限等が適切だった	3
今後に役立つ内容だった	9		
内容・構成が良かった	3		
具体的な事例、実践的な内容があった	2		
全体として満足している	1		
興味・関心が持てた	1		
学習意欲・知識欲がわいた	1		
理解しやすかった	1		
知識の整理に役立った	1		
新しい知識が身についた	1		
視野が広がった	1		
最新の情報・研究が学べた	1		

【オンライン大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)	2	システム面の改善が必要	3
難しかった	1	講義の分割の仕方が良くなかった	1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	講師の声が聞き取りづらい	1
内容が浅い	1		
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1		
授業科目案内は内容が不十分だった	1		
交流の場を用意してほしい	1		

講義ノート・テキスト	
意見	合計
講義ノート・テキストを印刷するのは大変	5

設問解答	
意見	合計
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	1
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	1
解答の送信方法がわかりにくい	1

主な改善点の提案:集約

- 講義ノート・テキスト: 講義ノート・テキストを印刷するのは大変
- オンライン授業: システム面の改善が必要
- 教材が不十分だった(視覚教材、補助教材、他)
- 難しかった
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容が浅い
- 参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい

2021年度学生による授業評価集計結果の概要

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 システムWAKABAを用いたオンライン調査

(3) 調査対象

①対象科目

【学部】

	基盤科目	基盤科目 (外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	計
R3(2021)	4	2	6	10	9	5	1	6	43

【大学院】

	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理 学	人文学	自然環境 科学	計
R3(2021)	3	2	4	4	1	14

②対象者 2021年度第1学期履修登録者

(4) 調査時期 調査期間：7月21日～9月30日
調査結果の集計：10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
R3(2021)	44,085	42,584	1,501	8,195	7,783	412	18.6%	18.3%	27.4%

(2)回答者の属性

【学部】

年次	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と産業
2019	14.1%	23.3%	9.6%	14.8%	6.1%	6.5%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.2%	74.6%	16.9%	8.5%		
2020	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2020	8.8%	42.0%	7.1%	7.8%	3.5%	2.6%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.1%	71.8%	18.7%	9.5%		
2021	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2021	11.6%	39.2%	8.2%	11.6%	4.3%	6.4%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.1%	81.3%	14.8%	3.9%		

年次	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2019	46.8%	53.2%	1.4%	6.7%	11.5%	21.6%	26.9%	21.5%	10.4%
2020	40.9%	59.1%	0.4%	6.5%	11.6%	24.0%	31.7%	18.3%	7.6%
2021	39.2%	60.8%	1.2%	7.7%	8.8%	21.9%	30.8%	21.3%	8.2%

(2)回答者の属性

【大学院】

年次	新プログラム所属修士全科目生								修士全科目生(計)	修士選科目生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
2019	9.7%	4.6%	7.7%	1.7%	-	5.4%	3.1%	4.0%			
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理					
		文化情報	環境システム				36.3%	57.4%	6.3%		
	-	-	-	-	-	-	-	-			
2020	新プログラム所属修士全科目生								修士全科目生(計)	修士選科目生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
	0.9%	9.4%	3.6%	10.3%	-	4.0%	7.2%	0.9%			
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理					
-		文化情報	環境システム				36.3%	54.3%	9.4%		
	-	-	-	-	-	-	-	-			
2021	新プログラム所属修士全科目生								修士全科目生(計)	修士選科目生	修士科目生
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学			
	3.2%	9.7%	6.3%	1.2%	-	10.4%	1.5%	1.2%			
	文化情報学	総合文化		政策経営	教育開発	臨床心理					
-		文化情報	環境システム				33.5%	58.3%	8.3%		
	-	-	-	-	-	-	-	-			

年次	性別		年齢別						
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
2019	54.9%	45.1%	3.1%	14.3%	22.6%	28.9%	25.4%	5.7%	
2020	66.4%	33.6%	5.4%	11.2%	22.0%	29.1%	23.8%	8.5%	
2021	50.7%	49.3%	1.5%	10.4%	15.8%	38.6%	23.8%	10.0%	

※四捨五入の関係から内訳の合計が100%にならない場合がある

付録) 2021 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果:各質問項目に対する4段階評価(「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」)の回答に対して、順に4、3、2、1の得点を与え、平均値を算出した。)

【学部】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2019	3.30	3.29	3.31	3.32	3.29	3.36	3.27	3.24	3.32	3.31	3.32	3.31	3.30	3.28	3.34	3.31	3.26	3.39	3.39	3.34	3.45
2020	3.43	3.43	3.43	3.44	3.44	3.45	3.41	3.40	3.43	3.42	3.46	3.36	3.40	3.40	3.41	3.48	3.46	3.51	3.51	3.51	3.52
2021	3.34	3.35	3.34	3.30	3.28	3.33	3.28	3.25	3.33	3.23	3.23	3.22	3.28	3.26	3.31	3.37	3.34	3.42	3.36	3.34	3.41

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2019	3.32(3.87~2.35)	3.29	3.36	3.43	2.83	3.44	3.29	3.28	3.24	3.23
2020	3.52(3.89~2.94)	3.52	3.51	-	3.44	3.56	3.54	3.54	3.48	3.32
2021	3.35(3.69~2.66)	3.31	3.42	3.38	3.33	3.49	3.27	3.48	3.28	3.52

※()内の値は「最高値~最低値」

	コース・科目区分別		
	自然と環境	夏季集中科目(司書)	夏季集中科目(看護)
2019	3.26	-	3.09
2020	3.35	3.38	3.36
2021	3.33	-	-

←※2020年度は「看護師資格取得」

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2019	3.27	3.36	3.40	3.28	3.29	3.31	3.36	3.30	3.28
2020	3.50	3.53	3.35	3.53	3.54	3.52	3.54	3.46	3.50
2021	3.34	3.36	3.25	3.47	3.31	3.33	3.37	3.34	3.34

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2019	3.38	-	3.38	3.43	-	3.43	3.45	-	3.45	3.38	-	3.38	3.39	-	3.39	3.39	-	3.39	3.55	-	3.55
2020	3.38	-	3.38	3.38	-	3.38	3.37	-	3.37	3.37	-	3.37	3.29	-	3.29	3.34	-	3.34	3.47	-	3.47
2021	3.43	3.45	3.42	3.40	3.51	3.36	3.45	3.56	3.42	3.19	3.43	3.10	3.42	3.48	3.40	3.43	3.51	3.40	3.51	3.56	3.48

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	人文学	情報学	臨床心理学	自然環境科学	社会経営科学
2019	3.43(3.84~2.17)	-	3.43	3.36	3.55	3.51	3.09	3.52	3.00	-
2020	3.47(3.69~2.57)	-	3.47	-	3.69	3.29	2.87	3.66	-	3.56
2021	3.52(3.85~2.84)	3.62	3.48	3.49	3.48	3.69	-	3.43	3.29	-

※()内の値は「最高値~最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
2019	3.37	3.50	3.63	3.40	3.42	3.49	3.39	3.30	
2020	3.39	3.63	3.75	3.60	3.43	3.38	3.47	3.53	
2021	3.55	3.49	3.67	3.49	3.57	3.42	3.61	3.61	

2021年度学生による授業評価の調査結果一覧表【2021年度新規開設科目】(単純集計1 平均評点) コース・科目区分別、プログラム別

所属	科目名	調査対象者数	回収状況 回答者数 回収率	取組み姿勢				難易度・分量				放送授業				印刷教材				通達指導・単位認定試験				全体評価				授業にかかわる 評点(0-5) の平均	全体 (A-E) の平均						
				A-1	A-2	A-3	項目 平均	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	項目 平均	B-10	B-11	B-12	B-13	B-14	B-15	B-16	項目 平均	B-17	B-18			B-19	B-20	B-21	項目 平均		
				項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均			項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均																		
	全科目平均	42,584	7,783 18.3%	3.40	3.26	3.37	3.34	3.22	3.33	3.24	3.33	3.28	3.31	3.31	3.31	3.08	3.23	3.36	3.25	3.20	3.30	3.28	3.36	3.40	3.50	3.20	3.35	3.36	3.30	3.30					
	科目最高値	-	-	3.61	3.58	3.57	3.52	3.64	3.61	3.61	3.66	3.60	3.58	3.68	3.67	3.66	3.69	3.61	3.62	3.53	3.61	3.57	3.64	3.69	3.62	3.60	3.69	3.63	3.56	3.54					
	科目最低値	-	-	3.24	2.91	3.12	3.16	2.52	2.84	2.54	2.72	2.66	2.66	2.78	2.66	2.51	1.67	2.66	2.40	2.72	2.70	2.91	2.94	2.92	2.91	2.75	3.02	2.48	2.80	2.87					
	ナレシ科目(TV)平均	25,625	4,791 18.7%	3.41	3.28	3.37	3.35	3.19	3.31	3.19	3.30	3.25	3.29	3.30	3.24	3.26	3.07	3.23	3.33	3.20	3.22	3.27	3.26	3.33	3.37	3.49	3.16	3.31	3.34	3.29					
	ラゾオ(R)平均	16,959	2,982 17.6%	3.39	3.24	3.38	3.34	3.28	3.35	3.31	3.38	3.33	3.34	3.33	3.33	3.19	3.14	3.08	3.22	3.42	3.32	3.15	3.34	3.41	3.44	3.53	3.27	3.42	3.41	3.33	3.33				
	「基礎科目(一般科目)」全体	4,660	1,144 24.5%	3.37	3.36	3.30	3.34	3.25	3.39	3.24	3.34	3.31	3.40	3.38	3.35	3.30	3.24	3.33	3.35	3.23	3.25	3.31	3.29	3.40	3.42	3.51	3.20	3.38	3.37	3.33	3.33				
	「基礎科目(外国語)」全体	4,807	1,044 21.7%	3.29	3.32	3.22	3.28	3.22	3.36	3.23	3.32	3.28	3.35	3.34	3.29	3.34	3.34	3.33	3.46	3.20	3.00	3.25	3.23	3.37	3.35	3.28	3.15	3.33	3.31	3.30	3.29				
	「生活と福祉」全体	8,047	1,216 15.1%	3.46	3.16	3.41	3.34	3.29	3.34	3.33	3.39	3.34	3.36	3.36	3.26	3.29	3.20	3.29	3.36	3.38	3.35	3.42	3.38	3.45	3.50	3.45	3.47	3.48	3.54	3.62	3.39	3.39			
	「心理と教育」全体	16,677	2,992 15.5%	3.43	3.24	3.43	3.37	3.16	3.28	3.19	3.29	3.23	3.23	3.25	3.16	3.14	2.97	3.15	3.33	3.20	3.21	3.25	3.25	3.34	3.39	3.35	3.36	3.34	3.29	3.45	3.14	3.27	3.30		
	「社会と産業」全体	3,543	661 18.7%	3.43	3.29	3.41	3.38	3.42	3.46	3.44	3.46	3.45	3.44	3.44	3.44	3.25	3.24	3.18	3.31	3.46	3.44	3.28	3.44	3.41	3.28	3.34	3.41	3.34	3.46	3.48	3.58	3.39	3.48	3.48	
	「人間と文化」全体	2,382	566 23.8%	3.39	3.24	3.41	3.35	3.19	3.26	3.22	3.35	3.26	3.18	3.18	2.97	2.89	2.54	2.95	3.32	3.22	2.95	3.24	3.18	3.32	3.42	3.37	3.37	3.32	3.35	3.51	3.12	3.28	3.32	3.20	
	「情報」全体	193	44 22.8%	3.45	3.20	3.43	3.36	3.36	3.50	3.27	3.41	3.39	3.48	3.45	3.45	3.14	2.93	3.09	3.55	3.43	3.36	3.41	3.44	3.25	3.41	3.50	3.39	3.48	3.68	3.70	3.34	3.52	3.54	3.36	
	「自然と環境」全体	2,275	516 22.7%	3.40	3.34	3.32	3.35	3.08	3.22	3.01	3.19	3.13	3.22	3.26	3.32	3.33	2.90	3.21	3.27	3.07	3.19	3.20	3.18	3.30	3.32	3.25	3.29	3.27	3.44	3.61	3.01	3.01	3.33	3.33	3.24

所属	科目名	調査対象者数	回収状況 回答者数 回収率	取組み姿勢				難易度・分量				放送授業				印刷教材				通達指導・単位認定試験				全体評価				授業にかかわる 評点(0-5) の平均	全体 (A-E) の平均						
				A-1	A-2	A-3	項目 平均	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	項目 平均	B-10	B-11	B-12	B-13	B-14	B-15	B-16	項目 平均	B-17	B-18			B-19	B-20	B-21	項目 平均		
				項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均			項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均																		
	全科目平均	1,501	412 27.4%	3.51	3.26	3.53	3.43	3.42	3.45	3.45	3.49	3.45	3.45	3.41	3.15	3.03	2.89	3.19	3.49	3.42	3.31	3.45	3.42	3.37	3.48	3.45	3.43	3.45	3.55	3.65	3.37	3.52	3.51	3.40	3.40
	科目最高値	-	-	3.63	3.50	3.65	3.57	3.75	3.75	3.85	3.78	3.73	3.81	3.68	3.70	3.60	3.56	3.57	3.81	3.93	3.54	3.89	3.74	3.74	3.85	3.67	3.75	3.70	3.85	3.96	3.59	3.85	3.79	3.66	3.62
	科目最低値	-	-	3.29	2.78	3.29	3.29	2.66	2.97	2.55	3.00	2.80	2.79	2.74	2.45	2.46	2.00	2.60	3.15	2.61	2.79	2.76	2.84	3.00	3.13	3.13	3.09	3.05	3.00	3.26	2.61	2.84	2.95	2.84	2.89
	ナレシ科目(TV)平均	431	109 25.3%	3.54	3.28	3.54	3.45	3.57	3.50	3.58	3.58	3.56	3.56	3.50	3.40	3.43	3.26	3.43	3.48	3.48	3.42	3.52	3.48	3.47	3.52	3.54	3.51	3.55	3.55	3.60	3.50	3.62	3.56	3.51	3.50
	ラゾオ(R)平均	1,070	303 28.3%	3.50	3.25	3.52	3.42	3.37	3.43	3.41	3.46	3.42	3.42	3.38	3.06	2.88	2.76	3.10	3.49	3.40	3.27	3.43	3.40	3.33	3.47	3.41	3.40	3.41	3.55	3.66	3.32	3.48	3.48	3.36	3.36
	「生活健康科学」全体	210	61 29.0%	3.49	3.25	3.48	3.41	3.43	3.39	3.57	3.54	3.48	3.44	3.44	3.03	2.89	2.84	3.13	3.36	3.52	3.39	3.51	3.45	3.36	3.43	3.34	3.38	3.41	3.54	3.66	3.41	3.49	3.50	3.39	3.38
	「人間発達科学」全体	240	64 26.7%	3.53	3.28	3.50	3.44	3.36	3.41	3.38	3.38	3.38	3.44	3.36	3.09	2.91	2.97	3.15	3.50	3.38	3.19	3.41	3.37	3.20	3.47	3.45	3.37	3.53	3.62	3.73	3.41	3.48	3.53	3.37	3.37
	「臨床心理学」全体	676	169 25.0%	3.50	3.25	3.49	3.41	3.37	3.38	3.33	3.42	3.38	3.35	3.31	3.15	3.20	3.12	3.23	3.40	3.29	3.25	3.32	3.32	3.33	3.41	3.41	3.38	3.44	3.44	3.52	3.30	3.43	3.43	3.35	3.35
	「人文学」全体	363	111 30.6%	3.55	3.27	3.65	3.49	3.55	3.62	3.62	3.63	3.61	3.65	3.59	3.24	2.91	2.58	3.19	3.67	3.60	3.42	3.66	3.59	3.52	3.62	3.56	3.57	3.46	3.75	3.78	3.45	3.69	3.63	3.51	3.50
	「自然環境科学」全体	12	7 58.3%	3.29	3.29	3.29	3.29	3.14	3.43	3.57	3.43	3.39	3.14	3.14	3.43	3.14	2.00	2.97	3.57	3.29	3.29	3.43	3.40	3.57	3.57	3.43	3.52	3.14	3.43	3.57	3.00	3.29	3.29	3.29	3.29

(注) 平均評点は、調査票の選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2021年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった。				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった。	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

授業評価の組織的な活用

